

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第1回	前半	問題1	1	我が国の現状で正しいのはどれか。 1.国民健康保険にはすべての国民が加入している。 2.65歳以上のすべての人が老人保健の対象者である。 3.国民医療費の増加要因の一つに人口の高齢化がある。 4.国民医療費は約15兆円である。	3
第1回	前半	問題2	1	国民医療費に含まれるのはどれか。 1.薬局でかぜ薬を求める経費 2.人間ドックの経費 3.診療所の初診料 4.正常分娩の経費	3
第1回	前半	問題3	2	WHOの健康の考え方について正しいのはどれか。 1.肉体的に健康である状態をいう。 2.健康はすべての人の権利である。 3.病気がない状態をいう。 4.自ら健康と思えば健康である。	2
第1回	前半	問題4	2	保健所の健康管理の対象者で正しいのはどれか。 1.幼稚園児 2.自営業者 3.雇用者 4.教職員	2
第1回	前半	問題5	2	食中毒で正しいのはどれか。 1.サルモネラ食中毒は食品の水洗いで防止できる。 2.ブドウ球菌食中毒の毒素は加熱すれば破壊される。 3.腸炎ピブリオは60℃くらいで死滅する。 4.ボツリヌス菌食中毒の毒素は熱に強い。	3
第1回	前半	問題6	2	下水について誤っているのはどれか。 1.我が国の下水道の普及率は50%以下である。 2.下水は人の生活圏から排出された汚水の総称である。 3.BODとは汚水中の有機物が微生物によって分解されるのに必要な酸素の量をいう。 4.汚染度の高い水中ではBODの値は低下する。	4
第1回	前半	問題7	2	誤っているのはどれか。 1.神経症は精神病の一種である。 2.精神発達遅滞は知能の著しく劣っているのをいう。 3.精神病患者の人権は尊重されなくてはならない。 4.保健所の事業の中に精神衛生に関する事項が含まれている。	1
第1回	前半	問題8	2	消毒法で誤っているのはどれか。 1.消毒法には理学的方法と化学的方法とがある。 2.逆性石けんは手指の消毒に用いられる。 3.クレゾール消毒はにおいも弱く手指の消毒に多用されている。 4.紫外線消毒は照射された表面だけに効果がある。	3
第1回	前半	問題9	2	労働衛生と関係しないのはどれか。 1.衛生管理者 2.産業医 3.公害防止管理者 4.総括衛生管理者	3
第1回	前半	問題10	2	公害対策基本法で公害に含まれるのはどれか。 1.ヒ素混入粉ミルクによるヒ素中毒 2.PCB混入食用油による油症 3.散布後の残留農薬による農薬中毒 4.メチル水銀汚染魚による水俣病	4
第1回	前半	問題11	3	正しいのはどれか。 1.施術所の専用施術室は5平方メートルと決められている。 2.施術者は施術者免許の業務範囲に限られる。 3.施術者は薬品投与の指示行為ができる。 4.施術所は開設後20日以内に所在地の都道府県知事に届け出る。	2
第1回	前半	問題12	3	老人保健法に規定されていないのはどれか。 1.老人医療に要する費用 2.老人保健施設の療養費 3.特別養護老人ホームの入所費 4.老人健康診査の費用	3
第1回	前半	問題13	3	誤っているのはどれか。 1.施術者の経歴の広告は許されている。 2.はり師が施術に際して消毒義務を怠ったときは罰金に処せられる。 3.施術者には秘密保持義務がある。 4.施術者による外科手術は禁じられている。	1
第1回	前半	問題14	3	施術所開設の届出事項で必要でないのはどれか。 1.本籍地 2.開設の年月日 3.開設の場所 4.構造設備の概要および平面図	1
第1回	前半	問題15	4	内胚葉から分化するのはどれか。 1.表皮 2.骨格筋 3.小腸上皮 4.骨組織	3
第1回	前半	問題16	4	側頭骨に属さないのはどれか。 1.頸動脈管 2.正円孔 3.鼓室 4.顔面神経管	2
第1回	前半	問題17	4	恥骨に起始しない筋はどれか。 1.縫工筋 2.肛門挙筋 3.長内転筋 4.外閉鎖筋	1
第1回	前半	問題18	4	筋とその支配神経との組合せで誤っているのはどれか。 1.口輪筋 - - - 下顎神経 2.胸鎖乳突筋 - - 副神経 3.三角筋 - - - 腋窩神経 4.浅指屈筋 - - - 正中神経	1

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第1回	前半	問題 19	4	筋の作用について誤っているのはどれか。 1. 三角筋前部線維は肩関節を屈曲する。 2. 大内転筋は膝関節を屈曲する。 3. 最長筋は脊柱を後屈する。 4. 大殿筋は股関節を伸展する。	2
第1回	前半	問題 20	4	正しいのはどれか。 1. 胆汁は胆嚢で産生される。 2. グリン鞘には動脈・静脈・胆管の三つ組が見られる。 3. 脾管は肝管と合流し十二指腸乳頭に開口する。 4. 肝静脈は上大静脈に開口する。	2
第1回	前半	問題 21	4	ハイエル板 (集合リンパ小節) があるのはどれか。 1. 胃 2. 十二指腸 3. 回腸 4. 虫垂	3
第1回	前半	問題 22	4	上顎洞が開口する部位はどれか。 1. 総鼻道 2. 上鼻道 3. 中鼻道 4. 下鼻道	3
第1回	前半	問題 23	4	ネフロン (腎単位) について誤っているのはどれか。 1. 糸球体は毛細血管で形成される。 2. ボーマン嚢は糸球体を包んでいる。 3. 遠位尿細管はボーマン嚢の尿管極から始まる。 4. 緻密斑は遠位尿細管の一部に形成される。	3
第1回	前半	問題 24	4	正しいのはどれか。 1. 尿道球腺は陰前庭に開口する。 2. 陰茎には1対の陰茎海绵体が見られる。 3. 膣壁にはよく発達した粘液腺が分布している。 4. 前立腺は男女ともに尿道起始部にみられる。	2
第1回	前半	問題 25	4	誤っているのはどれか。 1. 精巣は後腹壁で形成され陰嚢中へ下降する。 2. 卵管の自由端は腹腔に開口している。 3. 精巣挙筋は内腹斜筋の続きである。 4. 卵巣動脈は内腸骨動脈から分岐する。	4
第1回	前半	問題 26	4	正しいのはどれか。 1. 下垂体は篩骨のトルコ鞍の下垂体窩に位置する。 2. 松果体は間脳下部に位置する。 3. 副腎は腎臓の上部に位置する。 4. 上皮小体は甲状腺の前面に位置する。	3
第1回	前半	問題 27	4	正しいのはどれか。 1. 手首の母指側で拍動を触れる動脈は尺骨動脈である。 2. 左右の総頸動脈はともに大動脈弓の直接の枝である。 3. 側頭部で拍動を触れる浅側頭動脈は外頸動脈の枝である。 4. 副腎静脈は門脈に開口する。	3
第1回	前半	問題 28	4	正しいのはどれか。 1. 顔面動脈の拍動は下顎の下縁で触れる。 2. 総頸動脈の拍動は頸下三角の部位で触れる。 3. 上腸間膜静脈は下大静脈に開口する。 4. 脳底動脈は左右の内頸動脈が合流したものである。	1
第1回	前半	問題 29	4	正しいのはどれか。 1. 冠状動脈は直接、右心房から分岐する。 2. 右心房と右心室との間には二尖弁がある。 3. 心臓の刺激伝導系は特殊心筋により構成される。 4. 心臓は胸膜と二重の膜で包まれている。	3
第1回	前半	問題 30	4	誤っているのはどれか。 1. 末梢有髄神経の髄鞘はシュワン細胞が形成する。 2. 脳脊髄膜は硬膜、クモ膜、軟膜の三層の膜からなる。 3. 脊髄神経節は前根に属する。 4. 脊髄神経はすべて混合神経である。	3
第1回	前半	問題 31	4	誤っている組合せはどれか。 1. 錐体路 - - - - 内包 2. 嗅球 - - - - 大脳辺縁系 3. 脊髄視床路 - - 後索核 4. 視索 - - - - 外側膝状体	3
第1回	前半	問題 32	4	自律神経系の特徴について誤っているのはどれか。 1. 中枢から目的の器官までの間に一度はニューロンを交代する。 2. 交感神経幹は椎体の前外側面に沿って位置する。 3. 脳神経に含まれる自律神経は交感神経である。 4. 仙髄に節前ニューロンの細胞体があるのは副交感神経である。	3
第1回	前半	問題 33	4	眼房水を産生するのはどれか 1. 角膜 2. 毛様体 3. 水晶体 4. 硝子体	2
第1回	前半	問題 34	5	半透膜を介して水が溶質濃度の低い側から高い側へ移動する現象はどれか。 1. 拡散 2. 能動輸送 3. ろ過 4. 浸透	4
第1回	前半	問題 35	5	赤血球の産生を促進する因子はどれか。 1. ビリルビン 2. エリスロポイエチン 3. トロンピン 4. フィブリン	2
第1回	前半	問題 36	5	正常成人の安静時1回心拍出量で正しいのはどれか。 1. 約30ml 2. 約70ml 3. 約150ml 4. 約300ml	2

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第1回	前半	問題 37	5	呼吸調節で正しいのはどれか。 1. 延髄の呼吸中枢には呼吸中枢と吸気中枢とがある。 2. 吸気で肺が伸展すると呼吸が抑制される。 3. 血液のpHが低下すると呼吸運動が抑制される。 4. 動脈血酸素分圧が低下すると呼吸運動が抑制される。	1
第1回	前半	問題 38	5	消化管ホルモンが消化液分泌に及ぼす作用で正しいのはどれか。 1. ガストリンは胃液分泌を抑制する。 2. コレシストキニンは膵液分泌を抑制する。 3. セクレチンは膵液分泌を促進する。 4. ソマトスタチンは胃液分泌を促進する。	3
第1回	前半	問題 39	5	肝機能で正しいのはどれか。 1. ムチンの分泌 2. セクレチンの合成 3. ガストリンの分泌 4. グリコーゲンの合成	4
第1回	前半	問題 40	5	生体内で熱産生を起こす現象はどれか。 1. 発汗 2. カテコールアミンの増加 3. 皮膚血管の拡張 4. 不感蒸散	2
第1回	前半	問題 41	5	健康成人の尿細管に分泌される物質はどれか。 1. ブドウ糖 2. 蛋白質 3. 赤血球 4. アンモニア	4
第1回	前半	問題 42	5	下垂体後葉ホルモンはどれか。 1. 成長ホルモン 2. カルシトニン 3. オキシトシン 4. アルドステロン	3
第1回	前半	問題 43	5	化学シナプスで誤っているのはどれか。 1. シナプス前ニューロンの興奮は両方向性に伝達される。 2. 高頻度の刺激でシナプスの機能は疲労する。 3. シナプス前ニューロンの興奮によって伝達物質がシナプス間隙に放出される。 4. 興奮性シナプスと抑制性シナプスとがある。	1
第1回	前半	問題 44	5	中枢神経系で正しいのはどれか。 1. フローカの領域は視覚中枢である。 2. ウェルニッケの領域は味覚中枢である。 3. 言語中枢は通常、左半球優位である。 4. 膝蓋腱反射の中枢は脳幹にある。	3
第1回	前半	問題 45	5	脳神経で誤っている組合せはどれか。 1. 三叉神経 - - 顔面の皮膚感覚 2. 顔面神経 - - 表情筋の運動 3. 外転神経 - - 舌筋の運動 4. 内耳神経 - - 聴覚と平行感覚	3
第1回	前半	問題 46	5	脳波で、波が最もよく現れるのはどれか。 1. 精神活動中 2. 安静閉眼時 3. レム睡眠時 4. ノンレム睡眠時	2
第1回	前半	問題 47	5	交感神経興奮によって起こる現象で誤っているのはどれか。 1. 瞳孔散大 2. 心拍数増大 3. 気管支筋収縮 4. 胃液分泌抑制	3
第1回	前半	問題 48	5	骨格筋で誤っているのはどれか。 1. 骨格筋には横紋構造が認められる。 2. 白筋線維は疲労しにくく赤筋線維は疲労しやすい。 3. 筋収縮のエネルギーはATPの分解によって得られる。 4. 筋収縮に伴って熱が発生する。	2
第1回	前半	問題 49	5	視覚について誤っているのはどれか。 1. 水晶体の厚みを変えて遠近の調節を行う。 2. 瞳孔の大きさを変えて明るさの調節を行う。 3. 硝子体の働きによって明暗順応を行う。 4. 視細胞は色の識別に関与する。	3
第1回	前半	問題 50	6	疾患の分類について誤っているのはどれか。 1. 急性と慢性 2. 先天性と続発性 3. 器質的と機能的 4. 限局性と全身性	2
第1回	前半	問題 51	6	誤っているのはどれか。 1. 貧血性梗塞は心臓には起こりにくい。 2. 肺の出血性梗塞は肺動脈の血栓症が主な原因である。 3. 播種性血管内凝固症(DIC)では全身の細血管に血栓が形成される。 4. 脳軟化症は梗塞の結果である。	1
第1回	前半	問題 52	6	誤っている組合せはどれか。 1. ツベルクリン反応 - - 結核 2. 拒絶反応 - - - - 異型臓器移植 3. 免疫グロブリン - - - 細胞性免疫 4. 自己免疫疾患 - - - - 橋本病	3
第1回	前半	問題 53	6	誤っている組合せはどれか。 1. 血栓形成 - - 血液凝固亢進 2. 脳出血 - - - 動脈破たん 3. 脳軟化 - - - 動脈閉塞 4. 血友病 - - - 第5凝固因子欠如	4
第1回	前半	問題 54	6	誤っている組合せはどれか。 1. 線維索性炎 - - - 偽膜形成 2. 漿液性炎 - - - - 膿瘍 3. 梅毒 - - - - - ゴム腫 4. 脊椎カリエス - - - 冷膿瘍	2

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第 1回	前半	問題 55	6	非上皮性腫瘍に属するのはどれか。 1. 乳頭腫 2. 腺腫 3. 腺癌 4. 線維腫	4
第 1回	前半	問題 56	6	悪性腫瘍について正しいのはどれか。 1. 増殖が遅い。 2. 転移する。 3. 膨張性発育をする。 4. 異型性が弱い。	2
第 1回	前半	問題 57	7	慢性下痢を起こさない疾患はどれか。 1. 過敏性腸症候群 2. 十二指腸潰瘍 3. 吸収不良症候群 4. 潰瘍性大腸炎	2
第 1回	前半	問題 58	7	顔色で誤っているのはどれか。 1. 貧血では蒼白になる。 2. 低酸素血症ではチアノーゼを生じる。 3. 肝硬変では黄色となる。 4. アジソン病では白くなる。	4
第 1回	前半	問題 59	7	血清中の GOT が上昇しないのはどれか。 1. 急性肝炎 2. 肝癌 3. 胃炎 4. 心筋梗塞	3
第 1回	前半	問題 60	7	深部腱反射が亢進するのはどれか。 1. 神経根障害 2. 末梢神経障害 3. 錐体路障害 4. 脊髄前角障害	3
第 1回	前半	問題 61	7	外転運動で正しいのはどれか。 1. 足部を外側に屈曲する運動 2. 肩関節で上肢を正中線から側方に挙げる運動 3. 膝関節を伸展させる運動 4. 手を背側方向に向ける運動	2
第 1回	前半	問題 62	7	多関節筋はどれか。 1. 上腕筋 2. 大殿筋 3. 外側広筋 4. 大腿二頭筋	4
第 1回	前半	問題 63	7	高熱とともに右季肋部痛を訴える場合まず疑うべき疾患はどれか。 1. 胃癌 2. 急性胆嚢炎 3. 脾癌 4. 大動脈瘤破裂	2
第 1回	前半	問題 64	7	意識喪失の原因疾患となるのはどれか。 1. 肺炎 2. ネフローゼ症候群 3. 心室細動 4. 胃潰瘍	3
第 1回	前半	問題 65	7	心不全患者の処置で誤っているのはどれか。 1. 水分の摂取量を減らす。 2. 食塩の摂取量を増す。 3. 身体を保温する。 4. 上半身を高くする。	2
第 1回	前半	問題 66	7	呼吸困難について正しいのはどれか。 1. 右心不全では生じることはない。 2. 心臓喘息は肺うっ血による。 3. 過換気症候群は左心不全による。 4. 夜間発作性呼吸困難は心不全とは関係がない。	2
第 1回	前半	問題 67	7	めまい及びめまい感について誤っているのはどれか。 1. めまいは運動性の感覚を伴う。 2. 体が不安定な感覚をめまい感という。 3. メニエール病のめまいは小脳性である。 4. 自律神経失調症では、しばしばめまい感を伴う。	3
第 1回	前半	問題 68	7	発熱について誤っているのはどれか。 1. 体温調節中枢が関与する。 2. 脈拍数が増加する。 3. 感染症による場合、赤血球数が増加する。 4. 膠原病による場合、しばしば皮疹や関節痛を伴う。	3
第 1回	前半	問題 69	8	子宮筋腫でみられないのはどれか。 1. 貧血 2. 皮膚色素沈着 3. 排尿困難 4. 不妊	2
第 1回	前半	問題 70	8	う歯について誤っているのはどれか。 1. 微生物によって産出される酸が歯を脱灰する。 2. 食事の中の糖の量に関係する。 3. 唾液の流出が少ないと、う歯になりやすい。 4. C1(1度)で痛みを生じる。	4
第 1回	前半	問題 71	8	前立腺肥大で誤っているのはどれか。 1. 直腸内指診では正常の硬さである。 2. 残尿感は飲酒によって強くなる。 3. 老人に多い。 4. 性腺摘出術を行う。	4

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第 1 回	前半	問題 72	8	正しい組合せはどれか。 1. 流行性耳下腺炎 - - - ムンプスウイルス感染 2. 消化性潰瘍 - - - - 大腸菌感染 3. 虫垂炎 - - - - - ビタミンC欠乏 4. イレウス - - - - - アレルギー	1
第 1 回	前半	問題 73	8	正しいのはどれか。 1. A型肝炎は細菌の感染による。 2. B型肝炎は血液を介して感染する。 3. 急性肝炎では血清アミラーゼ値が下降する。 4. 胆石は水に溶解しやすい。	2
第 1 回	前半	問題 74	8	肝硬変で誤っているのはどれか。 1. 肝が肥大する。 2. 食道静脈瘤を生じる。 3. 手掌紅斑を生じる。 4. 腹水を生じる。	1
第 1 回	前半	問題 75	8	SLE (全身性エリテマトーデス) について誤っているのはどれか。 1. 慢性炎症性疾患である。 2. 中年で発症することが多い。 3. 赤沈促進がみられる。 4. 寛解と再燃増悪とを繰り返す。	2
第 1 回	前半	問題 76	8	第 6 頸椎脱臼骨折による脊髄損傷患者の初期にみられるのはどれか。 1. 呼吸停止 2. 痙攣性麻痺 3. 弛緩性麻痺 4. 交代性麻痺	3
第 1 回	前半	問題 77	8	膝半月板損傷でみられるのはどれか。 1. 前方引き出し症状陽性 2. 後方引き出し症状陽性 3. 嵌頓症状 4. 側方動揺性	3
第 1 回	前半	問題 78	8	肺結核について正しいのはどれか。 1. 肺炎球菌の感染により発症する。 2. 発熱することはない。 3. 胸部エックス線検査は診断に有用である。 4. ステロイドホルモンが治療に有効である。	3
第 1 回	前半	問題 79	8	気胸を疑う必要のある疾患はどれか。 1. 刺激性の咳 2. 嘔気 3. 呼吸数減少 4. めまい	1
第 1 回	前半	問題 80	8	正しい組合せはどれか。 1. 筋緊張性頭痛 - - - - - 顔面神経ブロック 2. 三叉神経第 2 枝神経痛 - - - 下顎神経ブロック 3. 三叉神経第 1 枝帯状疱疹 - - - 星状神経節ブロック 4. 五十肩 - - - - - - - 肋間神経ブロック	3
第 1 回	後半	問題 1	8	脳血管障害で誤っているのはどれか。 1. くも膜下出血は低血圧の人に多い。 2. 脳塞栓症は心臓疾患の人に多い。 3. 脳血栓症は脳梗塞の原因となる。 4. 左側の脳血管障害は失語症を伴うことが多い。	1
第 1 回	後半	問題 2	8	皮膚疾患について正しいのはどれか。 1. 円形脱毛症はウイルス感染が原因である。 2. 脂漏性湿疹は油脂を取り扱う人に多い。 3. 接触性皮膚炎はウイルスとの接触により起こる。 4. 帯状疱疹は分節性の神経性皮膚炎である。	4
第 1 回	後半	問題 3	8	急性心筋梗塞の所見で誤っているのはどれか。 1. GOTの上昇 2. 軽度または中等度の発熱 3. 白血球減少 4. 赤沈促進	3
第 1 回	後半	問題 4	8	階段を上がる時、前胸部に圧迫感が生じ、数分の安静で軽快するという症状を訴えた場合、最も考えられる疾患はどれか。 1. 労作時狭心症 2. 安静時狭心症 3. 異型狭心症 4. 心筋梗塞	1
第 1 回	後半	問題 5	8	血液疾患について誤っているのはどれか。 1. 鉄欠乏性貧血はヘモグロビン産生量の減少により生じる。 2. 悪性貧血はビタミン B 12 の欠乏により生じる。 3. 急性白血病では白血球が急激に無制限に増殖する。 4. 血友病では第 8 凝固因子が欠乏している。	2
第 1 回	後半	問題 6	8	精神科疾患について誤っているのはどれか。 1. 不安神経症は過度の不安を主徴とする。 2. 心身症では心理的・情動的因子が発生に関与している。 3. 躁うつ病では正常状態に復する時期がある。 4. 精神分裂病は初老期に発病することが多い。	4
第 1 回	後半	問題 7	8	内分泌疾患について誤っているのはどれか。 1. パセドウ病は男性に多い。 2. 粘液水腫では甲状腺ホルモンの分泌障害がある。 3. 尿崩症では抗利尿ホルモンの分泌障害がある。 4. 褐色細胞腫では血圧が上昇する。	1
第 1 回	後半	問題 8	8	アレルギー疾患について誤っているのはどれか。 1. アレルギー鼻炎では発作性のくしゃみや鼻閉がある。 2. アトピー性皮膚炎は内因性のアレルギー機序で発生する。 3. じんま疹はしばしば気管支喘息を合併する。 4. 食事性アレルギーはリアギン型アレルギー反応で起こる。	3
第 1 回	後半	問題 9	9	運動障害の評価法で正しいのはどれか。 1. 足関節の基本肢位を 90° とするのは誤りである。 2. 徒手筋力テストは 4 段階評価法である。 3. フリンストロームのステージは末梢性麻痺に対する評価段階である。 4. 長谷川式スケールは関節可動域の評価法である。	1

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第1回	後半	問題10	9	正常歩行の周期について誤っているのはどれか。 1.歩行周期には立脚期と遊脚期とがある。 2.立脚中期には全体重が一方の足にかかる。 3.立脚期と遊脚期の時間的割合は6対4である。 4.両足が遊脚期になる時がある。	4
第1回	後半	問題11	9	筋収縮について誤っているのはどれか。 1.求心性収縮とは張力を発生しながら筋肉の長さが短くなること。 2.遠心性収縮とは張力発生一方で筋肉の長さが長くなること。 3.等尺性収縮とは張力を発生するが筋肉の長さは変わらないこと。 4.等張性収縮とは筋肉の長さの変化に応じて張力が等しく発生すること。	2
第1回	後半	問題12	9	誤っているのはどれか。 1.超音波療法は一種の温熱療法である。 2.紫外線療法は紫外線の化学作用を利用している。 3.低周波療法は低周波の温熱作用を利用している。 4.水治療法は水の温度、浮力、抵抗などを利用する療法である。	3
第1回	後半	問題13	9	慢性関節リウマチの理学療法で正しいのはどれか。 1.急性増悪期にも安静は不要である。 2.スプリントを使う場合は自動運動を終日禁ずる。 3.慢性期には変形予防が必要である。 4.筋力強化は行わない。	3
第1回	後半	問題14	9	脳血管障害で誤っているのはどれか。 1.弛緩性麻痺に始まり次第に痙性麻痺になることが多い。 2.失語症は発声器の麻痺による。 3.知覚および視覚に障害のない失語症がある。 4.拘縮の予防または治療のために関節可動域訓練が必要である。	2
第1回	後半	問題15	9	脳性麻痺で誤っているのはどれか。 1.単なる運動麻痺ではなく運動発達障害の要素が多い。 2.最初は筋緊張が低く次第に異常筋緊張を示すことが多い。 3.四肢麻痺であるから訓練が難しい。 4.けいれんのコントロールが大切である。	3
第1回	後半	問題16	9	脊髄損傷患者の訓練で正しいのはどれか。 1.起立時に血圧があがりやすいので注意する。 2.頸髄損傷ではベットと車椅子との移乗動作は無理である。 3.自動車の運転は勧められない。 4.頸髄損傷では歩行訓練ができる。	4
第1回	後半	問題17	10	誤っているのはどれか。 1.小腸は受盛の官である。 2.胆は州都の官である。 3.胃は水穀の海である。 4.大腸は伝導の官である。	2
第1回	後半	問題18	10	胸中に宿る気はどれか。 1.宗 営 気 2.衛 気 3.宗 氣 4.元 氣	3
第1回	後半	問題19	10	臓腑の生理作用のうち骨と髓の生長発育に関係し、耳と二陰に開竅するのはどれか。 1.心 2.肺 3.肝 4.腎	4
第1回	後半	問題20	10	心の臓の生理・病理について誤っているのはどれか。 1.心は血脈をつかさどる。 2.心は疏泄をつかさどる。 3.心は神を蔵す。 4.心は舌に開竅する。	2
第1回	後半	問題21	10	奇恒の腑に属するのはどれか。 1.脳 子宮 2.肝 腎 3.脾 胃 4.心包 三焦	1
第1回	後半	問題22	10	誤っているのはどれか。 1.憂は肺を傷る。 2.恐は肝を傷る。 3.思は脾を傷る。 4.喜は心を傷る。	2
第1回	後半	問題23	10	八綱病証で病位を診るのはどれか。 1.陰 陽 2.虚 実 3.寒 熱 4.表 裏	4
第1回	後半	問題24	10	問診と関連する組合せはどれか。 1.酸 - - - 苦 - - - 甘 2.呼 - - - 笑 - - - 歌 3.青 - - - 赤 - - - 黄 4. (ノウ 月操) - - - 焦 - - - 香	1
第1回	後半	問題25	10	八裏の脈はどれか。 1.滑 脈 2.緊 脈 3.結 脈 4.濡 脈	4
第1回	後半	問題26	10	冷え症で他覚的にも冷えが認められる状態を何とよぶか。 1.傷 寒 2.惡 寒 3.惡 風 4.厥 冷	4
第1回	後半	問題27	10	六部定位の脈診部位と臓腑との組合せで正しいのはどれか。 1.右の寸口 - - - 肺 大腸 2.左の関上 - - - 脾 胃 3.右の尺中 - - - 腎 膀胱 4.左の寸口 - - - 心包 三焦	1

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第1回	後半	問題28	10	<p>聞診で用いる感覚はどれか。</p> <p>1.触覚 2.味覚 3.視覚 4.嗅覚</p>	4
第1回	後半	問題29	10	<p>誘導法に相当する鍼の刺法はどれか。</p> <p>1.偶刺 2.豹文刺 3.遠道刺 4.分刺</p>	3
第1回	後半	問題30	10	<p>鍼の補瀉で正しいのはどれか。</p> <p>1.呼気に刺入し吸気に抜くのは瀉である。 2.抜鍼後の鍼痕を素早く押さえるのは補である。 3.経絡の流れに逆らって刺すのは補である。 4.刺入した鍼に軽い振動を与えるのは瀉である。</p>	2
第1回	後半	問題31	11	<p>難経六十九難による治療では肺が虚している時、これを補するのに最も適している経穴はどれか。</p> <p>1.二間 2.公孫 3.列缺 4.太白</p>	4
第1回	後半	問題32	11	<p>兪穴と募穴との組合せで正しいのはどれか。</p> <p>1.肝兪 - - - 巨闕 2.脾兪 - - - 章門 3.胆兪 - - - 関元 4.胃兪 - - - 天枢</p>	2
第1回	後半	問題33	11	<p>経絡の流注で接続部が内眼角にあるのはどれか。</p> <p>1.手の少陽経と足の少陽経 2.手の太陰経と手の陽明経 3.足の厥陰経と手の太陰経 4.手の太陽経と足の太陽経</p>	4
第1回	後半	問題34	11	<p>取穴法で正しいのはどれか。</p> <p>1.曲垣は肩甲棘内端の下際を取る。 2.大横は臍の外方3寸5分を取る。 3.意舎は第10・11胸椎棘突起間の外方3寸を取る。 4.中注は下(カン)月完の外方5分で盲兪の上方2寸を取る。</p>	2
第1回	後半	問題35	11	<p>取穴法で正しいのはどれか。</p> <p>1.関元は臍の下方2寸を取る。 2.巨闕は臍の上方6寸を取る。 3.日月は第9肋軟骨付着部の下際を取る。 4.京門は第11肋骨前端下際を取る。</p>	2
第1回	後半	問題36	11	<p>前腕後側の中央を経て肩峰後部の陥凹を通る経絡はどれか。</p> <p>1.手の少陽三焦経 2.手の太陽小腸経 3.手の陽明大腸経 4.手の厥陰心包経</p>	1
第1回	後半	問題37	11	<p>四総穴のうち頭部・頂部の病に用いられるのはどれか。</p> <p>1.足三里 2.委中 3.列缺 4.合谷</p>	3
第1回	後半	問題38	11	<p>経絡と原穴との組合せで正しいのはどれか。</p> <p>1.足の少陰腎経 - - - - 湧泉 2.足の太陽膀胱経 - - - 京骨 3.手の少陽三焦経 - - - 外関 4.手の厥陰心包経 - - - 門</p>	2
第1回	後半	問題39	11	<p>募穴のうち第10胸神経の支配領域に存在するのはどれか。</p> <p>1.巨闕 2.天枢 3.(カン)月(童)中 4.中極</p>	2
第1回	後半	問題40	11	<p>兪・土・原穴はどれか。</p> <p>1.大都 2.陥谷 3.中封 4.神門</p>	4
第1回	後半	問題41	11	<p>手の少陽三焦経に属する経穴はどれか。</p> <p>1.天(リョウ)骨膠) 2.禾(リョウ)骨膠) 3.巨(リョウ)骨膠) 4.下(リョウ)骨膠)</p>	1
第1回	後半	問題42	11	<p>経絡の流注で正しいのはどれか。</p> <p>1.手の陽明経は顔面から始まり指先に終わる。 2.手の厥陰経は手の指先から始まり胸部に終わる。 3.足の太陽経は足の指先から始まり顔面に終わる。 4.足の太陰経は足の指先から始まり胸腹部を通り舌に終わる。</p>	4
第1回	後半	問題43	11	<p>任脈上にある募穴の数はどれか。</p> <p>1.3 2.4 3.6 4.7</p>	3
第1回	後半	問題44	11	<p>誤っている組合せはどれか。</p> <p>1.圧診点 - - - 小野寺直助 2.皮電点 - - - 石川太刀雄 3.良導点 - - - 中谷 義雄 4.攪診点 - - - 藤田 六郎</p>	4

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第1回	後半	問題45	12	変形性膝関節症に対する施術目的で適切でないのはどれか。 1. 変形の改善 2. 軟部組織の緊張緩和 3. 関節部の循環改善 4. 関節痛の軽減	1
第1回	後半	問題46	12	罹患神経上に治療経穴を取る場合、誤っている組合せはどれか。 1. 橈骨神経痛 - - - 消 (レキ 水楽) 2. 尺骨神経痛 - - - 小海 3. 坐骨神経痛 - - - 承扶 4. 大腿神経痛 - - - 陰谷	4
第1回	後半	問題47	12	35歳の女性。数年前から時々頭頂部に発作的な痛みがある。気分はイライラし、時々目がかすみ、手足の筋肉がひきつることがある。脈は弦脈である。治療の対象となる主たる経絡はどれか。 1. 手の少陰心経 2. 手の太陽少腸経 3. 足の太陽膀胱経 4. 足の厥陰肝経	4
第1回	後半	問題48	12	眠りが浅く夢をよくみる。動悸、健忘、倦怠感、食欲不振、軟便の症状を伴う患者の鍼灸治療について正しいのはどれか。 1. 心と肝の病証なので主として心包経と肝経との関連経穴を用いる。 2. 肝と脾の病証なので主として肝経と脾経との関連経穴を用いる。 3. 心と腎の病証なので主として心包経と腎経との関連経穴を用いる。 4. 心と脾の病証なので主として心包経と脾経との関連経穴を用いる。	4
第1回	後半	問題49	12	高齢者の鍼灸治療上の配慮で誤っているのはどれか。 1. 起立性低血圧に注意する。 2. 強い刺激を求めるときは、それに応じた治療を行う。 3. 施術前の脈拍、血圧をみてから治療する。 4. 施術前に排尿させる。	2
第1回	後半	問題50	12	45歳の男性。2日前からかぜ症状があったが、今朝は左眼瞼の開閉不能、食物が左口角から漏れるようになった。鼻唇溝消失がみられる。障害神経を目標に施術する場合の適切な経穴はどれか。 1. 風府 2. 風門 3. 乘風 4. 翳風	4
第1回	後半	問題51	12	50歳男性。易疲労、腰がだるく手足の厥冷を訴える。顔色はやや黒ずみ、頭髪はうすく聴力の減退がある。治療対象とする病証はどれか。 1. 肝虚証 2. 脾虚証 3. 肺虚証 4. 腎虚証	4
第1回	後半	問題52	12	耳鳴や難聴の鍼灸治療について誤っているのはどれか。 1. 耳門、聴会、翳風はよく使用する経穴である。 2. 腎経の経穴を用いることが多い。 3. 感音系難聴は治りやすい。 4. 難聴を伴わない耳鳴は適応となる場合がある。	3
第1回	後半	問題53	12	下痢の対応で誤っているのはどれか。 1. 冷えによる下痢には温灸がよく用いられる。 2. 四総穴を用いる場合は委中を使用する。 3. 過敏性腸症候群の下痢は心身の安静が必要である。 4. 脱水症を伴う下痢は施術を控える。	2
第1回	後半	問題54	12	上腕骨外側上顆炎の治療穴として局所の経穴を考慮する場合、適するのはどれか。 1. 曲池 2. 曲沢 3. 尺沢 4. 少海	1
第1回	後半	問題55	12	絞扼神経障害の絞扼部位と近接経穴との組合せで正しいのはどれか。 1. 手根管症候群 - - - - - 大陵 2. 肘部管症候群 - - - - - 尺沢 3. 足根管症候群 - - - - - 崑崙 4. 尺骨神経管症候群 - - - 小海	1
第1回	後半	問題56	12	小児気管支喘息に対する鍼灸治療で適切なのはどれか。 1. 喘息発作中はまず天突に刺激する。 2. 六十九難によれば肺経では太淵を用いる。 3. 体性内臓反射理論によればTh5～Th7の脊髄分節上の経穴を刺激する。 4. 鼻穴を用いる場合は (ダ) 月重を用いる。	2
第1回	後半	問題57	12	40歳の男性。残業が続き1週間前から頂部、後頭部に締め付けられるような鈍痛と肩こりがある。医療機関での検査は頭蓋内病変はないという。最も予想される疾患はどれか。 1. 片頭痛 2. 筋収縮性頭痛 3. 高血圧性頭痛 4. 群発性頭痛	2
第1回	後半	問題58	12	40歳の男性。残業が続き1週間前から頂部、後頭部に締め付けられるような鈍痛と肩こりがある。医療機関での検査は頭蓋内病変はないという。鍼灸治療で適切なのはどれか。 1. 患部の筋緊張部への刺激 2. 頭部の血管拍動部への刺激 3. 胃経の要穴への刺激 4. 洞刺	1
第1回	後半	問題59	12	28歳の女性。2年前より右前腕から手部にかけて鈍痛を覚えるようになった。現在は上肢の脱力感、しびれに加え冷えも感じるようになり、上肢の拳上で症状は増悪する。この患者に行うテストとして適切でないのはどれか。 1. ライトテスト 2. アドソンテスト 3. アプレーテスト 4. モーリーテスト	3
第1回	後半	問題60	12	28歳の女性。2年前より右前腕から手部にかけて鈍痛を覚えるようになった。現在は上肢の脱力感、しびれに加え冷えも感じるようになり、上肢の拳上で症状は増悪する。病態に関連する治療経穴として適切でないのはどれか。 1. 天鼎 2. 氣戸 3. 中府 4. 大包	4

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第1回	後半	問題 61	13	正しいのはどれか。 1. エンドルフィン類は痛覚の抑制に関与する。 2. かゆい感じは触覚受容器が強く刺激されて起こる。 3. 皮膚の痛覚の受容器には低閾値機械受容器とポリモーダル受容器とがある。 4. 皮膚の痛覚は主としてB線維群によって伝えられる。	1
第1回	後半	問題 62	13	鍼を目的の深度まで刺入して右または左の一方に回す手技はどれか。 1. 旋燃術 2. 回旋術 3. 刺鍼転向術 4. 鍼尖転移術	2
第1回	後半	問題 63	13	痛み情報を伝達するA (デルタ神経線維について正しいのはどれか。 1. 無髄の神経線維である。 2. 刺すような鋭い痛みを伝達する。 3. 局在が不明瞭な痛みを伝達する。 4. ルフィニ触覚盤やパチニ小体からの情報を伝達する。	2
第1回	後半	問題 64	13	刺鍼による脳貧血の発生が少ない場合はどれか。 1. 刺激量の過剰 2. 睡眠不足 3. 腰部への刺激 4. 頸部、肩甲上部への刺激	3
第1回	後半	問題 65	13	発痛に関連しない物質はどれか。 1. ソマトスタチン 2. セロトニン 3. プラデキニン 4. カリウムイオン	1
第1回	後半	問題 66	13	正しい組合せはどれか。 1. 五臓に応ずる刺法 - - - - 短刺 2. 杉山流管鍼法 - - - - 随鍼術 3. 十二節に応ずる刺法 - - - 遠道刺 4. 九変に応ずる刺法 - - - - 直鍼刺	2
第1回	後半	問題 67	13	WHOでは鍼治療の適応といえる疾患として41疾患をあげているが、そのなかに含まれないのはどれか。 1. 胃酸過多症 2. メニエール病 3. 頸腕症候群 4. 血友病	4
第1回	後半	問題 68	13	鈍い痛みを伝える神経線維はどれか。 1. A 線維 2. A 線維 3. B線維 4. C線維	4
第1回	後半	問題 69	13	レイリー現象の特性で誤っているのはどれか。 1. 刺激を受けた場所から遠く離れた臓器にも障害が起こる。 2. 過剰刺激によって現れる障害には個体差がない。 3. 過剰刺激はいかなる種類の刺激でも障害が起こる。 4. 交感神経系に加えられた過剰刺激によって血管運動性の障害が起こる。	2
第1回	後半	問題 70	13	鍼刺激を与えたときの手指皮膚血管の一般的な反応はどれか。 1. 一過性に拡張したのち収縮する。 2. 一過性に収縮したのち拡張する。 3. 一定した反応を示さない。 4. 反応しない。	2
第1回	後半	問題 71	14	誤っているのはどれか。 1. 圧受容器反射による血圧の調整は内臓一体性反射である。 2. 体性感覚神経を求心路として自律神経を遠心路とする反射を体性 - 内臓反射という。 3. 食物が胃に入った時に起こる胃の反射性弛緩は内臓 - 内臓反射の一例である。 4. 体温調節反射には体性 - 内臓反射の例がみられる。	1
第1回	後半	問題 72	14	誤っているのはどれか。 1. 温覚も冷覚も起こさない無感温度は普通33 前後である。 2. 温受容器は自由神経終末である。 3. 温覚を伝える神経線維はA 線維である。 4. 温覚は脊髄視床路を通る。	3
第1回	後半	問題 73	14	有痕灸の心血管系に及ぼす影響で正しいのはどれか。 1. 皮膚血管は一過性に拡張したのち収縮する。 2. 皮膚血管は一過性に収縮したのち拡張する。 3. 心臓の収縮力は減退する。 4. 血圧は最初から低下する。	2
第1回	後半	問題 74	14	灸あつちの原因はどれか。 1. 患者の不用意な体動 2. 粗悪な艾の使用 3. 経穴以外の場所への施灸 4. 刺激量の過剰	4
第1回	後半	問題 75	14	侵害刺激となる温度は約何度以上か。 1. 40 2. 45 3. 55 4. 60	2
第1回	後半	問題 76	14	灸施術の禁忌でないのはどれか。 1. 血圧が異常に高い場合。 2. 高熱を呈している場合。 3. 急性腹症の場合。 4. 皮膚が過敏である場合。	4
第1回	後半	問題 77	14	圧発汗反射では、側臥位のと看上になる半身の発汗はどうなるか。 1. 減少する。 2. 増加する。 3. 変化しない。 4. 一定しない。	2
第1回	後半	問題 78	14	良質艾の条件でないのはどれか。 1. 淡黄白色で線維が細く柔かい。 2. 加熱曲線は漸増漸減の緩やかなカーブを描く。 3. 灰分の含有量が多い。 4. よく乾燥していて途中で消えない。	3

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第1回	後半	問題 79	14	灸施術の補法として誤っているのはどれか。 1. 点火した艾は自然に消えるのを待つ。 2. 良質艾を軟かく小さくひねって施灸する。 3. 燃焼した灰を1回ずつ除去して施灸する。 4. 艾(シュ火主)の底面を小さくして施灸する。	3
第1回	後半	問題 80	14	施灸の火傷による局所反応として誤っているのはどれか。 1. 血管拡張性物質の遊離 2. 血管透過性の亢進 3. 内因性発痛物質の遊離 4. 浸潤白血球の減少	4
第2回	前半	問題 1	1	施術者と患者との関係で正しい記述はどれか。 1. 患者には施術についての自己決定権はない。 2. 患者へのインフォームド・コンセントは必要でない。 3. 施術者には守秘義務がある。 4. 施術者は共感する態度で接してはならない。	3
第2回	前半	問題 2	1	我が国の医療保険で誤っている記述はどれか。 1. 被用者保険と国民健康保険とに大別される。 2. 療養の給付率は70%以上である。 3. 療養の給付は一般に現物給付である。 4. 傷病手当金は業務上の傷病のみに給付される。	4
第2回	前半	問題 3	2	伝染病で誤っている記述はどれか。 1. 結核の届出は結核予防法による。 2. エイズの届出は性病予防法による。 3. コレラは検疫伝染病である。 4. B型肝炎は垂直感染する。	2
第2回	前半	問題 4	2	施術者の手指の消毒で誤っている記述はどれか。 1. 逆性石けんを用いる。 2. 刺鍼の場合は法律で規定されている。 3. 機械的と化学的との二つの消毒法の組合せがよい。 4. エタノールを用いる場合は非乾燥状態がよい。	4
第2回	前半	問題 5	2	我が国の食生活でとりすぎが最も問題となる栄養素はどれか。 1. ビタミンC 2. 食塩 3. 動物性脂肪 4. 糖質	2
第2回	前半	問題 6	2	職業との関係が明確でない病態はどれか。 1. 頸肩腕障害 2. 局所振動障害 3. じん肺 4. 三叉神経痛	4
第2回	前半	問題 7	2	誤っている組合せはどれか。 1. 労働者災害補償保険法 - - 職業病 2. 労働基準法 - - - - - 労働時間 3. 労働安全衛生法 - - - - - 衛生管理者 4. 事務所衛生基準 - - - - - 連続作業時間	4
第2回	前半	問題 8	2	人口動態統計で人口を分母としぬのはどれか。 1. 出生率 2. 死亡率 3. 有病率 4. 周産期死亡率	4
第2回	前半	問題 9	2	毒性が最も弱い気体はどれか。 1. 二酸化炭素 2. 一酸化炭素 3. 二酸化硫黄 4. 二酸化窒素	1
第2回	前半	問題 10	2	室内環境条件として誤っているのはどれか。 1. 一酸化炭素濃度 100ppm以下 2. 湿度 40~70% 3. 温度範囲 17~28 4. 二酸化炭素濃度 0.1%以下	1
第2回	前半	問題 11	3	施術者の業務で正しい記述はどれか。 1. 外科手術の指示ができる。 2. 医行為は医師法で処罰される。 3. 疾病の診断行為は許されている。 4. 業務の開始は厚生大臣に届出る。	2
第2回	前半	問題 12	3	疾患について誤っている組合せはどれか。 1. コレラ - - - - - 法定伝染病 2. インフルエンザ - - 届出伝染病 3. 食中毒 - - - - - 食品衛生法 4. エイズ - - - - - 伝染病予防法	4
第2回	前半	問題 13	3	国民皆保険に関係する法律はどれか。 1. 国民健康保険法 2. 生活保護法 3. 医療法 4. 母子保健法	1
第2回	前半	問題 14	3	厚生省所管でない法律はどれか。 1. 老人保健法 2. 学校保健法 3. 水道法 4. 食品衛生法	2
第2回	前半	問題 15	4	中胚葉から分化する細胞はどれか。 1. 神経細胞 2. 肺胞上皮細胞 3. 赤血球 4. 視細胞	3
第2回	前半	問題 16	4	頭蓋骨について誤っている組合せはどれか。 1. 蝶形骨 - - - 卵円孔 2. 側頭骨 - - - 頸動脈管 3. 後頭骨 - - - 舌下神経管 4. 下顎骨 - - - 口蓋突起	4

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第 2回	前半	問題 17	4	関節の部位と種類との組合せで誤っているのはどれか。 1.仙腸関節 - - - 半関節 2.腕橈関節 - - - 蝶番関節 3.下橈尺関節 - - 車軸関節 4.肩関節 - - - - 球関節	2
第 2回	前半	問題 18	4	脊柱起立筋に属さない筋はどれか。 1.腸筋 2.最長筋 3.板状筋 4.棘筋	3
第 2回	前半	問題 19	4	大腿骨粗線に停止しない筋はどれか。 1.薄筋 2.長内転筋 3.短内転筋 4.大内転筋	1
第 2回	前半	問題 20	4	上気道への開口部について誤っている組合せはどれか。 1.上顎洞 - - - 中鼻道 2.前頭洞 - - - 上鼻道 3.鼻涙管 - - - 下鼻道 4.耳管 - - - 咽頭	2
第 2回	前半	問題 21	4	間膜を持たない消化器はどれか。 1.空腸 2.直腸 3.胃 4.肝臓	2
第 2回	前半	問題 22	4	膀胱について誤っている記述はどれか。 1.恥骨結合の後方に位置する。 2.男女共に後方には直腸が接する。 3.膀胱の筋は自律神経に支配される。 4.尿管口は膀胱三角の頂点をなす。	2
第 2回	前半	問題 23	4	精巣で男性ホルモンを分泌する細胞はどれか。 1.ライディヒの間細胞 2.セルトリー細胞 3.精子細胞 4.精母細胞	1
第 2回	前半	問題 24	4	女性生殖器について誤っている記述はどれか。 1.卵巣は腹膜に包まれている。 2.卵管は腹膜腔に開口する。 3.子宮内膜は粘膜で構成される。 4.膣口は外尿道口の前方にある。	4
第 2回	前半	問題 25	4	外頸動脈の枝でないのはどれか。 1.眼動脈 2.顔面動脈 3.舌動脈 4.頸動脈	1
第 2回	前半	問題 26	4	脾臓について誤っている記述はどれか。 1.腹腔の左上部で横隔膜に接する。 2.内部は皮質と髄質とに分けられる。 3.集められた血液は門脈に流入する。 4.古い赤血球を処理する。	2
第 2回	前半	問題 27	4	大脳について正しい記述はどれか。 1.嗅球は大脳辺縁系の一部をなす。 2.尾状核は知覚核の一つである。 3.視床は白質である。 4.中心溝は頭頂葉と後頭葉とを分ける。	1
第 2回	前半	問題 28	4	錐体路に関係しているのはどれか。 1.大脳脚 2.脳梁 3.レンズ核 4.脊髄後索	1
第 2回	前半	問題 29	4	外眼筋と支配神経との組合せで正しいのはどれか。 1.上斜筋 - - - - 外転神経 2.外側直筋 - - - 滑車神経 3.上直筋 - - - - 動眼神経 4.下直筋 - - - - 三叉神経	3
第 2回	前半	問題 30	4	平衡・聴覚器について正しい記述はどれか。 1.鼓室は口腔に開口する。 2.平衡覚の受容器はコルチ器である。 3.聴覚受容器には膨大部と平衡斑とがある。 4.内耳神経は蝸牛神経と前庭神経とからなる。	4
第 2回	前半	問題 31	4	皮膚について正しい記述はどれか。 1.ファーター・パチニ小体は表皮にある。 2.アポクリン汗腺は全身に分布する。 3.爪は真皮の変形したものである。 4.手掌には脂腺はみられない。	4
第 2回	前半	問題 32	4	手根管を通らない筋はどれか。 1.長掌筋 2.浅指屈筋 3.長母指屈筋 4.橈側手根屈筋	1
第 2回	前半	問題 33	4	大腿動脈について誤っている記述はどれか。 1.外腸骨動脈の続きである。 2.単径韧带の下をくぐり、大腿の前面に出る。 3.坐骨神経に伴い大腿後面を下行する。 4.内転筋裂孔を出て膝窩動脈に続く。	3
第 2回	前半	問題 34	5	DNAについて正しい記述はどれか。 1.小胞体にある。 2.1本のラセン構造である。 3.遺伝情報をもつ。 4.2種類の塩基で構成される。	3

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第 2 回	前半	問題 35	5	<p>血漿中のアルブミンについて誤っている記述はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 血漿中に最も多く含まれる蛋白質である。 2. 細胞へのアミノ酸供給源である。 3. 抗体として働く。 4. 血漿の浸透圧維持に関与する。 	3
第 2 回	前半	問題 36	5	<p>血圧を上昇させる要因はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 抵抗血管の拡張 2. 迷走神経活動の亢進 3. 心拍出量の増加 4. 圧受容器活動の亢進 	3
第 2 回	前半	問題 37	5	<p>心臓でスターリングの法則を示す記述はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 右心房に流入する血液が多くなると心拍数が増える。 2. 右心房に流入する血液が多くなると心拍出量が増える。 3. 左心室から流出する血液が多くなると心拍数が増える。 4. 左心室から流出する血液が多くなると心拍出量が増える。 	2
第 2 回	前半	問題 38	5	<p>呼吸について正しい記述はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 1 回換気量は呼気量と残気量との和である。 2. 肺活量は最大の吸気量である。 3. 安静呼吸時に残気量はゼロになる。 4. 吸気時に胸腔内圧が更に陰圧となる。 	4
第 2 回	前半	問題 39	5	<p>小腸粘膜で吸収される物質はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. でんぷん 2. 麦芽糖 3. ブドウ糖 4. 蔗糖 	3
第 2 回	前半	問題 40	5	<p>血糖を下げるホルモンはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. グルカゴン 2. ガストリン 3. アドレナリン 4. インスリン 	4
第 2 回	前半	問題 41	5	<p>外気温が著しく低下したとき体温を維持する機能はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 皮膚血管の収縮 2. 不感蒸散の増加 3. 交感神経活動の低下 4. 抗利尿ホルモン分泌の増加 	1
第 2 回	前半	問題 42	5	<p>尿管で起こる現象のうち体液の浸透圧を下げる要因はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ナトリウムイオンの再吸収 2. 水の再吸収 3. 水素イオンの分泌 4. ブドウ糖の再吸収 	2
第 2 回	前半	問題 43	5	<p>サイロキシンの作用で誤っているのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 代謝亢進 2. 体温上昇 3. 発育促進 4. 体液量増加 	4
第 2 回	前半	問題 44	5	<p>運動ニューロンについて誤っている記述はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 起始部は脊髄または脳幹にある。 2. 軸索は髄鞘に囲まれている。 3. 軸索末端部には伝達物質がある。 4. 錐内筋を支配する。 	4
第 2 回	前半	問題 45	5	<p>脊髄反射でないのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 屈曲反射 2. 交叉性伸展反射 3. 腹壁反射 4. 立ち直り反射 	4
第 2 回	前半	問題 46	5	<p>視床下部に調節中枢がないのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 体温 2. 摂食 3. 姿勢 4. 体液量 	3
第 2 回	前半	問題 47	5	<p>大脳皮質の機能局在について正しい組合せはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 体性感覚野 - - - 中心後回 2. 運動野 - - - - 側頭葉 3. 聴覚野 - - - - 後頭葉 4. 視覚野 - - - - 中心前回 	1
第 2 回	前半	問題 48	5	<p>味覚について正しい記述はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 苦味は基本味の一つである。 2. 舌の部位による味覚の差はない。 3. 受容器細胞は味蕾の基底細胞である。 4. 舌の前方 3 分の 2 は迷走神経が支配する。 	1
第 2 回	前半	問題 49	5	<p>痛みについて誤っている記述はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 鋭い痛みと鈍い痛みとがある。 2. 深部痛覚は局在性が明確である。 3. 受容器は自由神経終末である。 4. エンドレフィン は内因性鎮痛物質である。 	2
第 2 回	前半	問題 50	6	<p>原因と結果との組合せで誤っているのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 肝硬変症 - - - - 腹水 2. 冠状動脈閉塞 - - - 心筋梗塞 3. 凝固因子欠除 - - - 血栓形成 4. 胃切除 - - - - - 貧血 	3
第 2 回	前半	問題 51	6	<p>病原体と疾患との組合せで誤っているのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ウイルス - - - - 成人 T 細胞白血病 2. 細菌 - - - - - 結核 3. リケッチア - - - 破傷風 4. 原虫 - - - - - マラリア 	3
第 2 回	前半	問題 52	6	<p>免疫について誤っている組合せはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 免疫学的記憶 - - - 免疫二次反応 2. 細胞性免疫 - - - - 結核 3. 先天性免疫不全 - - エイズ 4. 型アレルギー - - 気管支喘息 	3

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第 2回	前半	問題 53	6	高齢者に多い疾患はどれか。 1. 胸腺肥大 2. 骨粗しょう症 3. 骨肉腫 4. アデノイド増殖症	2
第 2回	前半	問題 54	6	再生の最も盛んな組織はどれか。 1. 赤色骨髄 2. 心筋 3. 神経 4. 平滑筋	1
第 2回	前半	問題 55	6	腫瘍について正しい記述はどれか。 1. 非上皮性腫瘍は蜂巣構造を示す。 2. 上皮性腫瘍は実質と間質との境界が不鮮明である。 3. 悪性腫瘍は異型性が強い。 4. 良性腫瘍は浸潤性に発育する。	3
第 2回	前半	問題 56	6	胎児の異常と原因との組合せで正しいのはどれか。 1. ターナー症候群 - - - - - 常染色体異常 2. 胎児性水俣病 - - - - - 無機水銀 3. クラインフェルター症候群 - - ウイルス感染 4. アザラン肢症 - - - - - サリトマイド	4
第 2回	前半	問題 57	7	頻脈となる疾患はどれか。 1. 心ブロック 2. 脳圧亢進 3. パセドウ病 4. 洞不全症候群	3
第 2回	前半	問題 58	7	浮腫の原因となる病態はどれか。 1. 低蛋白血症 2. 低カリウム血症 3. 高脂血症 4. 高尿酸血症	1
第 2回	前半	問題 59	7	歩行と疾患との組合せで誤っているのはどれか。 1. 間歇性跛行 - - - - - 進行性筋ジストロフィー 2. すくみ足歩行 - - - - - パーキンソン症候群 3. 失調性歩行 - - - - - 小脳変性症 4. トンデレンブルグ歩行 - - 先天性股関節脱臼	1
第 2回	前半	問題 60	7	顔貌と疾患との組合せで誤っているのはどれか。 1. 無欲状顔貌 - - - - - うつ病 2. ヒポクラテス顔貌 - - - 癌末期 3. 仮面様顔貌 - - - - - 神経症 4. 満月様顔貌 - - - - - クッシング症候群	3
第 2回	前半	問題 61	7	問診について正しい記述はどれか。 1. 信頼関係が重要である。 2. 最初から特定の疾患を推定して行う。 3. 訴えは医学専門用語で記載する。 4. 患者の職場の上司には問診の内容を話す。	1
第 2回	前半	問題 62	7	心電図検査でわからない病態はどれか。 1. 不整脈 2. 心肥大 3. 心筋梗塞 4. 心筋収縮不全	4
第 2回	前半	問題 63	7	WHOの高血圧分類で境界域の拡張期血圧はどれか。 1. 80~ 89mmHg 2. 90~ 94mmHg 3. 95~ 99mmHg 4. 100~ 104mmHg	2
第 2回	前半	問題 64	7	臍部の皮膚知覚の支配神経はどれか。 1. 第 7胸神経 2. 第 10胸神経 3. 第 1腰神経 4. 第 5腰神経	2
第 2回	前半	問題 65	7	意識障害に含まれない症状はどれか。 1. 傾眠 2. 昏睡 3. 抑うつ 4. せん妄	3
第 2回	前半	問題 66	7	膝蓋腱反射について正しい記述はどれか。 1. 表在反射の一つである。 2. 反射中枢は脊髄にある。 3. ビタミンD欠乏症で亢進する。 4. 坐骨神経の疾患で減弱する。	2
第 2回	前半	問題 67	7	腋窩温と直腸温との比較で正しい記述はどれか。 1. 腋窩温が約 2 低い。 2. 腋窩温が約 1 低い。 3. 直腸温が約 1 低い。 4. 直腸温が約 2 低い。	2

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第2回	前半	問題68	7	次の文は何の障害を示すか。「うとうと眠っているようにみえるが、比較的軽い刺激に反応し、質問にも答えられる。」 1.記憶 2.感情 3.意識 4.知能	3
第2回	前半	問題69	8	動脈硬化症を増悪しない血中因子はどれか。 1.総コレステロール 2.中性脂肪 3.HDLコレステロール 4.LDLコレステロール	3
第2回	前半	問題70	8	二次性高血圧の原因とならない疾患はどれか。 1.褐色細胞腫 2.アルドステロン症 3.アジソン病 4.バセドウ病	3
第2回	前半	問題71	8	狭心症で異常を示さない検査はどれか。 1.安静時心電図 2.運動負荷心電図 3.冠状動脈造影 4.血中GOT	4
第2回	前半	問題72	8	拡張型心筋症で誤っている記述はどれか。 1.原因は不明である。 2.胸部レントゲンは診断上有用である。 3.心電図で特徴的所見がある。 4.心筋の生検が診断の決め手となる。	3
第2回	前半	問題73	8	進行性筋ジストロフィーについて誤っている記述はどれか。 1.遺伝性疾患である。 2.デュシェンヌ型は青年期に発病する。 3.骨格筋の萎縮を生じる。 4.登はん性起立がみられる。	2
第2回	前半	問題74	8	血液疾患と原因との組合せで誤っているのはどれか。 1.血友病 - - - - 凝固因子欠乏 2.悪性貧血 - - - - ウイルス感染 3.白血病 - - - - 放射線被曝 4.鉄欠乏性貧血 - - 子宮筋腫	2
第2回	前半	問題75	8	頸椎後縦靭帯骨化症が多くみられる部位はどれか。 1.C1 2.C3 3.C5 4.C7	3
第2回	前半	問題76	8	ギラン・バレー症候群の症状でないのはどれか。 1.四肢の脱力 2.片側の顔面麻痺 3.嚥下障害 4.呼吸障害	2
第2回	前半	問題77	8	脱臼の症状で誤っているのはどれか。 1.発赤 2.疼痛 3.変形 4.ばね様固定	1
第2回	前半	問題78	8	脊髄空洞症で障害されない感覚はどれか。 1.痛覚 2.温覚 3.触覚 4.冷覚	3
第2回	前半	問題79	8	先天性股関節脱臼について誤っている記述はどれか。 1.女兒に多い。 2.開排制限がある。 3.大腿内側の皮膚溝が非対称となる。 4.内反足を伴う	4
第2回	前半	問題80	8	L5～S1椎間板ヘルニアの所見で誤っているのはどれか。 1.ラセーグ徴候陽性 2.膝蓋腱反射消失 3.アキレス腱反射消失 4.腓腹筋筋力低下	2
第2回	後半	問題1	8	肝性昏睡にみられない症状はどれか。 1.はばたき振戦 2.傾眠傾向 3.アンモニア口臭 4.下肢対麻痺	4
第2回	後半	問題2	8	腸閉塞症について誤っている組合せはどれか。 1.閉塞性腸閉塞 - - - 糞塊 2.絞扼性腸閉塞 - - - 腸捻転 3.麻痺性腸閉塞 - - - 下痢 4.腸重積 - - - - - 血便	3
第2回	後半	問題3	8	最も治りやすい肝炎はどれか。 1.A型肝炎 2.B型肝炎 3.C型肝炎 4.劇症肝炎	1
第2回	後半	問題4	8	急性膵炎で誤っている記述はどれか。 1.飲酒家に多い。 2.血清アミラーゼ値が下降する。 3.尿中アミラーゼ値が上昇する。 4.激的な心窩部痛がある。	2

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第2回	後半	問題5	8	全身麻酔はどれか。 1. 脊椎麻酔 2. 硬膜外麻酔 3. 表面麻酔 4. 吸入麻酔	4
第2回	後半	問題6	8	帯状疱疹について誤っている症状はどれか。 1. 神経痛様疼痛 2. 悪寒を伴う高熱 3. 皮膚の発赤 4. 小水疱を伴う発疹	2
第2回	後半	問題7	8	側腹部の痙痛と血尿とがみられる疾患はどれか。 1. 膀胱炎 2. 急性腎炎 3. 尿路結石症 4. 膀胱腫瘍	3
第2回	後半	問題8	8	エイズ感染の原因とならないのはどれか。 1. 性交渉 2. 輸血 3. 握手 4. 針刺し事故	3
第2回	後半	問題9	9	慢性閉塞性肺疾患の訓練法として誤っているのはどれか。 1. 腹式呼吸 2. 口ひろげ呼吸 3. 排痰訓練 4. 全身調整運動	2
第2回	後半	問題10	9	手の内在筋はどれか。 1. 浅指屈筋 2. 深指屈筋 3. 指伸筋 4. 虫様筋	4
第2回	後半	問題11	9	運動療法について正しい記述はどれか。 1. フレンケル体操は慢性関節リウマチのための体操である。 2. 等尺性運動は等張性運動より筋力増強効果が大きい。 3. 運動によって肺活量は増加しない。 4. 松葉杖は片麻痺の歩行訓練に適している。	2
第2回	後半	問題12	9	言語障害について誤っている組合せはどれか。 1. 運動性失語症 - - - ブローカの中脳 2. 感覚性失語症 - - - ウエルニツクの中脳 3. 構音障害 - - - - - 体性感覚野 4. 失語症 - - - - - 左側大脳半球損傷	3
第2回	後半	問題13	9	脳卒中後片麻痺について正しい記述はどれか。 1. 片麻痺からは骨粗しょう症にならない。 2. 麻痺の程度と排尿障害の程度とは無関係である。 3. 痙性の出現によって内反尖足が起こる。 4. 関節可動域訓練によって肩関節の亜脱臼が起こりやすい。	3
第2回	後半	問題14	9	脳性麻痺について誤っている記述はどれか。 1. けいれん発作のコントロールが必要である。 2. 精神発達遅滞と麻痺の程度とは無関係である。 3. 訓練法としてボバース法、ポイタ法などがある。 4. 訓練は学齢期から開始する。	4
第2回	後半	問題15	9	脊髄損傷について誤っている記述はどれか。 1. 褥瘡の予防が必要である。 2. ブッシュアップ訓練が必要である。 3. 尿路管理が必要である。 4. 頸髄損傷では大振り歩行訓練が必要である。	4
第2回	後半	問題16	9	心疾患の運動負荷試験について誤っている記述はどれか。 1. マスター2階段法は段差を次第に高くする。 2. トレッドミルはベルトの傾斜やスピードを変化させる。 3. 自転車エルゴメーターは運動量をワット単位で表示できる。 4. 負荷が過大になれば心電図異常が出現しやすい。	1
第2回	後半	問題17	10	五行色体の関係で正しい組合せはどれか。 1. 目 - - - - 腎 2. 筋肉 - - - 脾 3. 毛 - - - - 肝 4. 髓 - - - - 心	2
第2回	後半	問題18	10	脈外をめぐる気はどれか。 1. 経気 2. 宗気 3. 営気 4. 衛気	4
第2回	後半	問題19	10	相克について正しい記述はどれか。 1. 肝は腎を克する。 2. 肺は心を克する。 3. 心は脾を克する。 4. 脾は肝を克する。	4
第2回	後半	問題20	10	腎について正しい記述はどれか。 1. 第3腰椎に付く。 2. 骨を主る。 3. 將軍の官である。 4. 神を蔵する。	2
第2回	後半	問題21	10	魂を蔵し、判断力や計画的などの精神活動を支配する臓腑はどれか。 1. 肝 2. 心 3. 腎 4. 胆	1
第2回	後半	問題22	10	津液の代謝に関係しない臓腑はどれか。 1. 肝・胆 2. 脾・胃 3. 肺・大腸 4. 腎・膀胱	1

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第2回	後半	問題23	10	喉の腫れ、鼻出血および下顎歯の痛みはどの経絡病証か。 1.手の太陰肺経 2.手の陽明大腸経 3.足の少陽胆経 4.足の太陽膀胱経	2
第2回	後半	問題24	10	五邪について正しい組合せはどれか。 1.湿邪 - - - 肺 2.風邪 - - - 肝 3.暑邪 - - - 腎 4.寒邪 - - - 心	2
第2回	後半	問題25	10	脈について正しい記述はどれか。 1.左手の関上の脈は肝・胆を診る。 2.弦脈、緊脈は陰脈である。 3.人迎気口脈診は経絡病証を診る。 4.陰脈、陽脈は粗脈である。	1
第2回	後半	問題26	10	難經の腹診において臍の下で診る病はどれか。 1.肝の病 2.心の病 3.脾の病 4.腎の病	4
第2回	後半	問題27	10	寒証でないのはどれか。 1.遲脈 2.手足の厥冷 3.小便は少なく赤い。 4.温かいものを好む。	3
第2回	後半	問題28	10	次の文で示す病証に關係する経絡はどれか。咳、喘鳴、胸が張り満ちた感じがあり、上肢の内側に沿った冷えと痛みがある。」 1.手の少陽三焦経 2.手の少陰心経 3.手の厥陰心包経	4
第2回	後半	問題29	10	鍼の刺法について正しい組合せはどれか。 1.半刺 - - - 肺 2.豹文刺 - - - 腎 3.輪刺 - - - 血絡 4.報刺 - - - 腹痛	1
第2回	後半	問題30	10	補法となる艾の取扱いはどれか。 1.底面を広くする。 2.皮膚に密着させる。 3.軟らかくひねる。 4.火力を強める。	3
第2回	後半	問題31	11	難經六十九難による補法で正しい組合せはどれか。 1.肝虚 - - - 中封、湧泉 2.脾虚 - - - 隱白、然谷 3.肺虚 - - - 大敦、魚際 4.腎虚 - - - 経渠、復溜	4
第2回	後半	問題32	11	要穴について正しい記述はどれか。 1.中（カン 月完）は足の陽明胃経の募穴である。 2.（ダン 月童）中は手の厥陰心包経の穴である。 3.委中は足の太陽膀胱経の榮穴である。 4.陰陵泉は足の太陰脾経の絡穴である。	1
第2回	後半	問題33	11	鼻の傍らに経絡の接続部がある流注で正しい組合せはどれか。 1.手の陽明大腸経 - - - 足の陽明胃経 2.足の太陰脾経 - - - 手の少陰心経 3.足の太陽膀胱経 - - - 足の少陰腎経 4.足の少陽胆経 - - - 足の厥陰肝経	1
第2回	後半	問題34	11	八会穴について誤っている組合せはどれか。 1.章門 - - - 臑会 2.太淵 - - - 気会 3.膻俞 - - - 血会 4.大杼 - - - 骨会	2
第2回	後半	問題35	11	経絡の並びかたで正しいのはどれか。 1.前腕前面では尺側から肺経、心包経、心経 2.腹部では正中から脾経、腎経、胃経 3.胸部では正中から任脈、腎経、胃経 4.前腕後面では桡側から小腸経、三焦経、大腸経	3
第2回	後半	問題36	11	四総穴の主治で正しい組合せはどれか。 1.足三里 - - - 四肢の病 2.委中 - - - 腰背の病 3.合谷 - - - 頭項の病 4.列缺 - - - 面目の病	2
第2回	後半	問題37	11	同じ経絡に属する同名異穴はどれか。 1.五里 2.三里 3.陽関 4.竅陰	4
第2回	後半	問題38	11	骨度法では左右の頭維穴の間を何寸とするか。 1.5寸 2.8寸 3.9寸 4.1尺2寸	3
第2回	後半	問題39	11	同身寸法で正しいのはどれか。 1.中指中節の背側の長さを1寸5分とする。 2.示指から薬指までの横幅を3寸とする。 3.母指末節の長さを1寸とする。 4.示指から小指までの横幅を4寸とする。	1
第2回	後半	問題40	11	僧帽筋上部線維上にある経穴はどれか。 1.翳風 2.臂臑 3.肩（リョウ 骨膠） 4.天（リョウ 骨膠）	4

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第2回	後半	問題41	11	取穴法で正しい記述はどれか。 1. 風池は(ア)病室門の外方1寸3分で後髪際を取る。 2. 巨骨は肩甲棘のほぼ中央上際を取る。 3. 曲垣は肩甲棘内端の上際を取る。 4. 膏肓は第3、第4胸椎棘突起間の外方3寸に取る。	3
第2回	後半	問題42	11	脊中穴の外方3寸にある経穴はどれか。 1. 附分 2. 意舎 3. 育門 4. 志室	2
第2回	後半	問題43	11	取穴法で正しい記述はどれか。 1. 光明は外果上方5寸に取る。 2. 水分は神闕の上1寸5分に取る。 3. 至陽は第8、第9胸椎棘突起間を取る。 4. 地機は内果の上6寸に取る。	1
第2回	後半	問題44	11	同じ高さにある経穴はどれか。 1. 身柱と膈関 2. 陶道と(イキ 言意 言喜) 3. 至陽と魄戸 4. 筋縮と魂門	4
第2回	後半	問題45	12	筋肉のひきつりや、こりに適した十二刺の刺法はどれか。 1. 陰刺 2. 恢刺 3. 揚刺 4. 浮刺	2
第2回	後半	問題46	12	頭痛と経絡との関係に基づいて治療する場合で正しい組合せはどれか。 1. 頭頂部痛 - - - 足の陽明胃経 2. 側頭部痛 - - - 足の少陽胆経 3. 前頭部痛 - - - 足の太陽膀胱経 4. 後頭部痛 - - - 足の厥陰肝経	2
第2回	後半	問題47	12	次の文で示す患者で末梢神経を直接対象として刺鍼するのに適した経穴はどれか。「48歳の女性。突然前額部に電撃様の痛み発作が数分間続いた。その後もしばしば発作が起こる。」 1. 大迎 2. 四白 3. 角孫 4. 陽白	4
第2回	後半	問題48	12	次の文で示す患者の治療対象とする病証はどれか。「35歳の女性。半年前からめまい、目のかすみ、下肢のしびれ、月経周期の乱れ、月経量の減少がある。」 1. 肝血虚証 2. 脾陽虚証 3. 肺気虚証 4. 腎陰虚証	1
第2回	後半	問題49	12	胸部の帯状疱疹痛について適切でない施術はどれか。 1. 疼痛領域を囲む水平刺 2. 発疹への直刺 3. 罹患神経の高さで脊柱直側の置鍼 4. 疼痛領域を挟む鍼通電療法	2
第2回	後半	問題50	12	腹痛のうち鍼灸治療が適応となる状況はどれか。 1. 著しい体重減少と食事の嗜好の変化 2. 下痢と便秘とが交代しストレスにより増悪 3. 嚥下困難と嘔下痛 4. 飲酒家で心窩部の激痛と悪心	2
第2回	後半	問題51	12	次の文で示す患者の治療対象となる経絡はどれか。「40歳の男性。2か月前から胃の膨満感、食欲不振および軟便があり、下腿内側で脛骨の際に沿って陥凹がみられる。」 1. 手の厥陰心包経 2. 手の陽明大腸経 3. 足の太陰脾経 4. 足の少陰腎経	3
第2回	後半	問題52	12	月経困難症に対する鍼灸治療で誤っている記述はどれか。 1. 内分泌系の機能の調整をはかる。 2. 腰仙部の経穴を用いる。 3. 下腹部の刺鍼は避ける。 4. 三陰交を用いる。	3
第2回	後半	問題53	12	理学的検査所見と刺鍼部位との組合せで適切でないのはどれか。 1. ライトテスト陽性 - - - - - 後頭部 2. ヤーガンテスト陽性 - - - - - 上腕二頭筋長頭腱部 3. ペインフルアークサイン陽性 - - 腱板部 4. アレンテスト陽性 - - - - - 斜角筋部	1
第2回	後半	問題54	12	次の文で示す患者の治療対象となる主たる経絡はどれか。「53歳の男性。慢性的な腰下肢痛があり、全身倦怠感、耳鳴および性欲減退を伴う。脈は細くて弱い。」 1. 足の太陽膀胱経 2. 足の少陰腎経 3. 足の太陰脾経 4. 足の陽明胃経	2
第2回	後半	問題55	12	根性坐骨神経痛で罹患神経を対象とした刺鍼部位として適切でないのはどれか。 1. 膝窩中央部 2. 梨状筋下孔部 3. 第5腰椎棘突起の直側 4. 第2腰椎棘突起の直側	4
第2回	後半	問題56	12	次の文で示す神経麻痺で、麻痺神経と治療穴との組合せで正しいのはどれか。「母指が外転位で、母指と小指との対立運動が困難である。また母指球の萎縮があり、手掌が扁平となっている。」 1. 橈骨神経 - - - 手三里 2. 正中神経 - - - 内関 3. 尺骨神経 - - - 支正 4. 筋皮神経 - - - 消 (しき 水楽)	2
第2回	後半	問題57	12	境界域高血圧症患者の生活指導で誤っているのはどれか。 1. 安静 2. 禁煙 3. 禁酒 4. 減塩食	1

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第2回	後半	問題58	12	次の文で示す患者の治療として適切でないのはどれか。生訴は肥満。甘いものや油っこいものを好む。胸のつかえ、口渇、痰が多く曇りがりである。 1. 肺の熱を除く 2. 胃の熱を除く 3. 痰飲を除く 4. 脾の運化をたすける。	1
第2回	後半	問題59	12	陽虚証に対する刺法で誤っているのはどれか。 1. 速刺速抜 2. 経気の流れに沿った刺鍼 3. 置鍼 4. 呼気にあわせた刺鍼	1
第2回	後半	問題60	12	スポーツ外傷 傷害と刺鍼する筋との組合せで正しいのはどれか。 1. バックハンドテニス肘 - - - 前腕伸筋 2. フォアハンドテニス肘 - - - 前腕回外筋 3. シンスプリント - - - - - 三角筋 4. コンパートメント症候群 - - 大腿四頭筋	1
第2回	後半	問題61	13	古代九鍼の用法のうち摩擦や圧迫を目的とした鍼はどれか。 1. (ヒ 金是) 鍼 2. 鋒 鍼 3. (ヒ 金非) 鍼 4. 毫 鍼	1
第2回	後半	問題62	13	刺入した鍼の周囲の皮膚を鍼管または指頭で叩き、刺激を与える手法はどれか。 1. 示指打法 2. 内調術 3. 細指術 4. 副刺激術	4
第2回	後半	問題63	13	抜鍼が困難な鍼(渋鍼)の周囲に刺鍼して筋肉を弛緩させてから抜鍼する処置法はどれか。 1. 返し鍼 2. 通し鍼 3. 散 鍼 4. 迎え鍼	4
第2回	後半	問題64	13	刺鍼により心拍数は減少する。このメカニズムとして考えられないのはどれか。 1. 交感神経機能の低下 2. 副交感神経機能の亢進 3. 交感神経機能の亢進と副交感神経機能の低下 4. 交感神経機能の低下と副交感神経機能の亢進	3
第2回	後半	問題65	13	内部環境という言葉で恒常性について述べたのは誰か。 1. ウォルター キヤノン 2. クロードベルナル 3. ハンス・セリエ 4. ノーバートウイナー	2
第2回	後半	問題66	13	鍼の雀啄刺激の後、刺激した部位に鈍痛が残った。原因として考えにくいのはどれか。 1. 侵害受容器の興奮 2. 発痛物質の出現 3. 血管透過性の亢進 4. 固有受容器の興奮	3
第2回	後半	問題67	13	痛覚に関する組合せで正しいのはどれか。 1. A (デルタ)神経線維 - - 鈍 痛 2. C神経線維 - - - - - 刺 痛 3. プラジキニン - - - - - 発痛物質 4. ヒスタミン - - - - - 血管収縮	3
第2回	後半	問題68	13	体幹部の痛覚の伝導路はどれか。 1. 外側脊髄視床路 2. 前脊髄小脳路 3. 延髄視床路 4. 視蓋脊髄路	1
第2回	後半	問題69	13	低周波鍼通電療法で通常、電極として用いる鍼はどれか。 1. 金 鍼 2. 銀 鍼 3. ステンレス鍼 4. 絶縁鍼	3
第2回	後半	問題70	13	自律神経について誤っている記述はどれか。 1. アトロピンは副交感神経遮断剤である。 2. 副交感神経節前ニューロンの伝達物質はアドレナリンである。 3. 交感神経節前ニューロンの伝達物質はアセチルコリンである。 4. 交感神経節後ニューロンの伝達物質はノルアドレナリンである。	2
第2回	後半	問題71	14	良質艾の主成分はヨモギのどの部分か。 1. 花 2. 茎 3. 葉脈 4. 毛茸	4
第2回	後半	問題72	14	灸療法への関与が小さいと考えられる感覚受容器はどれか。 1. 温覚受容器 2. 圧受容器 3. ポリモーダル受容器 4. 痛覚受容器	2
第2回	後半	問題73	14	皮膚の温覚について誤っている記述はどれか。 1. 順応が起こりやすい。 2. 環境の温度に影響される。 3. 温点は痛点より多い。 4. 求心性線維はC線維である。	3,4
第2回	後半	問題74	14	内因性オピオイドに含まれないのはどれか。 1. エンケファリン 2. エンドルフィン 3. サブスタンスP 4. ダイノルフィン	3
第2回	後半	問題75	14	ヘット帯の出現に関係する反射はどれか。 1. 内臓 - 運動反射 2. 内臓 - 知覚反射 3. 内臓 - 自律神経反射 4. 内臓 - 内臓反射	2

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第 2回	後半	問題 76	14	温度受容器はどれか。 1.自由神経終末 2.メルケル盤 3.パチニ小体 4.マイスナー小体	1
第 2回	後半	問題 77	14	次の文で示す状況は火傷の第何度か。 施灸時に紅斑と腫脹とがわずかに見られ、疼痛を訴えたが痕跡を残さず治癒した。」 1.第 4度 2.第 3度 3.第 2度 4.第 1度	4
第 2回	後半	問題 78	14	イボに施灸し組織を破壊する灸法はどれか。 1.透熱灸 2.打膿灸 3.焦灼灸 4.棒灸	3
第 2回	後半	問題 79	14	弛緩性便秘に対する施灸の目的とする作用はどれか。 1.誘導作用 2.防衛作用 3.興奮作用 4.消炎作用	3
第 2回	後半	問題 80	14	灸痕化膿の予防として適切でない記述はどれか。 1.正しく同一点に施灸する。 2.なるべく灸数を多くする。 3.消毒は不必要である。 4.灸痕を掻破しないよう注意する。	3
第 3回	前半	問題 1	1	施術者の倫理について誤っているのはどれか。 1.患者の人権の尊重 2.施術者本位の施療 3.インフォームド・コンセントの実施 4.QOL(生活の質)への配慮	2
第 3回	前半	問題 2	1	国民医療費が増す原因の中で医療の需要を増大させるのはどれか。 1.医療機械の導入 2.医薬品価格の上昇 3.診療の専門指向 4.高度医療への患者の要求	4
第 3回	前半	問題 3	2	老人保健法に規定されている保健事業で誤っているのはどれか。 1.健康保険証の交付 2.健康相談 3.健康診査 4.訪問指導	1
第 3回	前半	問題 4	2	感染症と予防のための法律との組合せで誤っているのはどれか。 1.コレラ - - 伝染病予防法 2.梅毒 - - 性病予防法 3.結核 - - 結核予防法 4.エイズ - - 検疫法	4
第 3回	前半	問題 5	2	水系流行による感染症でないのはどれか。 1.コレラ 2.ワイル病 3.ポリオ 4.結核	4
第 3回	前半	問題 6	2	滅菌の消毒に適さないのはどれか。 1.高圧蒸気 2.エタノール 3.逆性石けん 4.エチレンオキシドガス (EOG)	3
第 3回	前半	問題 7	2	室内環境測定の指標として最も有用なのはどれか。 1.オゾン 2.悪臭 3.ハウスダスト 4.二酸化炭素	4
第 3回	前半	問題 8	2	予防保健と対策との組合せで正しいのはどれか。 1.健康増進 - - - 職業訓練 2.第一次予防 - - 予防接種 3.第二次予防 - - 事故防止 4.第三次予防 - - 職業病対策	2
第 3回	前半	問題 9	2	母子健康手帳を交付するのは誰か。 1.厚生大臣 2.都道府県知事 3.市町村長 4.保健所長	3
第 3回	前半	問題 10	2	我が国の衛生統計で正しい記述はどれか。 1.感染症による死亡が総死亡の中で最も多い。 2.有訴者の 90%以上が通院している。 3.出生率は年々低下している。 4.自然死産は人工死産よりも多い。	3
第 3回	前半	問題 11	3	施術所の開設届出先はどれか。 1.厚生大臣 2.都道府県知事 3.市町村長 4.保健所長	2
第 3回	前半	問題 12	3	施術所の開設を届出る期限で正しいのはどれか。 1.開設の 2週間前まで 2.開設の 10日前まで 3.開設後 10日以内 4.開設後 2週間以内	3
第 3回	前半	問題 13	3	はり師・きゅう師として業務を開始できるのはいつからか。 1.試験に合格したとき 2.合格証を受領したとき 3.免許の申請を行ったとき 4.名簿に登録されたとき	4

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第 3回	前半	問題 14	3	身体障害者福祉法に基づき福祉の措置に含まれないのはどれか。 1.日常生活用具の給付 2.補装具の交付 3.育成医療の給付 4.医療施設への紹介	3
第 3回	前半	問題 15	4	骨格筋細胞の形態の特徴について誤っている記述はどれか。 1.長さは数 cm に達する。 2.紡錘形を呈する。 3.横紋構造を有する。 4.多数の核を有する。	2
第 3回	前半	問題 16	4	膜内骨化によって形成される骨はどれか。 1.前頭骨 2.上腕骨 3.肋骨 4.腸骨	1
第 3回	前半	問題 17	4	大坐骨孔について誤っている記述はどれか。 1.大坐骨切痕と仙結節靭帯とで形成される。 2.大坐骨切痕は坐骨と腸骨とによって形成される。 3.梨状筋によって上下の 2 孔に分けられる。 4.上殿神経が梨状筋上孔を通る。	1
第 3回	前半	問題 18	4	上腕の内旋運動に対する大胸筋の拮抗筋はどれか。 1.小胸筋 2.大円筋 3.棘下筋 4.肩甲下筋	3
第 3回	前半	問題 19	4	股関節の運動とそれに働く筋との組合せで正しいのはどれか。 1.屈曲 - - 大腿二頭筋 2.伸展 - - 半膜様筋 3.内旋 - - 縫工筋 4.外旋 - - 大腿筋膜張筋	2
第 3回	前半	問題 20	4	小腸について正しい記述はどれか。 1.十二指腸の長さは約 12 cm である。 2.総胆管が空腸に開口する。 3.集合リンパ小節 (パイエル板) は回腸下部に多い。 4.虫垂は小腸に属する。	3
第 3回	前半	問題 21	4	肝臓について正しい記述はどれか。 1.全面を腹膜で包まれる。 2.右葉と左葉とは同じ大きさである。 3.栄養血管は門脈である。 4.肝静脈は直接下大静脈に注ぐ。	4
第 3回	前半	問題 22	4	肺について正しい記述はどれか。 1.右 2 葉、左 3 葉からなる。 2.胸膜腔は滑液で満たされる。 3.臓側胸膜は肺尖で壁側胸膜に移行する。 4.肺門は縦隔に面する。	4
第 3回	前半	問題 23	4	腎臓について正しい記述はどれか。 1.弓状動脈は皮質と髄質との間を走る。 2.遠位尿管は腎杯に注ぐ。 3.集合管はネフロンに含まれる。 4.ボーマン嚢は結合組織からなる。	1
第 3回	前半	問題 24	4	卵胞について正しい記述はどれか。 1.排卵後閉鎖卵胞となる。 2.卵巣の皮質に存在する。 3.成熟卵胞の径は約 2 cm に達する。 4.思春期に初めて出現する。	2, 3
第 3回	前半	問題 25	4	甲状腺について正しい記述はどれか。 1.甲状軟骨の上方に位置する。 2.皮質と髄質に分かれる。 3.多数のろ胞が存在する。 4.内頸動脈の枝で栄養される。	3
第 3回	前半	問題 26	4	血管について正しい記述はどれか。 1.動脈の中膜には発達した平滑筋がある。 2.毛細血管内皮は単層立方上皮である。 3.下肢の動脈には弁がある。 4.静脈は動脈に比べて壁が厚い。	1
第 3回	前半	問題 27	4	静脈が門脈系に注ぐ臓器はどれか。 1.脾臓 2.腎臓 3.副腎 4.子宮	1
第 3回	前半	問題 28	4	脳室系について誤っている記述はどれか。 1.側脳室は大脳半球の深部にある。 2.脈絡叢は脳脊髄液を分泌する。 3.第 3 脳室はクモ膜下腔と交通する。 4.脳脊髄液はクモ膜顆粒から吸収される。	3
第 3回	前半	問題 29	4	筋と支配神経との組合せで誤っているのはどれか。 1.大殿筋 - - - 上殿神経 2.大腿四頭筋 - - 大腿神経 3.長内転筋 - - - 閉鎖神経 4.大腿二頭筋 - - 坐骨神経	1
第 3回	前半	問題 30	4	眼球の構造で神経組織によって形成されているのはどれか。 1.角膜 2.網膜 3.脈絡膜 4.強膜	2
第 3回	前半	問題 31	4	頸動脈三角の後縁を成すのはどれか。 1.胸骨甲状筋 2.肩甲舌骨筋 3.顎二腹筋 4.胸鎖乳突筋	4

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第3回	前半	問題32	4	胸腔の形成に関与しないのはどれか。 1. 胸骨 2. 肋骨 3. 横隔膜 4. 胸膜	4
第3回	前半	問題33	4	大腿中央部で最も深部にあるのはどれか。 1. 縫工筋 2. 大腿動脈 3. 大伏在静脈 4. 薄筋	2
第3回	前半	問題34	5	分解酵素を含む細胞小器官はどれか。 1. 小胞体 2. ミトコンドリア 3. リソソーム 4. 中心体	3
第3回	前半	問題35	5	細胞外液について正しい記述はどれか。 1. 体重の約5%を占める。 2. 細胞内液より蛋白質が多い。 3. 細胞内液よりカリウムが多い。 4. 海水と似たイオン構成である。	4
第3回	前半	問題36	5	血液の酸塩基平衡を保つのに重要なイオンはどれか。 1. 重炭酸イオン 2. マグネシウムイオン 3. カリウムイオン 4. カルシウムイオン	1
第3回	前半	問題37	5	心周期における等容性収縮期について正しい記述はどれか。 1. 心室内圧は動脈圧より高い。 2. 大動脈弁が閉じている。 3. 心室内容積が増加する。 4. 心室内に血液が流入する。	2
第3回	前半	問題38	5	ペプシノーゲンを分泌する胃腺の細胞はどれか。 1. 主細胞 2. 副細胞(粘液細胞) 3. 内分泌細胞 4. 壁細胞(傍細胞)	1
第3回	前半	問題39	5	胆汁酸の作用はどれか。 1. 糖質分解 2. 脂肪乳化 3. ビリルビン生成 4. 蛋白質分解	2
第3回	前半	問題40	5	安静時の腎血流量は心拍出量の約何%か。 1. 5% 2. 10% 3. 25% 4. 50%	3
第3回	前半	問題41	5	排卵後に血中濃度が急速に高まるホルモンはどれか。 1. プロゲステロン 2. 黄体形成ホルモン 3. 卵胞刺激ホルモン 4. エストロゲン	1
第3回	前半	問題42	5	神経線維の興奮伝導について正しい記述はどれか。 1. 興奮伝導は一方方向性起こる。 2. 無髄線維は有髄線維より伝導速度が速い。 3. 興奮の大きさは伝導の途中で減衰する。 4. 有髄線維では跳躍伝導が起こる。	4
第3回	前半	問題43	5	感覚性言語中枢のある部位はどれか。 1. 前頭葉 2. 後頭葉 3. 側頭葉 4. 頭頂葉	3
第3回	前半	問題44	5	レム睡眠について誤っている記述はどれか。 1. 急速眼球運動が起こる。 2. 夢を見ていることが多い。 3. 呼吸が乱れることが多い。 4. 睡眠時間の75%を占める。	4
第3回	前半	問題45	5	筋紡錘について正しい記述はどれか。 1. 遠心路は運動神経線維である。 2. 運動ニューロンの支配を受ける。 3. 求心路は群求心性線維である。 4. 錘外筋線維は錘内筋線維より細い。	2
第3回	前半	問題46	5	錐体路系に属する伝導路はどれか。 1. 皮質脊髄路 2. 皮質赤核路 3. 赤核脊髄路 4. 網様体脊髄路	1
第3回	前半	問題47	5	皮膚反射でないのはどれか。 1. 腹壁反射 2. 拳拳筋反射 3. 足底反射 4. 咬筋反射	4
第3回	前半	問題48	5	網膜で明暗を感じる細胞はどれか。 1. 錐状体細胞 2. 杆状体細胞 3. 双極細胞 4. アマクリン細胞	2
第3回	前半	問題49	5	体液性免疫に関与するリンパ球はどれか。 1. B細胞 2. 好中球 3. 単球 4. T細胞	1

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第3回	前半	問題50	6	骨のカルシウム代謝に関与しない物質はどれか。 1. ビタミンD 2. 有機水銀 3. リン酸塩 4. 上皮小体ホルモン	2
第3回	前半	問題51	6	塞栓症について誤っている組合せはどれか。 1. 心弁膜症 - - - - - 脳の血栓性塞栓 2. 外傷性複雑骨折 - - - - - 肺の脂肪性塞栓 3. スキューバダイビング - - 脳のカス塞栓 4. 大腿静脈血栓 - - - - - 肝臓の血栓性塞栓	4
第3回	前半	問題52	6	最も成功率の低い移植はどれか。 1. 自家移植 2. 同系移植 3. 同種移植 4. 異種移植	4
第3回	前半	問題53	6	炎症の分類について適切でない組合せはどれか。 1. 火傷 - - - - - 漿液性炎 2. 結核 - - - - - 変質性炎 3. 暴飲暴食 - - - - - カタル性炎 4. プト球菌感染症 - - 化膿性炎	2
第3回	前半	問題54	6	腫瘍について正しい記述はどれか。 1. 線維腫は悪性非上皮性腫瘍である。 2. 乳頭腫は良性非上皮性腫瘍である。 3. 血管肉腫は悪性上皮性腫瘍である。 4. 腺腫は良性上皮性腫瘍である。	4
第3回	前半	問題55	6	アレルギー反応の型について正しい組合せはどれか。 1. Ⅰ型反応 - - アナフィラキシー型 2. Ⅱ型反応 - - アルサス型 3. Ⅲ型反応 - - 細胞免疫型 4. Ⅳ型反応 - - 細胞障害型	1
第3回	前半	問題56	6	疾患と染色体異常との組合せで正しいのはどれか。 1. クラインフェルター症候群 - - XO 2. ターナー症候群 - - - - - XXY 3. 慢性骨髄性白血病 - - - - - フィラデルフィア染色体 4. ダウン症候群 - - - - - G22トリソミー	3
第3回	前半	問題57	7	心不全の徴候でないのはどれか。 1. 頸静脈拡張 2. 肝臓腫大 3. 起立性低血圧 4. 腹水	3
第3回	前半	問題58	7	脈拍のリズムについて正しい記述はどれか。 1. 期外収縮とは脈が1拍欠けるものをいう 2. 心房細動は絶対性不整脈を示す。 3. 完全房室ブロックでは脈が速くなる。 4. 洞性不整脈と呼吸のリズムとは無関係である。	2
第3回	前半	問題59	7	低比重尿をきたす疾患はどれか。 1. 尿崩症 2. つつ血性心不全 3. 糖尿病 4. ネフローゼ症候群	1
第3回	前半	問題60	7	出血傾向がみられない疾患はどれか。 1. 急性骨髄性白血病 2. 鉄欠乏性貧血 3. 壊血病 4. 肝硬変	2
第3回	前半	問題61	7	やせをきたさない疾患はどれか。 1. 甲状腺機能亢進症 2. 糖尿病 3. クッシング症候群 4. 褐色細胞腫	3
第3回	前半	問題62	7	圧痛を特徴とするリンパ節腫脹がみられる疾患はどれか。 1. 化膿性リンパ節炎 2. 結核性リンパ節炎 3. 悪性リンパ腫 4. 転移性悪性腫瘍	1
第3回	前半	問題63	7	浮腫と原因との組合せで正しいのはどれか。 1. 粘液水腫 - - 腎機能低下 2. 肝性浮腫 - - 低蛋白血症 3. 腎性浮腫 - - 副腎機能低下 4. 心性浮腫 - - 静脈圧低下	2
第3回	前半	問題64	7	高次脳機能障害と症状との組合せで誤っているのはどれか。 1. ブローカ失語症 - - - - 音読障害 2. ウエルニック失語症 - - 理解障害 3. 失行症 - - - - - 情緒障害 4. 失認症 - - - - - 認識障害	3
第3回	前半	問題65	7	アキレス腱反射が消失する椎間板ヘルニアの部位はどれか。 1. L2 - L3間 2. L3 - L4間 3. L4 - L5間 4. L5 - S1間	4
第3回	前半	問題66	7	反射と病態との組合せで誤っているのはどれか。 1. 深部反射亢進 - - 多発性神経炎 2. 病的反射 - - - - 錐体路障害 3. 深部反射減弱 - - 筋ジストロフィー 4. 姿勢反射異常 - - 脳性麻痺	1

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第3回	前半	問題67	7	疾患と痛みが放散する部位との組合せで誤っているのはどれか。 1.胆石症 - - - - - 右肩 2.尿管結石 - - - - - 単径部 3.狭心症 - - - - - 左肩 4.十二指腸潰瘍 - - 右肩	4
第3回	前半	問題68	7	急性腹症を起こしにくい疾患はどれか。 1.胃潰瘍 2.胆石症 3.卵巣嚢腫 4.子宮筋腫	4
第3回	前半	問題69	8	肺気腫の発症に最も関与する疾患はどれか。 1.胸膜炎 2.気胸 3.肺癌 4.慢性気管支炎	4
第3回	前半	問題70	8	僧帽弁狭窄症について正しい記述はどれか。 1.梅毒によるものが多い。 2.肺うつ血を生じることは少ない。 3.心房細動を起こしやすい。 4.左心室の拡張を伴う。	3
第3回	前半	問題71	8	慢性腎不全で低値を示す検査値はどれか。 1.血清尿素窒素 2.クレアチニンクリアランス 3.血清尿酸 4.血清カリウム	2
第3回	前半	問題72	8	溶血性連鎖球菌感染を特異的に示す検査はどれか。 1.ASO 2.CRP 3.寒冷凝集素価 4.血沈	1
第3回	前半	問題73	8	血小板が減少する貧血はどれか。 1.鉄欠乏性貧血 2.悪性貧血 3.再生不良性貧血 4.溶血性貧血	3
第3回	前半	問題74	8	糖尿病と関係のないのはどれか。 1.遺伝的素因 2.プリン代謝異常 3.多尿 4.蛋白尿	2
第3回	前半	問題75	8	アジソン病の症状でないのはどれか。 1.易疲労性 2.色素沈着 3.高血圧 4.無月経	3
第3回	前半	問題76	8	ペーチェット病について正しい記述はどれか。 1.アフタ性潰瘍ができる。 2.眼の症状はない。 3.外陰部は正常である。 4.高齢者に多く発症する。	1
第3回	前半	問題77	8	疾患と原因との組合せで誤っているのはどれか。 1.成人T細胞白血病 - - ウイルス 2.血友病 - - - - - 血小板減少 3.粘液水腫 - - - - - 甲状腺機能低下 4.痛風 - - - - - 尿酸血症	2
第3回	前半	問題78	8	過敏性腸症候群について正しい記述はどれか。 1.下血をみることが多い。 2.便秘と下痢とを繰り返すタイプがある。 3.発熱を繰り返す。 4.ストレスとは無関係である。	2
第3回	前半	問題79	8	肝炎について正しい記述はどれか。 1.A型肝炎は慢性化しやすい。 2.急性B型肝炎は慢性化しやすい。 3.C型肝炎は慢性化しやすい。 4.A型肝炎は輸血で起こりやすい。	3
第3回	前半	問題80	8	ギラン・バレー症候群でみられない症状はどれか。 1.急性発症 2.四肢脱力 3.髄液の蛋白細胞解離 4.振戦	4
第3回	後半	問題1	8	大腿骨頸部内側骨折について誤っているのはどれか。 1.老人に多い。 2.下肢は外旋位をとる。 3.骨頭への血行は保たれている。 4.骨癒合に長期間を要する。	3
第3回	後半	問題2	8	骨粗しょう症について誤っているのはどれか。 1.閉経後の女性に発生しやすい。 2.海綿骨の骨梁が減少する。 3.腰部疼痛の原因となる。 4.脊椎圧迫骨折があれば手術を行う。	4
第3回	後半	問題3	8	椎間板ヘルニアについて誤っているのはどれか。 1.脱出した髄核が神経根を圧迫する。 2.L5 - S1間のヘルニアでは大腿四頭筋の筋力が低下する。 3.単純エックス線写真で椎間腔は狭小化する。 4.再発を繰り返す患者には手術を行う。	2

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第3回	後半	問題4	8	重症熱傷でみられないのはどれか。 1.低蛋白血症 2.循環血漿量増加 3.腎障害 4.十二指腸潰瘍	2
第3回	後半	問題5	8	脳血管障害について正しい記述はどれか。 1.一過性脳虚血発作は麻痺を残さない。 2.クモ膜下出血は慢性に発症する。 3.脳梗塞は若年者に多い。 4.脳血栓は過激な体動時に多い。	1
第3回	後半	問題6	8	パーキンソン病の症状でないのはどれか。 1.筋強剛(固縮) 2.振戦 3.無動 4.難聴	4
第3回	後半	問題7	8	創傷感染症について正しい記述はどれか。 1.せつ、よつの原因は連鎖球菌が多い。 2.ひょう疽は四肢の慢性炎症をいう。 3.蜂巣織炎とは筋肉の感染症である。 4.破傷風菌の毒素は中枢神経を障害する。	4
第3回	後半	問題8	8	麻酔について誤っている記述はどれか。 1.吸入麻酔には酸素が使用される。 2.脊椎麻酔は下肢の手術に適用できる。 3.静脈麻酔は全身麻酔である。 4.硬膜外麻酔には気管内挿管が必要である。	4
第3回	後半	問題9	9	運動の強度メッツ(METS)について正しい組合せはどれか。 1.散歩 - - - - 1~2 2.ボーリング - - 2~4 3.ジョギング - - 5~6 4.登山 - - - - 7~8	2
第3回	後半	問題10	9	コルセットの作製に関与しない職種はどれか。 1.理学療法士 2.作業療法士 3.義肢装具士 4.臨床工学技士	4
第3回	後半	問題11	9	関節運動が重力に抗して全可動域にわたり可能となる最小の筋力はどれか。 1.筋力1 2.筋力2 3.筋力3 4.筋力4	3
第3回	後半	問題12	9	異常歩行について正しい記述はどれか。 1.脚長差が3cm以内であれば異常は目立たない。 2.疼痛性跛行では患側の立脚相の時間が長くなる。 3.脳卒中片麻痺では足の内側から接地する。 4.小さきみ歩行は筋ジストロフィー症にみられる。	1
第3回	後半	問題13	9	脳卒中後遺症について正しい記述はどれか。 1.左片麻痺に失語症が起こる。 2.右片麻痺に失認症が起こる。 3.麻痺側肩関節に亜脱臼が起こる。 4.発症初期から強い痙性麻痺が起こる。	3
第3回	後半	問題14	9	脳卒中患者の背臥位における良肢位保持について正しい記述はどれか。 1.マットレスは柔らかいものとする。 2.肩甲帯を後方に引く。 3.股関節は内旋外旋中間位とする。 4.足関節は底屈位とする。	3
第3回	後半	問題15	9	上位胸髄の脊髄損傷患者の訓練として適切でないのはどれか。 1.プッシュアップ 2.キャスター上げ 3.移乗動作 4.四点歩行	4
第3回	後半	問題16	9	大腿切断について誤っている記述はどれか。 1.閉塞性動脈硬化症が原因となる。 2.実用的義足歩行が可能である。 3.断端浮腫は義足装着の障害となる。 4.幻肢感覚は日常生活動作の障害となる。	4
第3回	後半	問題17	10	五臓と五色との対応で正しいのはどれか。 1.心 - - 青 2.脾 - - 赤 3.肺 - - 黄 4.腎 - - 黒	4
第3回	後半	問題18	10	次の文で示す症状を訴えるのはどの経絡の病証か。腋窩部の腫れ、上肢のひきつれ、手掌のほてり及び季肋部のつかえ。」 1.手の太陽小腸経 2.手の厥陰心包経 3.手の陽明大腸経 4.手の少陽三焦経	2
第3回	後半	問題19	10	腎の症状はどれか。 1.難聴 2.血便 3.脇痛 4.胸痛	1
第3回	後半	問題20	10	脾の生理作用で正しい記述はどれか。 1.飲食物を清と濁に分ける。 2.目に開竅する。 3.筋肉を主る。 4.血を蔵す。	3
第3回	後半	問題21	10	内因はどれか。 1.六淫 2.七情の乱れ 3.飲食労倦 4.房事過多	2

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第3回	後半	問題22	10	次の文で示す外邪はどれか。「百病の長ともいわれ、春に多く発病し、多くは皮毛から侵入する。」 1.風 2.寒 3.湿 4.燥	1
第3回	後半	問題23	10	精を蔵すのはどれか。 1.心 2.脾 3.肺 4.腎	4
第3回	後半	問題24	10	正邪の盛衰を診るのはどれか。 1.寒熱 2.燥湿 3.表裏 4.虚实	4
第3回	後半	問題25	10	難経による五臓と腹診部位との組合せで正しいのはどれか。 1.肝 - - 臍の左側 2.心 - - 中胃部 3.肺 - - 心下部 4.腎 - - 臍の右側	1
第3回	後半	問題26	10	腹証で正しい組合せはどれか。 1.小腹急結 - - 腎 2.小腹不仁 - - (オ病於)血 3.胸脇苦満 - - 肝 4.心下痞硬 - - 脾	3
第3回	後半	問題27	10	「消渴」の現代病名はどれか。 1.悪性新生物 2.心筋梗塞 3.糖尿病 4.高血圧症	3
第3回	後半	問題28	10	九鍼のうち皮膚の摩擦に用いられるのはどれか。 1.鋒鍼 2.円(眞)鍼 3.(ヒ金皮)(ヒ金非)鍼 4.円(眞)刺鍼	2
第3回	後半	問題29	10	実熱証で診られる脈状はどれか。 1.沈 2.数 3.虚 4.細	2
第3回	後半	問題30	10	難経六十九難により瀉法で正しい組合せはどれか。 1.肺実証 - - 商丘、経渠 2.脾実証 - - 行間、少府 3.肝実証 - - 尺沢、陰谷 4.心実証 - - 神門、太白	4
第3回	後半	問題31	11	実証に対する鍼治療の手技として正しい記述はどれか。 1.呼吸時に刺入し吸気時に抜く。 2.鍼尖を経絡の流れに沿って刺入する。 3.ゆっくり刺入しゆっくり抜く。 4.抜鍼しても鍼孔を閉じない。	4
第3回	後半	問題32	11	足の第1指内端(内側爪甲根部)に始まる経絡はどれか。 1.足の太陰脾経 2.足の少陰腎経 3.足の厥陰肝経 4.足の陽明胃経	1
第3回	後半	問題33	11	自經の経穴を募穴としているのはどれか。 1.足の厥陰肝経 2.足の太陰脾経 3.手の陽明大腸経 4.手の少陰心経	1
第3回	後半	問題34	11	四総穴に含まれない経穴はどれか。 1.列缺 2.合谷 3.委中 4.公孫	4
第3回	後半	問題35	11	八会穴で合穴はどれか。 1.曲池 2.太淵 3.中(かん 月完) 4.陽陵泉	4
第3回	後半	問題36	11	中風七穴と脚氣八処の穴とに共通する経穴はどれか。 1.百会 2.肩井 3.足三里 4.伏兔	3
第3回	後半	問題37	11	取穴法について正しい記述はどれか。 1.天泉は腋窩横紋の前端から曲池穴に向かい2寸に取る。 2.頭臨泣は瞳孔の直上で、神庭穴と頭維穴とを結ぶ線上に取る。 3.腕骨は手関節後面、尺骨茎状突起の下際陥凹部に取る。 4.申脈は外果の直下1寸に取る。	2
第3回	後半	問題38	11	取穴法について正しい記述はどれか。 1.身柱は第2胸椎棘突起下を取る。 2.中(かん 月完)は神闕穴の下4寸に取る。 3.次(ジョウ 骨膠)は第2後仙骨孔部を取る。 4.太谿は外果の直下1寸に取る。	3
第3回	後半	問題39	11	同じ高さにある経穴はどれか。 1.氣穴と大巨 2.育兪と水分 3.商曲と太乙 4.大赫と氣衝	3

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第3回	後半	問題40	11	井穴と部位との組合せで正しいのはどれか。 1.商陽 - - 示指尺側 2.中衝 - - 中指桡側 3.関衝 - - 薬指桡側 4.少衝 - - 小指尺側	2
第3回	後半	問題41	11	膝蓋骨上縁の中央に取る経穴はどれか。 1.上仙 2.風市 3.痞根 4.鶴頂	4
第3回	後半	問題42	11	穴はどれか。 1.浮 2.地機 3.偏歷 4.四（トク言賣）	2
第3回	後半	問題43	11	手の太陰肺経の絡穴はどれか。 1.中府 2.孔最 3.列缺 4.太淵	3
第3回	後半	問題44	11	脚気八処の穴で奇穴はいつか。 1.二つ 2.四つ 3.六つ 4.八つ	1
第3回	後半	問題45	12	肩甲挙筋のこりに対する適切な治療穴はどれか。 1.天柱 2.天（リョウ骨膠） 3.肩中兪 4.膏肓	3
第3回	後半	問題46	12	次の文で示す患者の病態から考えて緊張を改善すべき適切な筋はどれか。「33歳の女性。3か月前から腕をあげて作業をする と上肢が重だるく、しびれるようになってきた。ジャクソンテスト陰性、ライトテスト陽性、3分間挙上負荷試験陽性であった。」 1.胸鎖乳突筋 2.僧帽筋 3.小胸筋 4.棘上筋	3
第3回	後半	問題47	12	神経痛と罹患神経を対象とした刺鍼経穴との組合せで適切なのはどれか。 1.後頭神経痛 - - - - 完骨 2.三叉神経第2枝痛 - - 四白 3.正中神経痛 - - - - 小海 4.坐骨神経痛 - - - - 風市	2
第3回	後半	問題48	12	C6デルマトーム領域の疼痛に対する局所治療穴として適切な組合せはどれか。 1.消（シキ水楽） - - 臑会 2.曲沢 - - 神門 3.孔最 - - 合谷 4.肩貞 - - 天井	3
第3回	後半	問題49	12	理学的検査所見と刺鍼部位との組合せで適切なのはどれか。 1.ボンネットテスト陽性 - - - 殿部 2.マクマリーテスト陽性 - - 腹部 3.パトリック徴候陽性 - - - 肩上部 4.ニュートンテスト陽性 - - - 後頭部	1
第3回	後半	問題50	12	次の文で示す神経麻痺で、麻痺神経に対する治療穴として正しいのはどれか。足関節は底屈し、内反もある。歩行は鶏歩となる。」 1.脾関 2.陽陵泉 3.承筋 4.湧泉	2
第3回	後半	問題51	12	気管支喘息の治療目的として適切な記述はどれか。 1.気管支筋の緊張を緩める。 2.副交感神経の興奮性を高める。 3.咽頭反射を高める。 4.気道の過敏性を高める。	1
第3回	後半	問題52	12	古くから行われている食あたりに対する灸治療はどれか。 1.ちりげの灸 2.腰部八点灸 3.患門の穴の灸 4.裏内庭の灸	4
第3回	後半	問題53	12	次の文で示す患者の治療対象とする病証で適切なのはどれか。「55歳の男性。めまい、目のかすみ、こむら返りを訴える。爪が白く、脈は細い。」 1.肝の病証 2.脾の病証 3.肺の病証 4.心の病証	1
第3回	後半	問題54	12	次の文で示す患者の病証はどれか。寝間の潮熱、手足のほてり、盗汗を主症状とし、脈は細、数。随伴症状として不眠や便秘がみられる。」 1.気虚証 2.陽虚証 3.陰虚証 4.血虚証	3
第3回	後半	問題55	12	次の文で示す患者の治療方針として最も適切なのはどれか。倦怠感、四肢無力、食欲不振、腹部膨満感、泥状便、脈は弱い。」 1.肝気を補う 2.心気を補う 3.肺気を補う	4
第3回	後半	問題56	12	上歯痛に対する循経取穴で正しいのはどれか。 1.大腸経の経穴 2.胃経の経穴 3.三焦経の経穴 4.小腸経の経穴	2

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第 3回	後半	問題 57	12	不眠に伴う症状で鍼灸治療が最も適応となるのはどれか。 1. 睡眠飢餓 2. 幻覚・妄想 3. 躁うつ状態 4. 強迫症状	3
第 3回	後半	問題 58	12	婦人科系の症状で鍼灸治療が最も適応するのはどれか。 1. 過多月経 2. 月経前緊張症 3. 黄帯下 4. 不正性器出血	2
第 3回	後半	問題 59	12	ジャンパー膝への鍼通電療法の対象として最も適切な筋はどれか。 1. 大腿四頭筋 2. 大腿二頭筋 3. 下腿三頭筋 4. 前脛骨筋	1
第 3回	後半	問題 60	12	高齢者の疾患の特徴として適切でない記述はどれか。 1. 多臓器病変を有することが多い。 2. 脱水症状を起こしやすい。 3. 精神症状を示しやすい。 4. 典型的な症状を示すことが多い。	4
第 3回	後半	問題 61	13	エンドレフィンの拮抗物質はどれか。 1. セロトニン 2. ドーパミン 3. アセチルコリン 4. ナロキソン	4
第 3回	後半	問題 62	13	ストレス学説における生体反応として関係のないのはどれか。 1. 副腎皮質の肥大 2. 脾臓の肥大 3. 胸腺の萎縮 4. 十二指腸の潰瘍	2
第 3回	後半	問題 63	13	次の文で示す刺鍼中の手技はどれか。鍼が目的の深さに達したら、半分抜いてしばらくそこにとどめ、また前の深さまで刺入して、しばらくそこにとどめることを繰り返す。」 1. 間歇術 2. 屋漏術 3. 刺鍼転向法 4. 乱鍼術	1
第 3回	後半	問題 64	13	皮膚のポリモーダル受容器からの求心性線維はどれか。 1. A 線維 2. A 線維 3. A 線維 4. C線維	4
第 3回	後半	問題 65	13	刺鍼による脳貧血の際に行うのはどれか。 1. 迎え鍼 2. 返し鍼 3. 洪り鍼 4. 置き鍼	2
第 3回	後半	問題 66	13	深部痛覚の特徴について誤っている記述はどれか。 1. 痛みの局在が明瞭な場合が多い。 2. 自律神経反射を伴うことが多い。 3. 痛みの感受性には部位差がある。 4. 骨格筋の反射性収縮を起こすことが多い。	1
第 3回	後半	問題 67	13	鍼を使用しない手技はどれか。 1. 内調術 2. 管散術 3. 単刺術 4. 細指術	2
第 3回	後半	問題 68	13	自律神経失調症やアレルギー体質などを改善する鍼の作用はどれか。 1. 鎮静作用 2. 誘導作用 3. 転調作用 4. 消炎作用	3
第 3回	後半	問題 69	13	打鍼法で使用する鍼の鍼尖の形状はどれか。 1. スリオロシ形 2. ノゲ形 3. 松葉形 4. 卵形	1
第 3回	後半	問題 70	13	刺鍼により手部皮膚血管は一過性に収縮する。機序として正しいのはどれか。 1. 交感神経 受容体系の反応である。 2. 交感神経 受容体系の反応である。 3. 副交感神経亢進反応である。 4. 交感神経抑制反応である。	1
第 3回	後半	問題 71	14	良質艾の要件でないのはどれか。 1. 手触りが良い。 2. 線維が細い。 3. 点火しやすい。 4. 灰分が多い。	4
第 3回	後半	問題 72	14	艾を使用しない灸法はどれか。 1. うるし灸 2. にんにく灸 3. 塩灸 4. しょうが灸	1
第 3回	後半	問題 73	14	施灸の火傷により局所で産生される物質はどれか。 1. エピネフリン 2. ヒスタミン 3. エンドルフィン 4. サイロキシン	2
第 3回	後半	問題 74	14	温熱感覚を伝える求心性線維はどれか。 1. C線維 2. A線維 3. 群線維 4. 群線維	4

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第 3回	後半	問題 75	14	関連痛に関与しないのはどれか。 1. 内臓性求心路 2. 体性求心路 3. 脊髄前角細胞 4. 脊髄後角細胞	3
第 3回	後半	問題 76	14	透熱灸の局所に起こる反応として適切でないのはどれか。 1. 発痛物質の産生 2. 血管の拡張 3. 血管透過性の亢進 4. 白血球遊走因子の減少	4
第 3回	後半	問題 77	14	透熱灸を避けるべき部位はどれか。 1. 頭頂部 2. 前頸部 3. 下腹部 4. 殿部	2
第 3回	後半	問題 78	14	灸あたりの症状として起こりにくいのはどれか。 1. 倦怠感 2. 食欲不振 3. のぼせ 4. 下痢	4
第 3回	後半	問題 79	14	灸の補法はどれか。 1. 一壮ごとに灰を除く。 2. 艾 (シユ 火主) を硬くする。 3. 艾 (シユ 火主) を小さくする。 4. 速く燃焼させる。	3
第 3回	後半	問題 80	14	知熱灸はどれに含まれるか。 1. 透熱灸 2. 焦灼灸 3. 隔物灸 4. 温灸	4
第 4回	前半	問題 1	1	施術者の倫理について誤っているのはどれか。 1. 生活の質の尊重 2. プライバシーの保護 3. 十分な情報の提供 4. 施術内容の一方的決定	4
第 4回	前半	問題 2	1	地域住民を対象とした保険はどれか。 1. 組合管掌健康保険 2. 船員保険 3. 国民健康保険 4. 国家公務員等共済組合	3
第 4回	前半	問題 3	2	施術の消毒で誤っている記述はどれか。 1. 滅菌は物理的消毒を行う。 2. 滅菌のエチレンオキサイドガス (EOG) 滅菌は消毒効果が長い。 3. 刺鍼部位の消毒は辺縁部から中心部に向かって行う。 4. 刺鍼部位のアルコール綿での清拭は脱脂効果がある。	3
第 4回	前半	問題 4	2	我が国の衛生統計で誤っている記述はどれか。 1. 人口ピラミッドとは人口を性別、年齢別に積み重ねたグラフである。 2. 平均寿命とは 0 歳の平均余命である。 3. 出生率は人口動態統計の一つである。 4. 老年人口の割合は 20% を超えている。	4
第 4回	前半	問題 5	2	疾病と法律との組合せで誤っているのはどれか。 1. 風疹 - - 予防接種法 2. エイズ - - 性病予防法 3. コレラ - - 伝染病予防法 4. 食中毒 - - 食品衛生法	2
第 4回	前半	問題 6	2	食事後最も短時間で発症する食中毒の原因菌はどれか。 1. ブドウ球菌 2. サルモネラ 3. 腸炎ビブリオ 4. 病原大腸菌	1
第 4回	前半	問題 7	2	地球温暖化に関係している物質はどれか。 1. 二酸化炭素 2. 二酸化硫黄 3. 一酸化炭素 4. 二酸化窒素	1
第 4回	前半	問題 8	2	死亡率が増加している疾患はどれか。 1. 子宮癌 2. 胃癌 3. 肺癌 4. 白血病	3
第 4回	前半	問題 9	2	我が国の生活環境について正しい記述はどれか。 1. 下水道の普及率は 60% を超えている。 2. 1人 1日平均給水量は年々減少している。 3. 井戸水の検査は市町村が行う。 4. 上水道の普及率は 90% を超えている。	4
第 4回	前半	問題 10	2	最近の我が国における栄養摂取状況で誤っているのはどれか。 1. カルシウムは充足 2. 食塩は増加傾向 3. 動物性脂肪は増加傾向 4. 炭水化物は横ばい	1
第 4回	前半	問題 11	3	正しい記述はどれか。 1. 施術所を開設したので 20 日後に届け出た。 2. 施術所に 3. 3 平方メートル以上の待合室を設けた。 3. 施術者の経歴を新聞に広告した。 4. 医師の同意なく脱臼の患部に施術した。	2
第 4回	前半	問題 12	3	正しい記述はどれか。 1. 試験に合格したのですぐに業務を開始した。 2. 施術所の名称を胃腸病専門鍼灸院として広告した。 3. 施術に関する罰則は法人に対しても科す両罰規定である。 4. 施術者は薬品投与の指示ができる。	3

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第 4回	前半	問題 13	3	医療施設で誤っているのはどれか。 1. 病院 患者 20人以上の収容施設 2. 総合病院 患者 50人以上の収容施設 3. 助産所 妊産婦、じょうじ 10人未満の収容施設 4. 診療所 患者 19人以下の収容施設	2
第 4回	前半	問題 14	3	社会福祉の関係法規でないのはどれか。 1. 生活保護法 2. 児童福祉法 3. 身体障害者福祉法 4. 優生保護法	4
第 4回	前半	問題 15	4	ヒトの染色体について正しい記述はどれか。 1. 常染色体の数は 46個である。 2. 性染色体の数は 2個である。 3. 精子は 24個の染色体をもつ。 4. 精子は X染色体を 2個もつ。	2
第 4回	前半	問題 16	4	内頭蓋底を構成する骨はどれか。 1. 頭頂骨 2. 前頭骨 3. 頬骨 4. 上顎骨	2
第 4回	前半	問題 17	4	骨とその部位との組合せで誤っているのはどれか。 1. 仙骨 - - 岬角 2. 大腿骨 - - 殿筋粗面 3. 腰椎 - - 肋骨突起 4. 下顎骨 - - 下顎窩	4
第 4回	前半	問題 18	4	筋とその付着部との組合せで正しいのはどれか。 1. 三角筋 - - - 肩甲棘 2. 円回内筋 - - 外側上顆 3. 大殿筋 - - - 大転子 4. 後脛骨筋 - - 踵骨隆起	1
第 4回	前半	問題 19	4	筋と上肢の運動との組合せで誤っているのはどれか。 1. 僧帽筋 - - - 肩甲骨の挙上 2. 前鋸筋 - - - 肩甲骨を前方へ引く 3. 肩甲下筋 - - 上腕の外旋 4. 三角筋 - - - 上腕の外転	3
第 4回	前半	問題 20	4	膝窩の上下側壁を形成する筋はどれか。 1. 大腿二頭筋 2. 外側広筋 3. 半腱様筋 4. 腓腹筋	1
第 4回	前半	問題 21	4	気管について正しい記述はどれか。 1. 後壁は脊柱に接している。 2. 前方を大動脈弓が横切る。 3. 気管筋は骨格筋である。 4. 粘膜上皮は重層扁平上皮である。	2
第 4回	前半	問題 22	4	胃について正しい記述はどれか。 1. 胃体の上方への膨隆部を胃底という 2. 大弯から小網が垂れ下がる。 3. 噴門には発達した弁がある。 4. 胃体部粘膜には輪状ヒダがある。	1
第 4回	前半	問題 23	4	肝臓の血管系について正しい記述はどれか。 1. 門脈には動脈血が流れる。 2. 洞様毛細血管 (顆洞) は中心静脈へ注ぐ。 3. 中心静脈は小葉間静脈へ注ぐ。 4. 肝静脈は肝門を通る。	2
第 4回	前半	問題 24	4	尿が流れる方向について正しいのはどれか。 1. 尿細管から集合管へ 2. 腎盂から腎杯へ 3. 尿道から膀胱へ 4. 膀胱から尿管へ	1
第 4回	前半	問題 25	4	胎盤において胎児の血液と母体の血液との間で物質交換が行われるのはどれか。 1. 臍帯 2. 羊膜 3. 絨毛 4. 脱落膜	3
第 4回	前半	問題 26	4	脾臓について正しい記述はどれか。 1. 右上腹部にある。 2. 肝臓の次に大きな臓器である。 3. 血小板を産生する。 4. 古い赤血球を破壊する。	4
第 4回	前半	問題 27	4	心臓の血管系について正しい記述はどれか。 1. 冠状動脈は胸大動脈から分枝する。 2. 左冠状動脈は心臓の前壁を養う 3. 冠状静脈が分布する。 4. 静脈血は上大静脈へ注ぐ。	2
第 4回	前半	問題 28	4	脳神経と通路との組合せで誤っているのはどれか。 1. 視神経 - - - 視神経管 2. 動眼神経 - - 上眼窩裂 3. 滑車神経 - - 卵円孔 4. 上顎神経 - - 正円孔	3
第 4回	前半	問題 29	4	脳室系に含まれないのはどれか。 1. 中心管 2. 室間孔 3. 中脳水道 4. クモ膜下腔	4
第 4回	前半	問題 30	4	運動神経で支配される括約筋はどれか。 1. 瞳孔括約筋 2. 幽門括約筋 3. オッディ括約筋 4. 外肛門括約筋	4

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第 4回	前半	問題 31	4	鼓室について誤っている記述はどれか。 1. 耳管を介して咽頭腔と交通する。 2. 3個の小骨がある。 3. リンパ液で満たされる。 4. 鼓膜を介して外耳と連絡する。	3
第 4回	前半	問題 32	4	物を見るときに焦点の合う部位はどれか。 1. 中心窩 2. 視神経円板 3. 網膜前部 4. 脈絡膜	1
第 4回	前半	問題 33	4	単径靭帯について誤っている記述はどれか。 1. 上前腸骨棘と恥骨結節とを結ぶ。 2. 大腿三角の上縁を形成する。 3. 単径管の上壁を形成する。 4. 大腿神経は単径靭帯の下を通る。	3
第 4回	前半	問題 34	5	解糖系で生成される高エネルギー化合物はどれか。 1. ビルビン酸 2. ATP 3. グリコーゲン 4. 乳酸	2
第 4回	前半	問題 35	5	第 1心音が発生する心周期の時期はどれか。 1. 拡張期の始め 2. 拡張期の終わり 3. 収縮期の始め 4. 収縮期の終わり	3
第 4回	前半	問題 36	5	脳循環の特徴で正しい記述はどれか。 1. 脳血流量は絶えず大きく変動している。 2. 心拍出量の約 30% を占める。 3. 脳動脈は二酸化炭素の増加で収縮する。 4. 毛細血管には血液 - 脳関門がある。	4
第 4回	前半	問題 37	5	呼吸の化学受容器反射を起こすのはどれか。 1. 動脈血中の酸素分圧増加 2. 動脈血中の炭酸ガス分圧増加 3. 静脈血中の酸素分圧増加 4. 静脈血中の炭酸ガス分圧増加	2
第 4回	前半	問題 38	5	酸素化ヘモグロビンが最も増加する酸素分圧はどれか。 1. 25mmHg 2. 45mmHg 3. 65mmHg 4. 95mmHg	4
第 4回	前半	問題 39	5	胃液の分泌を促進する消化管ホルモンはどれか。 1. コレシストキニン 2. セクレチン 3. ガストリン 4. ソマトスタチン	3
第 4回	前半	問題 40	5	小腸での吸収に適した構造はどれか。 1. 絨毛 2. 十二指腸腺 3. 腸腺 4. 回盲弁	1
第 4回	前半	問題 41	5	腎臓でナトリウムイオンを再吸収する部位はどれか。 1. 糸球体 2. ボーマン嚢 3. 尿管 4. 集合管	3
第 4回	前半	問題 42	5	内分泌腺とホルモンとの組合せで誤っているのはどれか。 1. 下垂体後葉 - - ハソプレッシン 2. 甲状腺 - - - - サイロキシン 3. 膵臓 - - - - インスリン 4. 副腎皮質 - - - アドレナリン	4
第 4回	前半	問題 43	5	神経筋接合部の特徴として誤っている記述はどれか。 1. インパルスは両方向性に伝達される。 2. 伝達物質はアセチルコリンである。 3. クラールにより遮断される。 4. 興奮性シナプスである。	1
第 4回	前半	問題 44	5	大脳辺縁系の機能はどれか。 1. 言語機能 2. 本能行動 3. 感覚統合 4. 平衡保持	2
第 4回	前半	問題 45	5	カテコールアミン 受容体の興奮で生じる効果はどれか。 1. 心拍数増加 2. 気管支拡張 3. 心収縮力増大 4. 血管収縮	4
第 4回	前半	問題 46	5	筋収縮について誤っている記述はどれか。 1. エネルギーとして ATP を用いる。 2. 筋収縮に伴って熱が発生する。 3. 運動の多くは単収縮による。 4. 強縮が続くと筋の疲労が起こる。	3
第 4回	前半	問題 47	5	視覚の情報伝達に関係ない細胞はどれか。 1. 視細胞 2. 双極細胞 3. 水平細胞 4. グリア細胞	4
第 4回	前半	問題 48	5	内臓痛の特徴について誤っている記述はどれか。 1. 局在が明らかである。 2. 持続性のつづく痛みである。 3. 吐き気を伴うことが多い。 4. 腸間膜を伸展した際に痛みが起こる。	1

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第4回	前半	問題49	5	ヒスタミンを遊離する細胞はどれか。 1.単球 2.肥満細胞 3.好中球 4.リンパ球	2
第4回	前半	問題50	6	右心室肥大をきたす疾患はどれか。 1.肺性心 2.大動脈弁狭窄 3.大動脈弁閉鎖不全 4.高血圧症	1
第4回	前半	問題51	6	溶血性黄疸の原因として最も適切なのはどれか。 1.肝炎 2.胆石 3.血液型不適合輸血 4.先天性胆道閉塞症	3
第4回	前半	問題52	6	腹水が滲出液となる疾病はどれか。 1.肝硬変 2.右心不全 3.ネフローゼ症候群 4.腹膜炎	4
第4回	前半	問題53	6	結核結節でみられないのはどれか。 1.リード・ステルンベルグ巨細胞 2.類上皮細胞 3.リンパ球 4.乾酪壊死	1
第4回	前半	問題54	6	免疫とアレルギーとに共通しない記述はどれか。 1.二度目の暴露によって起こる。 2.特定の抗原に対して反応する。 3.リンパ球が主役である。 4.死に至る現象である。	4
第4回	前半	問題55	6	腫瘍に属さないのはどれか。 1.腺腫 2.カルチノイド 3.肉芽腫 4.ホジキン病	3
第4回	前半	問題56	6	ウイルスが原因となる腫瘍はどれか。 1.ウィルムス腫瘍 2.成人T細胞白血病 3.移行上皮癌 4.ユーイング肉腫	2
第4回	前半	問題57	7	心電図検査で判定できる病態はどれか。 1.高尿酸血症 2.耐糖能異常 3.脂質異常 4.電解質異常	4
第4回	前半	問題58	7	呼吸器を介して感染する疾患はどれか。 1.風疹 2.A型肝炎 3.マラリア 4.日本脳炎	1
第4回	前半	問題59	7	浮腫の原因でないのはどれか。 1.静脈圧の上昇 2.血漿浸透圧の低下 3.腎のナトリウム再吸収の増加 4.バゾプレッシンの分泌低下	4
第4回	前半	問題60	7	検査と疾患との組合せで適切でないのはどれか。 1.リウマチ因子 - - リウマチ熱 2.抗核抗体 - - - 全身性エリテマトーデス 3.クームス試験 - - 自己免疫性溶血性貧血 4.ASO値 - - - - 急性糸球体腎炎	1
第4回	前半	問題61	7	反射について誤っている組合せはどれか。 1.バビンスキー反射 - - 病的反射 2.膝蓋腱反射 - - - - 深部反射 3.拳拳筋反射 - - - - 表在反射 4.トレンナー反射 - - - 自律神経反射	4
第4回	前半	問題62	7	検査法で誤っている組合せはどれか。 1.スパーリングテスト - - 椎間孔圧迫テスト 2.ブラガードサイン - - - 神経伸展テスト 3.アレンテスト - - - - 胸部出口部圧迫テスト 4.ファレンテスト - - - - 末梢血管圧迫テスト	4
第4回	前半	問題63	7	髄膜刺激症状で誤っているのはどれか。 1.項部硬直 2.ケルニツヒ徴候 3.トレンデルブルグ徴候 4.ラセーク徴候	3
第4回	前半	問題64	7	脳神経と症状との組合せで正しいのはどれか。 1.動眼神経 - - アーガイル・ロバートソン徴候 2.三叉神経 - - ベル麻痺 3.顔面神経 - - 舌萎縮 4.迷走神経 - - 味覚障害	1

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第4回	前半	問題 65	7	分回し歩行を示すのはどれか。 1.ギラン・バレー症候群 2.脳卒中 3.脊髄小脳変性症 4.慢性関節リウマチ	2
第4回	前半	問題 66	7	気道確保の方法で最も適切な記述はどれか。 1.頭部を前屈させる。 2.顔をできるだけ横に向ける。 3.頭部を後屈してオトガイを挙上する。 4.口を大きく開く。	3
第4回	前半	問題 67	7	物理療法について誤っている記述はどれか。 1.低周波療法は鎮痛に用いられる。 2.温熱療法を行う際には知覚障害に注意する。 3.間欠牽引は骨折の治療に用いられる。 4.水治療法は運動療法に応用される。	3
第4回	前半	問題 68	7	骨髄移植の適応となる疾患はどれか。 1.悪性貧血 2.白血病 3.血友病 4.エイズ	2
第4回	前半	問題 69	8	心筋梗塞の診断上有用でない酵素はどれか。 1.GPT 2.GOT 3.CK 4.LDH	1
第4回	前半	問題 70	8	心電図では診断できない病態はどれか。 1.心房細動 2.心臓弁膜症 3.期外収縮 4.狭心症	2
第4回	前半	問題 71	8	肺気腫について誤っている記述はどれか。 1.ビール樽状胸郭を示す。 2.1秒率が低下する。 3.肺野のエックス線透過性が亢進する。 4.動脈血酸素分圧が上昇する。	4
第4回	前半	問題 72	8	急性肺炎の検査所見で誤っているのはどれか。 1.赤沈亢進 2.CRP陽性 3.好中球増多 4.血小板増多	4
第4回	前半	問題 73	8	慢性気管支炎で誤っている記述はどれか。 1.喫煙により悪化する。 2.気道抵抗が増加する。 3.湿性ラ音が聴取される。 4.高熱を伴う。	4
第4回	前半	問題 74	8	慢性腎不全で適切でない検査所見はどれか。 1.血清尿素窒素高値 2.血清クレアチニン高値 3.尿濃縮力増加 4.代謝性アシドーシス	3
第4回	前半	問題 75	8	排尿異常で適切でない記述はどれか。 1.膀胱炎では頻尿になりやすい。 2.尿管結石では多尿になりやすい。 3.神経因性膀胱では切迫性尿失禁になりやすい。 4.前立腺肥大では尿閉になりやすい。	2
第4回	前半	問題 76	8	ダンピング症候群を起こす原因はどれか。 1.胃切除 2.過敏性腸症候群 3.食道炎 4.虫垂炎	1
第4回	前半	問題 77	8	糖尿病の合併症で適切でないのはどれか。 1.網膜症 2.ニューロパチー 3.クモ状血管腫 4.腎障害	3
第4回	前半	問題 78	8	粘液水腫について誤っている記述はどれか。 1.甲状腺機能の低下である。 2.寒がりとなる。 3.頻脈がみられる。 4.甲状腺刺激ホルモンが増加する。	3
第4回	前半	問題 79	8	テタニー症状をきたす疾患はどれか。 1.巨人症 2.尿崩症 3.パセドウ病 4.副甲状腺機能低下症	4
第4回	前半	問題 80	8	皮膚化膿症の主な原因となる菌はどれか。 1.緑膿菌 2.ブドウ球菌 3.ガス壊疽菌 4.大腸菌	2
第4回	後半	問題 1	8	脳塞栓を起こしやすい不整脈はどれか。 1.心房細動 2.心室細動 3.期外収縮 4.房室ブロック	1

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第4回	後半	問題2	8	疾患と症状との組合せで誤っているのはどれか。 1. ウイルソン病 - - - - - 羽ばたき振戦 2. 脊髓空洞症 - - - - - 感覚解離 3. 筋萎縮性側索硬化症 - - 筋力低下 4. パーキンソン病 - - - - - 視力障害	4
第4回	後半	問題3	8	疾患と症状との組合せで正しいのはどれか。 1. 変形性関節症 - - 安静時痛 2. 坐骨神経痛 - - - 腱反射亢進 3. 脊柱管狭窄症 - - 間欠性跛行 4. 胸鎖嚕傷 - - - - 四肢麻痺	3
第4回	後半	問題4	8	症状と原因との組合せで誤っているのはどれか。 1. 腱反射消失 - - 錐体路障害 2. 知能障害 - - - 大脳皮質萎縮 3. 失語症 - - - - 高次脳機能障害 4. 筋萎縮 - - - - 前角細胞変性	1
第4回	後半	問題5	8	疾患と神経ブロックとの組合せで正しいのはどれか。 1. 後頭神経痛 - - 硬膜外ブロック 2. 坐骨神経痛 - - 星状神経節ブロック 3. 三叉神経痛 - - 顔面神経ブロック 4. 五十肩 - - - - 肩甲上神経ブロック	4
第4回	後半	問題6	8	骨粗しょう症で正しい記述はどれか。 1. 骨の絶対量が減少する。 2. 脊柱は前弯する。 3. 血清カルシウムは低下する。 4. 骨皮質は厚くなる。	1
第4回	後半	問題7	8	骨折について正しい記述はどれか。 1. 粉碎骨折とは複雑骨折のことである。 2. 骨端部骨折では関節の機能障害を生じやすい。 3. 骨折部位を中心に約15cmの副子を当てる。 4. 骨に鋼線を刺入して牽引する方法を介連牽引法という	2
第4回	後半	問題8	8	小児神経症の症状で適切でないのはどれか。 1. 遺尿 2. 指しゃぶり 3. 昏睡 4. けいれん	3
第4回	後半	問題9	9	障害と対応との組合せで正しいのはどれか。 1. 能力低下 - - - - - 麻痺肢の筋力回復訓練 2. 能力低下 - - - - - 装具の処方 3. 機能形態障害 - - 家屋改造指導 4. 機能形態障害 - - ADL訓練	2
第4回	後半	問題10	9	歩行周期の遊脚相に含まれるのはどれか。 1. 踵接地 2. 足底接地 3. 加速期 4. 踏み切り	3
第4回	後半	問題11	9	異常歩行と原因との組合せで誤っているのはどれか。 1. 酩酊歩行 - - - - 小脳疾患 2. こきざみ歩行 - - パーキンソン病 3. アヒル歩行 - - - 筋ジストロフィー 4. 鶏歩 - - - - - 股関節脱臼	4
第4回	後半	問題12	9	運動療法について誤っているのはどれか。 1. フルストローム法 関節可動域訓練 2. デローム法 筋力増強訓練 3. フレンケル体操 協調性訓練 4. ボバース法 神経筋再教育	1
第4回	後半	問題13	9	失語症について誤っている記述はどれか。 1. 運動性失語は発生器官が正常でも起こる。 2. 大脳の劣位半球障害で起こる。 3. 言語訓練には家族の協力を求める。 4. 言語訓練の内容は失語症の種類により異なる。	2
第4回	後半	問題14	9	第6頸髄節まで機能残存の脊髄損傷患者が可能な動作で誤っているのはどれか。 1. 肩の外転 2. 肘の屈曲 3. 手関節の背屈 4. 手指の屈曲	4
第4回	後半	問題15	9	慢性関節リウマチで正しい記述はどれか。 1. 関節炎は大関節に起こりやすい。 2. 進行しても関節強直は起こさない。 3. 手指の尺側偏位を起こしやすい。 4. 内臓病変を伴わない。	3
第4回	後半	問題16	9	変形性膝関節症について誤っている記述はどれか。 1. 関節組織の退行変性による。 2. 肥満は進行を助長する。 3. 膝の外反変形を生じやすい。 4. 大腿四頭筋の萎縮が起こる。	3
第4回	後半	問題17	10	五行色体表について正しい記述はどれか。 1. 目は腎に属する。 2. 筋肉は脾に属する。 3. 爪は肺に属する。 4. 汗は肝に属する。	2
第4回	後半	問題18	10	五志に含まれない七情はどれか。 1. 怒 2. 喜 3. 悲 4. 恐	3
第4回	後半	問題19	10	嘗(采)氣を蔵するのはどれか。 1. 胆 2. 心 3. 脾 4. 肺	3

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第 4回	後半	問題 20	10	肝の臓の生理作用はどれか。 1. 納気を主る。 2. 運化を主る。 3. 神を蔵す。 4. 血を蔵す。	4
第 4回	後半	問題 21	10	任脈病証に含まれるのはどれか。 1. 月経異常 2. 頭痛 3. 手足の麻痺 4. 関節腫脹	1
第 4回	後半	問題 22	10	肝の病証に含まれるのはどれか。 1. 下痢 2. 動悸 3. 喘鳴 4. 頭痛	4
第 4回	後半	問題 23	10	次の文で示す患者の病証はどれか。顔に精気が感じられず、いつも腰がだるいという。小腹部は力がなくフワフワしている。最近、耳が聞こえにくくなった。」 1. 肝の病証 2. 心の病証 3. 脾の病証 4. 腎の病証	4
第 4回	後半	問題 24	10	湿邪について誤っている記述はどれか。 1. 陰性の邪気である。 2. 津液を消耗しやすい。 3. 重く停滞する。 4. 脾・胃をおかしやすい。	2
第 4回	後半	問題 25	10	舌診部位と臓腑との組合せで正しいのはどれか。 1. 舌根部 - - 心 2. 舌辺部 - - 肺 3. 舌中部 - - 脾 4. 舌尖部 - - 腎	3
第 4回	後半	問題 26	10	切経による実の反応はどれか。 1. 緊張 2. 陥下 3. 不仁 4. 冷感	1
第 4回	後半	問題 27	10	六部定位脈診で左手関上の部位を沈めて診る臓腑はどれか。 1. 肝 2. 腎 3. 胆 4. 胃	1
第 4回	後半	問題 28	10	五臓五刺の方法で肺の臓に対する刺法はどれか。 1. 関刺 2. 豹文刺 3. 合谷刺 4. 半刺	4
第 4回	後半	問題 29	10	難経六十九難で心が虚しているとき、補の治療で最も適切な経穴はどれか。 1. 少商 2. 少衝 3. 少沢 4. 少府	2
第 4回	後半	問題 30	10	次の文で示す刺法はどれか。右を病めば左を取り、左を病めば右を取る。」 1. 輪刺 2. 経刺 3. 分刺 4. 巨刺	4
第 4回	後半	問題 31	11	補瀉について誤っている記述はどれか。 1. 吸気に刺入し呼気に抜くと補法になる。 2. 一般的に太い鍼は瀉法になる。 3. 経絡の流れに沿って刺入すると補法になる。 4. 速く刺入し速く抜くと瀉法になる。	1
第 4回	後半	問題 32	11	奇経と経穴との組合せで正しいのはどれか。 1. 陽(キョウ 足喬)脈 - - 然谷 2. 陰(キョウ 足喬)脈 - - 築賓 3. 陽維脈 - - 金門 4. 陰維脈 - - 申脈	3
第 4回	後半	問題 33	11	骨度法で胸骨体下端から臍までの長さは何寸か。 1. 9寸 2. 8寸 3. 7寸 4. 6寸	2
第 4回	後半	問題 34	11	腧穴と募穴との組合せで誤っているのはどれか。 1. 小腸腧 - - 関元 2. 胃腧 - - 天枢 3. 心腧 - - 巨闕 4. 厥陰腧 - - (ダン 月婁)中	2
第 4回	後半	問題 35	11	五腧穴の主治で体重節痛を主る経穴はどれか。 1. 復溜 2. 経渠 3. 太白 4. 中封	3
第 4回	後半	問題 36	11	内眼角で接続している経絡はどれか。 1. 手の陽明大腸経と足の陽明胃経 2. 手の太陽小腸経と足の太陽膀胱経 3. 手の少陽三焦経と足の少陽胆経 4. 足の少陰腎経と手の厥陰心包経	2
第 4回	後半	問題 37	11	三叉神経第 2 枝領域にある経穴はどれか。 1. 印堂 2. 攒竹 3. 四白 4. 大迎	3

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第4回	後半	問題38	11	経穴と神経との組合せで誤っているのはどれか。 1.支正 - - 筋皮神経 2. 門 - - 正中神経 3.神門 - - 尺骨神経 4.合谷 - - 橈骨神経	1
第4回	後半	問題39	11	手の少陽三焦経の経穴はどれか。 1.承光 2.頭臨泣 3.顛息 4.懸顛	3
第4回	後半	問題40	11	取穴法で正しい記述はどれか。 1.支溝は手関節後面横紋中央の上方4寸に取る。 2.陽白は眉毛中央の上方1寸5分に取る。 3.京門は第1肋骨前端の下際に取る。 4.足臨泣は第4、第5中足骨底間の前の陥凹部に取る。	4
第4回	後半	問題41	11	取穴法で正しい記述はどれか。 1.命門は第3、第4腰椎棘突起間に取る。 2.腎兪は第1、第2腰椎棘突起間の外方1寸5分に取る。 3.関元は神闕の下2寸に取る。 4.復溜は太谿の上2寸でアキレス腱前縁に取る。	4
第4回	後半	問題42	11	同じ高さに並ぶ経穴はどれか。 1.身柱と風門 2.筋縮と脾兪 3.中(カン月完)と関門 4.石門と大巨	4
第4回	後半	問題43	11	四総穴に含まれるのはどれか。 1.列缺 2.経渠 3.太淵 4.孔最	1
第4回	後半	問題44	11	経穴現象で誤っているのはどれか。 1.皮膚温上昇 2.皮膚温低下 3.皮膚通電抵抗の上昇 4.皮膚通電抵抗の低下	3
第4回	後半	問題45	12	病態と治療部位との組合せで誤っているのはどれか。 1.神経痛 - - - - - フレー圧点 2.内臓痛 - - - - - ヘッド過敏帯 3.運動麻痺 - - - - - 電気運動点 4.末梢循環障害 - - 撮診点	4
第4回	後半	問題46	12	次の文で示す患者の病態から考えて、罹患神経に対する局所治療として適切な経穴はどれか。「38歳の女性。時々、頬部が電撃様に数分間痛み涙がでる。」 1.迎香 2.大迎 3.攒竹 4.陽白	1
第4回	後半	問題47	12	僧帽筋のこりに直接刺激を与える治療穴群はどれか。 1.完骨・缺盆・肩貞 2.翳風・天(ゴウ片戸甫)・髑髏 3.天鼎・肩(グウ骨馬)・髑髏 4.天(リョウ骨膠)・肩中兪・風門	4
第4回	後半	問題48	12	次の文で示す患者の治療目的で適切な記述はどれか。「45歳の女性。やせ型で低血圧。倦怠感、立ちくらみ、軟便および食欲不振があり、脈は細く弱い。腹部中央部が軟弱であり、脛骨内縁に沿って陥凹がみられる。」 1.小腸の気をたかめる。 2.大腸の気をたかめる。 3.脾の気をたかめる。 4.肝の気をたかめる。	3
第4回	後半	問題49	12	次の文で示す患者の治療で適切なデルマトーム領域はどれか。「35歳の男性。1年前から前腕外側から手にかけての痛みがある。スパーリングテスト陽性。母指と示指との触覚鈍麻があり、合谷、曲池および列缺に圧痛がみられる。」 1.C5 2.C6 3.C7 4.C8	2
第4回	後半	問題50	12	次の文で示す患者の治療対象とする病証で適切なのはどれか。「腰が重だるく、夜間頻尿を伴い、下肢が冷え、力が入らない。下腹部が軟らかく、尺中の脈は弱い。」 1.腎の病証 2.肺の病証 3.脾の病証 4.肝の病証	1
第4回	後半	問題51	12	下肢の末梢神経支配領域の痛みと局所治療穴との組合せで正しいのはどれか。 1.伏在神経 - - - - - 承扶 2.外側大腿皮神経 - - 豊隆 3.閉鎖神経 - - - - - 足三里 4.総腓骨神経 - - - - - 陽陵泉	4
第4回	後半	問題52	12	次の文で示す患者の刺鍼対象とする部位はどれか。「35歳の男性。肩関節前部の痛みを訴える。結節間溝部の圧痛。ヤーゴンテストは陽性。」 1.棘上筋腱 2.三角筋後部線維 3.上腕二頭筋長頭筋腱 4.大円筋	3
第4回	後半	問題53	12	次の文で示す患者に対する局所施術で適切でないのはどれか。「35歳の女性。左膝が痛み、熱感と腫脹がある。血液検査ではRAテスト陽性、CRP値は高い。」 1.膝関節の関節腔内刺鍼 2.膝関節周囲の皮膚鍼 3.膝関節周囲の筋・腱への刺鍼 4.膝関節周囲の糸状灸	1

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第4回	後半	問題54	12	次の文で示す運動麻痺の罹患神経に対する治療穴として適切なのはどれか。手背の骨間溝が著明で驚手がみられる。フローマン紙徴候が陽性。」 1.支正 2.門 3.偏歷 4.大陵	1
第4回	後半	問題55	12	次の文で示す患者に対する治療方針で瀉法を行う適切な経絡はどれか。「45歳の女性。咳がでて息苦しく、痰は少なぐ粘る。顔面紅潮、喉の乾きがある。脈は実。」 1.腎経 2.肺経 3.脾経 4.肝経	2
第4回	後半	問題56	12	次の文で示す患者の治療対象となる病証で適切なのはどれか。「52歳の女性。主訴は耳鳴り。顔面紅潮、口が苦い、怒りっぽい、便秘などの症状がある。肩の張ったようなこり、胸膈苦満がみられる。脈は弦で数。」 1.肝の病証 2.心の病証 3.脾の病証 4.肺の病証	1
第4回	後半	問題57	12	末梢顔面神経麻痺における麻痺筋と治療穴との組合せで誤っているのはどれか。 1.前頭筋 - - 陽白 2.頬筋 - - 睛明 3.口輪筋 - - 地倉 4.眼輪筋 - - 承泣	2
第4回	後半	問題58	12	次の文で示す患者の治療対象とする病証で適切なのはどれか。「50歳の男性。肥満しており筋肉は弛んでいる。無力感、息切れがあり、動くと汗が出る。寒がり、食欲不振および食後の腹部膨満感を訴える。脈は細く遅い。」 1.肝虚証 2.心虚証 3.脾虚証 4.肺虚証	3
第4回	後半	問題59	12	小児に対するちりげの灸で用いられる経穴はどれか。 1.百会 2.身柱 3.腎俞 4.三陰交	2
第4回	後半	問題60	12	次の文で示す患者に対する治療で誤っている記述はどれか。「18歳の男性。陸上選手。最近、走り込むとアキレス腱部に痛みが起る。熱感、腫脹はない。アキレス腱を伸展すると痛みが誘発される。」 1.練習を中止するよう指導する。 2.アキレス腱部の圧痛点に刺鍼する。 3.足関節を底屈位で固定する。 4.アキレス腱部を温める。	3
第4回	後半	問題61	13	次の文で示す刺法はどれか。「目的とする経穴を中心に弾入のみを繰り返す。」 1.示指打法 2.内調術 3.細指術 4.管散術	3
第4回	後半	問題62	13	前揉法について誤っている記述はどれか。 1.鍼の刺入を予告する。 2.皮膚や筋肉を弛緩させる。 3.刺激に慣れさせる。 4.血管を収縮させて出血を防ぐ。	4
第4回	後半	問題63	13	古代九鍼の鋒鍼と同じ目的の鍼はどれか。 1.皮内鍼 2.小児鍼 3.三稜鍼 4.円皮鍼	3
第4回	後半	問題64	13	刺鍼による交感神経機能抑制でみられる現象はどれか。 1.気管支筋弛緩 2.心拍数減少 3.腸蠕動減弱 4.副腎髄質機能の亢進	2
第4回	後半	問題65	13	痛みの識別に関係する伝導路はどれか。 1.脊髄小脳路 2.脊髄網様体路 3.脊髄視床路 4.後索路	3
第4回	後半	問題66	13	鍼麻酔の鎮痛機構に關与する主な部位はどれか。 1.赤核 2.中脳水道周囲灰白質 3.尾状核 4.齒状核	2
第4回	後半	問題67	13	ポリモーダル受容器の性質として正しい記述はどれか。 1.伝導速度はA帯域である。 2.機械的、化学的および熱刺激に反応する。 3.非侵害性の受容器である。 4.筋の張力も感受する。	2
第4回	後半	問題68	13	圧発汗反射の圧迫側の反応で正しいのはどれか。 1.発汗の減少 2.皮膚温の上昇 3.痛覚閾値の低下 4.鼻粘膜毛細血管の収縮	1
第4回	後半	問題69	13	体性 - 内臓反射における遠心路を構成する神経線維はどれか。 1.AとB 2.AとC 3.BとC 4.BとC	4
第4回	後半	問題70	13	ストレス学説で交絡感作期ともいわれるのはどれか。 1.警告反応期のショック相 2.警告反応期の抗ショック相 3.抵抗期 4.疲憊期	3

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第 4回	後半	問題 71	14	<p>施灸後に水疱を残す程度の火傷はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第 1度 2. 第 2度 3. 第 3度 4. 第 4度 	2
第 4回	後半	問題 72	14	<p>灸療法に用いる線香の材料はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クリ 2. マツ 3. ヒノキ 4. タブ 	4
第 4回	後半	問題 73	14	<p>灸頭鍼について誤っている記述はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 温熱刺激と機械刺激とが加わる。 2. 温熱刺激は主として輻射による。 3. 温熱刺激は主として鍼体を伝導する。 4. 艾 (シュ 火主) は指頭大のものをを用いる。 	3
第 4回	後半	問題 74	14	<p>艾の燃焼時の芳香物質はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 葉緑素 2. 毛 茸 3. アルコール 4. チネオール 	4
第 4回	後半	問題 75	14	<p>温灸に反応する受容器はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自由神経終末 2. パチニ小体 3. マイスナー小体 4. ルフィニ終末 	1
第 4回	後半	問題 76	14	<p>施灸による火傷の反応として適切でないのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 血管拡張物質の遊離 2. 内因性発痛物質の産生 3. 侵害受容器の興奮性の減弱 4. 幼若白血球の増加 	3
第 4回	後半	問題 77	14	<p>半米粒大の艾 (シュ 火主) を用いる灸法はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 打膿灸 2. 透熱灸 3. 隔物灸 4. 温 灸 	2
第 4回	後半	問題 78	14	<p>学説と創始者との組合せで正しいのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. サイバネティックスの学説 - - セリエ 2. ホメオスターシスの学説 - - - キヤノン 3. ストレス学説 - - - - - - - ベルナール 4. 過剰刺激症候群の学説 - - - - ウイナー 	2
第 4回	後半	問題 79	14	<p>棒灸による温熱刺激の伝導速度はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 1~ 15m / sec 2. 20~ 40m / sec 3. 50~ 80m / sec 4. 90~ 100m / sec 	1
第 4回	後半	問題 80	14	<p>透熱灸の感覚を伝える神経線維はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. A とB 2. A とC 3. A とC 4. BとC 	3
第 5回	前半	問題 1	1	<p>インフォームド・コンセントについて直接関係ないのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 十分な説明 2. 理解と納得 3. 情報の提供 4. プライバシーの保護 	4
第 5回	前半	問題 2	1	<p>公費負担によらない医療はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 養育医療 2. 特定疾患治療 3. 労災保険医療 4. 原子爆弾被爆者医療 	3
第 5回	前半	問題 3	2	<p>VD作業による症状で適切でないのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 手 指 腕のだるさ 2. 目の疲れ 3. 集中力低下 4. 騒音性難聴 	4
第 5回	前半	問題 4	2	<p>上水道の消毒方法はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 塩 素 2. トリハロメタン 3. 煮 沸 4. 過酸化水素水 	1
第 5回	前半	問題 5	2	<p>環境基本法で典型 7公害に含まれないのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大気汚染 2. 水質汚濁 3. 悪 臭 4. 放射能汚染 	4
第 5回	前半	問題 6	2	<p>我が国の衛生統計で正しいのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平均寿命は男女とも世界第 1位である。 2. 有病者数の第 1位は糖尿病である。 3. 人口は男性の方が多い。 4. 出生数は女児の方が多い。 	1
第 5回	前半	問題 7	2	<p>血液を介して感染する疾患はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. インフルエンザ 2. C型肝炎 3. 赤 痢 4. 結 核 	2
第 5回	前半	問題 8	2	<p>光化学オキシダントの原因物質はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 二酸化硫黄 2. 二酸化炭素 3. 二酸化窒素 4. オゾン 	3

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第 5回	前半	問題 9	2	精神障害者の入院について本人の同意により行われるのはどれか。 1.措置入院 2.医療保護入院 3.応急入院 4.任意入院	4
第 5回	前半	問題 10	2	我が国の死亡原因で最も多いのはどれか。 1.感染症 2.成人病 3.外因死 4.妊産婦および乳児の疾患	2
第 5回	前半	問題 11	3	あん摩マツサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法令で規定する欠格事由はどれか。 1.20歳に満たない者 2.外国国籍を有する者 3.無免許施術を行った者 4.身体障害者	3
第 5回	前半	問題 12	3	食中毒の届出を規定する法律はどれか。 1.食品衛生法 2.地域保健法 3.栄養改善法 4.伝染病予防法	1
第 5回	前半	問題 13	3	老人保健法の保健事業でないのはどれか。 1.基本健康診査 2.がん検診 3.機能訓練 4.ヘルパー派遣	2
第 5回	前半	問題 14	3	施術業務が開始できるのはいつか。 1.試験に合格したとき 2.合格証を受領したとき 3.免許証交付の申請を行ったとき 4.名簿に登録されたとき	4
第 5回	前半	問題 15	4	胎児の臍静脈は生後どれに変化するか。 1.索状の結合組織 2.肝静脈 3.脂肪組織 4.単径靭帯の一部	1
第 5回	前半	問題 16	4	最も大きい椎体をもつ椎骨はどれか。 1.第 3頸椎 2.第 7頸椎 3.第 12胸椎 4.第 5腰椎	4
第 5回	前半	問題 17	4	筋とその作用との組合せで正しいのはどれか。 1.烏口腕筋 - - 前腕の屈曲 2.長掌筋 - - - 手の背屈 3.膝窩筋 - - - 下腿の内旋 4.長腓骨筋 - - 足の内反	3
第 5回	前半	問題 18	4	腓骨に停止する筋はどれか。 1.縫工筋 2.大腿二頭筋 3.薄筋 4.半腱様筋	2
第 5回	前半	問題 19	4	肩関節の外旋筋はどれか。 1.大胸筋 2.広背筋 3.大円筋 4.小円筋	4
第 5回	前半	問題 20	4	下鼻道に開口するのはどれか。 1.上顎洞 2.篩骨洞 3.鼻涙管 4.耳管	3
第 5回	前半	問題 21	4	導管が口腔前庭に開口するのはどれか。 1.耳下腺 2.舌下腺 3.舌腺 4.顎下腺	1
第 5回	前半	問題 22	4	咽頭について誤っている記述はどれか。 1.咽頭筋は平滑筋からなる。 2.咽頭扁桃は咽頭上部にある。 3.後鼻孔で鼻腔とつながる。 4.脊柱の直前に位置する。	1
第 5回	前半	問題 23	4	尿道について誤っている記述はどれか。 1.男性尿道は前立腺を貫く。 2.尿道括約筋は横紋筋である。 3.男の外尿道口は陰茎亀頭にある。 4.女性尿道は膣の後壁に接する。	4
第 5回	前半	問題 24	4	生殖器について誤っている記述はどれか。 1.精巣は陰嚢中に位置する。 2.卵巣は骨盤腔に位置する。 3.精索は精嚢を支持する。 4.子宮円索は子宮を支持する。	3
第 5回	前半	問題 25	4	内分泌腺について誤っている記述はどれか。 1.下垂体前葉は神経組織で構成される。 2.甲状腺は多数の濾胞で構成される。 3.副腎は皮質と髄質とに分けられる。 4.ランゲルハンス島は膵臓内に分布する。	1
第 5回	前半	問題 26	4	鎖骨下動脈で栄養されない器官はどれか。 1.脳 2.甲状腺 3.僧帽筋 4.心臓	4

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第 5 回	前半	問題 27	4	リンパ系について正しい記述はどれか。 1. 舌扁桃は舌尖にある。 2. 輸入リンパ管はリンパ節の門を通る。 3. 脾洞は血液で満たされる。 4. 胸腺は思春期以後発達する。	3
第 5 回	前半	問題 28	4	髄鞘を形成する細胞はどれか。 1. 星状膠細胞 2. プレキンエ細胞 3. シュワン細胞 4. 線維芽細胞	3
第 5 回	前半	問題 29	4	室間孔はどこにあるか。 1. 側脳室と第 3 脳室との間 2. 第 3 脳室と中脳水道との間 3. 中脳水道と第 4 脳室との間 4. 第 3 脳室と第 4 脳室との間	1
第 5 回	前半	問題 30	4	浅指屈筋を支配する神経はどれか。 1. 尺骨神経 2. 正中神経 3. 橈骨神経 4. 筋皮神経	2
第 5 回	前半	問題 31	4	コルチ器があるのはどの部位か。 1. 半規管 2. 卵形嚢 3. 球形嚢 4. 蝸牛管	4
第 5 回	前半	問題 32	4	後頸三角を通らないのはどれか。 1. 副神経 2. 頸横動脈 3. 腕神経叢 4. 椎骨動脈	4
第 5 回	前半	問題 33	4	縦隔内に存在しない器官はどれか。 1. 食道 2. 肺 3. 心臓 4. 胸大動脈	2
第 5 回	前半	問題 34	5	リンパ系の機能について正しい記述はどれか。 1. 血液凝固に関与する。 2. 間質液中の異物を除く。 3. 赤血球の産生を促す。 4. 好中球を破壊する。	2
第 5 回	前半	問題 35	5	凝集素をもたない血液型はどれか。 1. A型 2. B型 3. AB型 4. O型	3
第 5 回	前半	問題 36	5	心電図のQRS波が表す過程はどれか。 1. 心房の興奮 2. 心房の興奮消退 3. 心室の興奮 4. 心室の興奮消退	3
第 5 回	前半	問題 37	5	心臓迷走神経について誤っている記述はどれか。 1. 延髄に起始する。 2. 洞房結節に分布する。 3. 活動が高まると徐脈となる。 4. 房室弁の開閉を調節する。	4
第 5 回	前半	問題 38	5	呼吸調節におけるヘーリング・ブロイエル反射について正しい記述はどれか。 1. 受容器は圧受容器である。 2. 求心路は交感神経である。 3. 反射中枢は視床にある。 4. 吸息中枢が抑制される。	4
第 5 回	前半	問題 39	5	特異動的作用による産熱が起こるのはいつか。 1. 睡眠時 2. 早朝空腹時 3. 運動時 4. 食物摂取時	4
第 5 回	前半	問題 40	5	発熱について正しい記述はどれか。 1. 体温が 39 になると蛋白質が変性する。 2. 発熱物質の作用により産熱が高まる。 3. 深部体温は変化しない。 4. 中脳に関与する。	2
第 5 回	前半	問題 41	5	射乳反射を起こすホルモンはどれか。 1. オキシトシン 2. エストロゲン 3. グルカゴン 4. プロゲステロン	1
第 5 回	前半	問題 42	5	糖質コルチコイドの作用で正しい記述はどれか。 1. 血糖値を低下させる。 2. アレルギー症状を抑制する。 3. 胃酸分泌を抑制する。 4. ストレスに対する抵抗を弱める。	2
第 5 回	前半	問題 43	5	出生後数年間で成人の重量水準に達する器官はどれか。 1. 脳 2. 心臓 3. 肝臓 4. 腎臓	1
第 5 回	前半	問題 44	5	ナトリウムポンプで正しいのはどれか。 1. 拡散による輸送 2. 圧勾配による輸送 3. 濃度勾配による輸送 4. 能動的輸送	4

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第 5回	前半	問題 45	5	心筋の特徴として正しい記述はどれか。 1.骨格筋より不応期が長い。 2.強縮する。 3.体性神経により支配されている。 4.絶縁伝導する。	1
第 5回	前半	問題 46	5	運動ニューロンの特徴として正しい記述はどれか。 1.大脳皮質運動野に存在する。 2.自律神経である。 3.筋紡錘の感度を調節する。 4.錘外筋を支配している。	3
第 5回	前半	問題 47	5	随意運動の伝導路はどれか。 1.皮質脊髓路 2.後索路 3.脊髓視床路 4.網様体脊髓路	1
第 5回	前半	問題 48	5	脳脊髄液について誤っている記述はどれか。 1.脳室を満たしている。 2.クモ膜下腔を循環する。 3.脈絡叢で吸収される。 4.外的衝撃から脳 脊髄を保護する。	3
第 5回	前半	問題 49	5	痛覚に関与しないのはどれか。 1.自由神経終末 2.C線維 3.後索路 4.視床	3
第 5回	前半	問題 50	6	リケッチアが原因で起こる疾患はどれか。 1.マラリア 2.エイズ 3.ワイル病 4.ツツガムシ病	4
第 5回	前半	問題 51	6	貧血とその原因との組合せで誤っているのはどれか。 1.悪性貧血 - - - - ビタミンC欠乏 2.鉄欠乏性貧血 - - - 月経過多症 3.再生不良性貧血 - - 原爆症 4.溶血性貧血 - - - - Rh血液型不適合	1
第 5回	前半	問題 52	6	動脈粥状硬化症の誘因として適切でないのはどれか。 1.高脂血症 2.多血症 3.糖尿病 4.高血圧症	2
第 5回	前半	問題 53	6	マクロファージの役割で正しいのはどれか。 1.自己・非自己の認識 2.抗原情報の提示 3.免疫グロブリンの産生 4.リンホカインの放出	2
第 5回	前半	問題 54	6	生理的再生を示す組織はどれか。 1.結合組織 2.神経膠組織 3.腸粘膜上皮 4.毛細血管	3
第 5回	前半	問題 55	6	腫瘍とその好発部位との組合せで正しいのはどれか。 1.嚢胞腺腫 - - - 卵巣 2.乳頭腫 - - - 肝臓 3.扁平上皮癌 - - 大腸 4.腺癌 - - - - 膀胱	1
第 5回	前半	問題 56	6	上皮内癌が発生する部位はどれか。 1.胃 2.結腸 3.胆嚢 4.子宮腔部	4
第 5回	前半	問題 57	7	過換気症候群の誘因で正しいのはどれか。 1.気管支喘息 2.うつ血性心不全 3.精神的興奮 4.過食	3
第 5回	前半	問題 58	7	白血球が増えない疾患はどれか。 1.急性腎盂腎炎 2.急性虫垂炎 3.急性白血病 4.インフルエンザ	4
第 5回	前半	問題 59	7	低蛋白血症を特徴とする疾患はどれか。 1.クインケ浮腫 2.うつ血性心不全 3.ネフローゼ症候群 4.慢性糸球体腎炎	3
第 5回	前半	問題 60	7	反射と徴候との組合せで適切でないのはどれか。 1.バビンスキー反射 - - 痙性歩行 2.頸動脈洞反射 - - - - 徐脈 3.輻奏反射 - - - - - 散瞳 4.対光反射 - - - - - 縮瞳	3
第 5回	前半	問題 61	7	頸肩腕痛の原因とならない疾患はどれか。 1.胸郭出口症候群 2.後縦靭帯骨化症 3.頸椎椎間板ヘルニア 4.手根管症候群	4
第 5回	前半	問題 62	7	スポーツ障害と障害部位との組合せで適切でないのはどれか。 1.野球肘 - - - - - 上腕骨内側上顆骨端線 2.野球肩 - - - - - 肩鎖関節 3.ジャンパー膝 - - 膝蓋靭帯 4.疲労骨折 - - - - 脛骨骨幹部	2

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答例1
第5回	前半	問題63	7	創傷治癒を促進するのはどれか。 1.安静 2.感染 3.異物 4.低蛋白血症	1
第5回	前半	問題64	7	運動神経をブロックする目的で利用されるのはどれか。 1.大後頭神経ブロック 2.顔面神経ブロック 3.三叉神経ブロック 4.肋間神経ブロック	2
第5回	前半	問題65	7	機械的止血法でないのはどれか。 1.圧迫 2.結紮 3.縫合 4.電気凝固	4
第5回	前半	問題66	7	神経症はどれか。 1.心気症 2.狭心症 3.過換気症候群 4.十二指腸潰瘍	1
第5回	前半	問題67	7	錐体路障害の症状で適切なのはどれか。 1.病的反射の出現 2.ロンベルグ徴候 3.線維束性攣縮 4.深部反射の減弱	1
第5回	前半	問題68	7	深部反射とその中枢との組合せで誤っているのはどれか。 1.上腕二頭筋反射 - - C5~C6 2.上腕三頭筋反射 - - Th1~Th2 3.膝蓋腱反射 - - - - L2~L4 4.アキレス腱反射 - - S1~S2	2
第5回	前半	問題69	8	肺癌と関係ないのはどれか。 1.ギラン・バレー症候群 2.ホルネル症候群 3.上大静脈症候群 4.嘔声	1
第5回	前半	問題70	8	心筋梗塞について正しいのはどれか。 1.血清GPT上昇 2.ニトログリセリンが有効 3.白血球減少 4.心電図異常Q波	4
第5回	前半	問題71	8	急性糸球体腎炎の症状で正しいのはどれか。 1.多尿 2.細菌尿 3.血尿 4.糖尿	3
第5回	前半	問題72	8	急性白血病の症状で誤っているのはどれか。 1.貧血 2.出血傾向 3.白血球増多 4.血小板増多	4
第5回	前半	問題73	8	腎疾患で高血圧を特徴としないのはどれか。 1.ネフローゼ症候群 2.慢性糸球体腎炎 3.急性糸球体腎炎 4.腎硬化症	1
第5回	前半	問題74	8	全身性エリテマトーデスの症状で適切でないのはどれか。 1.蝶形紅斑 2.関節痛 3.ホルネル徴候 4.レイノー現象	3
第5回	前半	問題75	8	メニエール病について適切でないのはどれか。 1.内リンパ水腫 2.聴力正常 3.めまい発作 4.耳鳴り	2
第5回	前半	問題76	8	アレルギー性結膜炎の症状で適切でないのはどれか。 1.眼瞼浮腫 2.視力低下 3.掻痒感 4.流涙	2
第5回	前半	問題77	8	脊髄損傷の合併症とその処置との組合せで誤っているのはどれか。 1.呼吸麻痺 - - 酸素マスク 2.過高熱 - - - 副腎皮質ステロイド薬 3.褥瘡 - - - 体位変換 4.尿閉 - - - 導尿	1
第5回	前半	問題78	8	第4・5腰椎間椎間板ヘルニアの症状で正しいのはどれか。 1.膝蓋腱反射消失 2.ラセーグ徴候陽性 3.アキレス腱反射消失 4.母指底屈力低下	2
第5回	前半	問題79	8	骨疾患で血液検査が正常なのはどれか。 1.脊椎カリエス 2.脊椎側弯症 3.上皮小体機能亢進症 4.多発性骨髄腫	2

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第 5回	前半	問題 80	8	ペインクリニックの対象となる疾患はどれか。 1.胆石症 2.狭心症 3.レイノー病 4.大動脈瘤	3
第 5回	後半	問題 1	8	一次救命処置で誤っているのはどれか。 1.気道の確保 2.人工呼吸 3.心マッサージ 4.損傷部の安静固定	4
第 5回	後半	問題 2	8	心身症として適切でない疾患はどれか。 1.本態性高血圧症 2.気管支喘息 3.うつ病 4.アトピー性皮膚炎	3
第 5回	後半	問題 3	8	肥満をきたす内分泌疾患はどれか。 1.パセドウ病 2.クッシング症候群 3.アジソン病 4.シーハン症候群	2
第 5回	後半	問題 4	8	左大脳半球の脳卒中の症状で誤っているのはどれか。 1.対麻痺 2.共同偏視 3.失語 4.半身感覚障害	1
第 5回	後半	問題 5	8	疾患と検査所見との組合せで誤っているのはどれか。 1.痛風 - - - - - 血清尿酸値上昇 2.動脈硬化症 - - - - - 総コレステロール値上昇 3.全身性エリテマトーデス - - 抗核抗体陽性 4.慢性関節リウマチ - - - - - LE細胞現象陽性	4
第 5回	後半	問題 6	8	内分泌疾患とその症状との組合せで誤っているのはどれか。 1.糖尿病 - - - - 多尿 2.褐色細胞腫 - - 高血圧 3.パセドウ病 - - 眼球陥凹 4.先端巨大症 - - 舌の肥大	3
第 5回	後半	問題 7	8	痲呆が認められない疾患はどれか。 1.アルツハイマー病 2.脳血管障害 3.正常圧水頭症 4.神経症	4
第 5回	後半	問題 8	8	筋萎縮性側索硬化症の症状で誤っているのはどれか。 1.深部反射の減弱 2.線維束性攣縮 3.嚥下障害 4.バビンスキー反射陽性	1
第 5回	後半	問題 9	9	障害とそのアプローチとの組合せで誤っているのはどれか。 1.機能障害 - - - 合併症の予防 2.機能障害 - - - 装具による歩行訓練 3.能力低下 - - - 利き手交換訓練 4.社会的不利 - - 家屋改造	2
第 5回	後半	問題 10	9	筋収縮について正しい記述はどれか。 1.等張性収縮は等尺性収縮より筋持久力の増大効果がある。 2.等張性収縮は等尺性収縮より循環器系へ負担がかかる。 3.等張性収縮はギブス固定中の関節の運動に適している。 4.等尺性収縮は遠心性収縮と求心性収縮とに分けられる。	1
第 5回	後半	問題 11	9	脳卒中患者の動作について正しい記述はどれか。 1.衣服を脱ぐときは健側から行う。 2.ベッドから起きるときは患側を下にして行う。 3.ベッドからの移乗では車椅子を患側に置く。 4.階段は健側から降りる。	1
第 5回	後半	問題 12	9	正しい立位のととき重心線が通る身体部位で誤っているのはどれか。 1.肩 峰 2.大 転子 3.膝関節後面 4.外 果	3
第 5回	後半	問題 13	9	トレンデレンブルグ歩行の原因となる筋はどれか。 1.中殿筋 2.大殿筋 3.大腿四頭筋 4.前脛骨筋	1
第 5回	後半	問題 14	9	慢性閉塞性肺疾患の理学療法で誤っているのはどれか。 1.リラクゼーション 2.胸式呼吸 3.体位排痰 4.歩行訓練	2
第 5回	後半	問題 15	9	脳卒中患者の合併症はどれか。 1.けいれん 2.視床痛 3.肩手症候群 4.失語症	3
第 5回	後半	問題 16	9	末梢神経損傷で誤っている記述はどれか。 1.神経伝導速度検査で異常を示す。 2.支配領域の発汗障害をきたす。 3.損傷軸索の再生時にチネル徴候がみられる。 4.ニューラプラキシアは神経の完全切断である。	4
第 5回	後半	問題 17	10	五行の相剋で正しい記述はどれか。 1.金は水を剋す。 2.木は火を剋す。 3.土は金を剋す。 4.火は金を剋す。	4

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第 5回	後半	問題 18	10	五行色体の関係で正しい組合せはどれか。 1.木 - - 汗 2.火 - - 涙 3.土 - - 涎 4.金 - - 唾	3
第 5回	後半	問題 19	10	脾胃の運化作用で生成される気はどれか。 1.真気 2.宗気 3.水穀の気 4.衛気	3
第 5回	後半	問題 20	10	五行色体でみた肺・大腸の症状はどれか。 1.皮膚が色白で、弱い声で話す。 2.目が青みがかって、手足の腿が痛む。 3.顔がほてりのぼせて赤く、脈動が強い。 4.顔や皮膚が黄ばみ、唇が荒れやすい。	1
第 5回	後半	問題 21	10	脾虚の症状はどれか。 1.咳嗽 2.内臓下垂 3.筋けいれん 4.健忘	2
第 5回	後半	問題 22	10	心を傷める七情はどれか。 1.悲しみ 2.怒り 3.憂い 4.喜び	4
第 5回	後半	問題 23	10	五恵(五気)と五腑との組合せで正しいのはどれか。 1.暑 - - 小腸 2.寒 - - 胃 3.風 - - 大腸 4.燥 - - 膀胱	1,4
第 5回	後半	問題 24	10	左乳下で触れる脈はどれか。 1.胃の気の脈 2.虚里の脈 3.虎口三関の脈 4.腎間の動悸	2
第 5回	後半	問題 25	10	胸脇苦満を示すのはどの臓の病か。 1.肝 2.脾 3.肺 4.腎	1
第 5回	後半	問題 26	10	六部定位脈診の部位と臓腑との組合せで正しいのはどれか。 1.右の関上 - - 肝 胆 2.左の尺中 - - 腎 膀胱 3.右の寸口 - - 心 小腸 4.左の寸口 - - 肺 大腸	2
第 5回	後半	問題 27	10	問診で診るのはどれか。 1.脈状 2.体臭 3.悪寒 4.体形	3
第 5回	後半	問題 28	10	寒気の浅きものに対する刺法はどれか。 1.恢刺 2.直鍼刺 3.賛刺 4.斉刺	2
第 5回	後半	問題 29	10	難經六十九難の治療で大敦穴に瀉法を行った。実していた経絡はどれか。 1.肺経 2.心経 3.脾経 4.腎経	4
第 5回	後半	問題 30	10	施灸で補法になるのはどれか。 1.風を送って燃やす。 2.底面を広くする。 3.灰に重ねてすえる。 4.皮膚に密着させる。	3
第 5回	後半	問題 31	11	鍼治療の補瀉で誤っている記述はどれか。 1.呼気に刺入し吸気に抜くのは補である。 2.弾爪は補である。 3.鍼孔を押さえるのは補である。 4.経絡の流れに逆らって刺すのは補である。	4
第 5回	後半	問題 32	11	原穴でないのはどれか。 1.神門 2.太白 3.合谷 4.公孫	4
第 5回	後半	問題 33	11	絡穴はどれか。 1.地機 2.光明 3.中都 4.梁丘	2
第 5回	後半	問題 34	11	薬指末端から始まる経絡はどれか。 1.手の厥陰心包経 2.手の少陰心経 3.手の少陽三焦経 4.手の太陽小腸経	3
第 5回	後半	問題 35	11	兪穴と募穴との組合せで正しいのはどれか。 1.肺兪 - - 期門 2.肝兪 - - 石門 3.胆兪 - - 京門 4.脾兪 - - 章門	4

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第5回	後半	問題36	11	帯脈に属さない経穴はどれか。 1. 期門 2. 章門 3. 五枢 4. 維道	1
第5回	後半	問題37	11	太淵穴について正しいのはどれか。 1. 穴 2. 肘会 3. 荣穴 4. 土穴	4
第5回	後半	問題38	11	上顎神経の支配領域にない経穴はどれか。 1. 下関 2. 巨(リョウ 骨膠) 3. 四白 4. 承泣	1
第5回	後半	問題39	11	膝を深く屈曲し膝窩横紋の内端に取る経穴はどれか。 1. 陰陵泉 2. 曲泉 3. 膝関 4. 委中	2
第5回	後半	問題40	11	五行穴のうち喘咳寒熱を主るのはどれか。 1. 井穴 2. 荣穴 3. 経穴 4. 合穴	3
第5回	後半	問題41	11	動脈と経穴との組合せで正しいのはどれか。 1. 前脛骨動脈 - - 太谿 2. 後脛骨動脈 - - 太衝 3. 大腿動脈 - - 衝門 4. 腓骨動脈 - - 委中	3
第5回	後半	問題42	11	経穴の部位で正しい記述はどれか。 1. 承光は曲差の後2寸にある。 2. 玉枕は(ア)病室門の外方1寸3分にある。 3. 神庭は前髪際を入ること1寸、正中線上にある。 4. 頭竅陰は角孫の上1寸5分にある。	1
第5回	後半	問題43	11	経穴の部位で正しい記述はどれか。 1. 陰は前腕前尺側にあり神門の上5分、尺側手根屈筋腱の横紋にある。 2. 門は陽谷の上1寸で、尺骨茎状突起と尺骨頭との間の陥凹部にある。 3. 会宗は大陵から曲沢に向かい上5寸にある。 4. 養老は支溝の尺側1寸で、小指伸筋と尺側手根伸筋との間にある。	1
第5回	後半	問題44	11	正しい組合せはどれか。 1. 良導点 - - 藤井秀二 2. 皮電点 - - マッケンジー 3. 圧診点 - - 中谷義雄 4. 圧反射 - - 高木健太郎	4
第5回	後半	問題45	12	下部頸椎棘突起直側に刺鍼することで最も治療効果が期待できる症状はどれか。 1. 腕を背中にまわすと肩関節が痛む。 2. つり草につかまっていると指先がしびれる。 3. 空を見上げると腕が痛む。 4. 腕枕をして眠った後、手関節が伸びない。	3
第5回	後半	問題46	12	次の文で示す患者の病証に対する治療で適切なのはどれか。「29歳の女性。出産後より肩こりが起こった。目のかすみがあり、爪は白っぽい。脈状は細。」 1. 肝の血を補う 2. 風寒の邪を除く 3. 肝の陽気の高ぶりを抑える。 4. 気の滞りを解消する。	1
第5回	後半	問題47	12	次の文で示す患者の病証に対する刺鍼部位はどれか。「35歳の男性。肩関節外側部の痛みを訴える。上腕骨上端の圧痛、ペインフルアークサイン陽性。」 1. 肩甲骨棘下窩中央 2. 腱板部 3. 結節間溝部 4. 鎖骨上窩部	2
第5回	後半	問題48	12	次の文で示す症状に対する治療穴で適切なのはどれか。「母指、示指、中指の掌面にしびれがあり、手の回内がしにくい。」 1. 門 2. 曲池 3. 天井 4. 神門	1
第5回	後半	問題49	12	次の文で示す症状に対し、神経刺激を目的とした適切な治療穴はどれか。「腕骨手根関節および中手指節関節の伸展が困難である。」 1. 臑兪 2. 消(シキ 水染) 3. 肩(リョウ 骨膠) 4. 侠白	2
第5回	後半	問題50	12	次の文で示す患者への低周波鍼通電療法で適切なデルマトームはどれか。「40歳の男性。1か月前から腰痛および下腿前外側から足背にかけての痛みとしびれ感とがある。プラガード候陽性。」 1. L1 2. L3 3. L5 4. S2	3
第5回	後半	問題51	12	下肢の神経と絞扼部位への刺鍼点との組合せで正しいのはどれか。 1. 外側大腿皮神経 - - 上前脛骨棘内側下部 2. 坐骨神経 - - - - 第2後仙骨孔 3. 総腓骨神経 - - - - 大腿後側中央部 4. 伏在神経 - - - - 大腿外側中央部	1
第5回	後半	問題52	12	膝に痛みを起す疾患と患部の治療穴との組合せで最も適切なのはどれか。 1. 変形性膝関節症 - - 三陰交 2. ジャンパー膝 - - 犢鼻 3. 内側半月板損傷 - - 風市 4. オスグット病 - - 委中	2

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第5回	後半	問題53	12	古来より「逆子」の灸治療でよく用いられている治療穴はどれか。 1.合谷 2.三焦俞 3.梁丘 4.至陰	4
第5回	後半	問題54	12	次の文で示す患者の治療として適切でないのはどれか。「18歳の女子高校生。便秘と下痢が交互に起こり、便秘の時の便は塊状で硬い。定期試験が近づくと症状が悪化する。」 1.臍に塩灸をする。 2.天枢に浅刺する。 3.大腸俞に置鍼する。 4.小野寺殿部圧診点に知熱灸をする。	4
第5回	後半	問題55	12	急性胃炎の患者に対し脊髄分節を考慮して刺鍼する場合、適切でない経穴はどれか。 1.鳩尾 2.梁門 3.中(カン月完) 4.腹結	4
第5回	後半	問題56	12	次の文で示す患者の治療対象となる適切な病証はどれか。「寝つきが悪く、すぐに目がさめてなかなか寝つかれない。食後の腹部膨満感、軟便などがある。脈状は緩脈。」 1.腎虚 2.肺虚 3.脾虚 4.肝虚	3
第5回	後半	問題57	12	次の文で示す患者の病証に対する適切な治療方針はどれか。「67歳の男性。頻尿と残尿感がある。腰の重だるさ、足の冷えを伴う。下腹部に抵抗がなく、尺中の脈は弱い。」 1.肝陰を補う 2.心陽を補う 3.胃陰を補う 4.腎陽を補う	4
第5回	後半	問題58	12	円形脱毛症に対する鍼灸治療で適切でないのはどれか。 1.脱毛部への梅花鍼 2.脱毛部周囲への散鍼 3.脱毛部周囲への知熱灸 4.脱毛部への焦灼灸	4
第5回	後半	問題59	12	次の文で示す患者の治療対象となる筋はどれか。「30歳の男性。野球選手。ボールを投げるとき肩関節外転外旋の肢位で痛みが起きる。ヤーガソテスト陽性。」 1.上腕三頭筋長頭 2.上腕三頭筋内側頭 3.上腕二頭筋長頭 4.上腕二頭筋短頭	3
第5回	後半	問題60	12	次の文で示す患者の治療対象となる適切な病証はどれか。「72歳の女性。主訴は健忘。動悸があり、夢をよく見る。食欲不振、軟便などがあり、性格的には思い悩む傾向が強い。」 1.心と脾の病証 2.肝と脾の病証 3.心と腎の病証 4.肝と腎の病証	1
第5回	後半	問題61	13	押手の圧で母指と示指が鍼体をつまむ圧はどれか。 1.水平圧 2.垂直圧 3.固定圧 4.持続圧	1
第5回	後半	問題62	13	次の文で示す刺法はどれか。「刺入時および抜鍼時に鍼を半回転ずつ交互に回しながら行う。」 1.回旋術 2.旋撚術 3.屋漏術 4.間歇術	2
第5回	後半	問題63	13	渋鍼の対処法で不拔鍼に行う刺法はどれか。 1.乱鍼術 2.示指打法 3.鍼尖転移法 4.刺鍼転向法	2
第5回	後半	問題64	13	古代九鍼で皮膚切開などに用いられたのはどれか。 1.(ヒ金是)鍼 2.円鍼 3.毫鍼 4.(ヒ金皮)鍼	4
第5回	後半	問題65	13	低周波鍼通電療法について誤っている記述はどれか。 1.自律神経機能を調整する。 2.異常知覚を改善する。 3.脳脊髄圧を上昇させる。 4.痛みを抑制する。	3
第5回	後半	問題66	13	鍼刺激による胃の蠕動の調整に関与する神経節はどれか。 1.星状神経節 2.腹腔神経節 3.上腸間膜動脈神経節 4.骨盤神経節	2
第5回	後半	問題67	13	刺鍼時における心電図の変化で正しいのはどれか。 1.R-R間隔の延長 2.PQ間隔の短縮 3.R波の抑制 4.陰性T波の出現	1
第5回	後半	問題68	13	鎮痛に関する内因性オピオイドはどれか。 1.ノルアドレナリン 2.ヒスタミン 3.エンケファリン 4.プロスタグランジン	3
第5回	後半	問題69	13	内因性疼痛物質でないのはどれか。 1.ブラジキニン 2.サブスタンスP 3.セロトニン 4.ドパミン	4

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第 5回	後半	問題 70	13	正しい組合せはどれか。 1. サイバネティクス - - フィードバック 2. ゲートコントロール - - 筋性防御 3. ホメオスタシス - - - 条件反射 4. レイリー現象 - - - - 交絡感作	1
第 5回	後半	問題 71	14	誤っている記述はどれか。 1. にんにく灸は隔物灸である。 2. 知熱灸は無痕灸である。 3. 透熱灸は有痕灸である。 4. うるし灸は温灸である。	4
第 5回	後半	問題 72	14	艾について正しい記述はどれか。 1. 腺毛は揮発性の精油を含む。 2. チネオールは線維様物質である。 3. 毛茸は良質艾には含まれない。 4. 腺毛は葉の表にある。	1
第 5回	後半	問題 73	14	灸法と疾患との組合せで適切なものはどれか。 1. 温灸 - - ひょう疽 2. 透熱灸 - - 神経痛 3. 焦灼灸 - - 面行 4. 打膿灸 - - つおのめ	2
第 5回	後半	問題 74	14	棒灸について正しい記述はどれか。 1. 化学的的刺激として作用する。 2. 火傷に伴う組織損傷が起こる。 3. 受容器は自由神経終末である。 4. 求心性神経は A 線維である。	3
第 5回	後半	問題 75	14	灸法で皮膚面温度が最も低いのはどれか。 1. 焦灼灸 2. 知熱灸 3. 透熱灸 4. 打膿灸	2
第 5回	後半	問題 76	14	熱により組織の破壊が起こり始める皮膚温はどれか。 1. 30 2. 40 3. 50 4. 60	3
第 5回	後半	問題 77	14	施灸により最初に起こる現象はどれか。 1. 内因性発痛物質の産生 2. 血液凝固時間の短縮 3. 白血球の増加 4. C線維の興奮	4
第 5回	後半	問題 78	14	施灸部の血管拡張に関与するのはどれか。 1. 伸張反射 2. 立毛反射 3. 逃避反射 4. 軸索反射	4
第 5回	後半	問題 79	14	ヘット帯の出現に関与する反射はどれか。 1. 内臓 - 知覚反射 2. 内臓 - 運動反射 3. 内臓 - 栄養反射 4. 内臓 - 自律神経反射	1
第 5回	後半	問題 80	14	ストレスに対する生体反応の指標で適切な物質はどれか。 1. 尿素 2. クレアチニン 3. コルチコイド 4. ウロビリノゲン	3
第 6回	前半	問題 1	1	インフォームド・コンセントに含まれる権利はどれか。 1. 医療上の情報や説明を受ける権利 2. プライバシー保障の権利 3. 適切な治療やケアを受ける権利 4. 人権尊重の権利	1
第 6回	前半	問題 2	1	東洋医学の基本的な考え方について正しい記述はどれか。 1. 人体は精密な機械である。 2. 人体の機能とエネルギーのバランスを重視する。 3. 病気の原因は特定の臓器にある。 4. 人体を細部に分けて病気の原因を求める。	2
第 6回	前半	問題 3	2	食中毒の予防対策でないのはどれか。 1. 手洗いの励行 2. 加熱調理 3. 水質検査 4. 患者の隔離	4
第 6回	前半	問題 4	2	妊娠初期に最も注意しなければならないのはどれか。 1. 高血圧 2. 風疹 3. 蛋白尿 4. 貧血	2
第 6回	前半	問題 5	2	オゾン層の破壊と関係ないのはどれか。 1. フロンガス 2. 二酸化炭素 3. 有害紫外線 4. 皮膚癌	2
第 6回	前半	問題 6	2	ダイオキシシンと関連のないのはどれか。 1. ゴミ焼却 2. 塩化ビニール 3. 塩素消毒 4. 発癌作用	3
第 6回	前半	問題 7	2	高血圧症の一般的な危険因子 (リスク要因) はどれか。 1. 飲酒と夜ふかし 2. 睡眠と休養 3. 肥満と食塩摂取 4. 運動と労働	3

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第 6 回	前半	問題 8	2	産業保健の健康問題のうち最近増えたのはどれか。 1.じん肺症 2.VDT作業による目の疲労 3.頸肩腕障害 4.局所振動障害	2
第 6 回	前半	問題 9	2	ウイルスが原因となる疾病はどれか。 1.淋病 2.発疹チフス 3.ジフテリア 4.エイズ	4
第 6 回	前半	問題 10	2	消毒法について正しい組合せはどれか。 1.紫外線 - - - 牛乳 2.日光 - - - カテーテル 3.煮沸 - - - ガラス器具 4.低温消毒 - - 衣服	3
第 6 回	前半	問題 11	3	予防接種法で定期予防接種を行う対象疾病はどれか。 1.結核 2.B型肝炎 3.インフルエンザ 4.麻疹	4
第 6 回	前半	問題 12	3	施術所について誤っている記述はどれか。 1.開設、廃止とも届け出が必要である。 2.対象者は公衆または特定多数人である。 3.待合室は不要である。 4.器具、手指などの消毒設備が必要である。	3
第 6 回	前半	問題 13	3	老人保健法の対象でないのはどれか。 1.老人介護 2.健康診査 3.機能訓練 4.老人医療	1
第 6 回	前半	問題 14	3	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法令で広告できる事項はどれか。 1.施術者の技能 2.施術者の施術方法 3.施術所の所在の場所 4.施術者の経歴	3
第 6 回	前半	問題 15	4	線維軟骨を有するのはどれか。 1.耳管 2.気管支 3.耳介 4.椎間円板	4
第 6 回	前半	問題 16	4	関節について誤っている記述はどれか。 1.肩関節は関節唇を有する。 2.顎関節は関節円板を有する。 3.膝関節は関節半月を有する。 4.下橈尺関節は橈骨輪状靭帯を有する。	4
第 6 回	前半	問題 17	4	橈骨手根関節の内転作用に関与する筋はどれか。 1.尺側手根伸筋 2.橈側手根屈筋 3.長母指伸筋 4.長橈側手根伸筋	1
第 6 回	前半	問題 18	4	下肢の筋とその起始との組合せで誤っているのはどれか。 1.膝窩筋 - - - 大腿骨外側上顆 2.長指屈筋 - - 腓骨体前面 3.縫工筋 - - - 上前腸骨棘 4.後脛骨筋 - - 下脛骨間膜後面	2
第 6 回	前半	問題 19	4	筋と支配神経との組合せで正しいのはどれか。 1.三角筋 - - 胸背神経 2.大円筋 - - 長胸神経 3.上腕筋 - - 筋皮神経 4.回外筋 - - 正中神経	3
第 6 回	前半	問題 20	4	腸管とその構造との組合せで正しいのはどれか。 1.十二指腸 - - 腸間膜 2.空腸 - - - 腸腺 3.回腸 - - - 腹膜垂 4.横行結腸 - - 腸絨毛	2
第 6 回	前半	問題 21	4	胆汁の流路で誤っている記述はどれか。 1.胆管は肝門を通る。 2.胆管と胆嚢管とが合流して総胆管となる。 3.総胆管は胃の前を通る。 4.総胆管は十二指腸に開口する。	3
第 6 回	前半	問題 22	4	鼻腔について誤っている記述はどれか。 1.鼻甲介によって左右に分けられる。 2.副鼻腔は鼻道と交通する。 3.下鼻道に鼻涙管が開口する。 4.口蓋で口腔と境される。	1
第 6 回	前半	問題 23	4	尿管について誤っている記述はどれか。 1.腎門に起始する。 2.膀胱後面下面に開口する。 3.総腸骨動脈と交叉する。 4.腹膜に包まれる。	4
第 6 回	前半	問題 24	4	前立腺の開口部があるのはどれか。 1.尿管 2.膀胱 3.尿道 4.精管	3
第 6 回	前半	問題 25	4	内分泌腺で外頸動脈の枝で栄養されるのはどれか。 1.松果体 2.上皮小体 3.副腎 4.卵巢	2

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第 6 回	前半	問題 26	4	心臓について誤っている記述はどれか。 1. 線維輪は心房と心室との間にある。 2. 冠溝は心房と心室との境界にある。 3. 大動脈の起始部は左心房の後方にある。 4. 洞房結節は右心房壁にある。	3
第 6 回	前半	問題 27	4	リンパ小節をもたないのはどれか。 1. 扁桃 2. 脾臓 3. パイエル板 4. 胸腺	4
第 6 回	前半	問題 28	4	示指背側面からの痛覚伝導路で誤っている部位はどれか。 1. 尺骨神経 2. 頸髄後角 3. 視床 4. 内包	1
第 6 回	前半	問題 29	4	顔面神経の分布部位でないのはどれか。 1. 表情筋 2. 舌粘膜 3. 涙腺 4. 角膜	4
第 6 回	前半	問題 30	4	感覚受容器と感覚との組合せで正しいのはどれか。 1. 膨大部様 - - - - - 触覚 2. コルチ器 - - - - - 聴覚 3. マイスナー小体 - - 嗅覚 4. 自由神経終末 - - - 平衡覚	2
第 6 回	前半	問題 31	4	皮膚に関して正しい記述はどれか。 1. 汗腺に交感神経が分布する。 2. 爪に感覚神経が分布する。 3. 手掌部にアポクリン汗腺が分布する。 4. 表皮に毛細血管が分布する。	1
第 6 回	前半	問題 32	4	寛骨で体表から触れない部位はどれか。 1. 腸骨窩 2. 腸骨稜 3. 坐骨結節 4. 上前腸骨棘	1
第 6 回	前半	問題 33	4	下肢の動脈で拍動を触れるのはどれか。 1. 前脛骨動脈 2. 後脛骨動脈 3. 内側足底動脈 4. 外側足底動脈	2
第 6 回	前半	問題 34	5	細胞膜の構成成分はどれか。 1. 無機リン酸 2. リボ核酸 3. リン脂質 4. 乳酸	3
第 6 回	前半	問題 35	5	線維素溶解に働く物質はどれか。 1. プラスミン 2. トロピン 3. アルブミン 4. カルシウム	1
第 6 回	前半	問題 36	5	抵抗血管はどれか。 1. 大動脈 2. 大静脈 3. 細動脈 4. 細静脈	3
第 6 回	前半	問題 37	5	平均血圧について正しい記述はどれか。 1. 収縮期血圧から脈圧の 1/3 を引く。 2. 拡張期血圧に脈圧の 1/3 を加える。 3. 拡張期血圧に脈圧の 1/2 を加える。 4. 1日の血圧変動を平均する。	2
第 6 回	前半	問題 38	5	気道を拡張させるのはどれか。 1. 気管線毛運動の亢進 2. 気管支平滑筋の収縮 3. 交感神経活動の亢進 4. 副交感神経活動の亢進	3
第 6 回	前半	問題 39	5	吸気時の胸腔内圧について正しい記述はどれか。 1. 大気圧より高い。 2. 大気圧より低い。 3. 肺胞気圧に等しい。 4. 肺胞気圧より高い。	2
第 6 回	前半	問題 40	5	胃液の塩酸で活性化される消化酵素はどれか。 1. ペプシノーゲン 2. トリプシノーゲン 3. キモトリプシノーゲン 4. ヌクレアーゼ	1
第 6 回	前半	問題 41	5	水の再吸収を促進するホルモンはどれか。 1. パラソルモン 2. バソプレッシン 3. グルカゴン 4. カルシトニン	2
第 6 回	前半	問題 42	5	尿細管で分泌される物質はどれか。 1. アンモニア 2. ブドウ糖 3. アミ/酸 4. ナトリウムイオン	1
第 6 回	前半	問題 43	5	黄体ホルモンの作用で誤っている記述はどれか。 1. 受精卵の着床を容易にする。 2. 乳腺の発育を促す。 3. 排卵を促す。 4. 基礎体温を上げる。	3

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第 6回	前半	問題 44	5	静止電位を生じる細胞膜内外の違いはどれか。 1.イオン分布 2.水分分布 3.浸透圧 4.pH	1
第 6回	前半	問題 45	5	中枢神経系シナプスの化学伝達物質でないのはどれか。 1.ノルアドレナリン 2.アセチルコリン 3.グルタミン酸 4.クエン酸	4
第 6回	前半	問題 46	5	大脳について正しい組合せはどれか。 1.大脳基底核 - - 自律機能 2.連合野 - - - 統合機能 3.大脳辺縁系 - - 言語機能 4.中心後回 - - - 運動機能	2
第 6回	前半	問題 47	5	交感神経 受容体が関与する機能はどれか。 1.心拍数の増加 2.血管の収縮 3.腸管の収縮 4.散瞳	1
第 6回	前半	問題 48	5	脊髄の運動ニューロンについて誤っている記述はどれか。 1.細胞体は脊髄前角にある。 2.上位中枢からの入力を受ける。 3.伸張反射の反射弓に含まれる。 4.神経支配比はどの筋も同じである。	4
第 6回	前半	問題 49	5	物体を注視するとき起こる反射はどれか。 1.眼瞼反射 2.角膜反射 3.対光反射 4.輻輳反射	4
第 6回	前半	問題 50	6	刺鍼により感染する危険のない疾患はどれか。 1.A型肝炎 2.B型肝炎 3.C型肝炎 4.エイズ	1
第 6回	前半	問題 51	6	少量でも生体に強い毒性を有する金属はどれか。 1.鉄 2.銅 3.水銀 4.亜鉛	3
第 6回	前半	問題 52	6	痛風について誤っている記述はどれか。 1.中高年の男性に多く発症する。 2.尿酸塩結晶の沈着によって起こる。 3.関節や腱鞘の滑膜に肉芽腫を作る。 4.発作性の激しい痛みを伴う。	3
第 6回	前半	問題 53	6	左心室肥大をきたすのはどれか。 1.肺性心 2.僧帽弁狭窄 3.肺動脈弁狭窄 4.大動脈弁狭窄	4
第 6回	前半	問題 54	6	免疫反応の特徴として適切でないのはどれか。 1.自己と非自己の識別 2.抗原の記憶 3.主役はBリンパ球 4.抗原抗体結合の特異性	3
第 6回	前半	問題 55	6	腫瘍とその好発部位との組合せで誤っているのはどれか。 1.乳頭腫 - - - 膀胱 2.腺腫 - - - - 大腸 3.横紋筋腫 - - 子宮 4.脂肪腫 - - - 皮下組織	3
第 6回	前半	問題 56	6	遺伝する疾患はどれか。 1.ダウン症候群 2.進行性筋ジストロフィー症 3.猫鳴き症候群 4.アザラン肢症	2
第 6回	前半	問題 57	7	スプーン状爪のみられるのはどれか。 1.細菌性食中毒 2.糸球体腎炎 3.血友病 4.鉄欠乏性貧血	4
第 6回	前半	問題 58	7	眼球運動に関与しない神経はどれか。 1.視神経 2.動眼神経 3.滑車神経 4.外転神経	1
第 6回	前半	問題 59	7	下位運動ニューロン障害で正しいのはどれか。 1.腱反射の亢進 2.筋萎縮 3.不随意運動 4.感覚障害	2

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第6回	前半	問題60	7	自律神経症状はどれか。 1.ラセーグ徴候 2.パビンスキー徴候 3.ホルネル症候 4.ブラウンセカール症候	3
第6回	前半	問題61	7	反射と徴候との組合せで誤っているのはどれか。 1.病的反射 - - - 錐体路徴候 2.頸動脈反射 - - 血圧下降 3.輻輳反射 - - - 瞳孔散大 4.対光反射 - - - 瞳孔縮小	3
第6回	前半	問題62	7	髄膜刺激症候でないのはどれか。 1.項部硬直 2.ロンベルグ徴候 3.ブルジンスキー徴候 4.ケルニツヒ徴候	2
第6回	前半	問題63	7	心電図が診断上有用でない疾患はどれか。 1.解離性大動脈瘤 2.期外収縮 3.狭心症 4.心筋梗塞	1
第6回	前半	問題64	7	三叉神経痛を発症しやすい疾患はどれか。 1.上顎洞炎 2.扁桃炎 3.喉頭炎 4.内耳炎	1
第6回	前半	問題65	7	手指の変形と疾患との組合せで誤っているのはどれか。 1.ヘバーデン結節 - - - - 変形性関節症 2.ボタノ穴変形 - - - - - 慢性関節リウマチ 3.クモ状指 - - - - - マルフアン症候群 4.デュブイトン拘縮 - - 感染症	4
第6回	前半	問題66	7	乏血性ショックの症状でないのはどれか。 1.頻脈 2.血圧下降 3.中心静脈圧上昇 4.尿量減少	3
第6回	前半	問題67	7	ウイルス感染症でないのはどれか。 1.急性灰白髄炎(ポリオ) 2.脊髄癆 3.ヘルペス脳炎 4.日本脳炎	2
第6回	前半	問題68	7	鶏歩を示すのはどれか。 1.腓骨神経麻痺 2.進行性筋ジストロフィー症 3.片麻痺 4.パーキンソン病	1
第6回	前半	問題69	8	血小板が減少する疾患はどれか。 1.鉄欠乏性貧血 2.血友病 3.再生不良性貧血 4.慢性白血病	3
第6回	前半	問題70	8	急性腎盂腎炎の尿所見で適切でないのはどれか。 1.細菌尿 2.脂肪円柱 3.白血球円柱 4.蛋白尿	2
第6回	前半	問題71	8	突発性難聴の症状で適切でないのはどれか。 1.伝音難聴 2.耳鳴り 3.耳の閉塞感 4.めまい	1
第6回	前半	問題72	8	眼疾患とその徴候との組合せで誤っているのはどれか。 1.緑内障 - - - 眼圧上昇 2.白内障 - - - 角膜混濁 3.眼精疲労 - - 調節異常 4.麦粒腫 - - - 眼瞼腫脹	2
第6回	前半	問題73	8	不随意運動のみられない疾患はどれか。 1.舞蹈病 2.ウィルソン病 3.筋萎縮性側索硬化症 4.アテトーゼ	3
第6回	前半	問題74	8	神経疾患について正しい組合せはどれか。 1.脳虚血発作 - - 脳圧亢進 2.脊髄空洞症 - - 失語症 3.進行性麻痺 - - 血管けいれん 4.脳腫瘍 - - - 乳頭浮腫	4
第6回	前半	問題75	8	胆石症で適切でないのはどれか。 1.コレステロール結石 2.ビリルビン結石 3.アルカリフォスファターゼ値低下 4.黄疸	3

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第 6回	前半	問題 76	8	膵臓癌で適切でない記述はどれか。 1. 体重減少がある。 2. 食欲不振がある。 3. 心窩部痛を起こしやすい。 4. 血清アミラーゼ値が低下する。	4
第 6回	前半	問題 77	8	C型肝炎で適切でない記述はどれか。 1. 経口感染する。 2. 食欲不振がある。 3. 肝腫大がある。 4. 肝硬変に移行しやすい。	1
第 6回	前半	問題 78	8	労作性狭心症発作の特徴でない記述はどれか。 1. 食事によって誘発される。 2. 安静によって軽快する。 3. 持続時間は30分以上である。 4. ニトログリセリンが有効である。	3
第 6回	前半	問題 79	8	肺気腫の原因として適切でないのはどれか。 1. 加齢 2. 肺 癌 3. 慢性気管支炎 4. 喫煙	2
第 6回	前半	問題 80	8	虚血性心疾患の危険因子 (リスク要因) はどれか。 1. 蛋白尿 2. 不整脈 3. 高尿酸血症 4. 高脂血症	4
第 6回	後半	問題 1	8	外傷性脱臼について正しい記述はどれか。 1. 関節包は破れていない。 2. ばね様固定を認める。 3. 習慣性脱臼と陳旧性脱臼は同じである。 4. 修復後痛みがなければ他動運動を開始する。	2
第 6回	後半	問題 2	8	変形性関節症について誤っている記述はどれか。 1. 成人の半数以上にみられる。 2. 膝関節に好発する。 3. 運動開始時の痛みが特徴的である。 4. 強直を起こしやすい。	4
第 6回	後半	問題 3	8	骨粗しょう症について誤っている記述はどれか。 1. 骨の化学的成分は正常である。 2. 骨の絶対量は減少する。 3. 閉経後に生じるのは高回転性である。 4. 甲状腺機能亢進症でみられる。	3
第 6回	後半	問題 4	8	子宮筋腫について誤っている記述はどれか。 1. 50歳以後に好発する。 2. 悪性に変化することは少ない。 3. 子宮体部に好発する。 4. 粘膜下筋腫では過多月経を伴う。	1
第 6回	後半	問題 5	8	脳梗塞の症候でみられないのはどれか。 1. 片麻痺 2. 頂部硬直 3. 失語症 4. 感覚障害	2
第 6回	後半	問題 6	8	バセドウ病でみられる症候はどれか。 1. 手指振戦 2. 寒がり 3. 眼瞼下垂 4. 徐脈	1
第 6回	後半	問題 7	8	ギラン・バレー症候群で誤っているのはどれか。 1. 意識障害 2. 顔面神経麻痺 3. 感冒様前駆症状 4. 四肢麻痺	1
第 6回	後半	問題 8	8	ベル麻痺の症候でみられないのはどれか。 1. 兎眼 2. 味覚障害 3. 聴覚過敏 4. 顔面痛覚鈍麻	4
第 6回	後半	問題 9	9	内部障害に含まれないのはどれか。 1. 聴覚障害 2. 腎障害 3. 呼吸器障害 4. 循環器障害	1
第 6回	後半	問題 10	9	弛緩性麻痺の評価で適切でないのはどれか。 1. フレンストロームのステージ 2. 日常生活動作テスト 3. 徒手筋力テスト 4. 四肢周径の測定	1
第 6回	後半	問題 11	9	正常立位姿勢のとき矢状面で人体の重心線が通過する部位として誤っているのはどれか。 1. 乳様突起付近 2. 第 2腰椎の少し前方 3. 股関節の前方 4. 膝関節の前方	3
第 6回	後半	問題 12	9	歩行について誤っている記述はどれか。 1. 1サイクルは2歩に相当する。 2. 二重支持期がない場合は走行となる。 3. 重心の軌跡はサインカーブを描く。 4. バランスの悪い人は歩幅が狭くなる。	4
第 6回	後半	問題 13	9	脳卒中の障害で誤っている記述はどれか。 1. 多発性梗塞は痴呆の原因となる。 2. 舌、口唇の麻痺は失語症の原因となる。 3. 嚥下障害は肺炎の原因となる。 4. 肩手症候群は上肢痛の原因となる。	2

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第6回	後半	問題14	9	<p>脊髄損傷患者の排尿について誤っている記述はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 脊髄排尿中枢は仙髄にある。 2. 残尿は尿路感染の原因となる。 3. 持続カテーテル管理を第一目標とする。 4. 弛緩性膀胱では用手圧迫により行う。 	3
第6回	後半	問題15	9	<p>脳性麻痺について正しい記述はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 障害は1歳ころまで現れてこない。 2. 知的能力と機能障害とは一致しない。 3. 呼吸障害は伴わない。 4. 感覚障害は伴わない。 	2
第6回	後半	問題16	9	<p>腰痛の治療について誤っている記述はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 運動療法により姿勢の改善を図る。 2. ウィリアムズ体操は腰椎の伸展訓練である。 3. 間欠牽引はマッサージ効果を期待する。 4. 軟性コルセットは腹圧を高めた症状を軽減する。 	2
第6回	後半	問題17	10	<p>腎の臓の作用で正しいのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 筋を主る。 2. 血脈を主る。 3. 運化を主る。 4. 精を蔵す。 	4
第6回	後半	問題18	10	<p>胆の腑の作用で正しいのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 津液の生成を主る。 2. 大便の排泄を主る。 3. 栄養の吸収を主る。 4. 決断を主る。 	4
第6回	後半	問題19	10	<p>津液について誤っているのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 脳髄を養う。 2. 骨に潤いを与える。 3. 皮膚に潤いを与える。 4. 脈中を流れる。 	4
第6回	後半	問題20	10	<p>疏泄を主る臓はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 肝 2. 脾 3. 肺 4. 腎 	1
第6回	後半	問題21	10	<p>五行と五声との組合せで正しいのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 木 - - 呻 2. 火 - - 呼 3. 金 - - 哭 4. 水 - - 歌 	3
第6回	後半	問題22	10	<p>肝実証で難経六十九難に基づき治療穴はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大敦 2. 行間 3. 太衝 4. 曲泉 	2
第6回	後半	問題23	10	<p>次の文で示す病証に關係する経絡はどれか。顎が腫れ、肩から上腕後内側を経て小指にいたる部位の激しい痛み、難聴がある。」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 手の陽明大腸経 2. 手の太陽小腸経 3. 手の少陰心経 4. 手の太陰肺経 	2
第6回	後半	問題24	10	<p>（オ）病於血の腹証はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小腹急結 2. 心下痞硬 3. 胸脇苦満 4. 小腹不仁 	1
第6回	後半	問題25	10	<p>心の病証に属さないのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 不眠 2. 難聴 3. 言語障害 4. 健忘 	2
第6回	後半	問題26	10	<p>肝の病証に属するのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 息切れ 2. 手足の冷え 3. のどのつかえ 4. 頻尿 	3
第6回	後半	問題27	10	<p>七表の脈でないのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 浮脈 2. 遲脈 3. 実脈 4. 弦脈 	2
第6回	後半	問題28	10	<p>次の文で示す刺法はどれか。病上にあればこれを下にとり、腑俞を刺す。」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 輪刺 2. 経刺 3. 巨刺 4. 遠道刺 	4
第6回	後半	問題29	10	<p>神技（望診）で診るのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 顔色 2. 筋硬結 3. 呼吸音 4. 関節痛 	1
第6回	後半	問題30	10	<p>三陰三陽病証で往来寒熱、胸脇苦満が現れるのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 太陽病 2. 太陰病 3. 少陽病 4. 少陰病 	3
第6回	後半	問題31	11	<p>六部定位脈診で肝の臓の脈状はどこで診るか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 左手関上 2. 左手寸口 3. 右手関上 4. 右手尺中 	1

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第6回	後半	問題32	11	陽の海といわれている経脈はどれか。 1.任脈 2.督脈 3.帯脈 4.衝脈	2
第6回	後半	問題33	11	手の小指尺側爪甲根部から始まる経絡はどれか。 1.手の太陽小腸経 2.手の陽明大腸経 3.手の少陰心経 4.手の厥陰心包経	1
第6回	後半	問題34	11	骨度法で脛骨内側顆の下際から内果の最も高い所までの長さはどれか。 1.1尺 2.1尺3寸 3.1尺6寸 4.1尺9寸	2
第6回	後半	問題35	11	棘上筋上にある経穴はどれか。 1.天宗 2.肩井 3.肩貞 4.秉風	4
第6回	後半	問題36	11	取穴法で正しい記述はどれか。 1.膏肓は4・5胸椎棘突起間の外方3寸に取る。 2.陽池は手関節前面横紋の中央に取る。 3.膈俞は第9・10胸椎棘突起間の外方1寸5分に取る。 4.腎俞は第1・2腰椎棘突起間の外方1寸5分に取る。	1
第6回	後半	問題37	11	経絡と絡穴との組合せで正しいのはどれか。 1.肺経 - - 内関 2.腎経 - - 飛陽 3.大腸経 - - 支正 4.脾経 - - 公孫	4
第6回	後半	問題38	11	四総穴でないのはどれか。 1.手三里 2.委中 3.列缺 4.合谷	1
第6回	後半	問題39	11	手の太陽小腸経の鼻穴はどれか。 1.中(カン月完) 2.石門 3.関元 4.中極	3
第6回	後半	問題40	11	腹哀穴と同じ高さにある経穴はどれか。 1.巨闕 2.中(カン月完) 3.建里 4.水分	3
第6回	後半	問題41	11	経穴間の距離が2寸以上あるのはどれか。 1.腎俞と志室 2.三陽絡と四瀆(トク言賣) 3.盲俞と天枢 4.委中と承筋	4
第6回	後半	問題42	11	二間穴から手の五里穴までの手の陽明大腸経に關与する神経はどれか。 1.内側上腕皮神経 2.橈骨神経 3.尺骨神経 4.正中神経	2
第6回	後半	問題43	11	五行穴(五俞穴)でない経穴はどれか。 1.合谷 2.前谷 3.陽谷 4.陷谷	1
第6回	後半	問題44	11	皮膚をつまんで知覚過敏を検査するのはどれか。 1.良導点 2.皮電点 3.攪診点 4.圧診点	3
第6回	後半	問題45	12	東洋医学的な治療原則で適切なのはどれか。 1.急なれば本を治す。 2.緩なれば標を治す。 3.虚すればこれを瀉す。 4.有余なればこれを瀉す。	4
第6回	後半	問題46	12	次の文で示す患者の病証に対する治療方針で適切でないのはどれか。「45歳の男性。1週間前から後頭部、後頭部、側頭部にかけて締めつけられるような頭痛があり、雨の降る日には増悪する。食欲不振、軟便を伴う。」 1.脾の運化作用を整える。 2.湿を除く。 3.肝陽を降ろす。 4.頭部へ気血をめぐらす。	3
第6回	後半	問題47	12	下顎歯の痛みを軽減する目的で、循経取穴をする場合に適切な経穴はどれか。 1.温溜 2.孔最 3.(ツキ)門 4.陽池	1
第6回	後半	問題48	12	次の文で示す患者の症状発現部位への治療穴で適切でないのはどれか。「40歳の男性。半年前から腕が痛む。C5デルマトーム領域の知覚鈍麻。スパーリングテスト陽性。」 1.侠白 2.臑会 3.肩(グウ骨禺) 4.肩貞	4

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答例1
第6回	後半	問題49	12	次の文で示す症状を起こす罹患神経の絞扼部に対する刺鍼部位はどれか。痛みとしびれが第1～3指の掌側と第4指の橈側の掌側にある。ファーレンテスト陽性。 1. 円回内筋の上腕頭と尺骨頭との間 2. 尺側手根屈筋の上腕頭と尺骨頭との間 3. 手根骨と屈筋支帯との間 4. 豆状骨と有鉤骨鈎との間	3
第6回	後半	問題50	12	手の第2指～5指の内・外転運動ができない症状に対する治療で、神経刺激を目的とした治療穴はどれか。 1. 外関 2. 曲池 3. 支正 4. (グキ)門	3
第6回	後半	問題51	12	次の文で示す症状を起こす罹患神経に対し、施術対象となる経絡はどれか。「ヒラメ筋、後脛骨筋、長母指屈筋の麻痺のために歩行困難をきたしている。」 1. 足の陽明胃経 2. 足の太陽膀胱経 3. 足の少陽胆経 4. 足の厥陰肝経	2
第6回	後半	問題52	12	第5腰椎と第1仙椎間の夾脊穴刺鍼で治療効果が期待できる症状はどれか。 1. 大腿前面部のしびれ 2. 大腿外側部のしびれ 3. 下腿内側部のしびれ 4. 足背部のしびれ	4
第6回	後半	問題53	12	次の文で示す症状に対する施術で難経六十九難に基づく治療穴はどれか。皮膚がざらつき鼻水がでて、胸が張り、咳ができる。 1. 曲泉・陰谷 2. 大都・少府 3. 太淵・太白	3
第6回	後半	問題54	12	次の文で示す病証に対する治療方針で適切なのはどれか。空腹感はあるが食欲がない。口が乾くが飲みたがらない。ときおり乾嘔(からえずき)し、便秘がある。脈は細数。 1. 脾胃を補う 2. 肝胆を補う 3. 肺大腸を瀉す。 4. 腎膀胱を瀉す。	1
第6回	後半	問題55	12	早朝の無痛性下痢(五更泄瀉)の治療に用いる経絡どれか。 1. 手の陽明経 2. 手の少陰経 3. 足の厥陰経 4. 足の少陰経	4
第6回	後半	問題56	12	次の文で示す患者に対する治療で適切でないのはどれか。「68歳の男性。次第に耳が聞こえなくなり、最近では耳鳴りも伴うようになってきた。耳鼻科では加齢によるものとされた。腰のだるさ、夜間頻尿があり、疲労時には耳鳴りが増強する。」 1. 精と血を補う 2. 痰湿を除く 3. 足の少陰経の経穴に刺鍼する。 4. 手の太陽経の募穴に刺鍼する。	2
第6回	後半	問題57	12	次の文で示す患者に対する治療法で適切なのはどれか。「50歳の男性。半年前からめまいがある。怒りつぱく顔は赤い。脈は弦数。」 1. 腎経の瀉 2. 肝経の瀉 3. 脾経の瀉 4. 肺経の瀉	2
第6回	後半	問題58	12	次の文で示す患者の治療対象となる適切な病証はどれか。「4回の出産を経験した38歳の女性。めまい、耳鳴りがあり、腰が冷えてだるい。脈は沈。」 1. 肝虚 2. 脾虚 3. 肺虚 4. 腎虚	4
第6回	後半	問題59	12	スポーツ障害と患部への刺鍼部位との組合せで適切なのはどれか。 1. 外側上顆炎 - - - 陽陵泉 2. 内側上顆炎 - - - 陰陵泉 3. 膝蓋靭帯炎 - - - 足三里 4. 棘上筋腱損傷 - - 肩 (グウ 骨禺)	4
第6回	後半	問題60	12	高齢者の肺炎腫に対する鍼施術で気胸を起こさないよう注意しなければならない経穴はどれか。 1. 定喘 2. 天突 3. 膏肓 4. (ダン 月晝)中	3
第6回	後半	問題61	13	次の文で示す刺法はどれか。刺入した鍼の鍼柄又は鍼体を鍼管で叩打し振動を与える。 1. 細刺術 2. 管散術 3. 内調術 4. 振せん術	3
第6回	後半	問題62	13	皮下に刺入しない手技はどれか。 1. 管散術 2. 雀啄術 3. 示指打法 4. 回旋術	1
第6回	後半	問題63	13	擦鍼法に適した鍼尖の形状はどれか。 1. 卵形 2. 柳葉形 3. ノゲ形 4. スリオロシ形	2
第6回	後半	問題64	13	アレルギー体質の改善を目的とする鍼の作用はどれか。 1. 鎮静作用 2. 誘導作用 3. 反射作用 4. 転調作用	4
第6回	後半	問題65	13	皮膚のポリモーダル受容器からの求心性線維はどれか。 1. A線維 2. A線維 3. B線維 4. C線維	4

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第 6回	後半	問題 66	13	<p>刺激により交感神経 受容体が関与する反応で正しいのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.心拍数増加 2.気管支筋弛緩 3.唾液アミラーゼの分泌 4.皮膚血管収縮 	4
第 6回	後半	問題 67	13	<p>内臓通について正しい記述はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.局在が明確である。 2.炎症時には痛みが増強する。 3.自律神経症状を伴わない。 4.関連痛を伴わない。 	2
第 6回	後半	問題 68	13	<p>ゲートコントロール説で正しいのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.脊髄における鎮痛機序の学説 2.脳内モルヒネ様物質の学説 3.過剰刺激と自律神経との学説 4.発痛促進物質の学説 	1
第 6回	後半	問題 69	13	<p>鍼刺激が腎機能に与える影響をみるとき指標となるのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.ウロビリノーゲン排泄量 2.ウロペプシン排泄量 3.クレアチニン・クリアランス値 4.ヘマトクリット値 	3
第 6回	後半	問題 70	13	<p>サイバネティックスの学説で提唱されたのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.ホメオスタシス 2.フィードバック 3.生体の全機性 4.脳幹網様体賦活系 	2
第 6回	後半	問題 71	14	<p>散艾について正しい記述はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.切艾とも呼ばれる。 2.施灸時にひねって用いる。 3.和紙で包んだものを用いる。 4.良質なものは腺毛の割合が少ない。 	2
第 6回	後半	問題 72	14	<p>隔物灸に通常用いる艾の特徴はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.線維が細かい。 2.燃焼時の熱量が大きい。 3.湿気が多い。 4.手触りが良く柔らかい。 	2
第 6回	後半	問題 73	14	<p>灸あたりが発生しやすい灸はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.打膿灸 2.みそ灸 3.知熱灸 4.紅灸 	1
第 6回	後半	問題 74	14	<p>施灸部の化膿予防の方法で誤っている記述はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.同一点に施灸する。 2.艾を硬くひねる。 3.艾(シュ 火主)を大きくする。 4.消毒を行う。 	3
第 6回	後半	問題 75	14	<p>灸施術の補法で正しい記述はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.艾を硬くひねる。 2.燃焼した灰を一回ずつ除去する。 3.艾(シュ 火主)の底面を広くする。 4.送風せず燃焼させる。 	4
第 6回	後半	問題 76	14	<p>灸の刺激量を考慮する要因でないのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.年齢 2.性別 3.職業 4.喫煙 	4
第 6回	後半	問題 77	14	<p>灸刺激による生体反応として正しい記述はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.皮膚の血管が持続的に収縮する。 2.白血球数が減少する。 3.血圧が一過性に上昇する。 4.グロブリンが減少する。 	3
第 6回	後半	問題 78	14	<p>灸の熱刺激を伝える脊髄視床路が通る部位はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.側索 2.後索 3.前角 4.側角 	1
第 6回	後半	問題 79	14	<p>透熱灸刺激により誘発される反射はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.伸張反射 2.体性内臓反射 3.頸動脈洞反射 4.肺迷走神経反射 	2
第 6回	後半	問題 80	14	<p>ストレス学説でいう交絡感作期に該当するのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.ショック期 2.抗ショック期 3.抵抗期 4.疲憊期 	3
第 7回	前半	問題 1	1	<p>施術者の倫理について誤っているのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.生命の尊重 2.QOLの向上 3.プライバシーの保護 4.一元的医療の考え 	4
第 7回	前半	問題 2	1	<p>医療保障に含まれないのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.国民健康保険 2.医療扶助 3.老人保健法に基づく給付 4.生命保険 	4
第 7回	前半	問題 3	2	<p>職業病でないのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.じん肺 2.局所振動障害 3.頸肩腕障害 4.四日市ぜん息 	4

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第7回	前半	問題4	2	水道水の消毒に使われている方法はどれか。 1.塩素消毒 2.活性炭ろ過 3.トリハロメタン法 4.紫外線消毒	1
第7回	前半	問題5	2	疾病と感染経路との組合せで誤っているのはどれか。 1.インフルエンザ - - - 飛沫感染 2.風疹 - - - - - 胎盤感染 3.破傷風 - - - - - 経口感染 4.エイズ - - - - - 性行為感染	3
第7回	前半	問題6	2	ウイルスに対する効力が弱い消毒剤はどれか。 1.次亜塩素酸ソーダ 2.消毒用エタノール 3.ポビドンヨード(イソジン) 4.グルコン酸クロルヘキシジン(ヒビテン)	4
第7回	前半	問題7	2	紫外線消毒の対象として適切でないのはどれか。 1.患者の皮膚 2.生鮮食料品 3.鍼 4.シーツ	1
第7回	前半	問題8	2	最近の我が国の衛生統計で誤っている記述はどれか。 1.乳児死亡率は世界最低水準にある。 2.女性の平均寿命は80歳を超えている。 3.人口は減少しつつある。 4.都市人口は50%を超えている。	3
第7回	前半	問題9	2	我が国の老年人口の現状で誤っているのはどれか。 1.老衰死亡率の増加 2.寝たきり老人の増加 3.単独世帯の増加 4.痴呆老人の増加	1
第7回	前半	問題10	2	医療従事者数で最も多いのはどれか。 1.医師 2.看護婦(士) 3.あん摩マッサージ指圧師 4.はり師 きゅう師	2
第7回	前半	問題11	3	環境衛生関係法規でないのはどれか。 1.学校保健法 2.食品衛生法 3.理容師法 4.公衆浴場法	1
第7回	前半	問題12	3	施術上の禁止行為はどれか。 1.施術の局所の消毒 2.慢性疲労回復のための施術 3.薬品投与の指示 4.美容を目的とした施術	3
第7回	前半	問題13	3	誤っている組合せはどれか。 1.助産所の広告 - - - - - 医療法 2.医療用具の販売 - - - - - 薬事法 3.市町村保健センターの設置 - - - 地域保健法 4.老人保健施設の運営 - - - - - 老人福祉法	4
第7回	前半	問題14	3	施術所の名称として適切なのはどれか。 1.東京治療院 2.東京はり治療院 3.東京はり科治療院 4.東京流家伝はり院	2
第7回	前半	問題15	4	神経組織の構成に関与しない細胞はどれか。 1.ニューロン 2.グリア細胞 3.シュワン細胞 4.クッペル星細胞	4
第7回	前半	問題16	4	胸腔の構成に関与しないのはどれか。 1.胸椎 2.胸骨 3.臓側胸膜 4.横隔膜	3
第7回	前半	問題17	4	頸部と胸部との境界線に関与しないのはどれか。 1.胸骨上縁 2.鎖骨上縁 3.肩峰 4.第7頸椎椎体	4
第7回	前半	問題18	4	烏口突起に停止する筋はどれか。 1.小胸筋 2.三角筋 3.烏口腕筋 4.上腕二頭筋短頭	1
第7回	前半	問題19	4	手関節の内転に働く筋はどれか。 1.長掌筋 2.浅指屈筋 3.橈側手根屈筋 4.尺側手根屈筋	4
第7回	前半	問題20	4	足の屈筋支帯を通過しない腱はどれか。 1.長指屈筋腱 2.前脛骨筋腱 3.後脛骨筋腱 4.長母指屈筋腱	3
第7回	前半	問題21	4	呼吸器について正しい記述はどれか。 1.上顎洞は上鼻道に開口する。 2.声帯筋は平滑筋である。 3.気管膜性部は食道に接する。 4.左肺には水平裂がみられる。	3

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第7回	前半	問題 22	4	虫垂について正しい記述はどれか。 1.リンパ小節が多い。 2.腸絨毛が発達している。 3.筋層を有しない。 4.腸腺を有しない。	1
第7回	前半	問題 23	4	膵臓について誤っている記述はどれか。 1.膵管は十二指腸に開口する。 2.膵臓全体が腹膜に覆われる。 3.外分泌部は消化酵素を分泌する。 4.膵島はホルモンを分泌する。	2
第7回	前半	問題 24	4	腎臓について誤っている記述はどれか。 1.腎小体は皮質に存在する。 2.近位尿細管はボーマン嚢に起始する。 3.ヘンレループは髄質に存在する。 4.集合管の粘膜上皮は移行上皮である。	4
第7回	前半	問題 25	4	正常妊娠に際して胎盤が形成される子宮の部位はどれか。 1.子宮底部 2.子宮体部 3.子宮頸部 4.子宮腔部	1& 2
第7回	前半	問題 26	4	下垂体について正しい記述はどれか。 1.視神経交叉の前方に位置する。 2.下垂体門脈は視床下部と前葉とを連絡する。 3.後葉には多数の有髄神経線維がみられる。 4.中間葉は前葉と間脳との間に位置する。	2
第7回	前半	問題 27	4	冠状静脈洞が注く部位はどれか。 1.右心房 2.左心房 3.上大静脈 4.下大静脈	1
第7回	前半	問題 28	4	脾臓に血液を送る動脈はどれか。 1.腹腔動脈 2.上腸間膜動脈 3.下腸間膜動脈 4.腰動脈	1
第7回	前半	問題 29	4	左右の大脳半球を結ぶ線維はどれか。 1.投射線維 2.弓状線維 3.交連線維 4.連合線維	3
第7回	前半	問題 30	4	腰神経叢の分枝でないのはどれか。 1.大腿神経 2.陰部大腿神経 3.閉鎖神経 4.下殿神経	4
第7回	前半	問題 31	4	感覚伝導路と中継核との組合せで誤っているのはどれか。 1.視覚伝導路 - - - - 外側膝状体 2.味覚伝導路 - - - - 孤束核 3.平衡覚伝導路 - - - 蝸牛神経核 4.深部知覚伝導路 - - - 後索核	3
第7回	前半	問題 32	4	視覚器で正しい記述はどれか。 1.瞳孔散大筋は副交感神経に支配される。 2.眼房水は毛様体上皮で分泌される。 3.チン小帯は硝子体の中にみられる。 4.杆状体は視神経乳頭に集中している。	2
第7回	前半	問題 33	4	鼠径管を通らないのはどれか。 1.精管 2.精巣挙筋 3.卵管 4.子宮円索	3
第7回	前半	問題 34	5	解糖について正しい記述はどれか。 1.ミトコンドリアの中で起こる。 2.無酸素的に起こる。 3.ブドウ糖の加水分解の過程である。 4.炭酸ガスが発生する。	2
第7回	前半	問題 35	5	細胞内液について正しいのはどれか。 1.血漿と同じ組成である。 2.体重の約 15%を占める。 3.細胞外液に比べ蛋白質が多い。 4.細胞外液に比べ量が少ない。	3
第7回	前半	問題 36	5	ビリルビンについて誤っているのはどれか。 1.胆汁成分である。 2.血漿蛋白である。 3.腸内でウロビリノーゲンになる。 4.ヘモグロビンの分解産物である。	2
第7回	前半	問題 37	5	心臓のスターリングの法則で正しい記述はどれか。 1.心筋が伸展されるほど収縮力は高まる。 2.心筋が伸展されるほど心拍数は増える。 3.流入血液量が少ないほど収縮力は高まる。 4.流入血液量が少ないほど心拍数は増える。	1
第7回	前半	問題 38	5	圧受容器の興奮で起こらないのはどれか。 1.心拍数の低下 2.抵抗血管の拡張 3.心拍出量の減少 4.迷走神経活動の低下	4
第7回	前半	問題 39	5	ヘーリング-プロイエル反射(篩迷走神経反射)で正しいのはどれか。 1.咳を起こす反射 2.あくびを誘発する反射 3.吸息を抑制する反射 4.呼息を抑制する反射	3

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第 7回	前半	問題 40	5	消化管からの吸収の仕組みで誤っているのはどれか。 1. 拡散 2. 能動輸送 3. 受動輸送 4. ろ過	4
第 7回	前半	問題 41	5	体熱の放散で人体と接触していない他の物体へ直接熱が伝達されるのはどれか。 1. 放射 (輻射) 2. 伝導 3. 対流 4. 蒸発	1
第 7回	前半	問題 42	5	糸球体におけるろ過に関与しない圧はどれか。 1. 糸球体における血圧 2. 尿管内圧 3. 血漿の膠質浸透圧 4. ボーマン嚢内圧	2
第 7回	前半	問題 43	5	随意運動に関与する下行路はどれか。 1. 脊髄視床路 2. 脊髄小脳路 3. 後索路 4. 錐体路	4
第 7回	前半	問題 44	5	聴覚情報が投射する部位はどれか。 1. 中心前回 2. 後頭葉 3. 側頭葉 4. 頭頂葉	3
第 7回	前半	問題 45	5	感覚刺激を受けたときに現れる脳波はどれか。 1. 波 2. 波 3. 波 4. 波	2
第 7回	前半	問題 46	5	単収縮のみを起こすのはどれか。 1. 骨格筋 2. 平滑筋 3. 心筋 4. 括約筋	3
第 7回	前半	問題 47	5	屈曲反射について正しいのはどれか。 1. 痛み刺激で起こる反射 2. 腱紡錘への刺激で起こる反射 3. 単シナプス反射 4. 関節の伸展で起こる反射	1
第 7回	前半	問題 48	5	刺激と受容器との組合せで誤っているのはどれか。 1. 振動刺激 - - - - - パチニ小体 2. 回転加速度刺激 - - - 三半規管 3. 触圧刺激 - - - - - マイスナー小体 4. 温度刺激 - - - - - コルチ器官	4
第 7回	前半	問題 49	5	視覚について誤っている記述はどれか。 1. 眼の屈折力はジオプトリで表す。 2. 瞳孔は入射光の量を調節する。 3. 近視では像が網膜の後ろに結像する。 4. 杆状体細胞にはロドプシンが含まれる。	3
第 7回	前半	問題 50	6	病原微生物と疾患との組合せで誤っているのはどれか。 1. クラミジア - - - - オウム病 2. リケッチア - - - - マラリア 3. スピロヘータ - - - ワイル病 4. 原虫 - - - - - ニューモシスチス・カリニ肺炎	2
第 7回	前半	問題 51	6	アミロイドの沈着する原疾患として適切でないのはどれか。 1. アルツハイマー病 2. 骨髄腫 3. 間質性肺炎 4. 慢性関節リウマチ	3
第 7回	前半	問題 52	6	神経組織の再生について正しい記述はどれか。 1. 神経細胞には再生能力がない。 2. 神経膠細胞には再生能力がない。 3. 末梢神経の軸索は伸長しない。 4. シュワン細胞は再生しない。	1
第 7回	前半	問題 53	6	黒色の下血をきたした患者がいる。原因疾患はどれか。 1. 直腸癌 2. 潰瘍性大腸炎 3. 虫垂炎 4. 胃・十二指腸潰瘍	4
第 7回	前半	問題 54	6	連鎖球菌に汚染した鍼が皮下組織に及んだ場合に起こりやすい化膿性炎はどれか。 1. 寒性膿瘍 2. 蜂窩織炎 (蜂巣織炎) 3. 膿性カタル 4. 膿疱	2
第 7回	前半	問題 55	6	腺癌の好発部位として誤っているのはどれか。 1. 肺 2. 胃 3. 結腸 4. 子宮腔部	4
第 7回	前半	問題 56	6	胃癌の転移と関係ないのはどれか。 1. クルーケンベルグ 2. リード・ステルンベルグ 3. シュニッツラー 4. ウイルヒョウ	2
第 7回	前半	問題 57	7	皮疹の分類で続発疹はどれか。 1. 膿瘍 2. 結節 3. 丘疹 4. 水疱	1

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第 7 回	前半	問題 58	7	手指振戦をきたす疾患はどれか。 1. アジソン病 2. パセドウ病 3. 尿崩症 4. 粘液水腫	2
第 7 回	前半	問題 59	7	多発性神経炎の感覚障害はどれか。 1. 分節性 2. 解離性 3. 手袋靴下型 4. 片側性	3
第 7 回	前半	問題 60	7	下位運動ニューロン障害で誤っている徴候はどれか。 1. 弛緩性麻痺 2. 深部反射の低下 3. 筋萎縮 4. 病的反射	4
第 7 回	前半	問題 61	7	橈骨動脈の脈拍について正しいのはどれか。 1. 示指で触診する。 2. 右より左が大きい。 3. 大動脈炎症候群では右が大きい。 4. ショック時には触れにくくなる。	4
第 7 回	前半	問題 62	7	腰下肢痛患者に行うテストはどれか。 1. ジャクソンテスト 2. ラセーグテスト 3. ヤーガンテスト 4. ライトテスト	2
第 7 回	前半	問題 63	7	関節可動域検査の原則で誤っているのはどれか。 1. 測定には角度計を用いる。 2. 直立したときの関節の肢位を基本とする。 3. 自動的可動域で表示する。 4. 健側と患側とを測定する。	3
第 7 回	前半	問題 64	7	母指球に萎縮がみられるのはどれか。 1. 筋皮神経麻痺 2. 尺骨神経麻痺 3. 橈骨神経麻痺 4. 正中神経麻痺	4
第 7 回	前半	問題 65	7	呼吸音の強さに左右差が起こる疾患はどれか。 1. 慢性気管支炎 2. 肺気腫 3. 自然気胸 4. 気管支喘息	3
第 7 回	前半	問題 66	7	突然卒倒した人で最初に確認すべきことはどれか。 1. 意識 2. 呼吸 3. 脈拍 4. 気道異物	1
第 7 回	前半	問題 67	7	錐体路障害の症候で適切でないのはどれか。 1. 筋緊張亢進 2. 痙性麻痺 3. 病的反射出現 4. 深部反射減弱	4
第 7 回	前半	問題 68	7	所見と障害との組合せで誤っているのはどれか。 1. ロンベルグ徴候 - - - - - 脊髄後索障害 2. バビンスキー徴候 - - - - - 末梢神経障害 3. レイノー症候 - - - - - 自律神経障害 4. ブラウンセカール症候 - - - 脊髄半側障害	2
第 7 回	前半	問題 69	8	ヘルペスウイルスの感染症でないのはどれか。 1. 手足口病 2. 帯状疱疹 3. 水痘 4. 突発性発疹	1
第 7 回	前半	問題 70	8	高脂血症で増加しないのはどれか。 1. プリン体 2. LDL 3. トリグリセリド 4. コレステロール	1
第 7 回	前半	問題 71	8	糖尿病の合併症で誤っているのはどれか。 1. 網膜症 2. 末梢動脈閉塞 3. 末梢神経障害 4. 急性糸球体腎炎	4
第 7 回	前半	問題 72	8	罹患神経と疾患との組合せで正しいのはどれか。 1. 正中神経 - - - 手根管症候群 2. 視神経 - - - キラン・パレー症候群 3. 動眼神経 - - - ベル麻痺 4. 腓骨神経 - - - 梨状筋症候群	1

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第 7 回	前半	問題 73	8	ラムゼイハント症候群で正しい記述はどれか。 1. 顔面神経麻痺が起こる。 2. 深部反射が亢進する。 3. 呼吸筋麻痺が起こる。 4. 味覚は正常である。	1
第 7 回	前半	問題 74	8	胃切除後症候群の症状でないのはどれか。 1. 冷や汗 2. 腹痛 3. 下痢 4. 嚥下障害	4
第 7 回	前半	問題 75	8	下痢の原因疾患でないのはどれか。 1. 過敏性腸症候群 2. 大腸炎 3. 虫垂炎 4. クローン病	3
第 7 回	前半	問題 76	8	高血圧がみられない疾患はどれか。 1. 原発性アルドステロン症 2. クッシング症候群 3. アジソン病 4. 褐色細胞腫	3
第 7 回	前半	問題 77	8	貧血とその原因との組合せで誤っているのはどれか。 1. 鉄欠乏性貧血 - - - - - 慢性出血 2. 悪性貧血 - - - - - 赤血球の崩壊亢進 3. 遺伝性球状赤血球症 - - - 赤血球の浸透圧抵抗減弱 4. 再生不良性貧血 - - - - - 骨髄の低形成	2
第 7 回	前半	問題 78	8	細菌性心内膜炎の所見で誤っているのはどれか。 1. 発熱 2. 心雑音 3. 抗核抗体出現 4. オスラー結節	3
第 7 回	前半	問題 79	8	胸郭出口症候群の診断に有用なテストはどれか。 1. バトリックテスト 2. ライトテスト 3. ヤーガンテスト 4. プラガードテスト	2
第 7 回	前半	問題 80	8	スポーツ障害の組合せで誤っているのはどれか。 1. 衝突症候群 - - - - - 水泳肩 2. 上腕骨外側上顆炎 - - - テニス肘 3. 使いすぎ症候群 - - - - 疲労骨折 4. 絞扼性症候群 - - - - - 野球肘	4
第 7 回	後半	問題 1	8	形態異常の組合せで正しいのはどれか。 1. 先天性股関節脱臼 - - - 処女歩行遅延 2. 先天性内反足 - - - - - X脚 3. 生理的内反膝 - - - - - O脚 4. 外反母指 - - - - - 間歇性跛行	1
第 7 回	後半	問題 2	8	エイズについて正しい記述はどれか。 1. 予防接種が有効である。 2. 食物からも感染する。 3. ウイルスが原因である。 4. 感染者は隔離の必要がある。	3
第 7 回	後半	問題 3	8	気管支喘息について正しい記述はどれか。 1. 若年者より老人に多い。 2. 低酸素血症をきたしやすい。 3. 人工呼吸は禁忌である。 4. 予後は良好である。	4
第 7 回	後半	問題 4	8	熱傷の重症度に関係しないのはどれか。 1. 年齢 2. 性別 3. 受傷面積 4. 損傷の深さ	2
第 7 回	後半	問題 5	8	神経疾患と所見との組合せで正しいのはどれか。 1. 多発性硬化症 - - - - - 髄液蛋白減少 2. 多発性神経炎 - - - - - 痙性麻痺 3. 脊髄瘍 - - - - - 腱反射亢進 4. シャイ・ドレーガー症候群 - - - 起立性低血圧	4
第 7 回	後半	問題 6	8	神経疾患と症状との組合せで誤っているのはどれか。 1. パーキンソン病 - - - - - 無動 2. 進行性筋ジストロフィー症 - - - 筋強剛 (固縮) 3. 脊髄空洞症 - - - - - 感覚解離 4. アテトーゼ - - - - - 不随意運動	2
第 7 回	後半	問題 7	8	錐体外路系疾患はどれか。 1. 筋萎縮性側索硬化症 2. 重症筋無力症 3. 舞蹈病 4. アルツハイマー病	3
第 7 回	後半	問題 8	8	意識が保たれる麻酔法はどれか。 1. 静脈麻酔 2. 硬膜外麻酔 3. 吸入麻酔 4. 直腸麻酔	2
第 7 回	後半	問題 9	9	障害のうち能力低下への対応で誤っているのはどれか。 1. 車椅子処方 2. ADL訓練 3. 利き手交換 4. 家屋改造	4
第 7 回	後半	問題 10	9	障害の評価の目的で適切でないのはどれか。 1. 疾患原因の検討 2. 障害原因の検討 3. 治療目標の設定 4. 治療方法の検討	1

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第 7回	後半	問題 11	9	効率の良い歩き方の特徴はどれか。 1.立脚中期で膝関節は屈曲しない。 2.重心は水平に移動する。 3.骨盤は左右に移動する。 4.骨盤は回旋しない。	3
第 7回	後半	問題 12	9	日常生活動作として適切でないのはどれか。 1.歩行 2.買物 3.食事 4.更衣	2
第 7回	後半	問題 13	9	脳卒中の回復に関して誤っている記述はどれか。 1.ブルンストロームのステージに従って回復する。 2.発症後6か月ごろから回復が著明となる。 3.上肢の回復予後は一般に悪い。 4.ホームプログラムは機能維持に有用である。	2
第 7回	後半	問題 14	9	下肢の切断について誤っている記述はどれか。 1.循環障害に起因する切断は減少している。 2.拘縮の予防に腹臥位をとらせる。 3.断端浮腫に対して弾性包帯をまく。 4.幻肢は失われた部位が残っている感覚である。	2
第 7回	後半	問題 15	9	C6損傷(第7頸髄節以下の損傷)の患者ができない動作はどれか。 1.寝返り動作 2.坐位保持 3.移乗動作 4.起立動作	4
第 7回	後半	問題 16	9	慢性閉塞性肺疾患のリハビリテーションで適切でないのはどれか。 1.気道の清浄化 2.胸郭のストレッチ 3.呼吸補助筋を使った呼吸 4.口ずばめ呼吸訓練	3
第 7回	後半	問題 17	10	衛気について誤っているのはどれか。 1.水穀の悍気のことをいう。 2.脈外をめぐる。 3.①月奏②理の開闔を行う。 4.先天の精から得られる。	4
第 7回	後半	問題 18	10	臓腑について正しい組合せはどれか。 1.心 - - - 將軍の官 2.肺 - - - 作強の官 3.胆 - - - 中正の官 4.小腸 - - 伝導の官	3
第 7回	後半	問題 19	10	腎が主るのはどれか。 1.納気 2.血脈 3.宣散 4.疏泄	1
第 7回	後半	問題 20	10	五臓と五液との組合せで正しいのはどれか。 1.肝 - - - 汗 2.心 - - - 涎 3.脾 - - - 淚 4.肺 - - - 涕	4
第 7回	後半	問題 21	10	肺の病証でみられるのはどれか。 1.耳鳴り 2.咳嗽 3.不眠 4.腰痛	2
第 7回	後半	問題 22	10	気滞の症状でないのはどれか。 1.胸苦しい 2.息切れ 3.腹部の脹った痛み 4.イライラ	2
第 7回	後半	問題 23	10	不内外因でないのはどれか。 1.過食 2.暑熱 3.過労 4.外傷	2
第 7回	後半	問題 24	10	奇恒の腑でないのはどれか。 1.女子胞 2.髓 3.胆 4.三焦	4
第 7回	後半	問題 25	10	六部定位脈診で右尺中で診る臓腑はどれか。 1.肝と胆 2.心と小腸 3.心包と三焦 4.腎と膀胱	3
第 7回	後半	問題 26	10	珠をころがしたような脈はどれか。 1.緩脈 2.洪脈 3.滑脈 4.弦脈	3
第 7回	後半	問題 27	10	腎を診る舌診部位はどれか。 1.舌根 2.舌中央 3.舌辺 4.舌尖	1
第 7回	後半	問題 28	10	次の文で示す刺法はどれか。「燿鍼を刺して即ち痺を取る。」 1.大瀉刺 2.分刺 3.輪刺 4.①火卒②刺	4

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第7回	後半	問題 29	10	難經六十九難で經渠穴と商丘穴とに瀉法を行うのはどれか。 1.肝実証 2.脾実証 3.肺実証 4.腎実証	2
第7回	後半	問題 30	10	五臓五刺で閉刺を用いるのはどれか。 1.肝 2.心 3.脾 4.腎	1
第7回	後半	問題 31	11	補の施灸で誤っているのはどれか。 1.小さい艾 (@火主)を用いる。 2.艾 (@火主)を軟らかくひねる。 3.風を送り燃焼させる。 4.灰の上に重ねて施灸する。	3
第7回	後半	問題 32	11	前腕の経絡流注と神経の走行との組合せで正しいのはどれか。 1.心包経 - - 尺骨神経 2.心経 - - 正中神経 3.大腸経 - - 橈骨神経 4.小腸経 - - 正中神経	3
第7回	後半	問題 33	11	膀胱経について正しい記述はどれか。 1.下腿の流注は遠心性である。 2.心包経と表裏関係にある。 3.腎経から連なる。 4.陰に属する経絡である。	1
第7回	後半	問題 34	11	足の第4指末端に終わる経絡はどれか。 1.足の太陽膀胱経 2.足の少陰腎経 3.足の厥陰肝経 4.足の少陽胆経	4
第7回	後半	問題 35	11	女子胞から起こって腹部を上行する経絡はどれか。 1.肝経 2.腎経 3.帯脈 4.衝脈	4
第7回	後半	問題 36	11	神闕穴の外方3寸5分を通る経絡はどれか。 1.足の少陽胆経 2.足の太陽脾経 3.足の陽明胃経 4.足の少陰腎経	2
第7回	後半	問題 37	11	八会と經穴との組合せで正しいのはどれか。 1.臑会 - - 中 (@月完) 2.臑会 - - 章門 3.筋会 - - 陽陵泉 4.血会 - - 大杼	3
第7回	後半	問題 38	11	大菱形筋上にない經穴はどれか。 1.巨骨 2.魄戶 3.膏肓 4.肺俞	1
第7回	後半	問題 39	11	肝俞穴と同じ高さにあるのはどれか。 1.至陽 2.筋縮 3.隔間 4.陽綱	2
第7回	後半	問題 40	11	取穴法で正しい記述はどれか。 1.水分は神闕の上方5分を取る。 2.太乙は天枢の上方3寸を取る。 3.横骨は曲骨の外方5分を取る。 4.日月は期門の下方1寸を取る。	3
第7回	後半	問題 41	11	八総穴の組合せで誤っているのはどれか。 1.公孫 - - 内関 2.丘墟 - - 外関 3.後谿 - - 申脈 4.列缺 - - 照海	2
第7回	後半	問題 42	11	大腿動脈拍動部に位置する經穴はどれか。 1.髀來 2.陰包 3.衝門 4.維道	3
第7回	後半	問題 43	11	原穴はどれか。 1.陽池 2.陽陵泉 3.陽谷 4.陽輔	1
第7回	後半	問題 44	11	絡穴はどれか。 1.中都 2.京門 3.大陵 4.豐隆	4
第7回	後半	問題 45	12	次の文で示す病証の治療方針として適切なのはどれか。 湿熱が筋脈に影響して気血の運行が悪く筋脈、筋肉を栄養できなくなり、右下肢が動かなくなった。 1.陽明経の疏通をはかる。 2.心陽を補う。 3.肝陽の亢進を抑える。 4.肺の気を補う。	1

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第 7 回	後半	問題 46	12	次の文で示す患者の病証に対する適切な治療はどれか。「30歳の女性。月経周期が短く、胸脇部が脹って痛み、怒りっぽくなる。舌質は紅。脈は弦数。」 1. 肝の熱を除く 2. 脾の熱を除く 3. 肺の気を補う 4. 腎の気を補う	1
第 7 回	後半	問題 47	12	固摂機能の低下による夜間頻尿で適切な治療はどれか。 1. 肝の血を補う 2. 心の血を補う 3. 脾の気を補う 4. 腎の気を補う	4
第 7 回	後半	問題 48	12	次の文で示す患者の病証に対する適切な治療はどれか。「50歳の男性。よめまいが起こり、横になると軽減する。顔色は蒼白く疲れやすい。食欲がなく脈状は細。」 1. 気血を補う 2. 胃熱を除く 3. 肝陽を抑える。 4. 湿熱を除く	1
第 7 回	後半	問題 49	12	次の文で示す患者の病証に対する適切な治療はどれか。「50歳の男性。失業し心配事が絶えない。不眠、不安、倦怠感を訴える。」 1. 肝の気を補う 2. 心の気を補う 3. 脾の気を瀉す。 4. 肺の気を瀉す。	2
第 7 回	後半	問題 50	12	四総穴で頸から項にかけての痛みに用いられるのはどれか。 1. 合谷 2. 委中 3. 列缺 4. 足三里	3
第 7 回	後半	問題 51	12	男児の疳の虫に対する灸法で古くから用いられているのはどれか。 1. 左肝俞と右脾俞 2. 右肝俞と左脾俞 3. 左肝俞と右胃俞 4. 右肝俞と左胃俞	1
第 7 回	後半	問題 52	12	次の文で示す症状に対し、罹患神経の刺激を目的とした治療穴として適切でないのはどれか。「耳の前方から下顎にかけて発作性に痛む。」 1. 聴会 2. 擗竹 3. 頰GET車 4. 大迎	2
第 7 回	後半	問題 53	12	次の文で示す患者の病態から考えて罹患部への局所治療として適切な経穴はどれか。「26歳の女性。やせていてなで肩。主訴は右上肢全体の持続的なだるさで、アレンテスト、ジャクソンテストは陰性、エデンテストは陽性である。」 1. 氣戸 2. 巨骨 3. 扶突 4. 肩井	1
第 7 回	後半	問題 54	12	次の文で示す患者の病態に対する治療で適切なデルマトームはどれか。「45歳の男性。手背から中指にかけてしびれと知覚鈍麻とがある。肘関節伸展時の筋力低下、ジャクソンテスト陽性。」 1. C5 2. C6 3. C7 4. C8	3
第 7 回	後半	問題 55	12	次の文で示す患者の病態から考えて治療対象とする罹患筋はどれか。「40歳の男性。棚の上のものを整理していて、肩が痛くなった。肩の外転運動をさせると90度前後でのみ痛みが起こる。」 1. 僧帽筋 2. 棘上筋 3. 大胸筋 4. 上腕三頭筋	2
第 7 回	後半	問題 56	12	次の文で示す患者の病態から考えて罹患部への局所治療として適切な刺鍼部位はどれか。「60歳の男性。3か月前より右腰から殿部にかけて痛む。体幹の前屈時痛はないが、右斜め後ろに反らせた時、痛みが出現する。腰部正中より外方約 2 cm に圧痛がある。」 1. 右腰方形筋 2. 右脊柱起立筋 3. 右仙腸関節 4. 右腰椎椎間関節	4
第 7 回	後半	問題 57	12	次の文で示す運動麻痺に対し、罹患神経の刺激を目的とした適切な治療穴はどれか。「足関節の屈曲(底屈)と足指の屈曲が困難。」 1. 外丘 2. 足三里 3. 陰陵泉 4. 承山	4
第 7 回	後半	問題 58	12	顎関節症の開口障害に対し罹患部への局所治療として適切な経穴はどれか。 1. 四白 2. 陽白 3. 下関 4. 迎香	3
第 7 回	後半	問題 59	12	下腿の慢性コンパートメント症候群の他動運動痛と患部への刺鍼部位との組合せで誤っているのはどれか。 1. 母指の屈曲時痛 - - - - - 解谿 2. 母指の伸展時痛 - - - - - 太衝 3. 内がえし時痛 - - - - - 懸鐘 4. 足関節の伸展(背屈)時痛 - - - 承筋	2
第 7 回	後半	問題 60	12	次の文で示す患者の病態に対する施術目的で最も適切なのはどれか。「76歳の男性。主訴は右下肢痛。間歇性跛行があり、足背動脈及び後脛骨動脈の触知が困難である。下肢の知覚や深部反射に異常はない。」 1. 腰部の神経根への圧迫の改善 2. 腰部の筋緊張改善 3. 下肢の末梢循環改善 4. 下肢の筋力増強	3
第 7 回	後半	問題 61	13	小児鍼に相当する古代九鍼はどれか。 1. 鋒鍼 2. 円鍼 3. 員利鍼 4. 毫鍼	2

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第7回	後半	問題 62	13	細指術と管散術とに共通するのはどれか。 1. 鍼管を使用する。 2. 刺抜を繰り返す。 3. 鍼に振動を与える。 4. 鍼を皮下に刺入する。	1
第7回	後半	問題 63	13	呼気に刺入し、吸気で止めるのはどれか。 1. 振せん術 2. 内調術 3. 随鍼術 4. 屋漏術	3
第7回	後半	問題 64	13	抜鍼困難を起ししやすい刺法はどれか。 1. 示指打法 2. 置鍼術 3. 回旋術 4. 副刺激術	3
第7回	後半	問題 65	13	押手について誤っているのはどれか。 1. 刺鍼部を固定する。 2. 刺入速度を調節する。 3. 皮膚の緊張度を調節する。 4. 鍼体を保持する。	2
第7回	後半	問題 66	13	返し鍼を行う場合はどれか。 1. 脳貧血 2. 折鍼 3. 抜鍼困難 4. 気胸	1
第7回	後半	問題 67	13	次のうち刺鍼により一番早く起こる現象はどれか。 1. 刺鍼刺激の認知 2. 後角細胞の興奮 3. 自律神経の興奮 4. 痛覚閾値の低下	2
第7回	後半	問題 68	13	内因性鎮痛物質が作用する受容体はどれか。 1. ムスカリン様受容体 2. オピオイド受容体 3. ニコチン様受容体 4. ノルアドレナリン受容体	2
第7回	後半	問題 69	13	血管収縮作用をもつ物質はどれか。 1. ヒスタミン 2. ブラジキニン 3. アデノシン 4. セロトニン	4
第7回	後半	問題 70	13	痛覚を抑制する生体機構でないのはどれか。 1. オピオイドの産生 2. 脊髄膠様質細胞 (SG細胞) 3. 下行性抑制系 4. レニン-アンジオテンシン系	4
第7回	後半	問題 71	14	次の文で示す灸法はどれか。母指と示指で艾 (@火主)を覆い、ゆっくり八分目で消火する。」 1. 焦灼灸 2. 打膿灸 3. 知熱灸 4. 透熱灸	2
第7回	後半	問題 72	14	棒灸と灸頭鍼とに共通するのはどれか。 1. 良質艾を用いる。 2. 輻射熱を利用する。 3. 第2度の熱傷が起こる。 4. 機械的刺激が加わる。	2
第7回	後半	問題 73	14	灸法と避けるべき部位との組合せで正しいのはどれか。 1. 焦灼灸 - - - 足部 2. 打膿灸 - - - 肩甲間部 3. 隔物灸 - - - 臍部 4. 透熱灸 - - - 顔面部	4
第7回	後半	問題 74	14	艾の燃焼について正しい記述はどれか。 1. 良質艾は燃焼時間が短い。 2. 良質艾は燃焼温度が高い。 3. 軟らかい艾 (@火主)は燃焼温度が高い。 4. 送風すると燃焼時間は長くなる。	1
第7回	後半	問題 75	14	焦灼灸の目的はどれか。 1. 灸痕の化膿 2. 血管収縮の持続 3. 第1度の熱傷 4. 組織の破壊	4
第7回	後半	問題 76	14	糖尿病患者に適した灸はどれか。 1. 打膿灸 2. 隔物灸 3. 焦灼灸 4. つるし灸	2
第7回	後半	問題 77	14	灸あたりで起こる発熱に関与する脳の部位はどれか。 1. 大脳皮質 2. 大脳基底核 3. 視床 4. 視床下部	4
第7回	後半	問題 78	14	温度感覚について正しい記述はどれか。 1. 受容器はルフィニ終末 (小体)である。 2. 順応しない。 3. 伝導路は後索路である。 4. 50℃では痛覚を伴う。	4
第7回	後半	問題 79	14	施灸による軸索反射で正しい記述はどれか。 1. 反射中枢は脊髄である。 2. 近傍の血管は収縮する。 3. シナプスを經由しない。 4. B線維の興奮による。	3

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第7回	後半	問題 80	14	レイリー現象で次に示す文に該当するのはどれか。過剰刺激であればいかなる種類の刺激でも障害が起こる。 1.非特異性 2.非恒常性 3.障害の拡散 4.血管運動性の障害	1
第8回	前半	問題 1	1	施術者のとるべき態度でないのはどれか。 1.施術内容の患者への情報提供 2.施術者本位の施術 3.施術過程の記録保持 4.患者の自己決定権の尊重	2
第8回	前半	問題 2	1	生活保護法で現物給付を原則とする扶助はどれか。 1.生活扶助 2.住宅扶助 3.教育扶助 4.医療扶助	4
第8回	前半	問題 3	2	公衆衛生について誤っている組合せはどれか。 1.第一次予防 健康増進 2.第二次予防 予防接種 3.第三次予防 社会復帰 4.包括保健 総合的保健	2
第8回	前半	問題 4	2	保健所の業務内容でないのはどれか。 1.人口動態統計 2.労働衛生 3.保健婦(士)の活動 4.衛生検査	2
第8回	前半	問題 5	2	肥満の判定基準でないのはどれか。 1.カウプ指数 2.ローレル指数 3.生活活動指数 4.ブローガ指数	3
第8回	前半	問題 6	2	蚊が媒介する感染症はどれか。 1.腸チフス 2.ペスト 3.日本脳炎 4.エイズ	3
第8回	前半	問題 7	2	クレゾール石けん水について誤っている記述はどれか。 1.喀痰の消毒に使用する。 2.数日放置しても殺菌力は保たれる。 3.同じ濃度では石炭酸より殺菌力が強い。 4.臭気が強い。	2
第8回	前半	問題 8	2	疾患と第一次予防との組合せで効果のないのはどれか。 1.脳梗塞 動物性脂肪の摂取 2.心筋梗塞 ストレスの回避 3.糖尿病 適度の運動 4.肺癌 禁煙	1
第8回	前半	問題 9	2	DNAウイルスはどれか。 1.麻疹ウイルス 2.風疹ウイルス 3.B型肝炎ウイルス 4.エイズウイルス(HIV)	3
第8回	前半	問題 10	2	精神障害者の医療に含まれないのはどれか。 1.措置入院 2.任意入院 3.通院医療 4.養育医療	4
第8回	前半	問題 11	3	身体障害者福祉法について正しい組合せはどれか。 1.対象年齢 18歳以上 2.市町村 身体障害者手帳の交付 3.都道府県 身体障害者援護の実施 4.保健所 更生相談	1
第8回	前半	問題 12	3	施術所について正しいのはどれか。 1.開設予定日の10日前までに届け出る。 2.東京はり科治療院という名称を使用する。 3.6.6平方メートル以上の専用の施術室を有する。 4.休止後の再開は30日以内に届け出る。	3
第8回	前半	問題 13	3	医療行為と医療従事者との組合せで正しいのはどれか。 1.エックス線撮影 はり師、きゅう師 2.歯石除去 歯科衛生士 3.外科手術 救急救命士 4.処方せんなしでの調剤 薬剤師	2
第8回	前半	問題 14	3	はり師、きゅう師の資格要件で欠格事由でないのはどれか。 1.外国国籍の者 2.大麻常習者 3.開放性結核にかかっている者 4.無免許施術者	1
第8回	前半	問題 15	4	細胞について誤っている組合せはどれか。 1.核 ミトコンドリア 2.細胞質 細胞小器官 3.卵子 X染色体 4.生殖細胞 減数分裂	1
第8回	前半	問題 16	4	長骨の構造について正しい記述はどれか。 1.海綿質は骨幹部にみられる。 2.フォルクマン管は骨の長軸に平行に走行する。 3.ハバース管には血管が走行する。 4.骨小腔は骨髓で満たされる。	3
第8回	前半	問題 17	4	第3胸椎には関節面がいくつあるか。 1.4 2.6 3.8 4.1	4

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第8回	前半	問題 18	4	正中環軸関節の運動様式で正しいのはどれか。 1. 頭部の回旋 2. 頭部の前屈 3. 頭部の後屈 4. 頭部の側屈	1
第8回	前半	問題 19	4	横隔膜について誤っている記述はどれか。 1. 停止部は腱中心である。 2. 上面には肝臓が接する。 3. 大動脈裂孔には胸管が通る。 4. 頸神経叢の枝で支配される。	2
第8回	前半	問題 20	4	股関節の運動で腸腰筋の拮抗筋はどれか。 1. 半膜様筋 2. 大腿筋膜張筋 3. 大腿直筋 4. 縫工筋	1
第8回	前半	問題 21	4	肺について誤っている記述はどれか。 1. 右肺には水平裂がみられる。 2. 肺の表面は臓側胸膜で包まれる。 3. 胸膜腔は滑液で満たされる。 4. 肺尖は鎖骨上方へ突出する。	3
第8回	前半	問題 22	4	小腸にみられないのはどれか。 1. 腸絨毛 2. 腹膜垂 3. 孤立リンパ小節 4. 輪状ヒダ	2
第8回	前半	問題 23	4	尿道について誤っている記述はどれか。 1. 女性の尿道は陰前庭に開口する。 2. 男性の尿道は尿道海綿体の中を走る。 3. 尿道上皮は粘膜上皮である。 4. 尿道括約筋は平滑筋である。	4
第8回	前半	問題 24	4	精子を産生する部位はどれか。 1. 曲精細管 2. 精巢網 3. 精巢上体 4. 精管	1
第8回	前半	問題 25	4	甲状腺について誤っている記述はどれか。 1. 後面には上皮小体が附着する。 2. 甲状軟骨に包まれている。 3. 濾胞構造が発達している。 4. サイロキシンを分泌する。	2
第8回	前半	問題 26	4	動脈とその分布域との組合せで正しいのはどれか。 1. 腹腔動脈 胃 2. 上腸間膜動脈 直腸 3. 腎動脈 精巢 4. 下腸間膜動脈 卵巣	1
第8回	前半	問題 27	4	肺の栄養動脈を分枝するのはどれか。 1. 肺動脈 2. 胸大動脈 3. 総頸動脈 4. 腋窩動脈	2
第8回	前半	問題 28	4	脳の部位と神経核との組合せで正しいのはどれか。 1. 大脳半球 黒質 2. 間脳 赤核 3. 中脳 扁桃核 4. 小脳 歯状核	4
第8回	前半	問題 29	4	脳室系について正しい記述はどれか。 1. 側脳室は視床の間にある。 2. 第3脳室は中脳にある。 3. 脳脊髄液は脈絡叢で産生される。 4. 脳室は硬膜下腔に通じる。	3
第8回	前半	問題 30	4	デルマトームについて誤っている組合せはどれか。 1. 頸部 第3頸神経 2. 乳房部 第4胸神経 3. 臍部 第1腰神経 4. 後大腿部 第2仙骨神経	3
第8回	前半	問題 31	4	毛包に開口する腺はどれか。 1. 小汗腺 2. 脂腺 3. マイボーム腺 4. アポクリン汗腺	または
第8回	前半	問題 32	4	頸部における三角とそこにみられるものとの組合せで誤っているのはどれか。 1. 頸下三角 顎下腺 2. 後頸三角 頸神経叢 3. 頸動脈三角 総頸動脈 4. オトガイ下三角 顔面動脈	4
第8回	前半	問題 33	4	体表から拍動を触れる動脈はどれか。 1. 眼動脈 2. 舌動脈 3. 浅側頭動脈 4. 上甲状腺動脈	3
第8回	前半	問題 34	5	細胞膜を介した物質の移動で浸透にあたる記述はどれか。 1. 溶質分子が濃度勾配に沿って移動する。 2. 小分子のものが移動する。 3. 水の分子が溶質濃度の高い方に移動する。 4. エネルギーを使って移動する。	3

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第8回	前半	問題 35	5	赤血球の破壊で生じるのはどれか。 1. グロブリン 2. フィブリノーゲン 3. ウロビリノーゲン 4. プラスミンノーゲン	3
第8回	前半	問題 36	5	体内に二酸化炭素が蓄積した場合に起こるのはどれか。 1. 呼吸性アシドーシス 2. 代謝性アシドーシス 3. 呼吸性アルカローシス 4. 代謝性アルカローシス	1
第8回	前半	問題 37	5	心臓のスターリングの法則で正しい記述はどれか。 1. 心筋は伸展の度合いに応じた収縮力を発生する。 2. 心筋は太さに応じた収縮力を発生する。 3. 心筋は長さとは無関係に一定の収縮力を発生する。 4. 心筋は静脈環流量が少ない程大きな収縮力を発生する。	1
第8回	前半	問題 38	5	毎分心拍出量が増える直接の原因とならないのはどれか。 1. 一回心拍出量の増加 2. 静脈環流量の増加 3. 血圧の上昇 4. 心拍数の増加	3
第8回	前半	問題 39	5	胆汁について誤っている記述はどれか。 1. 消化酵素を含む。 2. 胆汁酸を含む。 3. 胆汁色素はビリルビンである。 4. 十二指腸に排出される。	1
第8回	前半	問題 40	5	血糖について誤っているのはどれか。 1. エネルギー源となる。 2. グリコーゲンとして蓄積される。 3. 食後急速に上昇する。 4. グルカゴンの作用で減少する。	4
第8回	前半	問題 41	5	血液の浸透圧を感受する部位はどれか。 1. 副腎髄質 2. 脳幹 3. 下垂体前葉 4. 視床下部	4
第8回	前半	問題 42	5	ホルモンとその作用との組合せで誤っているのはどれか。 1. プロゲステロン 妊娠の維持 2. 黄体形成ホルモン 排卵の誘発 3. エストロゲン 卵胞の発育 4. オキシトシン 子宮筋の弛緩	4
第8回	前半	問題 43	5	神経組織の損傷でみられないのはどれか。 1. グリア細胞の増殖 2. 神経細胞体の再生 3. 神経線維の再生 4. 神経線維の逆行変性	2
第8回	前半	問題 44	5	自律神経の二重支配を受けないのはどれか。 1. 唾液腺 2. 心臓 3. 立毛筋 4. 膀胱	3
第8回	前半	問題 45	5	心筋の特徴で誤っている記述はどれか。 1. 強縮する。 2. 絶対不応期は骨格筋より長い。 3. 自動性をもつ。 4. 自律神経支配を受ける。	1
第8回	前半	問題 46	5	膝蓋腱反射について誤っている記述はどれか。 1. 受容器は筋紡錘である。 2. シンナプス反射である。 3. 運動ニューロンが関与する。 4. 脊髄反射である。	2
第8回	前半	問題 47	5	受容器と神経線維との組合せで誤っているのはどれか。 1. 圧覚受容器 A 繊維 2. 腱紡錘 A 繊維 3. 冷覚受容器 A 繊維 4. 痛覚受容器 C 繊維	2
第8回	前半	問題 48	5	痛覚について誤っている記述はどれか。 1. 脊髄視床路を上行する。 2. 順応しやすい。 3. 関連痛は内臓炎症時に生じやすい。 4. 鋭い痛みは A 繊維で伝えられる。	2
第8回	前半	問題 49	5	平衡感覚に関与しないのはどれか。 1. 有毛細胞 2. コルチ器官 3. リンパ 4. 平衡砂	2
第8回	前半	問題 50	6	熱傷による作用として誤っているのはどれか。 1. 蛋白質の凝固 2. 細胞膜の崩壊 3. 酵素の活性化障害 4. DNAの溶解	4
第8回	前半	問題 51	6	肺の脂肪塞栓症の原因とならないのはどれか。 1. 早期胎盤剥離 2. 大腿骨骨折 3. 肥満体の腹部手術 4. 交通事故による挫滅	1
第8回	前半	問題 52	6	糖尿病の合併症の中で細小血管障害によらないのはどれか。 1. 腎症 2. 白内障 3. 網膜症 4. ニューロパチー	2

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第8回	前半	問題 53	6	結核菌について誤っている記述はどれか。 1. 結核菌に感染した者はすべて発症する。 2. 幼児と老人の結核は全身散布されやすい。 3. 結核菌はマクロファージ内でも分裂増殖する。 4. 結核菌に対する免疫反応はTリンパ球が主体である。	1
第8回	前半	問題 54	6	エイズについて正しい記述はどれか。 1. 飛沫感染する。 2. 病原体はヘルペスウイルスである。 3. 好中球の極度の減少が主な病変である。 4. 死因は日和見感染が主である。	4
第8回	前半	問題 55	6	癩痕組織の主体を占めるのはどれか。 1. 毛細血管 2. 膠原線維 3. 遊走細胞 4. 再生上皮	2
第8回	前半	問題 56	6	腫瘍の間質について誤っている記述はどれか。 1. 肝細胞癌の間質は毛細血管からなる。 2. 硬性癌には膠原線維が多い。 3. 肉腫では腫瘍細胞と間質の境界が明瞭である。 4. 浸潤性発育を示すのは悪性腫瘍である。	3
第8回	前半	問題 57	7	低身長を起こさない疾患はどれか。 1. 下垂体前葉機能不全症 2. ターナー症候群 3. クレチン病 4. クラインフェルター症候群	4
第8回	前半	問題 58	7	湿疹の症候でないのはどれか。 1. 膨疹 2. 紅斑 3. 小水疱 4. 鱗屑	1
第8回	前半	問題 59	7	表在反射でないのはどれか。 1. 角膜反射 2. 咽頭反射 3. 下顎反射 4. 拳拳筋反射	3
第8回	前半	問題 60	7	下痢を主訴としない疾患はどれか。 1. 十二指腸憩室 2. 胃切除後症候群 3. 過敏性腸症候群 4. 潰瘍性大腸炎	1
第8回	前半	問題 61	7	随時血圧測定で誤っている記述はどれか。 1. 坐位で測定する。 2. 収縮期血圧はスワン第5点で判定する。 3. 収縮期血圧は触診法で測定できる。 4. 収縮期血圧は触診法よりも聴診法で高値を示す。	2
第8回	前半	問題 62	7	脱臼直後の処置として適切でないのはどれか。 1. 整復 2. 固定 3. 冷却 4. 関節穿刺	4
第8回	前半	問題 63	7	骨粗鬆症で骨折しにくい部位はどれか。 1. 脊椎椎体 2. 頭蓋骨 3. 大腿骨頸部 4. 橈骨遠位端	2
第8回	前半	問題 64	7	細菌が原因となる感染症はどれか。 1. インフルエンザ 2. C型肝炎 3. カンジダ症 4. 腸チフス	4
第8回	前半	問題 65	7	一次救命処置に含まれないのはどれか。 1. 気道確保 2. 口 - 口式人工呼吸 3. バッグ・マスク式人工呼吸 4. 胸骨圧迫心臓マッサージ	3
第8回	前半	問題 66	7	言語を理解できないのはどれか。 1. フローカ失語 2. ウェルニッケ失語 3. 健忘失語 4. 伝導失語	2
第8回	前半	問題 67	7	歩行について誤っている組合せはどれか。 1. 鶏歩 下位運動ニューロン障害 2. 痙性歩行 上位運動ニューロン障害 3. アヒル歩行 錐体外路障害 4. 失調性歩行 小脳障害	3
第8回	前半	問題 68	7	正しい組合せはどれか。 1. 痙性麻痺 折りたたみナイフ現象 2. 弛緩性麻痺 鉛管現象 3. 筋強剛(固縮) 反射亢進 4. 痙直 振り子様運動	1

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第8回	前半	問題 69	8	子宮筋腫について正しいのはどれか。 1. 20歳代に好発する。 2. 子宮頸部に好発する。 3. 不妊症の原因となる。 4. 過多月経となる。	3
第8回	前半	問題 70	8	腎盂腎炎を起こしにくいのはどれか。 1. 馬蹄腎 2. 尿路結石 3. 膀胱尿管逆流現象 4. 尿管症	4
第8回	前半	問題 71	8	ギラン・バレー症候群で誤っているのはどれか。 1. 髄液蛋白減少 2. 四肢脱力 3. 深部反射減弱 4. 顔面神経麻痺	1
第8回	前半	問題 72	8	四肢麻痺をきたす疾患はどれか。 1. 褐色細胞腫 2. 尿管症 3. アンソノン病 4. 原発性アルドステロン症	4
第8回	前半	問題 73	8	尿酸の代謝障害が原因となる急性関節炎はどれか。 1. 慢性関節リウマチ 2. 痛風 3. 変形性関節症 4. 乾癬性関節炎	2
第8回	前半	問題 74	8	呼吸とその原因との組合せで誤っているのはどれか。 1. 頻呼吸 脳圧亢進 2. クスマウル大呼吸 糖尿病性アシドーシス 3. 起坐呼吸 心不全 4. チェーン・ストークス呼吸 尿毒症	1
第8回	前半	問題 75	8	疾患と検査との組合せで誤っているのはどれか。 1. 胆石症 超音波検査 2. 急性膵炎 内視鏡検査 3. 大腸癌 便潜血反応 4. 肝癌 CT検査	2
第8回	前半	問題 76	8	細菌性心内膜炎で誤っている記述はどれか。 1. 歯科治療が誘因となりやすい。 2. 心雑音が聴取される。 3. 顕微鏡的血尿が出現する。 4. 多血症となる。	4
第8回	前半	問題 77	8	貧血について誤っている組合せはどれか。 1. 鉄欠乏性貧血 大球性正色素性赤血球 2. 悪性貧血 ビタミンB12欠乏 3. 再生不良性貧血 汎血球減少 4. 溶血性貧血 黄疸	1
第8回	前半	問題 78	8	変形性関節症でヘバーデン結節のみられる関節はどれか。 1. 指関節 2. 肩関節 3. 股関節 4. 膝関節	1
第8回	前半	問題 79	8	動脈疾患とその症状との組合せで誤っているのはどれか。 1. 解離性大動脈瘤 体幹部激痛 2. 閉塞性動脈硬化症 虚血性潰瘍 3. レイノー病 間欠性跛行 4. 大動脈炎症候群 橈骨動脈拍動減弱	3
第8回	前半	問題 80	8	第4～5腰椎椎間板ヘルニアについて正しいのはどれか。 1. ラセーグテスト陰性 2. 膝蓋腱反射正常 3. 下腿後面部の感覚鈍麻 4. 大腿四頭筋萎縮	2
第8回	後半	問題 1	8	小児の上腕骨顆上骨折について誤っている記述はどれか。 1. 肘を伸ばして転倒したときに起こる。 2. 筋皮神経が損傷されやすい。 3. 上腕末端部に強い自発痛が生じる。 4. フォルクマン拘縮の予防が必要である。	2
第8回	後半	問題 2	8	出血性ショックの症状で誤っているのはどれか。 1. 頻脈 2. 血圧低下 3. 尿量増加 4. 意識レベル低下	3
第8回	後半	問題 3	8	痛みの治療を目的とした神経ブロックはどれか。 1. 三叉神経ブロック 2. 顔面神経ブロック 3. 大後頭神経ブロック 4. 肩甲上神経ブロック	2
第8回	後半	問題 4	8	膝関節のスポーツ外傷で誤っている組合せはどれか。 1. 前十字靭帯損傷 ラックマンテスト 2. 内側側副靭帯損傷 外反動揺性 3. 外側側副靭帯損傷 引き出し症状 4. 半月板損傷 マクマレーテスト	3
第8回	後半	問題 5	8	感染による中枢神経疾患はどれか。 1. 麻痺性痙攣 2. 脊髄空洞症 3. パーキンソン病 4. 脊髄小脳変性症	1
第8回	後半	問題 6	8	筋萎縮性側索硬化症でみられない症候はどれか。 1. 線維束攣縮 2. 深部反射亢進 3. 筋力低下 4. 不随意運動	4

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第8回	後半	問題 7	8	痴呆が出現しない疾患はどれか。 1.小脳橋角部腫瘍 2.ハンチントン舞蹈病 3.アルツハイマー病 4.ウイルソン病	1
第8回	後半	問題 8	8	眼疾患について正しい組合せはどれか。 1.白内障 ブドウ膜炎 2.ペーチェット病 色覚異常 3.網膜色素変性症 水晶体白濁 4.緑内障 眼圧亢進	4
第8回	後半	問題 9	9	社会的不利について正しい記述はどれか。 1.一人で服を着替えることができない。 2.麻痺のため手が動かない。 3.車椅子の操作ができない。 4.段差があり車椅子で公園に入れない。	4
第8回	後半	問題 10	9	股関節について誤っている記述はどれか。 1.大腿骨頭の約2/3は寛骨臼の中にある。 2.正常の頸体角は約120～130度である。 3.ハムストリングスは屈曲に作用する。 4.屈曲角度は膝の伸展時より屈曲時の方が大きい。	3
第8回	後半	問題 11	9	正常歩行において遊脚期に活動がみられない筋はどれか。 1.前脛骨筋 2.ヒラメ筋 3.大腿四頭筋 4.腸腰筋	2
第8回	後半	問題 12	9	関節可動域測定で誤っている記述はどれか。 1.肩の屈曲は肩峰を通る床への垂直線を基本軸とする。 2.手関節の屈曲は橈骨と第5中手骨との角度を測る。 3.股関節の外転は大腿中央線を移動軸とする。 4.膝の屈曲は大腿骨と腓骨との角度を測る。	2
第8回	後半	問題 13	9	脳卒中片麻痺患者のリハビリテーションについて誤っている記述はどれか。 1.家屋の構造を知る必要がある。 2.介助の軽減は目的の一つとなる。 3.発症後6か月で完結させる。 4.弛緩性麻痺の期間が長いと到達レベルは低い。	3
第8回	後半	問題 14	9	脊髄損傷の理学療法で誤っているのはどれか。 1.1日2回の体位変換を行う 2.呼吸訓練を行う 3.褥瘡予防にプッシュアップを行う 4.下位腰髄損傷では実用的な歩行を目指す。	1
第8回	後半	問題 15	9	末梢神経損傷におけるリハビリテーションとその目的との組合せで誤っているのはどれか。 1.関節可動域訓練 拘縮の予防 2.自動介助運動 筋の再教育 3.装具の装着 変形の予防 4.自助具の使用 筋力の強化	4
第8回	後半	問題 16	9	心疾患における運動強度の指標として適切でないのはどれか。 1.6分間歩行テスト 2.メッツ (METS) 3.脈拍数 4.血圧	1
第8回	後半	問題 17	10	陰陽のリズム現象はどれか。 1.陰陽可分 2.陰陽転化 3.陰陽消長 4.陰陽制約	3
第8回	後半	問題 18	10	神を蔵し君主の官といわれるのはどれか。 1.肝 2.心 3.肺 4.腎	2
第8回	後半	問題 19	10	血を脈外に漏らさないようにするのはどれか。 1.固摂作用 2.温煦作用 3.防御作用 4.推动作用	1
第8回	後半	問題 20	10	五臓と五志との組合せで正しいのはどれか。 1.肝 思 2.脾 喜 3.肺 怒 4.腎 恐	4
第8回	後半	問題 21	10	血を生成し、血とともに脈中をめぐる気はどれか。 1.営気 2.清気 3.臟気 4.衛気	1
第8回	後半	問題 22	10	次の文で示す症状はどの経絡病証か。空腹感はあるが食欲はなく、顔色は黒ずみ、呼吸が苦しげき込む。」 1.手の太陰肺経 2.足の太陰脾経 3.足の少陰腎経 4.足の厥陰肝経	3
第8回	後半	問題 23	10	脾の病証でみられる症状はどれか。 1.胸脇苦満 2.心悸亢進 3.腹部膨満感 4.性欲減退	3
第8回	後半	問題 24	10	八綱病証で病勢を示すのはどれか。 1.寒熱 2.陰陽 3.表裏 4.虚实	4

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第8回	後半	問題 25	10	弱々しく細く指に感じられる脈状で虚証にみられるのはどれか。 1. 濡脈 2. 洪脈 3. 滑脈 4. 弦脈	1
第8回	後半	問題 26	10	聞診で診るのはどれか。 1. 五主 2. 五音 3. 五味 4. 五悪	2
第8回	後半	問題 27	10	小腹不仁を示す臓の病はどれか。 1. 肝 2. 心 3. 脾 4. 腎	4
第8回	後半	問題 28	10	脈について誤っている記述はどれか。 1. 祖脈には数脈がある。 2. 七表の脈には実脈がある。 3. 八裏の脈には結脈がある。 4. 四季に応じる脈には弦脈がある。	3
第8回	後半	問題 29	10	骨痺に対する刺法はどれか。 1. 短刺 2. 報刺 3. 揚刺 4. 浮刺	1
第8回	後半	問題 30	10	難經六十九難で肝実証に行間穴とともに瀉法を行う経穴はどれか。 1. 大敦 2. 少府 3. 中封 4. 然谷	2
第8回	後半	問題 31	11	補法に該当しない刺鍼法はどれか。 1. 細く柔らかい鍼を用いる。 2. 経気の流れにしたがって鍼を静かに刺入する。 3. 吸気に刺入し、呼気に抜く。 4. 刺鍼後は素早く鍼孔を閉じる。	3
第8回	後半	問題 32	11	骨度法で前髪際から後髪際までの長さは何寸か。 1. 1尺 2寸 2. 1尺 4寸 3. 1尺 6寸 4. 1尺 8寸	1
第8回	後半	問題 33	11	足の第1指外側爪甲根部に始まる経絡はどれか。 1. 足の太陰脾経 2. 足の厥陰肝経 3. 足の少陽胆経 4. 足の陽明胃経	2
第8回	後半	問題 34	11	かかとから始まり足の少陰の別脈といわれるのはどれか。 1. 陰(きょう)足喬脈 2. 陽(きょう)足喬脈 3. 陰維脈 4. 陽維脈	1
第8回	後半	問題 35	11	中(かん)月完)穴について誤っているのはどれか。 1. 任脈に属する。 2. 臍上4寸に取る。 3. 脾経の募穴である。 4. 腑会である。	3
第8回	後半	問題 36	11	経穴で同じ高さにあるのはどれか。 1. 上(かん)月完)と梁門 2. 水分と商曲 3. 中極と太極 4. 関元と太極	3
第8回	後半	問題 37	11	胸椎棘突起間の外方3寸の取穴で正しいのはどれか。 1. 附分は第3-第4の間 2. 膈関は第6-第7の間 3. 魂門は第8-第9の間 4. 意舎は第11-第12の間	4
第8回	後半	問題 38	11	取穴法で正しい記述はどれか。 1. 手三里は曲池の下方3寸に取る。 2. 外関は陽池の上方4寸に取る。 3. 築賓は太谿の上方5寸に取る。 4. 下(かん)月完)は神関の上方3寸に取る。	3
第8回	後半	問題 39	11	咬筋上にある経穴はどれか。 1. 迎香 2. 和(じょう)骨膠) 3. 四白 4. 下関	4
第8回	後半	問題 40	11	経穴と動脈との組合せで誤っているのはどれか。 1. 人迎 総頸動脈 2. 曲沢 上腕動脈 3. 委中 膝窩動脈 4. 太谿 前脛骨動脈	4
第8回	後半	問題 41	11	橈骨神経の支配領域にある経穴はどれか。 1. 尺沢 2. 天井 3. 内関 4. 神門	2
第8回	後半	問題 42	11	五行穴の主治で誤っている記述はどれか。 1. 井穴は心下満を主る。 2. 栄穴は喘咳寒熱を主る。 3. 兪穴は体重節痛を主る。 4. 合穴は逆気して泄を主る。	2

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第8回	後半	問題 43	11	絡穴はどれか。 1. 孔最 2. 養老 3. 大鐘 4. 衝陽	3
第8回	後半	問題 44	11	八会穴に属さない経穴はどれか。 1. 三陰交 2. 膻俞 3. (だん 月壇 中) 4. 懸鐘 (絶骨)	1
第8回	後半	問題 45	12	霊枢経脈篇の治療原則で正しい記述はどれか。 1. 虚するときは即ち之を瀉す。 2. 熱するときは即ち之を補す。 3. 寒するときは即ち之を疾す。 4. 陷下するときは即ち之を灸す。	4
第8回	後半	問題 46	12	次の文で示す患者の病証に対し、難経六十九難に基づき補法を行う治療穴はどれか。「40歳の女性。1年前から歩きすぎると膝が痛み、眩暈と手足のひきつりが時々起こる。脈状は弦脈。」 1. 曲泉、陰谷 2. 大都、少府 3. 太淵、太白 4. 復溜、経渠	1
第8回	後半	問題 47	12	次の文で示す病証に対する適切な治療穴はどれか。四肢の無力感、息切れ及び食欲不振。顔色が悪く黄色っぽい。舌苔白。脈が弱い。」 1. 太白 2. 太衝 3. 京骨 4. 丘墟	1
第8回	後半	問題 48	12	肩痛の罹患部位と局所治療穴との組合せで適切でないのはどれか。 1. 棘上筋 巨骨 2. 肩甲下筋 天 (りょう 骨膠) 3. 棘下筋 天宗 4. 腱板部 肩 (りょう 骨膠)	2
第8回	後半	問題 49	12	次の文で示す患者の病態に対する適切な治療はどれか。「35歳の女性。食欲がなく、やせて顔色が悪い。少し動くと息切れがして疲れる。低血圧で朝起きるのがつらい。脈は弱い。」 1. 脾經に補法の灸を行う 2. 肝經に補法の灸を行う 3. 腎經に瀉法の鍼を行う 4. 肺經に瀉法の鍼を行う	1
第8回	後半	問題 50	12	出産後、頸肩部の経絡が滋養されないことで起こる肩こりに対する適切な治療法はどれか。 1. 心の血を補う 2. 肝の血を補う 3. 脾の気を補う 4. 肺の気を補う	2
第8回	後半	問題 51	12	理学的検査と刺鍼部位との組合せで適切でないのはどれか。 1. エデンテスト陽性 氣戸 2. アドソンテスト陽性 缺盆 3. アレンテスト陽性 天鼎 4. ヤーガンテスト陽性 臑会	4
第8回	後半	問題 52	12	頭部の神経痛と治療穴との組合せで適切なのはどれか。 1. 三叉神経第1枝痛 後頂 2. 三叉神経第3枝痛 完骨 3. 大後頭神経痛 玉枕 4. 小後頭神経痛 百会	3
第8回	後半	問題 53	12	次の文で示す患者の病態に対する治療穴で適切なのはどれか。「45歳の女性。1年前から水泳を始めた。最近クロールの際右肩に痛みが起こる。ベインフルアークサイン陽性。」 1. 臑会 2. 天府 3. 肩 (くう 骨禺) 4. 肩外俞	3
第8回	後半	問題 54	12	次の文で示す患者の病態に対し、罹患部への局所治療穴として適切なのはどれか。「50歳の男性。左官業。上肢に痛みとしびれが出現し、作業により増悪する。ライトテスト陽性。ジャクソンテスト陰性。」 1. 肩井 2. 肩 (りょう 骨膠) 3. 中府 4. 天 (りょう 骨膠)	3
第8回	後半	問題 55	12	次の文で示す病態に対し、神経絞扼部に直接刺激を与える治療穴はどれか。手掌中央部が痛む。指先の感覚が鈍く、しびれもある。」 1. 曲池 2. 大陵 3. 陰 (げき) 4. 支正	2
第8回	後半	問題 56	12	次の文で示す患者の病態に対し、適切な刺鍼部位はどれか。50歳の男性。椎間板ヘルニアを発症し、腰下肢が痛む。患側では足指屈曲時の筋力低下、足底部の知覚鈍麻、アキレス腱反射の減弱がみられる。」 1. L2～L3間の直側 2. L3～L4間の直側 3. L4～L5間の直側 4. L5～S1間の直側	4
第8回	後半	問題 57	12	次の文で示す麻痺に対し、施術対象となる罹患筋はどれか。「足関節の屈曲が困難となり、爪先立ちができない。」 1. 前脛骨筋 2. 長指伸筋 3. 腓腹筋 4. 短腓骨筋	3
第8回	後半	問題 58	12	次に示す部位への施術が効果的な運動麻痺はどれか。「鎖骨上窩、腋窩、内側上腕二頭筋溝および浅指屈筋と長掌筋との間」 1. すべての指の伸展不能 2. 四肢の内・外転不能 3. 母指対立運動不能 4. 手関節伸展不能	3

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第8回	後半	問題 59	12	メニエール病に対する治療方針として適切でないのはどれか。 1. 内耳の循環改善 2. 視機能の改善 3. 自律神経機能の改善 4. 頸部の筋の過緊張の改善	2
第8回	後半	問題 60	12	次の文で示す患者の病態に対し、治療対象となる罹患筋はどれか。「45歳の男性。テニスをする際、バックハンドストローク時に肘に痛みを感じる。チェアテスト陽性。」 1. 回外筋 2. 橈側手根屈筋 3. 長掌筋 4. 短橈側手根伸筋	4
第8回	後半	問題 61	13	次の古代九鍼のうち皮膚を切開するのはどれか。 1. 毫鍼 2. 長鍼 3. 大鍼 4. (ひ 金皮) 鍼	4
第8回	後半	問題 62	13	最も古くからある鍼法はどれか。 1. 撚鍼法 2. 打鍼法 3. 管鍼法 4. 皮内鍼法	1
第8回	後半	問題 63	13	1寸 6分の 3番鍼の太さと長さとの組合せで正しいのはどれか。 1. 0.17mm 50mm 2. 0.20mm 50mm 3. 0.17mm 60mm 4. 0.20mm 60mm	2
第8回	後半	問題 64	13	雀啄を用いる手技はどれか。 1. 屋漏術 2. 回旋術 3. 間歇術 4. 内調術	1
第8回	後半	問題 65	13	最も弱い刺激となる手技はどれか。 1. 振せん術 2. 乱鍼術 3. 管散術 4. 旋撚術	3
第8回	後半	問題 66	13	鍼の過誤について誤っている記述はどれか。 1. 抜鍼困難な時は回旋術を行う 2. 刺鍼後に残る違和感を予防するために後揉法を丁寧に行う 3. 折鍼した時は静かに皮膚を押し下げて折片を探す。 4. 感染防止には消毒用アルコールを使用する。	1
第8回	後半	問題 67	13	内因性オピオイドの効果を特異的に消失させる物質はどれか。 1. セロトニン 2. プラジキニン 3. ナロキソン 4. ヒスタミン	3
第8回	後半	問題 68	13	常習性便秘に対する背部の鍼治療の効果はどの作用によるか。 1. 誘導作用 2. 転調作用 3. 防御作用 4. 反射作用	4
第8回	後半	問題 69	13	鍼刺激が膵臓のホルモンに与える影響を調べる場合、指標とならないのはどれか。 1. グルカゴン 2. オキシトシン 3. インスリン 4. ソマトスタチン	2
第8回	後半	問題 70	13	圧発汗反射の学説で圧迫側に起こる反応として正しい組合せはどれか。 1. 発汗 増加 2. 腋窩温 低下 3. 血圧 上昇 4. 鼻粘膜毛細血管 収縮	2
第8回	後半	問題 71	14	艾の品質について正しい組合せはどれか。 1. 繊維は細かい 粗悪 2. 色調は灰白色 良質 3. 熱感は温和 粗悪 4. 灰は少ない 良質	4
第8回	後半	問題 72	14	うおのめの治療に適した灸法はどれか。 1. 焦灼灸 2. 打膿灸 3. 知熱灸 4. 透熱灸	1
第8回	後半	問題 73	14	灸施術の刺激量について誤っている記述はどれか。 1. 艾 (しゅ 火主) は大きいほど強刺激である。 2. 壮数は多いほど強刺激である。 3. ひねりは軟らかいほど強刺激である。 4. 有痕灸は無痕灸より強刺激である。	3
第8回	後半	問題 74	14	患者への灸の刺激量を定める要因でないのはどれか。 1. 施術部位 2. 体格 3. 飲酒の経験 4. 灸治療の経験	3
第8回	後半	問題 75	14	施灸直後から増加する血液成分はどれか。 1. 白血球 2. 赤血球 3. コレステロール 4. アルブミン	1
第8回	後半	問題 76	14	灸刺激が下垂体 - 副腎皮質系に影響を及ぼした場合に変化するものはどれか。 1. インスリン 2. アドレナリン 3. カルシトニン 4. ACTH	4

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第8回	後半	問題 77	14	有痕灸の施灸局所で起こらない現象はどれか。 1.蛋白質の変性 2.ブラジキニンの産生 3.血管透過性の亢進 4.内因性鎮痛物質の産生	4
第8回	後半	問題 78	14	エアポケット現象と関連の深いのはどれか。 1.良導点 2.圧診点 3.撥診点 4.丘疹点	2
第8回	後半	問題 79	14	内因性オピオイドに属さないのはどれか。 1.エンドルフィン 2.ルアドレナリン 3.ダイルフィン 4.エンケファリン	2
第8回	後半	問題 80	14	生体のフィードバック機構を説明した学説はどれか。 1.サイバネティクス 2.汎適応症候群 3.条件反射 4.過剰刺激症候群	1
第9回	前半	問題 1	1	施術者の行為として適切でないのはどれか。 1.処方せんの交付 2.施術内容の記録保持 3.全人的な施術 4.賠償責任保険加入	1
第9回	前半	問題 2	1	成人男性の喫煙率が最も高い国はどれか。 1.アメリカ合衆国 2.オランダ 3.スウェーデン 4.日本	4
第9回	前半	問題 3	2	健康被害とその原因との組合せで誤っているのはどれか。 1.水俣病 有機水銀 2.イタイイタイ病 ヒ素 3.カネミ油症 PCB 4.ダイオキシン汚染 塩素系ごみの不完全燃焼	2
第9回	前半	問題 4	2	第一次予防でないのはどれか。 1.健康教育 2.安全な水の供給 3.予防接種 4.健康診査	4
第9回	前半	問題 5	2	生活習慣病はどれか。 1.エイズ 2.糖尿病 3.ウイルス性肝炎 4.肺炎	2
第9回	前半	問題 6	2	我が国の最近の衛生統計で誤っている記述はどれか。 1.人口は減少しつつある。 2.乳児死亡率は世界最低水準にある。 3.女性の平均寿命は 80 歳を超えている。 4.離婚件数は増加しつつある。	1
第9回	前半	問題 7	2	感染型細菌性食中毒の原因菌でないのはどれか。 1.腸炎ビブリオ 2.サルモネラ菌 3.ボツリヌス菌 4.カンヒロバクター	3
第9回	前半	問題 8	2	我が国の最近の癌死亡率で著しく減少しているのはどれか。 1.肺癌 2.胃癌 3.肝癌 4.大腸癌	2
第9回	前半	問題 9	2	我が国のゴミ処理方法のうち最も処理量の多いのはどれか。 1.資源化 2.埋め立て 3.焼却 4.堆肥化	3
第9回	前半	問題 10	2	理学的消毒法でないのはどれか。 1.乾熱滅菌 2.煮沸消毒 3.日光消毒 4.逆性石けんによる消毒	4
第9回	前半	問題 11	3	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律で広告できるのはどれか。 1.鍼灸医東京太郎 2.胃腸炎に効くはり 3.東京鍼灸療院 4.中国秘伝のはり治療	3
第9回	前半	問題 12	3	正しい組合せはどれか。 1.保健所の設置 医療法 2. BCGの接種 予防接種法 3.医療用具の販売 薬事法 4.育成医療 生活保護法	3
第9回	前半	問題 13	3	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律に定める施術所開設の届出期限はどれか。 1.開設後 5日以内 2.開設後 10 日以内 3.開設後 20 日以内 4.開設後 30 日以内	2
第9回	前半	問題 14	3	はり師、きゅう師に許される施術行為はどれか。 1.医師の指示による外科手術 2.薬品の投与 3.販売目的での調剤 4.業務範囲内の電気光線器具の使用	4

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第9回	前半	問題 15	4	筋裂孔を通るのはどれか。 1. 大伏在静脈 2. 足底筋の腱 3. 大腿神経 4. 大腿動脈	3
第9回	前半	問題 16	4	腰三角の構成に関与しないのはどれか。 1. 腸骨稜 2. 外腹斜筋 3. 広背筋 4. 腹横筋	4
第9回	前半	問題 17	4	大脳内にみられないのはどれか。 1. 連合線維 2. 交連線維 3. 投射線維 4. 節後線維	4
第9回	前半	問題 18	4	尺骨神経に支配されている筋はどれか。 1. 母指内転筋 2. 母指対立筋 3. 示指伸筋 4. 短母指伸筋	1
第9回	前半	問題 19	4	中脳にみられるのはどれか。 1. 視床 2. 被蓋 3. 脳弓 4. 脳梁	2
第9回	前半	問題 20	4	脳について誤っている記述はどれか。 1. 大脳は2つの半球に分かれる。 2. 間脳には視床下部がある。 3. 脳室は脊髓中心管とつながる。 4. 小脳は脳幹に属する。	4
第9回	前半	問題 21	4	下肢の動脈について誤っている記述はどれか。 1. 貫通動脈は大腿深動脈から分岐する。 2. 大腿動脈は大腿三角を通る。 3. 前脛骨動脈は膝窩動脈から分岐する。 4. 足背動脈は後脛骨動脈の延長である。	4
第9回	前半	問題 22	4	門脈系がみられる内分泌腺はどれか。 1. 松果体 2. 下垂体 3. 甲状腺 4. 副腎	2
第9回	前半	問題 23	4	子宮について誤っている記述はどれか。 1. 子宮底は腔につながる。 2. 表面は腹膜で覆われる。 3. 内膜は粘膜である。 4. 筋層は平滑筋である。	1
第9回	前半	問題 24	4	腎小体について誤っている記述はどれか。 1. 腎臓の皮質に存在する。 2. 糸球体に入入りする血管は動脈である。 3. 腎小体の一端から尿管が続く。 4. ネフロンを構成する。	3
第9回	前半	問題 25	4	気管について誤っている記述はどれか。 1. 喉頭の下方に続く。 2. 食道の後方に位置する。 3. 内面は粘膜で覆われる。 4. 気管軟骨は馬蹄形をしている。	2
第9回	前半	問題 26	4	大腸について正しい記述はどれか。 1. 小腸と同じ長さである。 2. 輪状ヒダがある。 3. 直腸は腸間膜をもつ。 4. 盲腸から虫垂が突出する。	4
第9回	前半	問題 27	4	外胚葉由来の上皮組織を有するのはどれか。 1. 網膜 2. 胸膜 3. 気管 4. 卵管	1
第9回	前半	問題 28	4	脊柱起立筋でないのはどれか。 1. 多裂筋 2. 最長筋 3. 腸肋筋 4. 棘筋	1
第9回	前半	問題 29	4	上腕骨外側上顆に起始するのはどれか。 1. 円回内筋 2. 尺側手根伸筋 3. 長母指伸筋 4. 腕橈骨筋	2
第9回	前半	問題 30	4	膝窩の構成に関与しないのはどれか。 1. 大腿二頭筋 2. 腓腹筋 3. ヒラメ筋 4. 半腱様筋	3
第9回	前半	問題 31	4	距腿関節の内側を補強するのはどれか。 1. 三角靭帯 2. 前距腓靭帯 3. 後距腓靭帯 4. 踵腓靭帯	1
第9回	前半	問題 32	4	頸静脈孔を通るのはどれか。 1. 迷走神経 2. 内耳神経 3. 顔面神経 4. 舌下神経	1

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第9回	前半	問題 33	4	弾性軟骨はどれか。 1. 甲状軟骨 2. 耳管軟骨 3. 喉頭蓋軟骨 4. 関節軟骨	3
第9回	前半	問題 34	5	細胞膜について正しい記述はどれか。 1. 糖脂質分子が規則正しく配列している。 2. イオンに対して選択的な透過性をもつ。 3. 蛋白質分子の二重層膜からなる。 4. 脂質に溶けやすい物質ほど細胞膜を通りにくい。	2
第9回	前半	問題 35	5	白血球の働きについて誤っているのはどれか。 1. 止血作用 2. 食作用 3. 遊走 4. 抗体産生	1
第9回	前半	問題 36	5	心周期で房室弁が開放しているのはどれか。 1. 等容性弛緩期 2. 駆出期 3. 等容性収縮期 4. 充満期	4
第9回	前半	問題 37	5	健康成人の呼吸について誤っている記述はどれか。 1. 一回換気量は約 500ml である。 2. 予備呼気量は約 1000ml である。 3. 機能的残気量は予備呼気量と残気量との差である。 4. 肺活量は最大の換気量である。	3
第9回	前半	問題 38	5	消化管ホルモンについて正しい記述はどれか。 1. セクレチンは膵液分泌を抑制する。 2. ガストリンは胃液分泌を抑制する。 3. コレシストキニン胆嚢を収縮する。 4. ソマトスタチンは胃液分泌を促進する。	3
第9回	前半	問題 39	5	健康成人の体温について誤っている記述はどれか。 1. 腋窩温は直腸温より低い。 2. 女性では排卵日以降、低温期になる。 3. 皮膚温は環境温の影響を受けやすい。 4. 夜間から早朝にかけて低い。	2
第9回	前半	問題 40	5	腎臓による体液の調節について正しい記述はどれか。 1. レニン-アンジオテンシン系はバソプレッシンの分泌を促進する。 2. アルドステロンは水素イオンの再吸収を高める。 3. バソプレッシンは尿量を増加させる。 4. 尿の水分の 99% は尿細管で再吸収される。	4
第9回	前半	問題 41	5	オキシトシンについて誤っているのはどれか。 1. ポリペプチド型ホルモンである。 2. 子宮筋を収縮させる。 3. 射乳反射を生じる。 4. 下垂体前葉から分泌される。	4
第9回	前半	問題 42	5	神経の興奮伝導について正しい記述はどれか。 1. 活動電位は両方向には伝導しない。 2. 活動電位の振幅は減衰する。 3. 伝導速度は温度変化に影響されない。 4. 伝導速度は軸索の太さに比例する。	4
第9回	前半	問題 43	5	大脳皮質の機能局在について誤っている組合せはどれか。 1. 味覚野 体性感覚野上部 2. 運動野 前頭葉中心前回 3. 聴覚野 側頭葉上部 4. 視覚野 後頭葉	1
第9回	前半	問題 44	5	レム睡眠について誤っている記述はどれか。 1. 眼球が急速に動く。 2. 脳波が徐波になる。 3. 自律神経機能が乱れる。 4. 逆説睡眠とも呼ばれる。	2
第9回	前半	問題 45	5	自律神経による拮抗支配を受けていないのはどれか。 1. 心臓 2. 汗腺 3. 胃 4. 膀胱	2
第9回	前半	問題 46	5	筋の性質について正しい記述はどれか。 1. 骨格筋は不随意筋である。 2. 骨格筋は機能的合胞体である。 3. 心筋は単収縮のみである。 4. 平滑筋には横紋構造がみられる。	3
第9回	前半	問題 47	5	腱反射について誤っている記述はどれか。 1. 受容器は筋紡錘である。 2. 反射潜時は短い。 3. 誘発筋電図でM波として記録される。 4. 脊髄反射である。	3
第9回	前半	問題 48	5	痛覚に関与しない物質はどれか。 1. カリウムイオン 2. マグネシウムイオン 3. ヒスタミン 4. ブラジキニン	2
第9回	前半	問題 49	5	網膜の視細胞に含まれる物質はどれか。 1. ロドプシン 2. ペプシン 3. トリプシン 4. サイロキシン	1
第9回	前半	問題 50	6	原因疾患とその続発症との組合せで適切でないのはどれか。 1. 糖尿病 網膜症 2. 動脈硬化症 心筋梗塞 3. 高血圧症 脳出血 4. 扁桃炎 慢性関節リウマチ	4

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第9回	前半	問題 51	6	<p>臍径部から腹壁を上行性に静脈の怒張がみられた。閉塞がある血管はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 肝静脈 2. 腎静脈 3. 門脈 4. 下大静脈 	4
第9回	前半	問題 52	6	<p>脳血栓の溶解療法は、発生後 3時間を過ぎると危険を伴うという考えられる理由の中で適切でないのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 一度酸素欠乏に陥っていた脳血管が破れて出血する。 2. 好中球が動員されて脳の損傷が進む。 3. 血栓形成が更に進む。 4. 脳浮腫が進んで脳圧が亢進する。 	3
第9回	前半	問題 53	6	<p>炎症担当細胞とその分泌する物質との組合せで誤っているのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. マスト細胞 ヒスタミン 2. 好中球 ライソソーム (リソソーム) 酵素 3. 単球 免疫グロブリン 4. Tリンパ球 リンホカイン 	3
第9回	前半	問題 54	6	<p>組織内異物処理について誤っている組合せはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 炭粉 食食 2. ナイロン糸 融解 3. 折れた鍼 被包 4. 血栓 器質化 	2
第9回	前半	問題 55	6	<p>骨の再生に必要な元素はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. リン 2. 鉄 3. カリウム 4. 銅 	1
第9回	前半	問題 56	6	<p>ウイルスが関与しない腫瘍はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 腎癌 2. 肝細胞癌 3. 成人 T細胞白血病 4. バーキットリンパ腫 	1
第9回	前半	問題 57	7	<p>聴診で呼吸音が減弱しないのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 気胸 2. 肺水腫 3. 肺炎腫 4. 無気肺 	2
第9回	前半	問題 58	7	<p>日和見感染の原因でないのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. インフルエンザウイルス 2. ニューモシチス・カリニ 3. カンジダ 4. 緑膿菌 	1
第9回	前半	問題 59	7	<p>障害により下垂手をきたすのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 橈骨神経 2. 正中神経 3. 尺骨神経 4. 腋窩神経 	1
第9回	前半	問題 60	7	<p>脳腫瘍でみられる頭痛はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 筋収縮性頭痛 2. 牽引性頭痛 3. 片頭痛 4. 群発頭痛 	2
第9回	前半	問題 61	7	<p>誤っている組合せはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 脊柱側弯 坐骨神経痛 2. 亀背 くる病 3. 前傾位 パーキンソン病 4. 腰椎後弯 進行性筋ジストロフィー症 	4
第9回	前半	問題 62	7	<p>神経伸展テストはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. マクマレーテスト 2. ラセーグテスト 3. ライトテスト 4. スパーリングテスト 	2
第9回	前半	問題 63	7	<p>嘔声に関与するのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 顔面神経 2. 舌咽神経 3. 迷走神経 4. 舌下神経 	3
第9回	前半	問題 64	7	<p>誤っている組合せはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. テニス肘 上腕骨外側上顆炎 2. 野球肘 離断性骨軟骨炎 3. ジャンパー膝 膝蓋靭帯炎 4. 平泳ぎ膝 外側側副靭帯炎 	4
第9回	前半	問題 65	7	<p>急性炎症の徴候でないのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 発熱 2. 腫脹 3. 出血 4. 疼痛 	3
第9回	前半	問題 66	7	<p>胸郭出口症候群の診断テストでないのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ライトテスト 2. アドソンテスト 3. モーレイテスト 4. ファレンテスト 	4

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第9回	前半	問題 67	7	ショックを起こしやすい疾患はどれか。 1.脳出血 2.狭心症 3.重症熱傷 4.腎結石症	3
第9回	前半	問題 68	7	緊急手術を要するのはどれか。 1.卵巣嚢腫捻転 2.心臓弁膜症 3.胃潰瘍 4.気胸	1
第9回	前半	問題 69	8	症状と疾患との組合せで誤っているのはどれか。 1.血尿 腎結石症 2.頻尿 膀胱炎 3.無尿 前立腺肥大症 4.多尿 尿崩症	3
第9回	前半	問題 70	8	マイコプラズマ肺炎で正しい記述はどれか。 1.ウイルス性の疾患である。 2.水痘様の発疹が出る。 3.頑固な咳を伴う。 4.成人に感染しない。	3
第9回	前半	問題 71	8	感染症で誤っている記述はどれか。 1.単純性疱疹は再発する。 2.腸炎ピブリオ食中毒の潜伏期は数日間である。 3.カリニ肺炎はエイズに合併する。 4.伝染性単核症では頸部リンパ節が腫脹する。	2
第9回	前半	問題 72	8	筋緊張性ジストロフィーの症状で誤っているのはどれか。 1.筋トーンの亢進 2.ミオトニア 3.性腺萎縮 4.白内障	1
第9回	前半	問題 73	8	疾患と症状との組合せで正しいのはどれか。 1.単純ヘルペス脳炎 側頭葉症状 2.ポリオ 痙性単麻痺 3.脊髄瘍 膝蓋腱反射亢進 4.髄膜炎 ロンベルグ徴候	1
第9回	前半	問題 74	8	心房細動に合併しやすい脳血管障害はどれか。 1.脳血栓症 2.脳塞栓症 3.脳出血 4.クモ膜下出血	2
第9回	前半	問題 75	8	うつ病の症状でないのはどれか。 1.知能障害 2.不眠 3.意欲の欠如 4.自殺念慮	1
第9回	前半	問題 76	8	熱傷について誤っている記述はどれか。 1.第1度は表皮のみの損傷である。 2.第2度では水疱を生じる。 3.第3度では皮膚移植が必要となる。 4.低温熱傷は治りやすい。	4
第9回	前半	問題 77	8	膠原病でないのはどれか。 1.痛風 2.全身性エリテマトーデス 3.慢性関節リウマチ 4.皮膚筋炎	1
第9回	前半	問題 78	8	う歯の要因でないのはどれか。 1.口腔内細菌 2.食物 3.歯の質 4.年齢	4
第9回	前半	問題 79	8	先天性股関節脱臼について誤っている記述はどれか。 1.女兒に多い。 2.オルトラニー徴候を認める。 3.大腿内側皮膚溝は非対称となる。 4.幼児期には腰椎後彎を認める。	4
第9回	前半	問題 80	8	A型肝炎について誤っているのはどれか。 1.ワクチンにより予防できる。 2.集団発生を起こす。 3.劇症化しやすい。 4.経口感染する。	3
第9回	後半	問題 1	8	低カリウム血症の症状でないのはどれか。 1.腱反射亢進 2.四肢麻痺 3.腹部膨満 4.脱力感	1
第9回	後半	問題 2	8	性行為感染症でないのはどれか。 1.梅毒 2.副睾丸結核 3.クラミジア感染症 4.淋病	2
第9回	後半	問題 3	8	症状とその軽減体位との組合せで誤っているのはどれか。 1.うつ血性心不全 起坐位 2.一側性気胸 患側上位の側臥位 3.一側性胸水 健側上位の側臥位 4.腹痛 仰臥位	4

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第9回	後半	問題 4	8	突発性難聴で誤っているのはどれか。 1.突然に発症する。 2.感音難聴である。 3.耳鳴りを伴う。 4.顔面神経麻痺を伴う。	4
第9回	後半	問題 5	8	子宮癌で正しい記述はどれか。 1.頸癌より肉腫が多い。 2.初発症状は腰痛が多い。 3.組織診断が重要である。 4.ホルモン療法が第一選択である。	3
第9回	後半	問題 6	8	脊椎麻酔で手術が可能な骨折の部位はどれか。 1.鎖骨 2.上腕骨 3.肋骨 4.大腿骨	4
第9回	後半	問題 7	8	3-3-9 度方式で、大声で呼びかけると開眼する意識状態はどれか。 1. 3 2. 10 3. 20 4. 30	3
第9回	後半	問題 8	8	感染が原因でない疾患はどれか。 1.化膿性骨髄炎 2.大動脈炎症候群 3.ひょう疽 4.よう疽	2
第9回	後半	問題 9	9	内部障害はどれか。 1.視覚障害 2.聴覚言語障害 3.肢体不自由 4.膀胱直腸障害	4
第9回	後半	問題 10	9	手根管を通過しないのはどれか。 1.浅指屈筋腱 2.深指屈筋腱 3.正中神経 4.尺骨神経	4
第9回	後半	問題 11	9	正常歩行周期について誤っている記述はどれか。 1.立脚期と遊脚期の比率は6対4である。 2.重心が最も低くなるのは立脚中期である。 3.骨盤の回旋は重心の上下動を小さくする。 4.一側の膝関節は屈曲と伸展をそれぞれ2回行う。	2
第9回	後半	問題 12	9	片麻痺の理学療法で正しい記述はどれか。 1.マット上で膝立ち訓練を行う。 2.立位保持は膝の過伸展を利用する。 3.杖歩行では杖の次に健側下肢を前に出す。 4.浴槽へは患側下肢から入る。	1
第9回	後半	問題 13	9	脳性麻痺について正しい記述はどれか。 1.痙直型は腱反射が低下する。 2.アトーゼ型は不随意運動がみられない。 3.失調型は平衡機能が保たれる。 4.弛緩型は抗重力姿勢が保てない。	4
第9回	後半	問題 14	9	頸髄損傷患者の障害でないのはどれか。 1.四肢麻痺 2.失禁 3.嚥下障害 4.肺活量低下	3
第9回	後半	問題 15	9	慢性関節リウマチの理学療法で適切でない記述はどれか。 1.全身訓練により呼吸運動の維持を図る。 2.関節可動域訓練は愛護的に行う。 3.筋力維持増強訓練は他動運動を中心に行う。 4.疼痛を軽減する目的でホットパックを用いる。	3
第9回	後半	問題 16	9	変形性膝関節症について誤っている記述はどれか。 1.肥満は悪化要因になる。 2.進行すると外反変形を生じやすい。 3.大腿四頭筋の徒手抵抗運動を行う。 4.側方不安定性には装具を用いる。	2
第9回	後半	問題 17	10	肺の生理作用はどれか。 1.疏泄 2.統血 3.宣散 4.納気	3
第9回	後半	問題 18	10	五臓と五味との組合せで正しいのはどれか。 1.肝 辛 2.心 酸 3.脾 甘 4.肺 苦	3
第9回	後半	問題 19	10	五臓の相生関係で正しい記述はどれか。 1.肝は肺の子である。 2.脾は心の母である。 3.肺は心の子である。 4.腎は肝の母である。	4
第9回	後半	問題 20	10	次の文で示す病証を呈する経絡はどれか。 脗胸部から心下部への圧迫感、腹部膨満感があり、下肢内側の腫れと痛み、足の母指の麻痺がある。」 1.足の太陰脾経 2.足の太陽膀胱経 3.足の陽明胃経 4.足の少陽胆経	1
第9回	後半	問題 21	10	次の病証を示す臓腑はどれか。 発育の遅れ、難聴、不眠、内臓下垂」 1.肝 2.胃 3.肺 4.腎	4

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第9回	後半	問題 22	10	熱証の特徴でないのはどれか。 1. 発汗 2. 動悸 3. 下痢 4. 口渴	3
第9回	後半	問題 23	10	病因についての記述で適切でないのはどれか。 1. 房事過多は腎をおかしやすい。 2. 湿邪は心をおかしやすい。 3. 飲食労倦は脾をおかしやすい。 4. 風邪は肝をおかしやすい。	2
第9回	後半	問題 24	10	腹診で誤っている記述はどれか。 1. 胸脇苦満は心実証でみられる。 2. 五臓診では肝の状態は臍の左側で診る。 3. 上実下虚の腹は脾実腎虚にみられる。 4. 天枢穴では大腸の異常を診る。	1
第9回	後半	問題 25	10	九道の脈はどれか。 1. 細脈 2. 浮脈 3. 弦脈 4. 遅脈	1
第9回	後半	問題 26	10	八綱のうち病証を総括するのはどれか。 1. 陰陽 2. 虚实 3. 寒熱 4. 表裏	1
第9回	後半	問題 27	10	脈についての記述で誤っているのはどれか。 1. 臍下丹田の動悸で先天の原気を診る。 2. 虚里の動で腎の動きを診る。 3. 四季の移り変わりに応じて変動する。 4. 祖脈は脈状の基本である。	2
第9回	後半	問題 28	10	五臓五刺で心に応ずる刺法はどれか。 1. 合谷刺 2. 半刺 3. 豹文刺 4. 輪刺	3
第9回	後半	問題 29	10	迎隨の補瀉で瀉法となるのはどれか。 1. 太白穴に踵の方向に向けて刺す。 2. 復溜穴に足関節の方向に向けて刺す。 3. 経渠穴に手関節の方向に向けて刺す。 4. 陽池穴に肘関節の方向に向けて刺す。	2
第9回	後半	問題 30	10	陰陽の邪気を出し、水穀の気の循環を良くする刺法はどれか。 1. 十二刺 2. 九刺 3. 五刺 4. 三刺	4
第9回	後半	問題 31	11	難經六十九難で太淵と太白に補法を行うのはどれか。 1. 肝虚証 2. 心虚証 3. 脾虚証 4. 肺虚証	4
第9回	後半	問題 32	11	次の文で示す奇経はどれか。足の少陰の築實から起り、大腿内側を上って下腹部に入る。」 1. 陰維脈 2. 陰（きょう）足喬脈 3. 衝脈 4. 帯脈	1
第9回	後半	問題 33	11	外眼角で接続している経絡はどれか。 1. 手の太陽小腸経と足の太陽膀胱経 2. 足の太陰脾経と手の少陰心経 3. 手の陽明大腸経と足の陽明胃経 4. 手の少陽三焦経と足の少陽胆経	4
第9回	後半	問題 34	11	取穴法で正しい記述はどれか。 1. 委陽は膝窩横紋の内端に取る。 2. 懸鐘は外果から陽陵泉に向かい5寸に取る。 3. 照海は内果の直下1寸に取る。 4. 隠白は足の第1指外側爪甲根部に取る。	3
第9回	後半	問題 35	11	手関節横紋からの寸法が同じ経穴の組合せはどれか。 1. 間使 三陽絡 2. 孔最 手三里 3. (ウキ)門 温溜 4. 列缺 通里	3
第9回	後半	問題 36	11	眉毛外端と外眼角との中央から後1寸の陥凹部にある経穴はどれか。 1. 印堂 2. 太陽 3. 眉衝 4. 絲竹空	2
第9回	後半	問題 37	11	第1腰椎棘突起下外方3寸5分を取る経穴はどれか。 1. 腰眼 2. 痞根 3. 風市 4. 氣海俞	2
第9回	後半	問題 38	11	同じ高さにある経穴はどれか。 1. 脊中と脾俞 2. 懸枢と胃俞 3. 神闕と腹結 4. 中極と横骨	1
第9回	後半	問題 39	11	経穴と神経との組合せで誤っているのはどれか。 1. 支正 橈骨神経 2. 内関 尺骨神経 3. 光明 浅腓骨神経 4. 条口 深腓骨神経	2

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第9回	後半	問題 40	11	手の小指に始まり、前腕後面の尺側から肩甲部を経て顔面に至る経絡はどれか。 1. 手の少陰心経 2. 手の厥陰心包経 3. 手の太陽小腸経 4. 手の少陽三焦経	3
第9回	後半	問題 41	11	自經の経穴を募穴とするのはどれか。 1. 手の少陽三焦経 2. 手の陽明大腸経 3. 足の太陽膀胱経 4. 足の少陽胆経	4
第9回	後半	問題 42	11	体重節痛を主る経穴はどれか。 1. 蠹道 2. 魚際 3. 陰谷 4. 太白	4
第9回	後半	問題 43	11	至陽穴と同じ高さにあるのはどれか。 1. 肝俞 2. (イキ 言意 言喜) 3. 膈俞 4. 魂門	3
第9回	後半	問題 44	11	腓腹筋上にある経穴はどれか。 1. 承山 2. 陽輔 3. 三陰交 4. 太谿	1
第9回	後半	問題 45	12	東洋医学的な治療原則で誤っているのはどれか。 1. 陰陽の調整 2. 急なれば則ちその標を治す。 3. 瀉虚補実 4. 証に基づき治療	3
第9回	後半	問題 46	12	スポーツ障害と罹患局所への治療穴との組合せで適切でないのはどれか。 1. 野球肩 膈会 2. ジャンパー膝 犢鼻 3. アキレス腱炎 承筋 4. フォアハンドテニス肘 曲池	4
第9回	後半	問題 47	12	次の文で示す患者の病証に対し、難経六十九難に基づき補法を行う治療穴はどれか。55歳の男性。慢性の腰下肢痛がある。倦怠感と耳鳴りを伴う。脈は細弱。」 1. 足三里 2. 復溜 3. 行間 4. 解谿	2
第9回	後半	問題 48	12	次の文で示す患者の病証に対し、治療対象となる経絡はどれか。35歳の女性。約1か月前から食欲不振となり軟便がある。やせ型で内臓下垂がみられる。」 1. 手の太陽小腸経 2. 手の陽明大腸経 3. 足の太陽脾経 4. 足の厥陰肝経	3
第9回	後半	問題 49	12	次の文で示す患者の病証に対し、気の疎通を図る臓腑はどれか。45歳の女性。のぼせと腰下肢の冷えがある。口渇を伴い、舌尖紅。脈は細弱。」 1. 腎と肝 2. 腎と肺 3. 心と腎 4. 心と脾	3
第9回	後半	問題 50	12	次の文で示す患者の病証に対し、補法を行う経穴はどれか。25歳の女性。半年前から月経周期の乱れ、月経血量の減少がある。下肢の筋のひきつき、目のかすみなどを訴える。」 1. 太衝 2. 衝陽 3. 太淵 4. 陽池	1
第9回	後半	問題 51	12	風寒の邪による顔面麻痺に対し、治療対象となるのはどれか。 1. 太陽経 2. 陽明経 3. 厥陰経 4. 少陰経	2
第9回	後半	問題 52	12	頭部の神経痛と罹患神経を対象とした治療穴との組合せで正しいのはどれか。 1. 三叉神経第1枝痛 天柱 2. 三叉神経第2枝痛 四白 3. 三叉神経第3枝痛 浮白 4. 大後頭神経痛 完骨	2
第9回	後半	問題 53	12	秉風穴から神経刺激を目的として治療を行う場合、対象としている肩関節の運動障害はどれか。 1. 屈曲 2. 伸展 3. 外転 4. 内旋	3
第9回	後半	問題 54	12	次の文で示す症状に対し、羅患筋への局所治療穴として適切なのはどれか。足関節の屈曲および外がえし運動で下腿部の痛みが増悪する。」 1. 足三里 2. 陽交 3. 合陽 4. 三陰交	2
第9回	後半	問題 55	12	次の文で示す患者の病態に対する低周波鍼通電療法の通電部位として適切なのはどれか。55歳の男性。頸を右へ側屈すると上肢に鈍痛が起こる。右前腕外側に知覚鈍麻がみられる。」 1. C4 - C5間の直側と肘 (ひょう 骨膠) 2. C5 - C6間の直側と偏歴 3. C6 - C7間の直側と大陸 4. C7 - C8間の直側と神門	2

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答例1
第9回	後半	問題 56	12	次の文で示す患者の病態に対し、適切な刺鍼部位はどれか。45歳の男性。右肩前面の痛みを訴える。外転外旋時に痛みがあり、スピードテスト及びヤーガソンテスト陽性。 1. 棘上部 2. 棘下部 3. 結節間溝部 4. 烏口突起部	3
第9回	後半	問題 57	12	神経麻痺と罹患局所への治療穴との組合せで誤っているのはどれか。 1. 橈骨神経麻痺 温溜 2. 尺骨神経麻痺 神門 3. 総腓骨神経麻痺 浮(げき) 4. 脛骨神経麻痺 懸鐘	4
第9回	後半	問題 58	12	疲労に対する鍼灸治療で最も慎重にしなければならないのはどれか。 1. 肩こりを伴うもの 2. 下肢の冷えを伴うもの 3. 精神的緊張を伴うもの 4. 発熱を伴うもの	4
第9回	後半	問題 59	12	小児疳虫に対し、古来から行われてきた施灸の部位はどの高さの棘突起下にあるか。 1. 左右肩甲棘内端を結ぶ線 2. 左右肩甲骨下角を結ぶ線 3. 左右第12肋骨先端を結ぶ線 4. 左右腸骨稜最上部を結ぶ線	1
第9回	後半	問題 60	12	オスグッド病の罹患局所に対する施術部位として適切でないのはどれか。 1. 大腿四頭筋部 2. 側副靭帯部 3. 膝蓋靭帯部 4. 脛骨粗面部	2
第9回	後半	問題 61	13	金鍼の特徴はどれか。 1. 弾力性が小さい。 2. 通電に適する。 3. 刺入痛が出やすい。 4. 酸化しにくい。	4
第9回	後半	問題 62	13	切皮後に鍼管を用いて刺激を与える方法でないのはどれか。 1. 副刺激術 2. 示指打法 3. 管散術 4. 内調術	3
第9回	後半	問題 63	13	弾入を繰り返すのはどれか。 1. 屋漏術 2. 随鍼術 3. 間歇術 4. 細指術	4
第9回	後半	問題 64	13	現行の鍼で古代九鍼と同名のはどれか。 1. 毫鍼 2. 三稜鍼 3. 円皮鍼 4. 皮内鍼	1
第9回	後半	問題 65	13	鍼の副作用と対策との組合せで誤っているのはどれか。 1. 脳貧血 返し鍼 2. 刺鍼後の違和感 後揉法 3. 内出血 迎え鍼 4. 抜鍼困難 示指打法	3
第9回	後半	問題 66	13	ディスプレイザブル鍼の滅菌に用いられるのはどれか。 1. エタノール 2. ホルマリン 3. エチレンオキシド 4. グルタルアルデヒド	3
第9回	後半	問題 67	13	鍼刺激が迷走神経に及ぼす影響をみる場合に適切でない臓器はどれか。 1. 心臓 2. 脾臓 3. 小腸 4. 膀胱	4
第9回	後半	問題 68	13	刺鍼による血流改善のメカニズムに関与するのはどれか。 1. 軸索反射 2. 屈曲反射 3. 伸張反射 4. 内臓 - 内臓反射	1
第9回	後半	問題 69	13	内因性オピオイドが関与するのはどれか。 1. ナトリウムポンプ 2. TCAサイクル 3. レニン・アンジオテンシン系 4. 下行性抑制系	4
第9回	後半	問題 70	13	ストレス学説で交絡抵抗が現れる時期はどれか。 1. ショック期 2. 抗ショック期 3. 抵抗期 4. 疲憊期	2
第9回	後半	問題 71	14	灸法でとくに灸痕を残さないのはどれか。 1. 温灸と焦灼灸 2. 灸頭鍼と弘法の灸 3. 生姜灸と棒灸 4. 知熱灸と透熱灸	3
第9回	後半	問題 72	14	打膿灸について誤っているのはどれか。 1. 灸あたりを起こしやすい。 2. 指頭大の艾(シュ火主)を用いる。 3. 高齢の虚弱者に適する。 4. 背腰部に施灸する。	3
第9回	後半	問題 73	14	艾の燃焼時間が長くなるのはどれか。 1. 送風する。 2. 硬くひねる。 3. 艾(シュ火主)を小さくする。 4. 良質の艾を使用する。	2

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第9回	後半	問題 74	14	温熱刺激を与えない灸法はどれか。 1.ピワの葉灸 2.紅灸 3.生姜灸 4.ニンニク灸	2
第9回	後半	問題 75	14	有痕灸施灸時の注意事項で適切でないのはどれか。 1.正しく同一点に施灸する。 2.施灸部を消毒する。 3.拍動部には強刺激を与える。 4.刺激過多を防ぐ。	3
第9回	後半	問題 76	14	灸施術の防衛作用に係るとされているのはどれか。 1.網内系 2.脳幹網様体賦活系 3.大脳辺縁系 4.下行性抑制系	1
第9回	後半	問題 77	14	灸刺激の作用で正しいのはどれか。 1.白血球数の増加 2.赤血球数の減少 3.血液凝固時間の延長 4.血小板数の減少	1
第9回	後半	問題 78	14	透熱灸による熱痛覚を伝える神経線維はどれか。 1.A線維 2.A線維 3.B線維 4.C線維	4
第9回	後半	問題 79	14	内因性オピオイドとロキソロンが結合する受容体はどれか。 1.ヒスタミン受容体 2.モルヒネ受容体 3.ドパミン受容体 4.セロトニン受容体	2
第9回	後半	問題 80	14	施灸局所で産生されないのはどれか。 1.キニン類 2.ヒスタミン 3.プロスタグランジン 4.糖質コルチコイド	4
第10回	前半	問題 1	1	我が国の医療制度の特色でないのはどれか。 1.現金給付制度 2.自由開業医制度 3.医療機関選択の自由 4.国民皆保険制度	1
第10回	前半	問題 2	1	施術者の倫理について誤っているのはどれか。 1.守秘義務 2.鎮痛薬の投与 3.患者の自己決定権の尊重 4.施術手技の研さん	2
第10回	前半	問題 3	2	公衆衛生的活動でないのはどれか。 1.健康増進 2.疾病予防 3.疾病の早期発見 4.治療薬の開発	4
第10回	前半	問題 4	2	喫煙が危険因子となる疾患はどれか。 1.結腸癌 2.食道癌 3.乳癌 4.白血病	2
第10回	前半	問題 5	2	疾患と危険因子との組合せで正しいのはどれか。 1.コレラ アルコール飲料 2.脚気 肥満 3.水俣病 有機水銀 4.先天奇形 カドミウム	3
第10回	前半	問題 6	2	好気性菌を用いる下水処理法はどれか。 1.触媒法 2.土壌脱臭法 3.吸着法 4.活性汚泥法	4
第10回	前半	問題 7	2	衣服の衛生的条件の組合せで誤っているのはどれか。 1.体温の調節 通気性の高い材料 2.皮膚の清潔保持 吸水性の低い下着 3.身体の活動 伸縮性のある材料 4.身体の保護 弾力性のある材料	2
第10回	前半	問題 8	2	公害の特徴でないのはどれか。 1.生活環境が汚染される。 2.人為的災害である。 3.被害は短期間で終息する。 4.生態系への影響がある。	3
第10回	前半	問題 9	2	新興感染症はどれか。 1.結核 2.エイズ 3.コレラ 4.マラリア	2
第10回	前半	問題 10	2	消毒薬とその対象との組合せで正しいのはどれか。 1.消毒用エタノール 排泄物 2.グルコン酸クロルヘキシジン 手指 3.オキシドール 金属器具 4.ヨードチンキ 白衣	2
第10回	前半	問題 11	3	障害者福祉の基本的考え方から外れているのはどれか。 1.バリアフリー 2.ノーマライゼーション 3.グローバリゼーション 4.雇用促進	3

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第10回	前半	問題 12	3	育成医療を定めた法律はどれか。 1.生活保護法 2.児童福祉法 3.身体障害者福祉法 4.健康保険法	2
第10回	前半	問題 13	3	施術所開設の届け出について誤っているのはどれか。 1.厚生労働大臣に届け出る。 2.開設後10日以内に届け出る。 3.業務の種類を届け出る。 4.施設の名称を届け出る。	1
第10回	前半	問題 14	3	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律で広告できないのはどれか。 1.施術者の技能 2.予約に基づく施術の実施 3.出張による施術の実施 4.駐車設備に関する事項	1
第10回	前半	問題 15	4	末梢神経の髄鞘形成に関与するのはどれか。 1.外套細胞 2.神経細胞 3.神経膠細胞 4.シュワン細胞	4
第10回	前半	問題 16	4	誤っている記述はどれか。 1.輪状軟骨は第6頸椎の高さにある。 2.胸骨角の部位に第3肋骨が付く。 3.胸郭の下縁を通る水平面には第2～3腰椎間の椎間板がある。 4.ヤコビー線は第4～5腰椎の棘突起間を通る。	2
第10回	前半	問題 17	4	骨について誤っている記述はどれか。 1.骨端軟骨は硝子軟骨である。 2.頭頂骨は軟骨内骨化をする。 3.黄色骨髄は脂肪組織である。 4.骨膜は密性結合組織である。	2
第10回	前半	問題 18	4	外頭蓋底を構成しない骨はどれか。 1.前頭骨 2.側頭骨 3.後頭骨 4.蝶形骨	1
第10回	前半	問題 19	4	靭帯とその関係する関節との組合せで誤っているのはどれか。 1.黄色靭帯 仙腸関節 2.輪状靭帯 上橈尺関節 3.後十字靭帯 膝関節 4.三角靭帯 距腿関節	1
第10回	前半	問題 20	4	正中仙骨稜から起始する筋はどれか。 1.僧帽筋 2.広背筋 3.腰方形筋 4.大腰筋	2
第10回	前半	問題 21	4	筋とその作用との組合せで正しいのはどれか。 1.僧帽筋 肩関節の外転 2.上腕筋 前腕の回外 3.縫工筋 股関節の伸展 4.後脛骨筋 足関節の屈曲	4
第10回	前半	問題 22	4	正しい記述はどれか。 1.大腸には内腔に輪状ヒダがある。 2.腹膜垂は小腸にみられる。 3.門脈は肝門に入る。 4.胃の角切痕は大弯にある。	3
第10回	前半	問題 23	4	十二指腸について誤っているのはどれか。 1.脾頭をC字状に囲む。 2.回腸に移行する。 3.下行部に総胆管が開く。 4.腹膜後器官である。	2
第10回	前半	問題 24	4	声帯について誤っている記述はどれか。 1.左右の声帯の間を声帯裂という。 2.声帯と声帯裂とを合せて声門という。 3.声帯筋は迷走神経により支配される。 4.声帯は輪状軟骨に付く。	4
第10回	前半	問題 25	4	女性の膀胱について誤っているのはどれか。 1.小骨盤腔に位置する。 2.内面は移行上皮で覆われる。 3.直腸と子宮との間に位置する。 4.底部に尿管が開く。	3
第10回	前半	問題 26	4	子宮に直接つながっていないのはどれか。 1.卵巣 2.子宮広間膜 3.子宮門索 4.卵管	1
第10回	前半	問題 27	4	下垂体について正しいのはどれか。 1.間脳の背側に位置する。 2.血管の分布は乏しい。 3.皮質と髄質に分かれる。 4.下垂体柄で視床下部に連なる。	4
第10回	前半	問題 28	4	十二指腸を栄養する動脈はどれか。 1.上腸間膜動脈 2.脾動脈 3.下腸間膜動脈 4.総腸骨動脈	1
第10回	前半	問題 29	4	門脈の構成に関与する静脈はどれか。 1.脾静脈 2.肝静脈 3.奇静脈 4.腎静脈	1

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第10回	前半	問題 30	4	脳幹に属さないのはどれか。 1. 中脳 2. 小脳 3. 橋 4. 延髄	2
第10回	前半	問題 31	4	瞳孔括約筋を支配する脳神経はどれか。 1. 視神経 2. 動眼神経 3. 滑車神経 4. 外転神経	2
第10回	前半	問題 32	4	上腕動脈に沿って肘窩まで走行する神経はどれか。 1. 筋皮神経 2. 尺骨神経 3. 正中神経 4. 橈骨神経	3
第10回	前半	問題 33	4	平衡斑が存在する部位はどれか。 1. 卵形囊 2. 蝸牛管 3. 半規管 4. 鼓室	1
第10回	前半	問題 34	5	健康成人の体液について誤っている記述はどれか。 1. 体液は体重の約60%を占める。 2. 細胞内液は間質液と血漿に区分される。 3. 細胞外液にはナトリウムイオンが多い。 4. 細胞内液にはカリウムイオンが多い。	2
第10回	前半	問題 35	5	血漿蛋白について正しい記述はどれか。 1. - グロブリンは抗体として働く。 2. アルブミンが最も多い。 3. フィブリノーゲンはホルモンを運搬する。 4. - グロブリンは血液凝固に関与する。	2
第10回	前半	問題 36	5	循環系における圧受容器反射について誤っている記述はどれか。 1. 受容器は頸動脈洞や大動脈弓の血管壁にある。 2. 短時間(秒単位)で作動する。 3. 遠心路は交感神経および迷走神経である。 4. 反射中枢は脊髄にある。	4
第10回	前半	問題 37	5	呼吸の反射性調節について正しい組合せはどれか。 1. 動脈血酸素分圧の低下 呼吸促進 2. 動脈血二酸化炭素分圧の低下 呼吸促進 3. 肺伸展受容器の興奮 呼吸抑制 4. 脳脊髄液中の水素イオン濃度の上昇 呼吸抑制	1
第10回	前半	問題 38	5	大腸について正しい記述はどれか。 1. 水分の約95%が吸収される。 2. 盲腸から上行結腸にかけて逆蠕動が起こる。 3. 蠕動運動は交感神経によって促進される。 4. 大腸液は消化酵素を含む。	2
第10回	前半	問題 39	5	体温調節時の産熱に関与しないのはどれか。 1. 副腎髄質ホルモンの分泌増加 2. 甲状腺ホルモンの分泌増加 3. 皮膚血管の拡張 4. ふるえの増大	3
第10回	前半	問題 40	5	排尿時に起こるのはどれか。 1. 膀胱支配の骨盤神経活動の増加 2. 膀胱支配の下腹神経活動の増加 3. 外尿道括約筋の収縮 4. 内尿道括約筋の収縮	1
第10回	前半	問題 41	5	血圧調節に関与するのはどれか。 1. エストロゲン 2. 成長ホルモン 3. ノルアドレナリン 4. プロラクチン	3
第10回	前半	問題 42	5	性周期について誤っている記述はどれか。 1. 排卵に先立って黄体形成ホルモンの分泌が急激に増加する。 2. プロゲステロンは排卵後に分泌が増加する。 3. 黄体は着床が起こると退化する。 4. エストロゲンは子宮内膜を肥厚させる。	3
第10回	前半	問題 43	5	神経伝達物質について誤っている記述はどれか。 1. - アミ/酪酸は抑制性である。 2. グリシンは興奮性である。 3. オピオイドペプチドは鎮痛に重要である。 4. P物質は痛覚に重要である。	2
第10回	前半	問題 44	5	脳神経について誤っている記述はどれか。 1. 動眼神経は副交感神経を含む。 2. 迷走神経は内臓求心性神経を含む。 3. 副神経は頸部の運動に係る。 4. 舌下神経は味覚に係る。	4
第10回	前半	問題 45	5	脳波とそれが現れやすい時期との組合せで正しいのはどれか。 1. 波 安静閉眼時 2. 波 睡眠時 3. 波 精神活動時 4. 波 感覚刺激時	1
第10回	前半	問題 46	5	大脳辺縁系について誤っているのはどれか。 1. 性行動への関与 2. 自律機能の調節 3. 感覚情報の統合 4. 摂食行動への関与	3
第10回	前半	問題 47	5	骨格筋の収縮時に短縮するのはどれか。 1. 帯 2. A帯 3. Z帯 4. H帯	1.4

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第10回	前半	問題 48	5	反射中枢が脳幹にないのはどれか。 1.緊張性迷路反射 2.引っかき反射 3.立ち直り反射 4.緊張性頸反射	2
第10回	前半	問題 49	5	運動感覚に含まれないのはどれか。 1.抵抗感 2.位置感 3.重量感 4.遠近感	4
第10回	前半	問題 50	6	常染色体優性遺伝について誤っているのはどれか。 1.子供に疾患が出現する確率は50%である。 2.どの世代にも患者が出現する。 3.男女同数に発症する。 4.保因者が見られる。	4
第10回	前半	問題 51	6	ヒトの植物状態として適切でない記述はどれか。 1.自発呼吸がある。 2.経管栄養が必要である。 3.大脳の高次機能が失われている。 4.脳波が平坦化している。	4
第10回	前半	問題 52	6	型(インスリン依存型)糖尿病の特徴として適切でないのはどれか。 1.インスリン分泌が不足している。 2.自己免疫によるものが多い。 3.肥満型が大部分を占める。 4.日本人には少ない。	3
第10回	前半	問題 53	6	女性の全身に紫斑が発生した時に考えられる疾病として適切でないのはどれか。 1.特発性血小板減少性紫斑病 2.血友病 3.敗血症 4.アレルギー性紫斑病	2,3
第10回	前半	問題 54	6	急性炎症の際、好中球が血管外に遊走するのに必要な要件でないのはどれか。 1.細胞接着分子の活性化 2.血栓の形成 3.血流の減速 4.サイトカインの放出	1,2
第10回	前半	問題 55	6	化生について誤っているのはどれか。 1.腫瘍性変化 2.組織適応 3.上皮間変化 4.形態変化	1
第10回	前半	問題 56	6	肝臓の悪性腫瘍で誤っている記述はどれか。 1.転移性腫瘍が多い。 2.原発性腫瘍の大部分は肝細胞癌である。 3.中心性壊死は肝細胞癌の特徴である。 4.日本人の肝細胞癌の大部分はC型肝炎ウイルスの持続感染がある。	3
第10回	前半	問題 57	7	高齢者がもちで窒息を起こしやすい原因で誤っているのはどれか。 1.歯の喪失 2.咳嗽反射の亢進 3.嚥下筋の筋力低下 4.唾液分泌の減少	2
第10回	前半	問題 58	7	副交感神経が関与しないのはどれか。 1.角膜反射 2.対光反射 3.輻輳調節反射 4.アンユネル反射	1
第10回	前半	問題 59	7	筋原性筋萎縮でみられるのはどれか。 1.線維束萎縮 2.深部反射の亢進 3.血清クレアチンキナーゼの上昇 4.深部感覚障害	3
第10回	前半	問題 60	7	浮腫について誤っている組合せはどれか。 1.心臓性浮腫 朝方に増強 2.腎性浮腫 顔面から出現 3.肝性浮腫 腹水を伴う 4.栄養性浮腫 全身に出現	1
第10回	前半	問題 61	7	脾腫をきたさない疾患はどれか。 1.慢性骨髄性白血病 2.悪性リンパ腫 3.自己免疫性溶血性貧血 4.血友病	4
第10回	前半	問題 62	7	ウイルス性リンパ節の部位はどれか。 1.右腋窩 2.左腋窩 3.右鎖骨上窩 4.左鎖骨上窩	4
第10回	前半	問題 63	7	股関節の運動方向でないのはどれか。 1.屈曲 2.伸展 3.回内 4.外旋	3
第10回	前半	問題 64	7	腰部脊柱管狭窄症にみられるのはどれか。 1.間欠跛行 2.麻痺性跛行 3.失調性跛行 4.墜落跛行	1
第10回	前半	問題 65	7	拍動性の頭痛を起こすのはどれか。 1.くも膜下出血 2.筋収縮性頭痛 3.片頭痛 4.髄膜炎	3

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第10回	前半	問題 66	7	両手で触診する臓器はどれか。 1.胃 2.肝臓 3.胆嚢 4.腎臓	4
第10回	前半	問題 67	7	ネフローゼ症候群にみられないのはどれか。 1.高度の蛋白尿 2.高蛋白血症 3.高脂血症 4.浮腫	2
第10回	前半	問題 68	7	触診で推測できないのはどれか。 1.呼吸性不整脈 2.期外収縮 3.完全左脚ブロック 4.心房細動	4.3
第10回	前半	問題 69	8	疾患とその治療に用いる眼鏡との組合せで正しいのはどれか。 1.近視 凸レンズ 2.遠視 凹レンズ 3.老視 プリズムレンズ 4.乱視 円柱レンズ	4
第10回	前半	問題 70	8	疾患と病原体との組合せで誤っているのはどれか。 1.アスペルギルス症 真菌 2.トキソプラズマ症 マイコプラズマ 3.トラコーマ クラミジア 4.エイズ HIV	2
第10回	前半	問題 71	8	肺癌の隣接臓器への浸潤による症状でないのはどれか。 1.嚥下障害 2.散瞳 3.嘔声 4.頸部静脈怒張	2
第10回	前半	問題 72	8	扁桃肥大でみられない症状はどれか。 1.いびき 2.難聴 3.アデノイド顔貌 4.嘔声	4
第10回	前半	問題 73	8	失立 失歩がみられるのはどれか。 1.不安神経症 2.恐怖症 3.抑うつ神経症 4.ヒステリー	4
第10回	前半	問題 74	8	四肢の筋力低下をきたさないのはどれか。 1.バセドウ病 2.褐色細胞腫 3.原発性アルドステロン症 4.低カリウム血症	1.2
第10回	前半	問題 75	8	心電図で異常Q波が出現する疾患はどれか。 1.心筋梗塞 2.狭心症 3.急性心膜炎 4.慢性収縮性心膜炎	1
第10回	前半	問題 76	8	疾患と血清カリウムとの組合せで正しいのはどれか。 1.アジソン病 低カリウム血症 2.Conn症候群 低カリウム血症 3.クッシング病 高カリウム血症 4.バセドウ病 高カリウム血症	2
第10回	前半	問題 77	8	悪性腫瘍による痛みの治療で正しい組合せはどれか。 1.上顎癌 くも膜下腔ブロック 2.舌癌 顔面神経ブロック 3.子宮癌 閉鎖神経ブロック 4.膵臓癌 腹腔神経叢ブロック	4
第10回	前半	問題 78	8	ウイレソン病でみられないのはどれか。 1.肝硬変 2.対麻痺 3.構音障害 4.角膜輪	2
第10回	前半	問題 79	8	肝硬変の症状でないのはどれか。 1.皮膚線条 2.手掌紅斑 3.メササの頭 4.クモ状血管腫	1
第10回	前半	問題 80	8	疾患とその特徴との組合せで正しいのはどれか。 1.原発性骨粗鬆症 アルカリフォスファターゼ値の異常 2.骨肉腫 老人に好発 3.脊椎カリエス 脊柱の運動制限 4.股関節脱臼 硬性蹠落跛行	3
第10回	後半	問題 1	8	二次性変形性関節症の原因とならないのはどれか。 1.ベルテス病 2.先天性股関節脱臼 3.重症筋無力症 4.血友病	3
第10回	後半	問題 2	8	手根管症候群について誤っているのはどれか。 1.正中神経低位麻痺 2.母指球筋の萎縮 3.母指の対立運動障害 4.骨間筋の萎縮	4
第10回	後半	問題 3	8	肺癌の診断に有用でないのはどれか。 1.喀痰検査 2.気管支ファイバースコープ 3.肺CT検査 4.スパイログラフィー	4

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第10回	後半	問題 4	8	出血性ショックを起こす出血量で正しいのはどれか。 1.循環血液量の約1/3 2.循環血液量の約1/5 3.循環血液量の約1/7 4.循環血液量の約1/10	1
第10回	後半	問題 5	8	更年期障害の症状でないのはどれか。 1.頭痛 2.動悸 3.咳嗽 4.不眠	3
第10回	後半	問題 6	8	重症熱傷の初期治療で正しいのはどれか。 1.全身の冷却 2.頭部の挙上 3.輸液 4.輸血	3
第10回	後半	問題 7	8	糖尿病の3大合併症でないのはどれか。 1.網膜症 2.心筋症 3.腎症 4.末梢神経障害	2
第10回	後半	問題 8	8	一次救命処置でないのはどれか。 1.血管確保 2.気道確保 3.人工呼吸 4.心マッサージ	1
第10回	後半	問題 9	9	関節運動で伸展40°が可能な関節はどれか。 1.肩関節 2.肘関節 3.股関節 4.膝関節	1
第10回	後半	問題 10	9	肩の腱板を形成しない筋はどれか。 1.大円筋 2.肩甲下筋 3.棘上筋 4.小円筋	1
第10回	後半	問題 11	9	廃用症候群に含まれないのはどれか。 1.筋萎縮 2.麻痺 3.関節拘縮 4.褥瘡	2
第10回	後半	問題 12	9	慢性閉塞性肺疾患に対する肺理学療法で誤っているのはどれか。 1.深い呼吸 2.ゆっくりとした呼吸 3.呼吸補助筋を使った呼吸 4.横隔膜を使った呼吸	3
第10回	後半	問題 13	9	末梢神経麻痺と装具との組合せで適切でないのはどれか。 1.正中神経麻痺 短対立副子 2.尺骨神経麻痺 ナックルベンダー 3.総腓骨神経麻痺 短下肢装具 4.脛骨神経麻痺 長下肢装具	4
第10回	後半	問題 14	9	温熱療法の効果で誤っているのはどれか。 1.血液循環の改善 2.新陳代謝の抑制 3.痛みの軽減 4.痙性の抑制	2
第10回	後半	問題 15	9	脳卒中急性期の背臥位での良肢位として誤っているのはどれか。 1.枕を高めにする。 2.患側肩甲帯を前に出す。 3.両骨盤を水平にする。 4.股関節を内外旋中間位にする。	1.4
第10回	後半	問題 16	9	トーマステストの目的はどれか。 1.腰部神経根圧迫の有無 2.背筋の緊張の有無 3.腸腰筋拘縮の有無 4.ハムストリングス短縮の有無	3
第10回	後半	問題 17	10	臓腑とその生理作用との組合せで正しいのはどれか。 1.肝 神を蔵す。 2.心 血を蔵す。 3.胆 営を蔵す。 4.腎 精を蔵す。	4
第10回	後半	問題 18	10	血について誤っているのはどれか。 1.営気と共に脈中を流れる。 2.後天の精から造られる。 3.体表部を潤し体温調節に関与する。 4.肝、心との関係が深い。	3
第10回	後半	問題 19	10	五臓と五主との組合せで正しいのはどれか。 1.心 筋 2.肝 血脈 3.腎 皮毛 4.脾 肌肉	4
第10回	後半	問題 20	10	五行の土に属さないのはどれか。 1.香 2.涎 3.黄 4.辛	4
第10回	後半	問題 21	10	脾の病証として適切でないのはどれか。 1.全身倦怠感 2.消化不良 3.性欲減退 4.腹部膨満感	3

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第10回	後半	問題 22	10	八綱病証で疾病の性質を示すのはどれか。 1.表裏 2.寒熱 3.虚実 4.陰陽	2
第10回	後半	問題 23	10	肝を傷る七情はどれか。 1.喜 2.憂 3.恐 4.怒	4
第10回	後半	問題 24	10	次の病証を示す経絡はどれか。 空腹でも食欲がなく膝から下が冷える。腰痛があって臥すことを好む。」 1.足の太陰脾経 2.足の少陽胆経 3.足の少陰腎経 4.足の陽明胃経	3
第10回	後半	問題 25	10	胸脇苦満を呈する臓はどれか。 1.肝 2.心 3.肺 4.腎	1
第10回	後半	問題 26	10	四季と脈状との組合せで誤っているのはどれか。 1.春 緩脈 2.夏 洪脈 3.秋 毛脈 4.冬 石脈	1
第10回	後半	問題 27	10	六部定位脈診で腎を診る方法はどれか。 1.右の寸口を浮かせて診る。 2.左の関上を沈めて診る。 3.右の関上を浮かせて診る。 4.左の尺中を沈めて診る。	4
第10回	後半	問題 28	10	六部定位脈診で左手関上の沈が虚している場合、難經六十九難に基づき治療で適切なのはどれか。 1.曲泉と陰谷 2.労宮と大都 3.太淵と太白 4.復溜と経渠	1
第10回	後半	問題 29	10	五臓五刺で鍼を深く刺入し、骨痺を取る刺法はどれか。 1.関刺 2.半刺 3.輪刺 4.合谷刺	3
第10回	後半	問題 30	10	患部の左右反対側に治療する刺法を含むのはどれか。 1.三刺 2.五刺 3.九刺 4.十二刺	3
第10回	後半	問題 31	11	陽実証に対する刺法で適切なのはどれか。 1.抜鍼後に直ちに鍼孔を閉じる。 2.速刺速抜で刺鍼する。 3.経気の流れに沿って刺鍼する。 4.呼吸時に刺入し、吸気時に抜く。	2
第10回	後半	問題 32	11	骨度法において1尺2寸でないのはどれか。 1.前髪際から後髪際まで 2.腋窩から第11肋骨先端まで 3.胸骨体下端から恥骨結合上際まで 4.足の長さ	3
第10回	後半	問題 33	11	至陰穴で脈氣を受けて始まる経絡はどれか。 1.足の太陽膀胱経 2.足の陽明胃経 3.足の少陰腎経 4.足の太陰脾経	3
第10回	後半	問題 34	11	気血の循環で誤っているのはどれか。 1.手の太陽小腸経から足の太陽膀胱経へ 2.足の厥陰肝経から手の太陰肺経へ 3.手の陽明大腸経から足の陽明胃経へ 4.足の少陽胆経から手の少陽三焦経へ	4
第10回	後半	問題 35	11	取穴法で誤っているのはどれか。 1.復溜は太谿の上方2寸に取る。 2.飛陽は崑崙の上方7寸に取る。 3.通里は神門の上方1寸に取る。 4.外関は陽池の上方3寸に取る。	4
第10回	後半	問題 36	11	上腕骨外側上顆の前にある経穴はどれか。 1.曲沢 2.天井 3.曲池 4.少海	3
第10回	後半	問題 37	11	浅側頭動脈拍動部にある経穴はどれか。 1.完骨 2.瞳子りょう 3.大迎 4.和りょう	4
第10回	後半	問題 38	11	小児斜差の灸に用いる経穴はどれか。 1.肺俞 2.膈俞 3.肝俞 4.腎俞	3
第10回	後半	問題 39	11	取穴法で誤っているのはどれか。 1.腹哀は大横の上方3寸に取る。 2.不容は天枢の上方5寸に取る。 3.幽門は育俞の上方6寸に取る。 4.鳩尾は神闕の上方7寸に取る。	2

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第10回	後半	問題 40	11	膝関節より上方にある げき穴 はどれか。 1.地機 2.梁丘 3.中都 4.外丘	2
第10回	後半	問題 41	11	原穴のうち八会穴はどれか。 1.太淵 2.太衝 3.衝陽 4.合谷	1
第10回	後半	問題 42	11	足の部位と経穴との組合せで正しいのはどれか。 1.母指外側爪甲根部 隠白 2.第2指外側爪甲根部 厲兌 3.第4指外側爪甲根部 大敦 4.小指外側爪甲根部 足竅陰	2
第10回	後半	問題 43	11	五行穴のうち合土穴はどれか。 1.足三里 2.陰陵泉 3.中封 4.足臨泣	1
第10回	後半	問題 44	11	取穴法で誤っているのはどれか。 1.環跳は股関節を屈して、その横紋の外端に取る。 2.陰谷は膝関節を屈して、その横紋の外端に取る。 3.肩くわは肩関節を外方に挙げ、肩峰外端と上腕骨頭との間の前方陥凹部に取る。 4.尺沢は肘関節を軽度屈して、その横紋上で上腕二頭筋腱の外側に取る。	2
第10回	後半	問題 45	12	次の文で示す患者に対して循経取穴をする場合、適切な経穴はどれか。 「53歳の女性。電撃性の疼痛が発作的に右下歯、下顎部にかけて走るようになった。」 1.合谷 2.陽谷 3.陽池 4.大陵	1
第10回	後半	問題 46	12	次の文で示す患者の病証に対し、難経六十九難に基づき補法を行う経穴はどれか。 「70歳の女性。加齢とともに難聴になる。腰が冷えてたるといふ。骨粗鬆症がある。脈は細弱。」 1.曲泉 陰谷 2.少衝 大敦 3.太淵 太白 4.復溜 經渠	4
第10回	後半	問題 47	12	次の文で示す患者の病証に対し、補法を行う経穴はどれか。 「24歳の女性。1年前から月経周期が短くなり量も多くなった。倦怠感、小腹部の下垂感を訴える。」 1.太衝 2.太白 3.神門 4.太淵	2
第10回	後半	問題 48	12	疏泄作用の失調から生じた気滞血於の肩こりに対し、治療対象となる経絡はどれか。 1.太陽経 2.陽明経 3.厥陰経 4.少陰経	3
第10回	後半	問題 49	12	次の文で示す患者の病証に対し、治療対象となる臓腑はどれか。 「48歳の男性。会社員。いつもイライラして眠れない。下肋骨部に圧痛がある。」 1.肝と胆 2.心と小腸 3.脾と胃 4.腎と膀胱	1
第10回	後半	問題 50	12	頭痛で頭部局所への刺鍼により血管拡張を引き起こし、症状を増悪させる恐れがあるのはどれか。 1.緊張型頭痛 2.片頭痛 3.変形性頸椎症による頭痛 4.眼精疲労による頭痛	2
第10回	後半	問題 51	12	次の文で示す患者の病態に対する治療目的で適切でないのはどれか。 「50歳の男性。中間管理職でストレスが絶えない。数日前から頭部全体に締め付けられるような鈍痛がある。」 1.三叉神経の興奮を抑制する。 2.後頸部筋の過緊張を緩める。 3.頭頸部の血管を拡張する。 4.心身の安静を図る。	1
第10回	後半	問題 52	12	末梢性顔面神経麻痺に対し、罹患神経への局所治療穴として適切なのはどれか。 1.玉枕 2.風池 3.完骨 4.翳風	4
第10回	後半	問題 53	12	次の文で示す患者の病態に対し、局所治療穴として適切なのはどれか。 「30歳の女性。保険の外交員。半年前からカバンを持って歩いていると腕がしびれて痛くなる。なで肩。エデンテスト陽性。」 1.曲垣 2.氣戸 3.天鼎 4.秉風	2
第10回	後半	問題 54	12	神経痛とその罹患神経を対象にした治療穴との組合せで適切でないのはどれか。 1.三叉神経第1枝痛 陽白 2.大後頭神経痛 天柱 3.尺骨神経痛 げき門 4.坐骨神経痛 承扶	3
第10回	後半	問題 55	12	次の文で示す患者の病態に対し、罹患筋への局所治療穴として適切なのはどれか。 「42歳の主婦。農作業の手伝いの後、手関節の橈側が痛み腫脹している。」 1.養老 2.通里 3.間使 4.偏歷	4

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第10回	後半	問題 56	12	次の文で示す運動麻痺に対し、罹患神経への局所治療穴として適切なのはどれか。 「母指球が萎縮し、母指と小指の対立運動が困難である。」 1.手五里 2.小海 3.内関 4.消燥	3
第10回	後半	問題 57	12	次の文で示す患者の病態に対し、罹患局所への治療部位として適切なのはどれか。 「左殿部から大腿後外側に痛みが放散する。下肢伸展挙上テスト陽性。ボンネットテスト陽性。」 1.腰三角部 2.腰方形筋外縁部 3.L4～L5椎間関節部 4.梨状筋部	4
第10回	後半	問題 58	12	高血圧に対し、自律神経反射を利用して鍼治療を行う場合、最も効果的な刺鍼部位はどれか。 1.喉頭隆起の外方 2.左右の乳頭を結ぶ線の中央 3.乳様突起と耳垂の間 4.第7頸椎棘突起の下	1
第10回	後半	問題 59	12	野球肩で、痛みを誘発する自動運動の方向と治療部位との組合せで適切でないのはどれか。 1.屈曲 結節間溝部 2.伸展 烏口突起部 3.外旋 棘下部 4.外転 棘上部	2.1
第10回	後半	問題 60	12	次の文で示す患者の病態に対し、適切な刺鍼部位はどれか。 「25歳の男性。テニス選手。最近バックハンドストローク時に肘に痛みを感じる。中指伸展テスト陽性。」 1.曲池 2.曲沢 3.尺沢 4.少海	1
第10回	後半	問題 61	13	押し手の圧で周囲圧に相当するのはどれか。 1.持続圧 2.水平圧 3.垂直圧 4.固定圧	4
第10回	後半	問題 62	13	弾入動作を用いて刺激を与える手技でないのはどれか。 1.副刺激術 2.細指術 3.管散術 4.示指打法	1
第10回	後半	問題 63	13	管鍼法に適した鍼尖の形状はどれか。 1.松葉形 2.卵形 3.ノゲ形 4.スリオロシ形	1
第10回	後半	問題 64	13	前採法の目的で適切でないのはどれか。 1.刺鍼を予告する。 2.精神的緊張をとる。 3.筋肉を弛緩させる。 4.出血を防止する。	4
第10回	後半	問題 65	13	刺激時間が最も長い鍼法はどれか。 1.散鍼法 2.小児鍼法 3.皮内鍼法 4.鍼通電法	3
第10回	後半	問題 66	13	ポリモーダル受容器からの求心性神経線維の特徴で誤っているのはどれか。 1.疼くような痛みを伝える。 2.振動感覚を伝える。 3.伝導速度が遅い。 4.細い神経線維である。	2
第10回	後半	問題 67	13	内因性オピオイドによる鎮痛効果の特徴で正しいのはどれか。 1.下行性抑制系の賦活 2.発痛物質の生成抑制 3.ナロキソンによる効果の増強 4.脊髄後角での疼痛閾値の低下	1
第10回	後半	問題 68	13	鍼刺激の影響をみると、尿中ウロピリン体量が指標となる臓器はどれか。 1.肺 2.心臓 3.脾臓 4.肝臓	4
第10回	後半	問題 69	13	鍼鎮痛に関与しないのはどれか。 1.オピオイド受容体 2.ポリモーダル受容器 3.カルシトニン 4.エンドレフィン	3
第10回	後半	問題 70	13	交感神経 - アドレナリン系を中心として説明したのはどれか。 1.サイバネティクス 2.緊急反応 3.過剰刺激症候群 4.汎適応症候群	2
第10回	後半	問題 71	14	毛茸について正しい記述はどれか。 1.緑色の毛である。 2.良質艾は毛茸が少ない。 3.艾の夾雑物の一つである。 4.ヨモギの葉の裏面に密生する。	4
第10回	後半	問題 72	14	小切艾の大きさに相当するのはどれか。 1.糸状大 2.米粒大 3.えんどう大 4.母指頭大	2

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第10回	後半	問題 73	14	隔物灸はどれか。 1.油灸 2.塩灸 3.うるし灸 4.紅灸	2
第10回	後半	問題 74	14	温熱刺激を受ける体表面積が最も狭い灸法はどれか。 1.棒灸 2.透熱灸 3.塩灸 4.打膿灸	2
第10回	後半	問題 75	14	次のうち使用する艾の質が他と異なるのはどれか。 1.打膿灸 2.透熱灸 3.焦灼灸 4.隔物灸	4.2
第10回	後半	問題 76	14	灸施術で瀉法になるのはどれか。 1.風を送って燃焼させる。 2.灰の上に施灸する。 3.軟らかくひねる。 4.壮数を少なくする。	1
第10回	後半	問題 77	14	米粒大の艾柱の連続施灸で最初に出現する局所の変化はどれか。 1.発赤 2.水疱 3.痂皮 4.潰瘍	1
第10回	後半	問題 78	14	打膿灸による炎症の発生に関与しないのはどれか。 1.ブラジキニン 2.ヒスタミン 3.プロスタグランジン 4. - リボトロビン	4
第10回	後半	問題 79	14	施灸による体性 - 内臓反射の遠心路を構成する神経線維で正しいのはどれか。 1. C線維 2. A 線維 3. A 線維 4. A 線維	1
第10回	後半	問題 80	14	過剰刺激を受けてレイリー現象を起こす神経系はどれか。 1.運動神経 2.感覚神経 3.交感神経 4.副交感神経	3
第11回	前半	問題 1	1	施術者の倫理について適切でないのはどれか。 1.自己の健康管理 2.施術の説明と同意 3.施術内容の記録保持 4.酒気帯び状態での施術	4
第11回	前半	問題 2	1	我が国で最も有資格者が多いのはどれか。 1.看護師 2.薬剤師 3.はり師 4.医師	1
第11回	前半	問題 3	2	女性の平均寿命が最も長い国はどれか。 1.日本 2.アメリカ合衆国 3.カナダ 4.フランス	1
第11回	前半	問題 4	2	我が国の最近の保健統計で正しい記述はどれか。 1.人口は減少し始めた。 2.人口は男性よりも女性の方が多い。 3.出生率は世界で高い方である。 4.死亡率は低下している。	2
第11回	前半	問題 5	2	第一次予防でないのはどれか。 1.予防接種 2.健康教育 3.禁煙 4.健康診断	4
第11回	前半	問題 6	2	我が国の医療保障について誤っている記述はどれか。 1.医療保険は現物給付方式である。 2.結核で知事の命により入院させる場合には公費医療が適用される。 3.老人保健法の医療給付の対象は60歳以上である。 4.国民健康保険は市町村が保険者である。	3
第11回	前半	問題 7	2	発がん性の強いのはどれか。 1.生野菜 2.煮魚 3.コーヒー 4.タバコ	4
第11回	前半	問題 8	2	蚊が媒介する感染症はどれか。 1.マラリア 2.赤痢 3.コレラ 4.麻疹	1
第11回	前半	問題 9	2	地球温暖化の原因となっているのはどれか。 1.酸素 2.二酸化炭素 3.窒素 4.水素	2
第11回	前半	問題 10	2	水道法に定める上水道水の要件でないのはどれか。 1.無色透明度 2.臭味の度合 3.酸素の含有量 4. pH	3

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第11回	前半	問題 11	3	はり師、きゆう師の資格要件で欠格事由はどれか。 1.外国国籍者 2.あへんの中毒者 3.20歳に満たない者 4.肝炎ウイルスキャリア	2
第11回	前半	問題 12	3	はり師、きゆう師免許証の再交付について正しい記述はどれか。 1.再交付までの期間は施術業務ができない。 2.再交付後、失った免許証を発見したら直ちにこれを廃棄する。 3.申請書を厚生労働大臣に提出する。 4.免許証の記載事項に変更を生じた時は再交付を申請する。	3
第11回	前半	問題 13	3	あん摩マツサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律に定める罰則の量刑が最も重いのはどれか。 1.施術所の開設に虚偽の届出をした場合 2.広告の制限に違反した場合 3.秘密保持義務に違反した場合 4.消毒の義務に違反した場合	3
第11回	前半	問題 14	3	医療関係法規について誤っている記述はどれか。 1.児童福祉法は満 1.5歳未満の福祉を保障する。 2.薬事法は化粧品についても規制している。 3.医療法は医療施設の監督を定めている。 4.医師法は医師の業務独占を定めている。	1
第11回	前半	問題 15	4	外胚葉から分化するのはどれか。 1.神経組織 2.筋組織 3.上皮組織 4.結合組織	1
第11回	前半	問題 16	4	有糸分裂で各々の染色体から分かれた2個の娘染色体が両極に移動する時期はどれか。 1.前期 2.中期 3.後期 4.終期	3
第11回	前半	問題 17	4	弾性線維を多量に含むのはどれか。 1.前縦靭帯 2.後縦靭帯 3.黄色靭帯 4.環椎横靭帯	3
第11回	前半	問題 18	4	リスフラン関節の構成に関与しないのはどれか。 1.楔状骨 2.舟状骨 3.立方骨 4.中足骨	2
第11回	前半	問題 19	4	上腕骨小結節に停止する筋はどれか。 1.棘上筋 2.棘下筋 3.小円筋 4.肩甲下筋	4
第11回	前半	問題 20	4	上肢の筋と神経との組合せで正しいのはどれか。 1.烏口腕筋 腋窩神経 2.浅指屈筋 正中神経 3.長母指外転筋 尺骨神経 4.背側骨間筋 橈骨神経	2
第11回	前半	問題 21	4	喉頭を構成する軟骨で対をなすのはどれか。 1.甲状軟骨 2.披裂軟骨 3.喉頭蓋軟骨 4.輪状軟骨	2
第11回	前半	問題 22	4	舌について誤っている記述はどれか。 1.糸状乳頭の上皮は角化する。 2.舌根は咽頭の前壁の一部である。 3.内舌筋の支配神経は舌咽神経である。 4.舌扁桃は分界溝より後方にある。	3
第11回	前半	問題 23	4	泌尿器について誤っている記述はどれか。 1.腎乳頭と腎葉の数は同一である。 2.腎杯は腎乳頭を包む。 3.尿管は膀胱の後壁を貫く。 4.男性の尿道は前立腺の後ろを通る。	4
第11回	前半	問題 24	4	卵管について誤っている記述はどれか。 1.子宮広間膜の上縁に沿って走る。 2.外側端で内腔は腹腔に開く。 3.膨大部で受精が行われる。 4.上皮は重層扁平上皮である。	4
第11回	前半	問題 25	4	松果体について誤っている記述はどれか。 1.間脳の背面にある。 2.神経組織よりなる。 3.上皮細胞の集まりである。 4.メラトニンを分泌する。	3
第11回	前半	問題 26	4	腹腔動脈の枝でないのはどれか。 1.下腸間膜動脈 2.脾動脈 3.固有肝動脈 4.右胃動脈	1
第11回	前半	問題 27	4	甲状腺について正しい記述はどれか。 1.甲状軟骨の上方に位置する。 2.前面に上皮小体がみられる。 3.多数の濾胞がある。 4.導管を有する。	3
第11回	前半	問題 28	4	脳の血管系について正しい記述はどれか。 1.前大脳動脈は脳底動脈の枝である。 2.中大脳動脈は椎骨動脈の枝である。 3.前交通動脈は総頸動脈の枝である。 4.後交通動脈は内頸動脈の枝である。	4

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第11回	前半	問題 29	4	交連線維はどれか。 1. 大脳脚 2. 脳梁 3. 視放線 4. 内包	2
第11回	前半	問題 30	4	大腿神経が支配する筋はどれか。 1. 縫工筋 2. 薄筋 3. 大腿二頭筋 4. 梨状筋	1
第11回	前半	問題 31	4	中脳から出ている脳神経はどれか。 1. 動眼神経 2. 顔面神経 3. 内耳神経 4. 三叉神経	1
第11回	前半	問題 32	4	視覚器で外節を有するのはどれか。 1. 水晶体 2. 杆状体 3. 毛様体 4. 硝子体	2
第11回	前半	問題 33	4	毛細血管が分布しないのはどれか。 1. 表皮 2. 真皮 3. 皮下組織 4. 筋膜	1
第11回	前半	問題 34	5	酸素分圧が最も高いのはどれか。 1. 動脈血 2. 静脈血 3. リンパ液 4. 肺胞気	4
第11回	前半	問題 35	5	血圧の上昇がみられないのはどれか。 1. 遺流血流量の減少 2. 交感神経の緊張の高まり 3. 末梢血管の収縮 4. 侵害受容器の興奮	1
第11回	前半	問題 36	5	副交感神経性唾液分泌について誤っている記述はどれか。 1. 漿液性唾液が分泌される。 2. 耳下腺は分泌器官の1つである。 3. 分泌中枢は視床下部にある。 4. 条件反射によって分泌亢進が起こる。	3
第11回	前半	問題 37	5	肝臓の働きについて誤っているのはどれか。 1. アルブミンの合成 2. ガンマグロブリンの合成 3. 胆汁の生成 4. コレステロールの生成	2
第11回	前半	問題 38	5	呼吸商について正しいのはどれか。 1. 換気障害の有無を示す。 2. 1以下の値をとる。 3. 摂取した栄養素の量を表わす。 4. 基礎代謝量を示す。	2
第11回	前半	問題 39	5	暑熱環境での反応について誤っているのはどれか。 1. 皮膚血管支配の交感神経活動低下 2. 立毛筋支配の交感神経活動亢進 3. 汗腺支配の交感神経活動亢進 4. パンプレツシン分泌の増加	2
第11回	前半	問題 40	5	発汗について誤っている記述はどれか。 1. 精神性発汗は全身性に起こる。 2. 体温調節にはエクリン腺が関与する。 3. 交感神経支配を受ける。 4. 温熱性発汗の調節は視床下部で行われる。	1
第11回	前半	問題 41	5	尿量を増やすのはどれか。 1. 血液の浸透圧の上昇 2. パンプレツシン分泌の増加 3. 細胞外液量の増加 4. 大動脈弓圧受容器活動の低下	3
第11回	前半	問題 42	5	エストロゲンについて誤っているのはどれか。 1. 排卵期に増加する。 2. ステロイドホルモンである。 3. 卵巣刺激ホルモンにより分泌が亢進する。 4. 黄体で産生される。	4
第11回	前半	問題 43	5	女性の性周期においてプロゲステロンの分泌が最も亢進する時期はどれか。 1. 卵胞期 2. 排卵期 3. 分泌期 4. 月経期	3
第11回	前半	問題 44	5	神経組織について誤っている記述はどれか。 1. ニューロンには樹状突起がある。 2. 軸索内で物質輸送が行われる。 3. 髄鞘は絶縁性が高い。 4. 中枢神経内のグリア細胞の数はニューロンより少ない。	4
第11回	前半	問題 45	5	内臓 - 内臓反射はどれか。 1. 頸動脈洞圧受容器反射 2. 射乳反射 3. ヘーリング・ブロイエル反射 4. 伸張反射	1
第11回	前半	問題 46	5	脊髄における運動調節について誤っている記述はどれか。 1. 伸張反射は腱反射とも呼ばれる。 2. 腱紡錘は腱の伸張により興奮する。 3. 拮抗抑制には介在ニューロンが関与する。 4. 誘発筋電図でH波の潜時はM波の潜時より短い。	4

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第11回	前半	問題 47	5	<p>大脳の機能で誤っている組合せはどれか。</p> <p>1. 大脳基底核 運動の調節 2. 中心後回 体性感覚野 3. 中心前回 感覚性言語中枢 4. 大脳辺縁系 本能行動</p>	3
第11回	前半	問題 48	5	<p>骨格筋について正しい記述はどれか。</p> <p>1. ミオシンフィラメントはアクチンフィラメントより細い。 2. カルシウムイオンは筋収縮時に筋小胞体に取り込まれる。 3. 単収縮より強縮の方が収縮高が大きい。 4. 単一筋線維の単収縮を筋緊張という。</p>	3
第11回	前半	問題 49	5	<p>内耳で回転方向の加速度を検出するのはどれか。</p> <p>1. 卵形嚢 2. 球形嚢 3. 蝸牛管 4. 三半規管</p>	4
第11回	前半	問題 50	6	<p>年齢素因がみられるのはどれか。</p> <p>1. 結核 2. 水痘 3. 赤痢 4. 腸チフス</p>	2
第11回	前半	問題 51	6	<p>創傷治癒を最も抑制するのはどれか。</p> <p>1. 解熱薬 2. 抗菌薬 3. 向精神薬 4. 副腎皮質ステロイド薬</p>	4
第11回	前半	問題 52	6	<p>骨髄移植後のGVHD(移植片対宿主病)で宿主を攻撃する細胞はどれか。</p> <p>1. 好中球 2. B細胞 3. T細胞 4. 形質細胞</p>	3
第11回	前半	問題 53	6	<p>喀血の出血部位はどれか。</p> <p>1. 鼻腔 2. 咽頭 3. 喉頭 4. 気管支</p>	4
第11回	前半	問題 54	6	<p>二次性高血圧症に関与しない疾患はどれか。</p> <p>1. 急性糸球体腎炎 2. 甲状腺機能亢進症 3. 急性肝炎 4. 褐色細胞腫</p>	3
第11回	前半	問題 55	6	<p>感染症を引き起こす寄生体のうち生きた細胞内でのみ増殖するのはどれか。</p> <p>1. ウイルス 2. 細菌 3. 原虫 4. 真菌</p>	1
第11回	前半	問題 56	6	<p>組織学的悪性度の評価で重要値が最も低いのはどれか。</p> <p>1. 成熟度 2. 間質量 3. 核分裂像 4. 核異型</p>	2
第11回	前半	問題 57	7	<p>ペースメーカーを装着した患者に禁忌となるのはどれか。</p> <p>1. 指圧 2. マッサージ 3. 灸 4. 低周波鍼通電</p>	4
第11回	前半	問題 58	7	<p>疲労の所見でないのはどれか。</p> <p>1. 注意集中力の低下 2. 倦怠感の自覚 3. 作業能率の低下 4. 反射閾値の低下</p>	4
第11回	前半	問題 59	7	<p>次の文で示す患者で最も考えられる疾患はどれか。 56歳の女性。2か月で5kgの体重増加。体温が低く 寒さに敏感となってきた。」</p> <p>1. 甲状腺機能低下症 2. クッシング症候群 3. 2型糖尿病 4. 先端肥大症</p>	1
第11回	前半	問題 60	7	<p>血圧測定で誤っている記述はどれか。</p> <p>1. 触診法は聴診法より測定値が高くなる。 2. 血圧は通常上腕で測定する。 3. 大動脈閉鎖不全症では拡張期血圧をスワン4点で判定する。 4. 触診法では収縮期血圧のみ測定できる。</p>	1
第11回	前半	問題 61	7	<p>運動時血流が最も減少するのはどれか。</p> <p>1. 皮膚 2. 腸管 3. 筋肉 4. 脳</p>	2
第11回	前半	問題 62	7	<p>手関節の運動方向に含まれないのはどれか。</p> <p>1. 屈曲 2. 伸展 3. 回内 4. 橈屈</p>	3
第11回	前半	問題 63	7	<p>検査と疾患との組合せで正しいのはどれか。</p> <p>1. トーマステスト 膝外側副靭帯損傷 2. 下肢伸展拳上テスト 頸部脊椎症 3. パトリックテスト 腰椎分離すべり症 4. 前方引き出しテスト 前十字靭帯損傷</p>	4
第11回	前半	問題 64	7	<p>成分輸血で用いられないのはどれか。</p> <p>1. 赤血球 2. 白血球 3. 血小板 4. 血漿</p>	2

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第11回	前半	問題 65	7	高齢者が異物による窒息を起こしやすい部位はどれか。 1. 鼻腔 2. 口腔 3. 咽頭 4. 気管	3
第11回	前半	問題 66	7	筋萎縮が近位に偏るのはどれか。 1. デュシェンヌ型筋ジストロフィー症 2. 筋緊張性筋ジストロフィー症 3. 多発神経炎 4. 筋萎縮性側索硬化症	1
第11回	前半	問題 67	7	反射について正しい組合せはどれか。 1. 足底反射 深部反射 2. 腹壁反射 皮膚反射 3. アシュネル反射 病的反射 4. 下顎反射 粘膜反射	2
第11回	前半	問題 68	7	爆発性発語がみられるのはどれか。 1. 重症筋無力症 2. 筋萎縮性側索硬化症 3. オリーブ橋小脳萎縮症 4. パーキンソン病	3
第11回	前半	問題 69	8	慢性腎不全で高値を示すのはどれか。 1. 血中エリスロポイエチン 2. 糸球体ろ過値 3. 血中カルシウム 4. 血中カリウム	4
第11回	前半	問題 70	8	流行性角結膜炎について誤っているのはどれか。 1. 細菌感染 2. 潜伏期は約1週間 3. 耳前リンパ節腫脹 4. 点状表層角膜炎	1
第11回	前半	問題 71	8	子宮筋腫について誤っている組合せはどれか。 1. 好発部位 子宮頸部 2. 好発年齢 30～40歳代 3. 病理組織 平滑筋腫 4. 症状 月経過多	1
第11回	前半	問題 72	8	疾患と症候との組合せで誤っているのはどれか。 1. 脊柱側弯症 肋骨隆起 2. 腰椎椎間板ヘルニア ラセーグ徴候 3. 強直性脊椎炎 亀背 4. 頸椎脱臼骨折 四肢麻痺	3
第11回	前半	問題 73	8	心筋梗塞で誤っているのはどれか。 1. 心電図異常Q波 2. CRP陽性 3. AST (GOT)高値 4. 赤血球数増加	4
第11回	前半	問題 74	8	過換気症候群の症状とその病態との組合せで誤っているのはどれか。 1. 呼吸困難 動脈血二酸化炭素分圧の低下 2. 失神発作 脳血流量の増加 3. テタニー症状 血中カルシウム低下 4. 手足のしびれ アルカローシス	2
第11回	前半	問題 75	8	鉄欠乏性貧血の症状でないのはどれか。 1. スプーン状爪 2. 舌乳頭萎縮 3. チアノーゼ 4. 頻脈	3
第11回	前半	問題 76	8	血友病について誤っているのはどれか。 1. 遺伝性疾患 2. 血小板数減少 3. 毛細管抵抗正常 4. 凝固時間延長	2
第11回	前半	問題 77	8	関節リウマチでみられないのはどれか。 1. スワンネック変形 2. ボタノ穴変形 3. デュビュイトレン拘縮 4. 尺側偏位	3
第11回	前半	問題 78	8	外傷性脱臼について正しい記述はどれか。 1. 整備後直ちに運動を開始する。 2. 頻度の高いのは肩関節である。 3. 腫脹が治まってから整備する。 4. 肘関節脱臼では血管損傷を合併することが多い。	2
第11回	前半	問題 79	8	疾患と危険因子との組合せで正しいのはどれか。 1. 肝細胞癌 ウイルス感染 2. 喉頭癌 細菌感染 3. 大腸癌 高繊維食摂取 4. 肺癌 飲酒	1
第11回	前半	問題 80	8	メニエール病の症状でないのはどれか。 1. めまい 2. 耳鳴り 3. 難聴 4. 耳漏	4
第11回	後半	問題 1	8	出血性ショックの症状でないのはどれか。 1. 意識障害 2. 頻脈 3. 血圧低下 4. 頻尿	4
第11回	後半	問題 2	8	月経の発現に関係しないのはどれか。 1. 脳下垂体 2. 卵巢 3. 卵管 4. 子宮内膜	3

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第11回	後半	問題 3	8	熱傷時最初に行う処置はどれか。 1.水で冷却する。 2.包帯で覆う。 3.消毒薬を塗布する。 4.軟膏を塗布する。	1
第11回	後半	問題 4	8	成人の胸骨圧迫心臓マッサージで正しい組合せはどれか。 1.圧迫の回数 1分間60回 2.圧迫の深さ 2~3cm 3.加圧と除圧との比 1:01 4.心臓マッサージと人工呼吸との比 10:01	3
第11回	後半	問題 5	8	細菌性髄膜炎の髄液検査所見で正しいのはどれか。 1.細胞数減少 2.蛋白低下 3.糖低下 4.髄液圧下降	3
第11回	後半	問題 6	8	下方あるいは鼻先を見つめるような眼球共同偏視をきたす出血部位はどれか。 1.視床 2.橋 3.小脳 4.被殻	1
第11回	後半	問題 7	8	神経疾患とその診断に有用な検査との組合せで正しいのはどれか。 1.アルツハイマー病 筋電図検査 2.ギラン・バレー症候群 髄液検査 3.筋萎縮性側索硬化症 頭部CT検査 4.脊髄空洞症 神経生検	2
第11回	後半	問題 8	8	思考制止がみられる精神疾患はどれか。 1.不安神経症 2.うつ病 3.心身症 4.統合失調症(精神分裂病)	2
第11回	後半	問題 9	9	身体障害者手帳の交付が最も多いのはどれか。 1.視覚障害 2.聴覚・言語障害 3.肢体不自由 4.内臓障害	3
第11回	後半	問題 10	9	種々の手段を用い、応用動作の向上や社会適応能力の回復を目的として行われるのはどれか。 1.理学療法 2.作業療法 3.心理療法 4.ソーシャルワーク	2
第11回	後半	問題 11	9	関節リウマチのリハビリテーションで誤っている記述はどれか。 1.運動時痛を伴う間は関節の安静を保つ。 2.筋力強化は等尺性運動を基本とする。 3.関節可動域訓練は可動範囲いっぱい動かす。 4.疼痛を軽減する目的で温熱療法を併用する。	1
第11回	後半	問題 12	9	歩行時の重心移動を滑らかにする身体の仕組みで誤っている記述はどれか。 1.立脚中期に膝関節が屈曲する。 2.遊脚側の骨盤が前方に回旋する。 3.骨盤が立脚側に側方移動する。 4.遊脚側の骨盤が挙上する。	4
第11回	後半	問題 13	9	脳性麻痺について誤っている組合せはどれか。 1.痙直型 腱反射亢進 2.弛緩型 抗重力姿勢保持困難 3.強剛型 関節拘縮 4.アトーゼ型 鉛管現象	4
第11回	後半	問題 14	9	脳卒中による右片麻痺患者にみられる症状で誤っているのはどれか。 1.失語症 2.左半側空間失認 3.両眼での右側視野の欠損 4.右上下肢の知覚障害	2
第11回	後半	問題 15	9	頸髄損傷急性期にみられない症状はどれか。 1.腸閉塞 2.弛緩性運動麻痺 3.反射性排尿 4.発汗障害	3
第11回	後半	問題 16	9	慢性閉塞性肺疾患に対する理学療法の目的で誤っているのはどれか。 1.残気量の増大 2.換気量の増大 3.1秒率の増大 4.気道分泌物の排出	1
第11回	後半	問題 17	10	陰陽法則で陰陽消長を表現しているのはどれか。 1.陰中に陽あり、陽中に陰あり。 2.陰極まれば陽となり、陽極まれば陰となる。 3.陰虚すれば陽実し、陽虚すれば陰実す。 4.陰実するときは陽も実し、陰虚するときは陽も虚す。	1
第11回	後半	問題 18	10	五臓と五香との組合せで正しいのはどれか。 1.心 香 2.脾 腥 3.肺 焦 4.腎 腐	4
第11回	後半	問題 19	10	宗気について適切なのはどれか。 1.胸中に宿る。 2.脈外をめぐる。 3.経絡の機能を維持する。 4.栄養を主る。	1
第11回	後半	問題 20	10	奇恒の腑に属するのはどれか。 1.胆 2.小腸 3.胃 4.大腸	1

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第11回	後半	問題 21	10	五臓とその役割りとの組合せで正しいのはどれか。 1.心 臣使の官 2.脾 伝導の官 3.肺 相傳の官 4.腎 中正の官	3
第11回	後半	問題 22	10	五臓の生理機能について誤っている記述はどれか。 1.肝は筋を主る。 2.心は血脈を主る。 3.脾は運化を主る。 4.肺は統血を主る。	4
第11回	後半	問題 23	10	肝について正しいのはどれか。 1.体温調節を行う 2.第5胸椎に付着する。 3.鼻に開竅する。 4.魂を蔵す。	4
第11回	後半	問題 24	10	次の文で示す経絡病証について適切なのはどれか。 「のどが渴き、側胸部が痛む。上肢の前面内側がしびれて痛み、手掌が熱をもって痛む。」 1.三焦経 2.心経 3.肺経 4.小腸経	2
第11回	後半	問題 25	10	気滯の症状はどれか。 1.手足のしびれ 2.脹痛 3.出血 4.目のかすみ	2
第11回	後半	問題 26	10	腎の症状として誤っているのはどれか。 1.耳鳴り 2.目の充血 3.四肢の冷え 4.性欲減退	2
第11回	後半	問題 27	10	陰虚証の症状でないのはどれか。 1.潮熱 2.手足のほてり 3.自汗 4.盗汗	3
第11回	後半	問題 28	10	補の施灸法として誤っているのはどれか。 1.灰を取らずに施灸する。 2.底面を狭くする。 3.自然に燃やす。 4.皮膚に密着させる。	4
第11回	後半	問題 29	10	東洋医学の治療について誤っている記述はどれか。 1.標治法は経絡の変動を調整する。 2.弁証施治は八綱病証を用いる。 3.補瀉は虚実に応じて行う。 4.正治とは順証に対する治法である。	1
第11回	後半	問題 30	10	十二刺の刺法で正しい組合せはどれか。 1.骨痺を治す 短刺 2.寒痺を治す 偶刺 3.心痺を治す 恢刺 4.筋痺を治す 浮刺	1
第11回	後半	問題 31	11	遠道刺の刺法はどれか。 1.病、分肉にあればその間を刺す。 2.病、右にあれば左に取る。 3.病、上にあれば下に取る。 4.病、体表にあれば皮毛を刺す。	3
第11回	後半	問題 32	11	肝経について正しい記述はどれか。 1.足の第1指爪甲根部内側に起こる。 2.腹部では任脈に沿って上行する。 3.足の少陰経に連なる。 4.大腿では脾経と腎経との間を上行する。	4
第11回	後半	問題 33	11	骨度法で誤っているのはどれか。 1.前髪際から後髪際まで1尺2寸 2.胸骨体下端から臍まで8寸 3.大転子から膝窩中央まで1尺9寸 4.肩峰外端から肘まで1尺3寸	4
第11回	後半	問題 34	11	足の小指で接続する経絡の組合せで正しいのはどれか。 1.胃経 脾経 2.脾経 胆経 3.胆経 膀胱経 4.膀胱経 腎経	4
第11回	後半	問題 35	11	経穴の部位で正しい記述はどれか。 1.強間は脳戸の上方2寸にある。 2.翳風は耳介中央の直後にある。 3.風池は乳様突起下端と門(ア 病歪)門との間で後髪際にある。 4.完骨は乳様突起中央の後方で髪際を1寸入ったところにある。	3
第11回	後半	問題 36	11	口輪筋上にない経穴はどれか。 1.巨(りょう 骨膠) 2.水溝 3.地倉 4.禾(りょう 骨膠)	1
第11回	後半	問題 37	11	中風七穴でないのはどれか。 1.伏兎 2.曲池 3.足三里 4.百会	1
第11回	後半	問題 38	11	取穴法で正しい記述はどれか。 1.豊隆は内果の上方8寸に取る。 2.中都は内果の上方7寸に取る。 3.外丘は外果の上方5寸に取る。 4.三陰交は外果の上方3寸に取る。	2

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第11回	後半	問題 39	11	第4肋間にある経穴はどれか。 1. 神蔵 2. 乳中 3. 天池 4. 天谿	1
第11回	後半	問題 40	11	手関節の上方5寸の高さにある経穴はどれか。 1. 温溜 2. 支正 3. 三陽絡 4. (げき) 門	3
第11回	後半	問題 41	11	三陰交で交わらない経脈はどれか。 1. 肝経 2. 胃経 3. 脾経 4. 腎経	2
第11回	後半	問題 42	11	経絡と(げき)穴との組合せで誤っているのはどれか。 1. 肝経 中都 2. 心経 陰(げき) 3. 脾経 地機 4. 腎経 築賓	4
第11回	後半	問題 43	11	腸脛靭帯上にある経穴はどれか。 1. 蘭尾 2. 風市 3. 鶴頂 4. 外膝眼	2
第11回	後半	問題 44	11	皮膚電気抵抗低下現象として報告されているのはどれか。 1. 庄診点 2. 攢診点 3. 良導点 4. 丘診点	3
第11回	後半	問題 45	12	次の文で示す患者の病証に対する治療で適切なのはどれか。 48歳の女性。夕方になると下腿がむくむ。下痢がみで身体が重だるい。手足が冷える。脈は沈遅。」 1. 肝陰を補う 2. 脾陽を補う 3. 湿熱を除く 4. (お) 病於()血を除く	2
第11回	後半	問題 46	12	次の文で示す患者の病証に対し、治療対象となる適切な経絡はどれか。 30歳の女性。半年前から月経周期が不規則で、経血量は少ない。耳鳴り、めまい、腰のだるさがある。」 1. 足の少陽経 2. 足の太陰経 3. 足の少陰経 4. 足の厥陰経	3
第11回	後半	問題 47	12	次の文で示す患者の病証に対する治療で適切でないのはどれか。 25歳の女性。身長160cm、体重80kg。胸のつかえと口渇を訴え、痰が多く暑がりである。甘いものや油っこいものを好む。」 1. 痰湿を除く 2. 胃の熱を除く 3. 脾の運化作用を整える。 4. 肝陽の亢進を抑える。	4
第11回	後半	問題 48	12	次の文で示す患者の病証に対し、難経六十九難に基づいた治療穴はどれか。 50歳の女性。食欲不振があり、下痢しやすい。精神疲労と無力感がある。舌質淡、脈は沈細。」 1. 曲泉 陰谷 2. 少府 大都 3. 太淵 太白 4. 復溜 経渠	2
第11回	後半	問題 49	12	選穴法則における要穴を応用した配穴法と経穴との組合せで正しいのはどれか。 1. 原絡配穴 丘墟 外丘 2. 原合配穴 衝陽 豊隆 3. 翕募配穴 肝俞 期門 4. 募合配穴 中極 湧泉	3
第11回	後半	問題 50	12	中枢性顔面神経麻痺に対し、罹患筋への局所治療部位として適切でないのはどれか。 1. 前頭筋部 2. 頬筋部 3. 眼輪筋部 4. 口輪筋部	1
第11回	後半	問題 51	12	次の文で示す患者の病態に対し、施術対象となる罹患神経はどれか。 45歳の女性。嚥下時に舌根部から下顎にかけての放散痛が数十秒間出現し、唾液分泌の亢進を伴うことがある。」 1. 三叉神経 2. 顔面神経 3. 舌咽神経 4. 舌下神経	3
第11回	後半	問題 52	12	次の文で示す患者の病態に対し、罹患局所への刺鍼部位として適切なのはどれか。 50歳の男性。半年前から肩関節の運動痛がある。特に肘関節を屈曲して抵抗に逆らって前腕を外回すると疼痛が強くなる。」 1. 棘上部 2. 棘下部 3. 結節間溝部 4. 腋窩後壁	3
第11回	後半	問題 53	12	神経麻痺と罹患局所への治療穴との組合せで適切なのはどれか。 1. 副神経麻痺 肩井 2. 腋窩神経麻痺 侠白 3. 尺骨神経麻痺 下廉 4. 橈骨神経麻痺 靈道	1
第11回	後半	問題 54	12	鉤足を呈する運動麻痺に対し、罹患筋への局所治療穴として適切なのはどれか。 1. 承山 2. 条口 3. 陽交 4. 血海	1
第11回	後半	問題 55	12	絞扼性神経障害とその罹患神経を対象とした治療穴との組合せで適切でないのはどれか。 1. 足根管症候群 太谿 2. 梨状筋症候群 承扶 3. 肘部管症候群 小海 4. 手根管症候群 神門	4

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第11回	後半	問題 56	12	耳鳴り・難聴に対する局所治療穴として適切でないのはどれか。 1. 四白 2. 翳風 3. 角孫 4. 和 (ひょう 骨膠)	1
第11回	後半	問題 57	12	鍼施術で気胸を起こさないよう注意しなければならない経穴はどれか。 1. 身柱 2. 魄戸 3. (ダン 月宣) 中 4. 三焦俞	2
第11回	後半	問題 58	12	スポーツ障害とその局所治療穴との組合せで誤っているのはどれか。 1. ジャンパー膝 犢鼻 2. シンスプリント 三陰交 3. 水泳肩 天容 4. テニス肘 曲池	3
第11回	後半	問題 59	12	次の文で示す患者について、問題139、問題140の間に答えよ。 「65歳の男性。特に思いあたる原因がなく右前腕外側から母指にかけて痛みが出現するようになった。腕橈骨筋反射減弱。母指背側部に知覚鈍麻がある。ホフマン反射陰性。」 最も考えられる疾患はどれか。 1. 頸椎症性神経根症 2. 頸椎症性脊髄症 3. 斜角筋症候群 4. 過外転症候群	1
第11回	後半	問題 60	12	罹患神経の支配領域上に治療穴を取る場合、適切なのはどれか。 1. 内関 2. 臂臑 3. 陽池 4. 偏歷	4
第11回	後半	問題 61	13	古代九鍼のうち皮膚刺激を目的とするのはどれか。 1. 円鍼 2. 員利鍼 3. 毫鍼 4. 鋒鍼	1
第11回	後半	問題 62	13	一定の刺入深度に達した後、鍼の上下動で刺激を与える手技でないのはどれか。 1. 間歇術 2. 雀啄術 3. 屋漏術 4. 回旋術	4
第11回	後半	問題 63	13	侵害受容器を興奮させない手技はどれか。 1. 振せん術 2. 単刺術 3. 随鍼術 4. 管散術	4
第11回	後半	問題 64	13	抜鍼困難時に使用しない手技はどれか。 1. 置鍼術 2. 副刺激術 3. 鍼尖転移法 4. 示指打法	3
第11回	後半	問題 65	13	折鍼事故の予防対策として適切でないのはどれか。 1. オートクレープ滅菌による反復使用を避ける。 2. 曲がった鍼は伸ばして使う。 3. 鍼通電治療に交流電流を用いる。 4. 刺鍼中は動かないよう患者に指示する。	2
第11回	後半	問題 66	13	鎮痛機構における下行性抑制に関与しないのはどれか。 1. ノルアドレナリン 2. ナロキソン 3. セロトニン 4. - エンドレフィン	2
第11回	後半	問題 67	13	内因性疼痛物質でないのはどれか。 1. アセチルコリン 2. 水素イオン 3. フラジキニン 4. カリウムイオン	1
第11回	後半	問題 68	13	鍼の「ひびき」を伝える神経線維はどれか。 1. A 線維 2. A 線維 3. B線維 4. C線維	4
第11回	後半	問題 69	13	刺鍼局所の軸索反射が強く関与する治療的作用はどれか。 1. 免疫作用 2. 転調作用 3. 誘導作用 4. 止血作用	3
第11回	後半	問題 70	13	レイリー現象について正しいのはどれか。 1. 血管運動性の障害である。 2. 病変には個体差がない。 3. 刺激の種類に関係する。 4. 障害は限局する。	1
第11回	後半	問題 71	14	隔物灸に比較的粗悪な艾を用いる理由として正しいのはどれか。 1. ひねりやすい。 2. 手触りが良い。 3. 芳香がある。 4. 燃焼温度が高い。	4
第11回	後半	問題 72	14	転調作用を目的に灸治療を行う疾患はどれか。 1. 肋間神経痛 2. 気管支喘息 3. ヘル麻疹 4. 肩関節周囲炎	2

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第11回	後半	問題 73	14	施灸部位の化膿予防を患者に指導する必要がある施灸法はどれか。 1.透熱灸 2.知熱灸 3.打膿灸 4.ニンニク灸	1
第11回	後半	問題 74	14	灸あたりの一般的症状でないのはどれか。 1.頭重 2.胸痛 3.全身倦怠感 4.発熱	2
第11回	後半	問題 75	14	虚弱者に対する灸施術で適切でないのはどれか。 1.小さい艾(シュ火主)を使う 2.壮数を少なくする。 3.ひねりを硬くする。 4.無痕灸を使う	3
第11回	後半	問題 76	14	灸施術における患者の皮膚消毒で適切でないのはどれか。 1.ラビング法で擦り込む。 2.遠心性に渦巻き状に拭く 3.消毒用エタノールを用いる。 4.施術前後に行う	1
第11回	後半	問題 77	14	施灸局所の血行促進に関与するのはどれか。 1. - アミノ酪酸 2.サブスタンスP 3.アンジオテンシンII 4.ノルアドレナリン	2
第11回	後半	問題 78	14	施灸による体性 - 自律神経反射で交感神経活動の亢進反応でないのはどれか。 1.皮脂の分泌亢進 2.皮膚血管の収縮 3.立毛筋の収縮 4.心拍数の減少	4
第11回	後半	問題 79	14	熱刺激による副腎のカテコールアミン分泌に関与するのはどれか。 1.骨盤神経 2.交感神経 3.ACTH 4.糖質コルチコイド	2
第11回	後半	問題 80	14	ストレス学説に関する記述で誤っているのはどれか。 1. ACTHの分泌が増加する。 2.汎適応症候群の学説である。 3.胃潰瘍の治療を促進する。 4.胸腺やリンパ器官は萎縮する。	3
第12回	前半	問題 1	1	プライマリーヘルスケアの理念を述べたのはどれか。 1.ヒポクラテスの誓い 2.ヘルシンキ宣言 3.アルマ・アタ宣言 4.生命と倫理に関する懇談会規定	3
第12回	前半	問題 2	1	我が国の国民医療費に含まれるのはどれか。 1.正常分娩の費用 2.予防接種の費用 3.健康診断の費用 4.看護の費用	4
第12回	前半	問題 3	2	全国民を調査対象とするのはどれか。 1.感染症発生動向調査 2.国勢調査 3.国民生活基礎調査 4.国民栄養調査	2
第12回	前半	問題 4	2	生活習慣病でないのはどれか。 1.結核 2.高血圧症 3.肺癌 4.歯周病	1
第12回	前半	問題 5	2	生活保護制度に直接関与するのはどれか。 1.保健師 2.介護支援専門員 3.民生委員 4.ホームヘルパー	3
第12回	前半	問題 6	2	疫学について誤っている組み合わせはどれか。 1.患者 対照研究 - - - - - 記述疫学 2.コホート研究 - - - - - 分析研究 3.介入研究 - - - - - 実験研究 4.ランダム化比較試験(RCT) - - 臨床研究	1
第12回	前半	問題 7	2	病原微生物が関与する癌はどれか。 1.食道癌 2.肺癌 3.乳癌 4.肝細胞癌	4
第12回	前半	問題 8	2	栄養素とその欠乏との組み合わせで正しいのはどれか。 1.蛋白質 - - - - - 夜盲症 2.カルシウム - - - - 脚気 3.ビタミンD - - - - 骨軟化症 4.ビタミンK - - - - ベラグラ	3
第12回	前半	問題 9	2	鍼具の保存に使用されるのはどれか。 1.赤外線 2.紫外線 3.ガンマ線 4.エックス線	2
第12回	前半	問題 10	2	我が国の廃棄物処理の現状で誤っている記述はどれか。 1.廃棄物の量を減らすことが重要な目標である。 2.尿の水洗化処理は人口の約80%を占める。 3.ごみ処理に最も多く使われている方法は焼却である。 4.産業廃棄物の処理は市町村が責任者となる。	4

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第12回	前半	問題 11	3	あん摩マツサージ指圧師、はり師、きゆう師に関する法律で10日以内に届出を要するのはどれか。 1.免許証の再交付 2.免許証の返納 3.施術所の開設届 4.失踪宣告による名簿削除	3
第12回	前半	問題 12	3	衛生上、害を生じるおそれがあると認めるとき、はり師、きゆう師の業務に対して必要な指示ができるのはどれか。 1.医師 2.都道府県知事 3.町村長 4.保健所長	2
第12回	前半	問題 13	3	施術所の構造設備基準で誤っているのはどれか。 1.6.6平方メートル以上の専用施術室を有すること。 2.3.3平方メートル以上の待合室を有すること。 3.部屋面積の8分の1に相当する部分を外気に開放し得ること。 4.施術に用いる器具、手指等の消毒設備を有すること。	3
第12回	前半	問題 14	3	免許証の再交付申請ができるのはどれか。 1.免許証を汚したとき 2.本籍地を変更したとき 3.現住所を変更したとき 4.氏名を変更したとき	1
第12回	前半	問題 15	4	横紋筋線維でできているのはどれか。 1.瞳孔括約筋 2.幽門括約筋 3.尿道括約筋 4.膀胱収縮筋	3
第12回	前半	問題 16	4	遠位列手根骨はどれか。 1.有頭骨 2.舟状骨 3.三角骨 4.月状骨	1
第12回	前半	問題 17	4	ラセン関節はどれか。 1.腕尺関節 2.距腿関節 3.肩関節 4.仙腸関節	2
第12回	前半	問題 18	4	大坐骨孔を通らないのはどれか。 1.梨状筋 2.内閉鎖筋 3.陰部神経 4.坐骨神経	2
第12回	前半	問題 19	4	脊柱起立筋に含まれないのはどれか。 1.腸肋筋 2.最長筋 3.棘筋 4.板状筋	4
第12回	前半	問題 20	4	足関節の内反に働く筋はどれか。 1.後脛骨筋 2.長指伸筋 3.第三腓骨筋 4.長腓骨筋	1
第12回	前半	問題 21	4	手根管を通らないのはどれか。 1.尺骨神経 2.正中神経 3.長母指屈筋腱 4.深指屈筋腱	1
第12回	前半	問題 22	4	口腔内器管で誤っている記述はどれか。 1.顎下腺管は口腔前庭に開口する。 2.口腔粘膜上皮は重層扁平上皮である。 3.小臼歯は乳臼歯に代わって生える。 4.舌扁桃は分界溝の後方にある。	1
第12回	前半	問題 23	4	胆汁の流れが一方方向でないのはどれか。 1.小葉間胆管 2.肝管 3.胆嚢管 4.総胆管	3
第12回	前半	問題 24	4	声帯筋が付着するのはどれか。 1.気管軟骨 2.喉頭蓋軟骨 3.輪状軟骨 4.披裂軟骨	4
第12回	前半	問題 25	4	腎小体について誤っているのはどれか。 1.腎臓の皮質に存在する。 2.糸球体とボーマン嚢からなる。 3.尿細管とあわせてネフロンと呼ぶ。 4.血管極から輸出細静脈が出る。	4
第12回	前半	問題 26	4	成人において内腔が腹膜腔に直接開口しているのはどれか。 1.精管 2.精巣鞘膜腔 3.卵管 4.子宮	3
第12回	前半	問題 27	4	肝臓をバイパスし胎児の臍静脈血を下大静脈に導くのはどれか。 1.動脈管 2.静脈管 3.卵円孔 4.肝円索	2
第12回	前半	問題 28	4	骨盤内臓器を栄養するのはどれか。 1.上腸間膜動脈 2.下腸間膜動脈 3.外腸骨動脈 4.内腸骨動脈	4

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第12回	前半	問題 29	4	脳室系について誤っている記述はどれか。 1. 室間孔は第3脳室と第4脳室との間にある。 2. 側脳室は大脳半球内にある。 3. 第3脳室は間脳の中にある。 4. 第4脳室はクモ膜下腔に通じている。	1
第12回	前半	問題 30	4	毛様体筋を支配するのはどれか。 1. 動眼神経 2. 滑車神経 3. 外転神経 4. 顔面神経	1
第12回	前半	問題 31	4	求心性伝導路に含まれないのはどれか。 1. 脊髄網様体路 2. 外側脊髄視床路 3. 皮質脊髄路 4. 後索路	3
第12回	前半	問題 32	4	皮膚について誤っている記述はどれか。 1. メルケル細胞は表皮の中にある。 2. メラノサイトは表皮基底層にある。 3. 立毛筋は副交感神経の支配を受ける。 4. 爪母基は表皮の一部である。	3
第12回	前半	問題 33	4	眼球について誤っている記述はどれか。 1. 黄斑は結膜の一部である。 2. 視神経乳頭は中心窩の内側寄りにある。 3. 毛様体小帯は水晶体の周囲に付く。 4. 脈絡膜にはメラノサイトが多い。	1
第12回	前半	問題 34	5	心周期の中で房室弁が開放しているのはどれか。 1. 等容性弛緩期 2. 充満期 3. 等容性収縮期 4. 駆出期	2
第12回	前半	問題 35	5	静脈還流を促す因子でないのはどれか。 1. 静脈弁による逆流防止 2. 骨格筋の収縮によるポンプ作用 3. 右心房内圧の上昇 4. 吸息時の胸腔内圧低下	3
第12回	前半	問題 36	5	リンパ系の働きでないのはどれか。 1. 過剰な間質液の吸収 2. 間質液の異物の除去 3. 間質液の膠質浸透圧の調節 4. 間質液のpHの調節	4
第12回	前半	問題 37	5	正常時の呼吸調節で誤っている記述はどれか。 1. 呼吸中枢は延髄にある。 2. 血液のpHが低下すると呼吸運動は促進される。 3. 吸息で肺が伸展すると吸息は抑制される。 4. 動脈血酸素分圧が低下すると呼吸運動が抑制される。	4
第12回	前半	問題 38	5	血液のガス運搬について正しい記述はどれか。 1. 酸素は主に水酸基として運ばれる。 2. 二酸化炭素は主に重炭酸イオンとして運ばれる。 3. 肺での酸素の移動は主にろ過による。 4. 組織での二酸化炭素の移動は主に能動輸送による。	2
第12回	前半	問題 39	5	胃液分泌を促進するのはどれか。 1. 交感神経活動の増加 2. セクレチン分泌の増加 3. 食物による胃壁の伸展刺激 4. 酸による十二指腸粘膜の刺激	3
第12回	前半	問題 40	5	糸球体におけるろ過に関与しないのはどれか。 1. 血漿の膠質浸透圧 2. ボーマン嚢内圧 3. 糸球体の血圧 4. 膀胱内圧	4
第12回	前半	問題 41	5	糖質コルチコイドの作用で正しいのはどれか。 1. 胃酸分泌を抑制する。 2. 血糖値を低下させる。 3. アレルギー症状を抑制する。 4. ストレスに対する抵抗力を弱める。	3
第12回	前半	問題 42	5	細胞外液量の減少時に分泌が促進されないのはどれか。 1. バソプレッシン 2. 甲状腺ホルモン 3. アルドステロン 4. レニン	2
第12回	前半	問題 43	5	大脳の機能で誤っている記述はどれか。 1. 基底核はホルモン調節に関与する。 2. 体性感覚野は頭頂葉中心後回にある。 3. 辺縁皮質は本能行動に関与する。 4. 連合野は統合機能に関与する。	1
第12回	前半	問題 44	5	痛い思いをしたので近寄りたくない。」と思うことに関係が深いのはどれか。 1. 大脳辺縁系 2. 大脳基底核 3. 中脳 4. 延髄	1
第12回	前半	問題 45	5	副交感神経の活動亢進で誤っているのはどれか。 1. 気管支筋弛緩 2. 唾液腺分泌 3. 肝臓グリコーゲン合成 4. 涙腺分泌	1
第12回	前半	問題 46	5	自律神経の二重支配を受けないのはどれか。 1. 瞳孔 2. 心臓 3. 副腎皮質 4. 胃	3

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第12回	前半	問題 47	5	筋紡錘について誤っているのはどれか。 1. 運動ニューロンが分布する。 2. 球心性線維が分布する。 3. 筋の張力を検出する。 4. 脊髄反射に関与する。	3
第12回	前半	問題 48	5	痛覚について誤っている記述はどれか。 1. 受容器は自由神経終末である。 2. A線維は早い痛みを伝える。 3. 新脊髄視床路は局在性の乏しい痛みを伝える。 4. 侵害刺激によって屈曲反射が起こる。	3
第12回	前半	問題 49	5	ロドプシンを含む細胞はどれか。 1. 錐状体細胞 2. 杆状体細胞 3. 水平細胞 4. 神経節細胞	2
第12回	前半	問題 50	6	誤っている組み合わせはどれか。 1. 痛風 - - - - - 尿酸 2. 黄疸 - - - - - ビリルビン 3. アミロイドーシス - - - ヘモジデリン 4. ゴーシェ病 - - - - - 類脂質	3
第12回	前半	問題 51	6	高齢者における疾患の特徴で誤っているのはどれか。 1. 恒常性維持に異常をきたしやすい。 2. 定期的な経過を呈しやすい。 3. 慢性化しやすい。 4. 精神症状を呈しやすい。	2
第12回	前半	問題 52	6	踵の足底面中央への米粒大透熱灸で、熱傷害が瘢痕を形成するのに最も関与するのはどれか。 1. 表皮 2. 真皮表層 3. 真皮深層 4. 皮下組織	3
第12回	前半	問題 53	6	慢性炎症に最も関係の深い組織変化はどれか。 1. 血管拡張 2. 好中球浸潤 3. 滲出性変化 4. 肉芽組織形成	4
第12回	前半	問題 54	6	アレルギーの型と疾患との組み合わせで誤っているのはどれか。 1. 型 - - - 花粉症 2. 型 - - - じんま疹 3. 型 - - - 糸球体腎炎 4. 型 - - - 接触性皮膚炎	2
第12回	前半	問題 55	6	心疾患に関連の少ない組み合わせはどれか。 1. 心室中隔欠損 - - - 左心室肥大 2. 心不全 - - - - - 肺水腫 3. 狭心症 - - - - - 冠動脈硬化症 4. 心筋炎 - - - - - 高安病(脈なし病)	4
第12回	前半	問題 56	6	腫瘍の壊死によって引き起こされる病態はどれか。 1. 発熱 2. 悪液質 3. 免疫異常 4. 内分泌異常	1
第12回	前半	問題 57	7	テタニーをきたさないのはどれか。 1. 過換気症候群 2. 副甲状腺機能低下症 3. 原発性アルドステロン症 4. アンモン病	4
第12回	前半	問題 58	7	腹水貯留の原因とならないのはどれか。 1. 肝硬変 2. 腸閉塞 3. うっ血性心不全 4. ネフローゼ症候群	2
第12回	前半	問題 59	7	両耳性半盲が出現する傷害部位はどれか。 1. 外側膝状体 2. 視交叉 3. 視索 4. 視放線	2
第12回	前半	問題 60	7	失明する可能性のないのはどれか。 1. 糖尿病網膜症 2. 緑内障 3. 網膜色素変性症 4. 翼状片	4
第12回	前半	問題 61	7	鍼治療後24時間で刺鍼部位に小膿疱がみられた。最も考えられるのはどれか。 1. 全身性エリトマトーデス 2. 全身性皮膚硬化症 3. 関節リウマチ 4. ペーチェット病	4
第12回	前半	問題 62	7	アセトン臭がする意識のない人が搬送されてきた。最も考えられるのはどれか。 1. 急性アルコール中毒 2. 肝性昏睡 3. 糖尿病性昏睡 4. 尿毒症	3
第12回	前半	問題 63	7	熱射病の症状で誤っているのはどれか。 1. 呼吸促進 2. 意識清明 3. 皮膚乾燥 4. 体温上昇	2
第12回	前半	問題 64	7	妊娠中毒症の危険因子でないのはどれか。 1. 高年齢 2. つわり 3. 肥満 4. 多胎	2

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第12回	前半	問題 65	7	原発性骨粗鬆症で誤っているのはどれか。 1.閉経後の女性が多い。 2.椎体の圧迫骨折が多い。 3.血中カルシウム値は低下する。 4.骨の化学的組成は正常である。	3
第12回	前半	問題 66	7	敗血症ショックの初期に見られないのはどれか。 1.四肢末梢の冷感 2.血圧下降 3.頻脈 4.尿量減少	1
第12回	前半	問題 67	7	疾患と臨床所見との組み合わせで誤っているのはどれか。 1.狭心症 - - - - - 胸痛は30分以内 2.解離性大動脈瘤 - - - - 背部の激痛 3.自然気胸 - - - - - 呼吸困難 4.気管支拡張症 - - - - - 血痰	1
第12回	前半	問題 68	7	体位とその目的との組み合わせで誤っているのはどれか。 1.ファウラー位 - - - - - 横隔膜の下降 2.トンデレンブルグ体位 - - 脳血流の増加 3.起座位 - - - - - 静脈還流の増加 4.側臥位 - - - - - 誤嚥の防止	3
第12回	前半	問題 69	8	小児のピーナッツによる気道異物で誤っているのはどれか。 1.一瞬の吸気とともに吸い込まれる。 2.呼吸困難を呈する。 3.咳嗽が消失したら排出されたと考える。 4.肺炎を起こしやすい。	3
第12回	前半	問題 70	8	高齢者の転倒しやすい理由でないのはどれか。 1.立ち直り反応の亢進 2.感覚機能の低下 3.関節可動範囲の制限 4.重心動揺の増大	1
第12回	前半	問題 71	8	高齢者に起こりやすい骨折で誤っているのはどれか。 1.上腕骨顆上骨折 2.橈骨遠位端骨折 3.腰椎圧迫骨折 4.大腿骨頸部骨折	1
第12回	前半	問題 72	8	長期臥床による生体への影響で誤っているのはどれか。 1.骨のカルシウム減少 2.脊柱支持筋力の低下 3.心拍出量の低下 4.酸素接種量の増大	4
第12回	前半	問題 73	8	次の文で示す患者で最も考えられるのはどれか。55歳の男性。口渇、多飲、多尿(低比重尿)、水制限試験で尿量の減少はみられなかった。」 1.糖尿病 2.心因性多尿 3.尿崩症 4.原発性アルドステロン	3
第12回	前半	問題 74	8	全身性エリトママトースでみられないのはどれか。 1.皮下結節 2.けいれん 3.脱毛 4.口腔粘膜潰瘍	1
第12回	前半	問題 75	8	ビタミン欠乏で膝蓋腱反射減弱をきたすのはどれか。 1.ビタミンA 2.ビタミンB1 3.ビタミンC 4.ビタミンE	2
第12回	前半	問題 76	8	血液疾患と検査所見との組み合わせで誤っているのはどれか。 1.急性白血病 - - - - - 白血球裂孔 2.慢性白血病 - - - - - 血小板増加 3.本態性血小板減少性紫斑病 - - ルンベル・レーデ試験陽性 4.血友病 - - - - - プロトロンビン時間延長	2
第12回	前半	問題 77	8	低血圧がみられる疾患はどれか。 1.クッシング症候群 2.コシ症候群 3.シモンズ病 4.レイノー病	3
第12回	前半	問題 78	8	高血圧症の臨床所見でみられないのはどれか。 1.蛋白尿 2.心肥大 3.血中ナトリウム上昇 4.眼底細動脈狭細	1
第12回	前半	問題 79	8	下肢静脈瘤に認められないのはどれか。 1.静脈弁の不全 2.静脈の蛇行 3.間欠跛行 4.潰瘍形成	3
第12回	前半	問題 80	8	関節リウマチと関係ないのはどれか。 1.朝のこわばり 2.関節の強直 3.対称性関節腫脹 4.関節血腫	4
第12回	後半	問題 1	8	手根管症候群の原因とならないのはどれか。 1.妊娠 2.甲状腺機能亢進症 3.関節リウマチ 4.糖尿病	2
第12回	後半	問題 2	8	腰椎椎間板ヘルニアで正しい記述はどれか。 1.中年以降の男性に好発する。 2.坐骨神経痛が頻発する。 3.第3～4腰椎間で最も多い。 4.知覚障害は出現しない。	2

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第12回	後半	問題 3	8	細菌性肺炎で変化しないのはどれか。 1.赤血球数 2.CRP値 3.赤血球沈降速度 4.白血球数	1
第12回	後半	問題 4	8	過換気症候群で誤っているのはどれか。 1.心因性要素が関与する。 2.発作持続は短時間である。 3.若い女性に好発する。 4.動脈血炭酸ガス分圧が低下する。	2
第12回	後半	問題 5	8	肺結核の診断に用いられないのはどれか。 1.BCG 2.喀痰検査 3.胸部エックス線検査 4.ツベルクリン反応	1
第12回	後半	問題 6	8	疾患と病変部位との組み合わせで誤っているのはどれか。 1.筋萎縮性側索硬化症 - - - 脊髄前角 2.ポリオ - - - - - 脳幹網様体 3.重症筋無力症 - - - - - 神経筋接合部 4.パーキンソン病 - - - - - 中脳黒質	2
第12回	後半	問題 7	8	伝染力のある痴呆性疾患はどれか。 1.ピンスワンゲル病 2.ピック病 3.クロイツフェルトヤコブ病 4.正常圧水頭症	3
第12回	後半	問題 8	8	疾患と症状の組み合わせで正しいのはどれか。 1.ヒステリー - - - - - 自殺念慮 2.躁うつ病 - - - - - 過呼吸発作 3.不安神経症 - - - - - 感情の高揚 4.統合失調症 - - - - - 自我障害	4
第12回	後半	問題 9	9	IL運動(自立生活運動)の思想で正しいのはどれか。 1.身の回りのことで他人の助けを借りてはならない。 2.障害者の自己決定には責任と義務を伴う 3.職業を身につけることを最高の目標とする。 4.障害者だけが住む施設内で生活する。	2
第12回	後半	問題 10	9	改訂長谷川式簡易知能スケールの質問内容で誤っているのはどれか。 1.年齢 2.言葉の記憶 3.数字の逆唱 4.漢字の読み	4
第12回	後半	問題 11	9	正常歩行の立脚中期から後期にかけて強く収縮する筋はどれか。 1.大腿四頭筋 2.ハムストリングス 3.前脛骨筋 4.下腿三頭筋	4
第12回	後半	問題 12	9	脳卒中のリハビリテーションで正しい記述はどれか。 1.意識障害が強い患者では関節可動域訓練は禁忌である。 2.座位が安定していなくても歩行訓練を開始する。 3.歩行が自立していなくてもセルフケア訓練を開始する。 4.下肢麻痺が共同運動レベルでは装具歩行ができない。	3
第12回	後半	問題 13	9	母指と示指で輪を作ることが模倣できない患者で疑われるのはどれか。 1.半側空間無視 2.構成失行 3.観念失行 4.観念運動失行	4
第12回	後半	問題 14	9	脊髄損傷による膀胱直腸障害でないのはどれか。 1.無尿 2.失禁 3.尿閉 4.便秘	1
第12回	後半	問題 15	9	下肢切断と起こりやすい関節拘縮との組み合わせで誤っているのはどれか。 1.大腿切断 - - - - - 股関節屈曲拘縮 2.下腿切断 - - - - - 膝関節屈曲拘縮 3.サイム切断 - - - - - 膝関節伸展拘縮 4.リスフラン関節切断 - - - - - 足関節屈曲拘縮	3
第12回	後半	問題 16	9	神経麻痺と装具との組み合わせで正しいのはどれか。 1.正中神経麻痺 - - - - - 長対立副子 2.尺骨神経麻痺 - - - - - コックアップスプリント 3.大腿神経麻痺 - - - - - 短下肢装具 4.総腓骨神経麻痺 - - - - - PTB免荷装具	1
第12回	後半	問題 17	10	東洋医学の特色で適切でないのはどれか。 1.本治による病では奇穴を用いる。 2.四診によって証の決定を行う 3.虚実に基づいて補瀉を施す。 4.未病を治す。	1
第12回	後半	問題 18	10	五行論で誤っている記述はどれか。 1.五行論は陰陽論を含む。 2.相生と相剋の法則がある。 3.難経六十九難による治療法に活用される。 4.色体表は臓腑の病変の診断に応用される。	1
第12回	後半	問題 19	10	外邪に対する防衛的役割を果たすのはどれか。 1.宗気 2.経気 3.衛気 4.営気	3
第12回	後半	問題 20	10	津液について誤っているのはどれか。 1.心により代謝が促進される。 2.水穀から分離される。 3.体温調節に関与する。 4.皮膚を潤す。	1

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第12回	後半	問題 21	10	臓腑と開竅部との組み合わせで正しいのはどれか。 1.肝 - - - - 口唇 2.心 - - - - 舌 3.脾 - - - - 耳 4.腎 - - - - 目	2
第12回	後半	問題 22	10	臓腑と生理作用との組み合わせで正しいのはどれか。 1.肺 - - - - 運化 2.腎 - - - - 統血 3.小腸 - - - - 清濁の分別 4.胆 - - - - 水穀の受納	3
第12回	後半	問題 23	10	外因で体重節痛を引き起こすのはどれか。 1.風邪 2.寒邪 3.湿邪 4.燥邪	3
第12回	後半	問題 24	10	七情で腎を傷めるのはどれか。 1.怒 2.思 3.悲 4.恐	4
第12回	後半	問題 25	10	虚証の症状で適切でないのはどれか。 1.短気 2.自汗 3.下痢 4.拒按	4
第12回	後半	問題 26	10	次の文で示す病証に關係する臓はどれか。「手足の筋のひきつれ、季肋部痛、めまいや目の乾燥がある」 1.心 2.肝 3.肺 4.腎	2
第12回	後半	問題 27	10	次の文で示す是動病の経脈はどれか。「食するともし、胃部が痛み、腹が張る。よくおくびし、放屁すればすっきりする。全身が重く感じる。」 1.大腸経 2.胃経 3.肺経 4.脾経	4
第12回	後半	問題 28	10	次の文で示す経絡病証について適切なのはどれか。「目の痛みが強く、頭痛もある。背中は張って腰は折れんばかりに痛み、下腿後面の筋がひきつれる。」 1.肝経 2.膀胱経 3.胆経 4.腎経	2
第12回	後半	問題 29	10	陽?(きょう)脈病証の症状はどれか。 1.月経異常 2.目の痛み 3.排尿障害 4.下痢	2
第12回	後半	問題 30	10	古代九鍼で「皮膚を破る鍼」とされているのはどれか。 1.鋒鍼 2.毫鍼 3.大鍼 4.?(てい)鍼	1
第12回	後半	問題 31	11	五臓五刺で正しい組み合わせはどれか。 1.脾 - - - - 半刺 2.肺 - - - - 関刺 3.肝 - - - - 合谷刺 4.腎 - - - - 輸刺	4
第12回	後半	問題 32	11	骨度法で正しいのはどれか。 1.大椎から肩峰外端まで1尺 2.前髮際額角間は7寸 3.委中から臑腧まで1尺6寸 4.足三里から解谿まで1尺5寸	3
第12回	後半	問題 33	11	腎経の流注で誤っているのはどれか。 1.足の第5指外側より脈気を受け、足底を通る。 2.下腿では脛骨の内側縁を通る。 3.腹部では任脈の外側5分の部を上行する。 4.胸中で手の少陰心経と連なる。	4
第12回	後半	問題 34	11	経穴と所属経脈との組み合わせで誤っているのはどれか。 1.天?(りょう) - - - 三焦経 2.肘?(りょう) - - - 大腸経 3.巨?(りょう) - - - 胃経 4.次?(りょう) - - - 胆経	4
第12回	後半	問題 35	11	経穴と神経との組み合わせで誤っているのはどれか。 1.上巨虚 - - - 深腓骨神経 2.少府 - - - 尺骨神経 3.内関 - - - 橈骨神経 4.光明 - - - 浅腓骨神経	3
第12回	後半	問題 36	11	棘上筋上にある経穴はどれか。 1.肩貞 2.巨骨 3.肩?(りょう) 4.臑腧	2
第12回	後半	問題 37	11	取穴法で正しい記述はどれか。 1.腹結は大横の下2寸3分を取る。 2.帰来は天枢の下4寸を取る。 3.大赫は盲兪の下3寸を取る。 4.関元は神闕の下2寸を取る。	2

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第12回	後半	問題 38	11	経穴間の距離で誤っている記述はどれか。 1. 百会と上星との間は3寸である。 2. 飛陽と太陽との間は4寸である。 3. ?(げき)門と内関との間は3寸である。 4. 中?(かん)と鳩尾との間は3寸である。	1
第12回	後半	問題 39	11	経穴と動脈拍動部との組み合わせで誤っているのはどれか。 1. 頤厭 - - - - - 顔面動脈 2. 経渠 - - - - - 橈骨動脈 3. 衝陽 - - - - - 足背動脈 4. 太谿 - - - - - 後脛骨動脈	1
第12回	後半	問題 40	11	同じ肋間の高さにない経穴はどれか。 1. 紫宮 2. 神臑 3. 庫房 4. 周榮	3
第12回	後半	問題 41	11	経穴について誤っている記述はどれか。 1. 水泉は絡穴である。 2. 委中は大絡穴の一つである。 3. 公孫は八絡穴として用いられる。 4. 温溜は?(げき)穴である。	1
第12回	後半	問題 42	11	八会穴の組み合わせで正しいのはどれか。 1. 脈会 - - - 陽陵泉 2. 臟会 - - - 中?(かん) 3. 気会 - - - 懸鐘(絶骨) 4. 骨会 - - - 大杼	4
第12回	後半	問題 43	11	背部正中線上にある奇穴はどれか。 1. 氣海俞 2. 痞 根 3. 腰 眼 4. 上 仙	4
第12回	後半	問題 44	11	皮膚温の変化として報告されたのはどれか。 1. 良導絡 2. エアポケット現象 3. ヘット帯 4. 皮電点	2
第12回	後半	問題 45	12	虚証に対する鍼治療で適切なものはどれか。 1. 速刺速抜をする。 2. 抜鍼後、後揉法をしない。 3. 経絡の流注に逆らって刺鍼する。 4. 呼吸時に刺入する。	4
第12回	後半	問題 46	12	後頭部の痛みに対し、遠道刺として取穴される要穴はどれか。 1. 委 中 2. 上巨虚 3. 足三里 4. 委 陽	1
第12回	後半	問題 47	12	腎精不足による耳鳴りに対し、治療穴として適切なものはどれか。 1. 太淵 2. 太谿 3. 大陵 4. 委陽	2
第12回	後半	問題 48	12	次の文で示す患者の病証に対し、相剋関係に基づき瀉法を行う経穴はどれか。 50歳の女性。風邪を引きやすい、薄い鼻汁、息切れ及び倦怠感を伴う。」 1. 火経および金経の金穴 2. 火経および金経の火穴 3. 木経および土経の土穴 4. 木経および土経の木穴	2
第12回	後半	問題 49	12	次の文で示す患者の病証に対し、補法を行う経絡はどれか。 60歳の男性。血圧が高く、腰のたるさ、耳鳴り、不眠を伴う。舌質紅、脈は細数。」 1. 足の少陰経 2. 足の陽明経 3. 手の太陰経 4. 手の少陽経	1
第12回	後半	問題 50	12	次の文で示す患者の病証に対し、施術対象となる適切な経絡はどれか。 25歳の女性。食欲がなく体が重たく感じ、疲れやすい脈診では右関上、沈の脈が弱い。」 1. 手の太陰経 2. 手の少陰経 3. 足の少陽経 4. 足の太陰経	4
第12回	後半	問題 51	12	長母指外転筋の腱鞘炎に対し、罹患局所への治療穴で適切なものはどれか。 1. 陽谷 2. 曲沢 3. 外関 4. 偏歷	4
第12回	後半	問題 52	12	次の文で示す運動麻痺に対し、罹患局所への局所治療穴で適切なものはどれか。 手の母指内転運動の障害があり、骨間筋の萎縮がみられる。」 1. ?(げき)門 2. 曲池 3. 小海 4. 臂臑	3
第12回	後半	問題 53	12	罹患局所への治療を目的として陽白穴へ刺鍼を行う場合、対象となる顔面痛はどれか。 1. 舌咽神経痛 2. 三叉神経第1枝痛 3. 三叉神経第2枝痛 4. 三叉神経第3枝痛	2
第12回	後半	問題 54	12	次の文で示す患者の病態に対して施術の対象となる罹患靭帯で適切なものはどれか。 20歳の女性。陸上の長距離選手。最近、ランニング中に左膝関節の外側部に痛みを感じる。グラスピングテスト陽性。内反ストレステスト陽性。」 1. 膝蓋靭帯 2. 腸脛靭帯 3. 前十字靭帯 4. 外側側副靭帯	2

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第12回	後半	問題 55	12	肩背部のこりに対する局所施術における罹患筋と施術部位との組み合わせで適切でないのはどれか。 1. 菱形筋 - - - - 大杼 2. 棘下筋 - - - - 天宗 3. 肩甲下筋 - - - - 心兪 4. 僧帽筋 - - - - 肩井	3
第12回	後半	問題 56	12	理学的検査法と局所治療穴との組み合わせで適切でないのはどれか。 1. スピードテスト陽性 - - - - 天府 2. 手関節背屈テスト陽性 - - - - 支正 3. 膝の外反ストレステスト陽性 - - 曲泉 4. アキレス腱伸展テスト陽性 - - - 承筋	4
第12回	後半	問題 57	12	次の文で示す患者について、問題137、問題138の間に答えよ。 50歳の男性。就眠後2～3時間して、右眼の奥にえぐられるような激痛が、発作性・周期性に生じる。顔面紅潮、眼の充血、流涙がみられる。怒りっぽい。脈は弦数。」 最も考えられる疾患はどれか。 1. 三叉神経第1枝痛 2. 片頭痛 3. 群発頭痛 4. 緊張型頭痛	3
第12回	後半	問題 58	12	この病証に対する難経六十九難に基づく治療穴はどれか。 1. 行間 少府 2. 神門 太白 3. 尺沢 陰谷 4. 湧泉 大敦	1
第12回	後半	問題 59	12	次の文で示す患者について、問題139、問題140の間に答えよ。 65歳の男性。1年程前から歩行時に左腰部、下腿外側に疼痛が出現するようになった。ケンプ徴候陽性。足背部に知覚鈍麻がみられる。SLRテスト陰性。」 最も考えられる疾患はどれか。 1. 閉塞性動脈硬化症 2. 腰部椎間板ヘルニア 3. 腰部脊柱管狭窄症 4. 骨粗鬆症	2
第12回	後半	問題 60	12	罹患神経の支配領域に治療穴を取る場合、適切なのはどれか。 1. 外丘 2. 合陽 3. 築賓 4. 三陰交	1
第12回	後半	問題 61	13	刺激方法として鍼管を用いないのはどれか。 1. 管散術 2. 示指打法 3. 副刺激術 4. 刺鍼転向法	4
第12回	後半	問題 62	13	燃鍼法の術式で必要ないのはどれか。 1. 消毒 2. 前揉法 3. 挿管 4. 去皮	3
第12回	後半	問題 63	13	管鍼術の創始者はどれか。 1. 石坂宗哲 2. 菅沼周桂 3. 御園意斎 4. 杉山和一	4
第12回	後半	問題 64	13	体動による折鍼の危険性が少ないのはどれか。 1. 間歇術 2. 回旋術 3. 屋漏術 4. 細指術	4
第12回	後半	問題 65	13	WHOの 鍼の基礎教育と安全性に関するガイドライン(1999年)で鍼治療を避けるべき状態としているのはどれか。 1. 出血性の疾患 2. 歯科の術後痛 3. 手術後の嘔吐 4. つわり	1
第12回	後半	問題 66	13	鍼治療の偶発症として起こり得るのはどれか。 1. 神経障害 2. 抑うつ 3. せん妄 4. アフタ性潰瘍	1
第12回	後半	問題 67	13	?(てい)鍼による押圧刺激の情報を伝える神経線維はどれか。 1. A 2. A 3. A 4. B	2
第12回	後半	問題 68	13	鍼刺激の局所に出現する現象で適切でないのはどれか。 1. 微細な組織損傷 2. CGRPの分泌抑制 3. ポリモーダル受容器の興奮 4. 内因性発痛物質の生成	4
第12回	後半	問題 69	13	エンケファリンの構成成分はどれか。 1. 不飽和脂肪酸 2. アミノ酸 3. リン脂質 4. グルコース	2
第12回	後半	問題 70	13	腰部刺激によって下肢に発現する血管拡張の機序はどれか。 1. 体性反射 2. 体性 - 内臓反射 3. 体性 - 自律神経反射 4. 交叉性伸展反射	3
第12回	後半	問題 71	14	輻射熱で温熱刺激を与えるのはどれか。 1. 透熱灸 2. 棒灸 3. 打膿灸 4. 紅灸	2

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第12回	後半	問題 72	14	<p>焦灼灸について正しいのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.裏内庭の施灸に用いる。 2.第2度熱傷である。 3.単純性疣贅に用いる。 4.輻射熱を応用する。 	3
第12回	後半	問題 73	14	<p>小切艾を用いる灸法はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.打膿灸 2.透熱灸 3.生姜灸 4.塩灸 	2
第12回	後半	問題 74	14	<p>ビワの葉灸について正しいのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.ビワの葉の繊維成分を艾様にして使用する。 2.ビワの葉を温めて皮膚に当てる。 3.ビワの葉のエキスを塗る。 4.ビワの葉を皮膚に置き、その上に棒灸を押しつける。 	4
第12回	後半	問題 75	14	<p>膝蓋跳動がみられる変形性膝関節症に対する灸施術の目的はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.転調作用 2.誘導作用 3.防衛作用 4.興奮作用 	2
第12回	後半	問題 76	14	<p>灸痕部が治りにくく化膿に注意するのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.痛風 2.高脂血症 3.糖尿病 4.肥満 	3
第12回	後半	問題 77	14	<p>灸部位の細胞破壊に伴ってアラキドン酸から産生されるのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.プロスタグランジン 2.ヒスタミン 3.セロトニン 4.ブラジキニン 	1
第12回	後半	問題 78	14	<p>透熱灸で施灸局所辺縁にみられないのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.リンパ管の閉塞 2.血管透過性の亢進 3.疼痛 4.皮膚の紅斑 	3
第12回	後半	問題 79	14	<p>体幹部への灸刺激による交感神経受容体を介する反応はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.気管支平滑筋の弛緩 2.皮膚血管の拡張 3.胃の蠕動運動抑制 4.心拍数の増加 	2
第12回	後半	問題 80	14	<p>健康増進を目的とした灸施術の反応で適切でないのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.交感神経-副腎髄質系の反応 2.下垂体-副腎皮質系の反応 3.免疫系の賦活 4.レイリー現象 	4
第13回	前半	問題 1	1	<p>問題 1バイオエシックスの対象でないのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.医療財政 2.損害賠償 3.人工授精 4.安楽死 	2
第13回	前半	問題 2	1	<p>問題 2インフォームド・コンセントを含む医の倫理の国際規定はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.ヒポクラテスの誓い 2.アルマ・アタ宣言 3.ジュネーブ宣言 4.ヘルシンキ宣言 	4
第13回	前半	問題 3	2	<p>問題3プライマリーヘルスケアの要素に含まれないのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.身近な医療 2.全人的把握 3.継続的な管理 4.専門的な医療 	4
第13回	前半	問題 4	2	<p>問題4第三次予防はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.リハビリテーション 2.禁煙 3.がん検診 4.予防接種 	1
第13回	前半	問題 5	2	<p>問題5部位別がんで欧米より我が国の方が多いのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.皮膚癌 2.肝癌 3.大腸癌 4.乳癌 	2
第13回	前半	問題 6	2	<p>問題6疾病とその原因となる作業との組合せで誤っているのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.じん肺 トネル掘削作業 2.難聴 騒音下での作業 3.眼精疲労 VDT作業 4.潜函病 溶接作業 	4
第13回	前半	問題 7	2	<p>問題7感染症について正しい組合せはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.狂犬病 リケッチア 2.コレラ 細菌 3.百日咳 ウイルス 4.日本脳炎 細菌 	2
第13回	前半	問題 8	2	<p>問題8 2類感染症に含まれないのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.コレラ 2.腸チフス 3.アメーバ赤痢 4.急性灰白髄炎 	3
第13回	前半	問題 9	2	<p>問題9皮膚の消毒について適切でないのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.エタノール 2.逆性石けん 3.ホルマリン 4.ヨードチンキ 	3

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第13回	前半	問題 10	2	問題10乳児死亡について正しいのはどれか。 1. 生後1週未満の死亡 2. 生後4週未満の死亡 3. 生後1年未満の死亡 4. 生後5年未満の死亡	3
第13回	前半	問題 11	3	問題11あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律で免許を取り消された場合の免許証の返納期間はどれか。 1. 5日以内 2. 7日以内 3. 10日以内 4. 30日以内	1
第13回	前半	問題 12	3	問題12守秘義務(秘密保持義務)で誤っている記述はどれか。 1. 業務上知り得た人の秘密を漏らしてはならない。 2. 被害者の告訴がなくても起訴される。 3. 正当な理由がなくて秘密を漏らしてはならない。 4. 施術者でなくなった後も義務は残る。	2
第13回	前半	問題 13	3	問題13臨検検査で正しい記述はどれか。 1. 市長村長の職権による。 2. 施術所の衛生管理は含まない。 3. 検査担当の職員は身分を示す証表の携帯義務がある。 4. 犯罪捜査として認められる。	3
第13回	前半	問題 14	3	問題14医療法で誤っている記述はどれか。 1. 診療所は療養病床を開設できる。 2. 病院は予約診療の広告ができる。 3. 助産所には常勤の医師1名を置かなければならない。 4. 特定機能病院は500床以上の病床数を有しなければならない。	3
第13回	前半	問題 15	4	問題15最も伸縮性の高い上皮はどれか。 1. 単層扁平上皮 2. 重層扁平上皮 3. 単層円柱上皮 4. 移行上皮	4
第13回	前半	問題 16	4	問題16血液脳関門の形成に関与するのはどれか。 1. 上皮細胞 2. 希突起膠細胞 3. 星状膠細胞 4. 小膠細胞	3
第13回	前半	問題 17	4	問題17上腕骨の大結節に停止する筋はどれか。 1. 三角筋 2. 棘下筋 3. 大円筋 4. 肩甲下筋	2
第13回	前半	問題 18	4	問題18手根管を通過しない筋はどれか。 1. 深指屈筋 2. 長掌筋 3. 長母指屈筋 4. 浅指屈筋	2
第13回	前半	問題 19	4	問題19腰神経叢の枝によって支配される筋はどれか。 1. 梨状筋 2. 上双子筋 3. 外閉鎖筋 4. 大腿筋膜直筋	3
第13回	前半	問題 20	4	問題20小腸について誤っている記述はどれか。 1. 空腸は腸間膜をもつ。 2. 粘膜には半月ヒダがある。 3. 腸腺は絨毛の根元に開口する。 4. 二層の筋層からなる。	2
第13回	前半	問題 21	4	問題21膵臓について正しい記述はどれか。 1. 後腹膜器官である。 2. 膵尾は十二指腸に附着する。 3. 肝臓の下面に隣接する。 4. 膵管は幽門に開口する。	1
第13回	前半	問題 22	4	問題22弾性軟骨はどれか。 1. 喉頭蓋軟骨 2. 甲状軟骨 3. 輪状軟骨 4. 気管軟骨	1
第13回	前半	問題 23	4	問題23前立腺について誤っている記述はどれか。 1. 膀胱の下に位置する。 2. 腹膜に覆われている。 3. 導管は尿道に開口する。 4. 腺組織の間に平滑筋が含まれる。	2
第13回	前半	問題 24	4	問題24子宮について正しい記述はどれか。 1. 膀胱の後方に位置する。 2. 子宮底で陰につながる。 3. 子宮頸管は卵管につながる。 4. 子宮筋層は横紋筋からなる。	1
第13回	前半	問題 25	4	問題25腎臓について誤っている記述はどれか。 1. 右腎は左腎より低位にある。 2. 糸球体と尿管とを合わせてネフロンと呼ぶ。 3. ボーマン囊の一端から遠位尿管が始まる。 4. 後腹膜器官である。	2 and 3
第13回	前半	問題 26	4	問題26冠状動脈を分枝するのはどれか。 1. 上行大動脈 2. 大動脈弓 3. 胸大動脈 4. 肺動脈	1
第13回	前半	問題 27	4	問題27腹大動脈の枝のうち対をなすのはどれか。 1. 上腸間膜動脈 2. 下腸間膜動脈 3. 腹腔動脈 4. 腎動脈	4

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第13回	前半	問題 28	4	問題28下垂体について誤っている記述はどれか。 1. トリニ鞍の中に位置する。 2. 腺下垂体と神経下垂体からなる。 3. 前葉には下垂体門脈系の血液が注ぐ。 4. 後葉には後葉ホルモン産生細胞がある。	4
第13回	前半	問題 29	4	問題29感覚性伝導路と中継核との組合せで誤っているのはどれか。 1. 視覚 内側膝状体 2. 平衡覚 前庭神経核 3. 味覚 孤束核 4. 体性感覚 視床	1
第13回	前半	問題 30	4	問題30仙骨神経叢から出るのはどれか。 1. 腸骨下腹神経 2. 閉鎖神経 3. 陰部神経 4. 大腿神経	3
第13回	前半	問題 31	4	問題31頸静脈孔を通らないのはどれか。 1. 顔面神経 2. 舌咽神経 3. 迷走神経 4. 副神経	1
第13回	前半	問題 32	4	問題32滑車神経によって支配される筋はどれか。 1. 内側直筋 2. 下斜筋 3. 下直筋 4. 上斜筋	4
第13回	前半	問題 33	4	問題33内部に有毛細胞が存在しないのはどれか。 1. 半規管膨大部 2. 平衡斑 3. ラセン器 4. 鼓室階	4
第13回	前半	問題 34	5	問題34アンダーシスの原因とならないのはどれか。 1. 呼吸量減少 2. 腎機能低下 3. 頻回の嘔吐 4. 持続する下痢	3
第13回	前半	問題 35	5	問題35心臓の働きについて誤っている記述はどれか。 1. 摘出した心臓は一定時間拍動する。 2. ペースメーカー細胞は一定リズムで興奮する。 3. 刺激伝導系の興奮は特殊心筋線維によって伝えられる。 4. 心臓の収縮に自律神経の働きは不可欠である。	4
第13回	前半	問題 36	5	問題36血液中の酸素分圧低下時に起こらないのはどれか。 1. 酸素化ヘモグロビンの増加 2. エリスロポイエチンの分泌 3. 頸動脈小体からの求心性活動の亢進 4. 赤血球の増加	1
第13回	前半	問題 37	5	問題37低蛋白血症時に起こらないのはどれか。 1. 浮腫 2. 易感染性 3. 血液凝固の促進 4. 細胞へのアミノ酸供給の減少	3
第13回	前半	問題 38	5	問題38呼吸について誤っている記述はどれか。 1. ヘモグロビンと酸素の結合能は炭酸ガス分圧が低い程高まる。 2. 胸腔内圧は陰圧である。 3. 肺胞の酸素分圧は動脈血の酸素分圧より低い。 4. 腹式呼吸の吸気時に横隔膜は収縮する。	3
第13回	前半	問題 39	5	問題39胃液分泌を抑制するのはどれか。 1. 食塊による胃壁の伸展 2. 迷走神経の活動亢進 3. ガストリンの分泌 4. セクレチンの分泌	4
第13回	前半	問題 40	5	問題40消化管で受動的に吸収されるのはどれか。 1. 水 2. カルシウムイオン 3. ブドウ糖 4. ナトリウムイオン	1
第13回	前半	問題 41	5	問題41高温環境下で起こりにくいのはどれか。 1. 発汗 2. バソプレッシン分泌の減少 3. 皮膚血管の拡張 4. アルドステロン分泌の増加	2
第13回	前半	問題 42	5	問題42腎臓の酸-塩基平衡の保持作用で最も重要なのはどれか。 1. 重碳酸イオンの排泄 2. ナトリウムイオンの排泄 3. 水素イオンの排泄 4. カリウムイオンの再吸収	3
第13回	前半	問題 43	5	問題43健康成人で下垂体前葉のACTH分泌が亢進した際にみられないのはどれか。 1. 副腎アンドレゲン分泌の増加 2. 視床下部ACTH放出ホルモン(CRH)分泌の増加 3. 電解質コルチコイド分泌の増加 4. 糖質コルチコイド分泌の増加	2
第13回	前半	問題 44	5	問題44下垂体前葉ホルモンが関与しないのはどれか。 1. 乳汁産生 2. 血糖値上昇 3. 成長促進 4. 子宮収縮	4
第13回	前半	問題 45	5	問題45アテロール受容体が関与するのはどれか。 1. 血管の収縮 2. 気管支の拡張 3. 心収縮力の増大 4. 胃腸管平滑筋の収縮	1

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第13回	前半	問題 46	5	問題46末梢神経束の圧迫によって最初に障害されるのはどれか。 1.発汗 2.触覚 3.痛覚 4.運動	4
第13回	前半	問題 47	5	問題47骨格筋に分布しない神経はどれか。 1.運動ニューロン 2.運動ニューロン 3.α群求心性線維 4.β群求心性線維	4
第13回	前半	問題 48	5	問題48損傷によって運動麻痺が起こらない部位はどれか。 1.前頭葉 2.小脳 3.内包 4.脊髄側索	2
第13回	前半	問題 49	5	問題49 100gと103gの重さの違いがわかる時、200gと区別できる最小の重さはどれか。 1.203g 2.206g 3.209g 4.212g	2
第13回	前半	問題 50	6	問題50ビタミンとその欠乏症との組合せで誤っているのはどれか。 1.ビタミンA 夜盲症 2.ビタミンB1 脚気 3.ビタミンC 悪性貧血 4.ビタミンD 骨軟化症	3
第13回	前半	問題 51	6	問題51病原体と感染を受けやすい臓器との組合せで誤っているのはどれか。 1.ポリオウイルス 脊髄 2.带状疱疹ウイルス 末梢神経 3.結核菌 肺 4.赤痢菌 小腸	(4)
第13回	前半	問題 52	6	問題52出血性梗塞を最も起こしやすい臓器はどれか。 1.脳 2.肺 3.心臓 4.腎臓	2
第13回	前半	問題 53	6	問題53ショックと最も関連の低いのはどれか。 1.熱傷 2.出血 3.敗血症 4.浮腫	4
第13回	前半	問題 54	6	問題54急性炎症に最も関連の深いのはどれか。 1.結核結節 2.肉芽組織 3.腫瘍 4.瘢痕組織	3
第13回	前半	問題 55	6	問題55自己免疫異常による疾患はどれか。 1.全身性エリテマトーデス 2.後天性免疫不全症候群 3.播種性血管内凝固症候群 4.全身性炎症反応症候群	1
第13回	前半	問題 56	6	問題56発がん因子として適切でないのはどれか。 1.赤外線 2.ダイオキシン 3.アスベスト 4.EBウイルス	1
第13回	前半	問題 57	7	問題57前期妊娠中毒症に含まれるのはどれか。 1.子癇 2.妊娠悪阻 3.中毒性脳出血 4.妊娠浮腫	2
第13回	前半	問題 58	7	問題58水牛様肩甲部脂肪沈着(パッファローハンブ)がみられるのはどれか。 1.クレチン病 2.クッシング病 3.ターナー症候群 4.クル病	2
第13回	前半	問題 59	7	問題59発生頻度に著明な性差がみられないのはどれか。 1.先天性股関節脱臼 2.ペルテス病 3.突発性側彎症 4.先天性筋性斜頸	4
第13回	前半	問題 60	7	問題60通常の平地歩行における歩行周期で立脚相の占める割合はどれか。 1.20% 2.40% 3.60% 4.80%	3
第13回	前半	問題 61	7	問題61良肢位で誤っているのはどれか。 1.肘関節屈曲90度 2.手関節伸展(背屈)10度 3.膝関節伸展0度 4.足関節屈曲(底屈)10度	3
第13回	前半	問題 62	7	問題62動脈疾患について誤っている組合せはどれか。 1.閉塞性動脈硬化症 虚血性潰瘍 2.解離性大動脈瘤 背部痛 3.大動脈炎症候群 橈骨動脈拍動減弱 4.レイノー病 間欠跛行	4
第13回	前半	問題 63	7	問題63経口感染するウイルス性肝炎はどれか。 1.B型 2.C型 3.D型 4.E型	4

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第13回	前半	問題 64	7	問題64成人の胸骨圧迫心臓マッサージで適切でない記述はどれか。 1. 毎分100回で行う。 2. 胸骨が4～5cm沈む程度に圧迫する。 3. 加圧と除圧の比は1:2である。 4. 圧迫部位は胸骨下端から2横指頭側である。	3
第13回	前半	問題 65	7	問題65体位ドレナージが有効な疾患はどれか。 1. 気管支拡張症 2. 気管支喘息 3. 肺気腫 4. 肺水腫	1
第13回	前半	問題 66	7	問題66感覚解離を起こす障害部位はどれか。 1. 大脳基底核 2. 小脳 3. 脊髄 4. 末梢神経	3
第13回	前半	問題 67	7	問題67持続時間が最も短い不随運動はどれか。 1. 舞蹈病様運動 2. ミオクローヌス 3. アトーゼ 4. ジストニア	2
第13回	前半	問題 68	7	問題68背髄後索性失調の検査で最も適切なものはどれか。 1. ロンベルグ試験 2. 変換運動 3. 膝踵試験 4. 書き試験	1
第13回	前半	問題 69	8	問題69甲状腺機能低下症でみられないのはどれか。 1. テタニー 2. 嚔声 3. 便秘 4. 言語緩慢	1
第13回	前半	問題 70	8	問題70次の文で示す患者で最も考えられるのはどれか。 「45歳の男性。高血圧、多尿、四肢麻痺、低カリウム血症、高ナトリウム血症を認めた。」 1. 尿崩症 2. 原発性アルドステロン症 3. 褐色細胞腫 4. 副甲状腺機能亢進症	2
第13回	前半	問題 71	8	問題71アジソン病の症状でACTH増加によるのはどれか。 1. 腋毛脱落 2. 色素沈着 3. 低血圧 4. 低血糖	2
第13回	前半	問題 72	8	問題72筋萎縮性側索硬化症で最も侵されやすい脳神経核はどれか。 1. 動眼神経核 2. 三叉神経運動核 3. 顔面神経核 4. 舌下神経核	4
第13回	前半	問題 73	8	問題73 15歳の肥満男子。軽微な外傷性跛行を主訴として来院した。 最も考えられるのはどれか。 1. ペルテス病 2. 変形性股関節症 3. 結核性股関節炎 4. 大腿骨頭すべり症	4
第13回	前半	問題 74	8	問題74関節リウマチに合併しない変形はどれか。 1. スワンネック変形 2. ボタン穴変形 3. マレット変形 4. 尺側偏位	3
第13回	前半	問題 75	8	問題75下部腰椎椎間板ヘルニアで認めにくい記述はどれか。 1. 坐骨神経痛を伴う。 2. ギックリ腰ではじまる。 3. 大腿内側の知覚障害を認める。 4. 髄核は後側に脱出する。	3
第13回	前半	問題 76	8	問題76心臓弁膜疾患と症状との組合せで誤っているのはどれか。 1. 僧帽弁狭窄症 起坐呼吸 2. 僧帽弁閉鎖不全症 易疲労性 3. 大動脈弁狭窄症 失神発作 4. 大動脈弁閉鎖不全症 拡張期血圧上昇	4
第13回	前半	問題 77	8	問題77血液疾患と症状との組合せで最も関連の低いのはどれか 1. 白血病 発熱 2. 悪性リンパ腫 貧血 3. 血小板減少性紫斑病 リンパ節腫大 4. 血友病 関節内出血	3
第13回	前半	問題 78	8	問題 78肝癌について誤っている記述はどれか。 1. 肝腺房細胞から発生することが多い。 2. 高齢の男性に多い。 3. 血清腫瘍マーカーとしてCA19-9を用いる。 4. 肝頭部癌では閉塞性黄疸をきたしやすい。	1
第13回	前半	問題 79	8	問題79脊髄麻痺で可能な手術はどれか。 1. 脳腫瘍摘出術 2. 甲状腺全摘術 3. 上腕骨骨折骨接合術 4. 虫垂切除術	4
第13回	前半	問題 80	8	問題80星状神経節ブロックの適応でないのはどれか。 1. 末梢性顔面神経麻痺 2. 顔面の帯状疱疹後神経痛 3. 手の反射性交感神経性萎縮症 4. 片側顔面けいれん	4

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第13回	後半	問題 1	8	問題81ネフローゼ症候群の特徴でないのはどれか。 1.全身浮腫 2.ミオグロビン尿症 3.低蛋白血症 4.高脂血症	2
第13回	後半	問題 2	8	問題82慢性気管支炎について誤っている記述はどれか。 1.1か月以上持続する気管支炎をいう。 2.閉塞性呼吸器疾患である。 3.主な症状は湿性の咳嗽である。 4.治療として禁煙が重要である。	1
第13回	後半	問題 3	8	問題83肺線維症でみられないのはどれか。 1.胸痛 2.乾性咳嗽 3.息切れ 4.肺活量減少	1
第13回	後半	問題 4	8	問題84破傷風について正しい記述はどれか。 1.破傷風菌は好気性である。 2.菌の内毒素によって発症する。 3.経口的な感染が多い。 4.予防にワクチンが有効的である。	4
第13回	後半	問題 5	8	問題85オリブ橋小脳萎縮症でみられないのはどれか。 1.パーキンソニズム 2.体幹失調 3.失語症 4.自律神経症状	3
第13回	後半	問題 6	8	問題86前駆症状を伴うのはどれか。 1.緊張型頭痛 2.片頭痛 3.三叉神経痛 4.大後頭神経痛	2
第13回	後半	問題 7	8	問題87心身症の特徴として適切でない記述はどれか。 1.させられ体験がある。 2.不安感を伴う 3.愁訴が多い。 4.心理的要因に影響される。	1
第13回	後半	問題 8	8	問題88アレルギー性鼻炎について正しい記述はどれか。 1.遅延型アレルギー反応で起こる。 2.診断には鼻汁の好酸球検査が重要である。 3.慢性化することは少ない。 4.副鼻腔炎の原因にはなりにくい。	2
第13回	後半	問題 9	9	問題89職種と業務内容との組合せで正しいのはどれか。 1.言語聴覚士 人工内耳の作製 2.作業療法士 自助具の作製 3.理学療法士 神経ブロック注射 4.介護支援専門員 腰痛体操の指導	2
第13回	後半	問題 10	9	問題90徒手筋力テストにおいて、重力に逆らうことはできないが、重力がなければ動かせる筋肉のグレードはどれか。 1.MM T4 2.MM T3 3.MM T2 4.MM T1	3
第13回	後半	問題 11	9	問題91廃用症候群の症候として正しいのはどれか。 1.意識障害 2.関節拘縮 3.尿失禁 4.けいれん	2,3
第13回	後半	問題 12	9	問題92下肢の筋緊張が増強しないのはどれか。 1.頸髄不全麻痺 2.パーキンソン病 3.痙直型脳性麻痺 4.腰椎椎間板ヘルニア	4
第13回	後半	問題 13	9	問題93病態と装具との組合せで正しいのはどれか。 1.外反母趾 長下肢装具 2.正中神経麻痺 コップスプリント 3.脳卒中片麻痺 PTB装具 4.腰椎圧迫骨折 体幹装具	4
第13回	後半	問題 14	9	問題94脊髄損傷完全麻痺について正しい組合せはどれか。 1.第3頸髄レベル 人工呼吸器 2.第7頸髄レベル 電動車いす 3.第3胸髄レベル 長下肢装具 4.第12胸髄レベル 短下肢装具	1
第13回	後半	問題 15	9	問題95慢性閉塞性肺疾患のリハビリテーション内容で誤っているのはどれか。 1.リラクゼーション 2.口すぼめ呼吸 3.正しい呼吸パターン指導 4.四肢・体幹の筋力強化	3
第13回	後半	問題 16	9	問題96大腿骨頸部骨折で手術直後に行わないのはどれか。 1.創部へのホットパック 2.両下肢の関節可動域訓練 3.ベット上での体位変換 4.車いす座位訓練	1
第13回	後半	問題 17	10	問題97気について誤っている記述はどれか。 1.衛気は水穀の精気のことをいう 2.真気は温煦作用を持つ。 3.宗気は胸中に集まる。 4.営気は血とともに脈中を流れる。	1
第13回	後半	問題 18	10	問題98陰陽関係で、陰極まれば陽となり 陰極まれば陰となる法則はどれか。 1.陰陽可分 2.陰陽転化 3.陰陽消長 4.陰陽互根	2

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第13回	後半	問題 19	10	問題99経脈における五行の関係について誤っている記述はどれか。 1.腎経の母経は肺経である。 2.膀胱経の子経は胆経である。 3.肺経の相剋の経は脾経である。 4.心経の相生の経は肝経である。	3
第13回	後半	問題 20	10	問題100肺の臓について正しいのはどれか。 1.第3胸椎に付く。 2.口唇に開竅する。 3.作強の官である。 4.統血を主る。	1
第13回	後半	問題 21	10	問題101五声と五音との組合せで正しいのはどれか。 1.呼 羽 2.言 角 3.歌 徵 4.哭 商	4
第13回	後半	問題 22	10	問題102鼻清を主るのはどれか。 1.肝 2.心 3.脾 4.肺	3
第13回	後半	問題 23	10	問題103三焦について正しいのはどれか。 1.第12胸椎に付着する。 2.伝導の官である。 3.納気を主る。 4.気血津液を調整する。	4
第13回	後半	問題 24	10	問題104五心煩熱がみられるのはどれか。 1.気虚 2.陽虚 3.血虚 4.陰虚	4
第13回	後半	問題 25	10	問題105経絡病証で背骨のこわばり、頭痛の症状を呈するのはどれか。 1.督脈 2.任脈 3.衝脈 4.帯脈	1
第13回	後半	問題 26	10	問題106六部定位脈診において左関上で診る臓腑はどれか。 1.肝と胆 2.心包と三焦 3.肺と大腸 4.脾と胃	1
第13回	後半	問題 27	10	問題107六経病証で病邪が最後に達するのはどれか。 1.太陰経 2.厥陰経 3.陽明経 4.少陽経	2
第13回	後半	問題 28	10	問題108次の文で示す経絡病証はどれか。 咳が出て胸若しく、胸に熱感があり息切れし、手掌がほてる。」 1.心経 2.脾経 3.肺経 4.腎経	3
第13回	後半	問題 29	10	問題109鍼治療の補瀉で正しい記述はどれか。 1.抜鍼後に鍼孔を押さえるのは瀉である。 2.経絡の流注方向に沿って刺入するのは補である。 3.太い鍼を用いるのは補である。 4.呼気に刺入し、吸気に抜鍼するのは瀉である。	2
第13回	後半	問題 30	10	問題110鍍鍼を用いる古代刺法はどれか。 1.？刺 2.傍鍼刺 3.絡刺 4.大瀉刺	4
第13回	後半	問題 31	11	問題111古代刺法で毛刺が含まれるのはどれか。 1.十二刺 2.九刺 3.五刺 4.三刺	2
第13回	後半	問題 32	11	問題112経脈流注と接続部との組合せで正しいのはどれか。 1.小腸経から膀胱経 外眼角 2.三焦経から胆経 手の示指端 3.胃経から脾経 足の母指内側端 4.肺経から大腸経 肉眼角	3
第13回	後半	問題 33	11	問題113十二経脈について誤っているのはどれか。 1.正経と奇経からなる。 2.肺経に始まり肝経に終わる。 3.身体の内外を走行する。 4.表裏関係にある臓腑と連絡する。	1
第13回	後半	問題 34	11	問題114骨度法で恥骨結合上際から大腿骨内側上顆上際までの長さはどれか。 1.1尺6寸 2.1尺7寸 3.1尺8寸 4.1尺9寸	3
第13回	後半	問題 35	11	問題115第11肋骨先端下際にある経穴はどれか。 1.梁門 2.章門 3.京門 4.期門	2
第13回	後半	問題 36	11	問題116半腱様筋腱と半膜様筋腱の間を取る経穴はどれか。 1.陰谷 2.膝関 3.陰陵泉 4.曲泉	1

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第13回	後半	問題 37	11	問題117手関節横紋から経穴までの距離で誤っているのはどれか。 1.陰? まで5分 2.会宗まで4寸 3.偏歴まで3寸 4.経渠まで1寸	2
第13回	後半	問題 38	11	問題118経穴と筋肉との組合せで正しいのはどれか。 1.客主人 側頭筋 2.大横 腹直筋 3.血海 外側広筋 4.三陰交 前脛骨筋	1
第13回	後半	問題 39	11	問題119三叉神経第3枝の支配領域にない経穴はどれか。 1.頰車 2.下関 3.禾? 4.大迎	3
第13回	後半	問題 40	11	問題120同じ高さにない経穴の組合せはどれか。 1.中脘 胃倉 2.大杼 肩外俞 3.膀胱俞 胞盲 4.豊台 督俞	1
第13回	後半	問題 41	11	問題121取穴法で正しい記述はどれか。 1.孔最は尺沢の下4寸に取る。 2.温溜は陽谿の上3寸に取る。 3.? 陽は崑崙の上2寸に取る。 4.水泉は太谿の下1寸に取る。	4
第13回	後半	問題 42	11	問題122? 中について誤っているのはどれか。 1.気の会穴である。 2.奇経に所属する。 3.両乳頭間にある。 4.心の募穴である。	4
第13回	後半	問題 43	11	問題123下腿内側面の知覚鈍麻に対する治療穴として、その取穴部位から最も適切な奇穴はどれか。 1.腰眼 2.気海俞 3.蘭尾 4.痞根	2or3?
第13回	後半	問題 44	11	問題124絡穴? 穴との組合せで誤っているのはどれか。 1.光明 外丘 2.蠡溝 中都 3.飛陽 金門 4.大鍾 築賓	4
第13回	後半	問題 45	12	問題125東洋医学的治療原則について誤っている記述はどれか。 1.心理状態を考慮する。 2.先病が本治法の対象となる。 3.急性の症状では標治法を優先する。 4.秋・冬には浅刺する。	4
第13回	後半	問題 46	12	問題126頭痛に対する四総穴で適切なのはどれか。 1.委中 2.合谷 3.列缺 4.足三里	3
第13回	後半	問題 47	12	問題127末梢性顔面神経麻痺における罹患筋と治療穴との組合せで誤っているのはどれか。 1.前頭筋 曲差 2.頬筋 頤厭 3.眼輪筋 四白 4.口輪筋 地倉	2
第13回	後半	問題 48	12	問題128メニエール病のめまいに対し、三焦経の治療穴で適切なのはどれか。 1.頭竅陰 2.聴会 3.聴宮 4.耳門	4
第13回	後半	問題 49	12	問題129過多月経の治療穴で八会穴を用いる場合、適切なのはどれか。 1.? 中 2.膈俞 3.大杼 4.懸鐘	2
第13回	後半	問題 50	12	問題130小児気管支喘息の発作予防の施術で適切でないのはどれか。 1.肺経の接触鍼 2.前胸部の管散術 3.背部俞穴の知熱灸 4.腹部の多壯灸	4
第13回	後半	問題 51	12	問題131足の冷えに用いる刺法で適切なのはどれか。 1.陰刺 2.短刺 3.偶刺 4.報刺	1
第13回	後半	問題 52	12	問題132次の文で示す患者の病証に対し、施術対象となる経絡はどれか。 「45歳の女性。目尻から側頭部にかけて痛みがある。口も苦くよぐため息をつく。」 1.足の少陽経 2.足の少陰経 3.手の陽明経 4.手の太陰経	1
第13回	後半	問題 53	12	問題133上肢痛の原因疾患と局所治療穴との組合せで適切でないのはどれか。 1.手根管症候群 大陵 2.円回内筋症候群 四? 3.肘部管症候群 小海 4.橈骨神経痛 消?	2

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第13回	後半	問題 54	12	問題134次の文で示す患者の病態に対し、施術の対象とされる局所部位はどれか。 45歳の男性。3か月前からボーリングを始めた。最近、投球動作で右肩に痛みが生じた。ペインフルアークサイン陰性。スピードテスト陽性。」 1. 結節間溝部 2. 肩甲骨棘下部 3. 肩甲間部 4. 上腕三頭筋部	1
第13回	後半	問題 55	12	問題135肩峰下インピンジメント症候群に対する局所施術で対象となる罹患筋はどれか。 1. 前鋸筋 2. 棘上筋 3. 小胸筋 4. 大円筋	2
第13回	後半	問題 56	12	問題136スポーツ障害と罹患局所への治療穴との組合せで適切でないのはどれか。 1. 水泳肩 肩? 2. 野球肩 小海 3. ジャンパー膝 承筋 4. シンスプリント 三陰交	3
第13回	後半	問題 57	12	問題137湿度が高くなると症状が増悪する痺証はどれか。 1. 行痺 2. 痛? 3. 着痺 4. 熱痺	3
第13回	後半	問題 58	12	問題138次の文で示す患者の病証に対し、難経六十九難に基づき補法を行う経穴はどれか。 40歳の女性。寒がり、くしゃみがよく出る。話すのがおっくうで声に力がない。舌質淡。脈弱。」 1. 曲泉 2. 大都 3. 太淵 4. 少衝	3
第13回	後半	問題 59	12	次の文で示す患者について、問題139、問題140の間に答えよ。 55歳の女性。コンピューター作業を続けると目が疲れ、物がぼやけてみる。月経量は少ない。爪につやがない。舌質淡。脈は細。」 問題139五臓の病証で適切なのはどれか。 1. 肝 2. 心 3. 脾 4. 肺	1
第13回	後半	問題 60	12	問題140気血の病証で適切なのはどれか。 1. 気虚 2. 気滞 3. 血? 4. 血虚	4
第13回	後半	問題 61	13	問題141鍼の刺激量を刺入の継続時間で調節するのはどれか。 1. 単刺術 2. 置鍼術 3. 旋燃術 4. 雀啄術	2
第13回	後半	問題 62	13	問題142小児鍼として使用しないのはどれか。 1. いちょう鍼 2. 車鍼 3. 鋒鍼 4. ? 鍼	3
第13回	後半	問題 63	13	問題143刺鍼による気胸としてみられないのはどれか。 1. 胸痛 2. 冷汗 3. 血痰 4. 呼吸困難	3
第13回	後半	問題 64	13	問題144返し鍼の処置が適切なのはどれか。 1. 精神緊張による過換気 2. 脳貧血による一過性の失神 3. 食中毒による下痢 4. 刺鍼による発熱	2
第13回	後半	問題 65	13	問題145ディスプレイ鍼の取り扱いとして適切でないのはどれか。 1. 使用後は医療廃棄物として処理する。 2. 滅菌の有効期限内に使用する。 3. 使用直前にパッケージを開く。 4. 再生して使用する。	4
第13回	後半	問題 66	13	問題146軸索反射を介してコリン作動性神経末端に作用し、脳血管を拡張させるのはどれか。 1. CGRP 2. サブスタンスP 3. エンドレフィン 4. アトロピン	1
第13回	後半	問題 67	13	問題147ポリモーダル受容器の特徴として適切でないのはどれか。 1. 皮膚だけでなく深部組織にも分布する。 2. 局在性の明らかな痛みを生じる。 3. 受容器の形態は自由神経終末である。 4. 非侵害的な刺激強度でも興奮する。	2
第13回	後半	問題 68	13	問題148内因性発痛物質でないのはどれか。 1. 水素イオン 2. セロトニン 3. ヒスタミン 4. エンケファリン	4
第13回	後半	問題 69	13	問題149鍼麻酔について誤っている記述はどれか。 1. 筋収縮が得られる刺激で発現する。 2. 細径線維が関与する。 3. 意識レベルが低下する。 4. 効果発現までに誘導時間が必要する。	3
第13回	後半	問題 70	13	問題150胃運動を促進する迷走神経反射に関与するのはどれか。 1. 遠道刺 2. 絡刺 3. 巨刺 4. 関刺	1

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答例
第13回	後半	問題 71	14	問題151良質艾の条件で適切でないのはどれか。 1. ヨモギの香りが強い。 2. 淡黄白色を呈する。 3. 灰分が少ない。 4. 繊維が細い。	1
第13回	後半	問題 72	14	問題152艾を直接皮膚上に置き、燃焼させる無痕灸はどれか。 1. 温筒灸 2. 焦灼灸 3. 知熱灸 4. 紅灸	3
第13回	後半	問題 73	14	問題153熱刺激に伴い経皮的に薬理効果が期待できる灸術はどれか。 1. ニンニク灸 2. 棒灸 3. ウシル灸 4. 塩灸	1
第13回	後半	問題 74	14	問題154米粒大の透熱灸が適切なのはどれか。 1. ベル麻痺の患部 2. 皮膚の炎症部 3. 便秘を訴える妊婦の腹部 4. 坐骨神経痛の圧痛部	4
第13回	後半	問題 75	14	問題155施灸による水疱はどれか。 1. 変質性炎 2. 滲出性炎 3. 増殖性炎 4. 特異性炎	2
第13回	後半	問題 76	14	問題156施術部の化膿を防止する方法で誤っているのはどれか。 1. 同一点に施灸する。 2. 艾? を小さくする。 3. 水疱を破る。 4. 施灸後に消毒を行う	3
第13回	後半	問題 77	14	問題157施灸による紅斑形成に最も関連の強い神経線維はどれか。 1. A 2. A 3. B 4. C	4
第13回	後半	問題 78	14	問題158痛みの悪循環を改善する施灸の目的として適切でないのはどれか。 1. 組織血流量の増加 2. 軸索反射の出現 3. 発痛物質の排除 4. 交感神経の興奮	4
第13回	後半	問題 79	14	問題159透熱灸によって誘発される反射はどれか。 1. 体性自律反射 2. 圧反射 3. 伸張反射 4. ヘーリング・ブロイエル反射	1
第13回	後半	問題 80	14	問題160内外各種の刺激に対して交感神経がすばやく反応するとい説はどれか。 1. ストレス学説 2. 過剰刺激症候群の学説 3. サイバネティックスの学説 4. ホメオスタシスの学説	4(2)
第14回	前半	問題 1	1	問題1 我が国の国民医療費に含まれるのはどれか。 1. 正常分娩の費用 2. リハビリテーションの費用 3. 健康診断の費用 4. 入院時差額費用	2
第14回	前半	問題 2	1	問題2 予後不良状態にある末期患者が示す態度の5段階に含まれないのはどれか。 1. 否認 2. 怒り 3. 協働 4. 受容	3
第14回	前半	問題 3	2	問題3 運動の効果について誤っているのはどれか。 1. 血糖値を下げる。 2. 体重を減らす。 3. HDLコレステロール値を下げる。 4. ストレスを減らす。	3
第14回	前半	問題 4	2	問題4 光化学スモッグの原因物質はどれか。 1. オキシダント 2. ダイオキシン 3. イオウ酸化物 4. 一酸化炭素	1
第14回	前半	問題 5	2	問題5 産業衛生領域における管理に含まれないのはどれか。 1. 作業環境管理 2. 作業管理 3. 人事管理 4. 健康管理	3
第14回	前半	問題 6	2	問題6 性行為感染症でないのはどれか。 1. エイズ 2. 尖圭コンジローマ 3. クラミジア感染症 4. A型肝炎	4
第14回	前半	問題 7	2	問題7 4類感染症はどれか。 1. 細菌性赤痢 2. コレラ 3. 腸管出血性大腸菌感染症 4. 狂犬病	4
第14回	前半	問題 8	2	問題8 食中毒について正しい組合せはどれか。 1. ノロウイルス 貝類 2. サルモネラ属 手指の化膿創 3. プドウ球菌 魚介類 4. 腸炎ヒブリオ ネズミ	1

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答例 1
第14回	前半	問題 9	2	問題9 合計特殊出生率について誤っている記述はどれか。 1.15～49歳女性の年齢別出生率を合計し、1人当たりにした値である。 2.将来の人口の増減を予測する指標である。 3.我が国では減少傾向を示している。 4.合計特殊出生率は粗出生率より高い。	4
第14回	前半	問題 10	3	問題10 あん摩マツサーン指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律で免許の効力が発生するのはいつか。 1.養成校を卒業したとき 2.国家試験に合格したとき 3.免許を申請したとき 4.名簿に登録されたとき	4
第14回	前半	問題 11	3	問題11 あん摩マツサーン指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律で広告できないのはどれか。 1.駐車場設備 2.施術料 3.出張施術 4.電話番号	2
第14回	前半	問題 12	3	問題12 施術室の衛生管理について厚生労働省令で定められている措置はどれか。 1.採光 2.温度 3.湿度 4.騒音	1
第14回	前半	問題 13	3	問題13 法律で定める対象年齢で誤っている組合せはどれか。 1.介護保険法 18歳以上 2.児童福祉法 18歳未満 3.身体障害者福祉法 18歳以上 4.知的障害者福祉法 18歳以上	1
第14回	前半	問題 14	4	問題14 腋窩の壁を構成する筋について誤っている組合せはどれか。 1.前壁 大胸筋 2.後壁 大円筋 3.内側壁 前鋸筋 4.外側壁 三角筋	4
第14回	前半	問題 15	4	問題15 球関節はどれか。 1.腕橈関節 2.指節間関節 3.膝関節 4.橈骨手根関節	1
第14回	前半	問題 16	4	問題16 肩甲骨上角に付着するのはどれか。 1.板状筋 2.肩甲拳筋 3.小菱形筋 4.大菱形筋	2
第14回	前半	問題 17	4	問題17 鷲足の形成に関与するのはどれか。 1.長内転筋 2.大腿二頭筋 3.半腱様筋 4.半膜様筋	3
第14回	前半	問題 18	4	問題18 腱が足の上伸筋支帯を通るのはどれか。 1.足底筋 2.後脛骨筋 3.前脛骨筋 4.ヒラメ筋	3
第14回	前半	問題 19	4	問題19 斜角筋隙形成に関与しないのはどれか。 1.第1肋骨 2.前斜角筋 3.中斜角筋 4.後斜角筋	4
第14回	前半	問題 20	4	問題20 梨状筋下孔を通らないのはどれか。 1.上殿動脈 2.内陰部動脈 3.陰部神経 4.坐骨神経	1
第14回	前半	問題 21	4	問題21 舌の分界溝の前に一列に並ぶのはどれか。 1.糸状乳頭 2.茸状乳頭 3.有郭乳頭 4.葉状乳頭	3
第14回	前半	問題 22	4	問題22 胃について正しい記述はどれか。 1.ガストリン分泌細胞は噴門に分布する。 2.角切痕は小弯の一部にみられる。 3.胃底腺の主細胞は塩酸を分泌する。 4.幽門は第11胸椎の高さにある。	2
第14回	前半	問題 23	4	問題23 肺について誤っている記述はどれか。 1.左肺は2葉に分かれる。 2.表面は臓側胸膜で覆われる。 3.肺静脈は右心房に入る。 4.ガス交換は肺胞壁において行われる。	3
第14回	前半	問題 24	4	問題24 尿道について誤っている記述はどれか。 1.内尿道口に始まる。 2.陰茎海綿体内を貫く。 3.女性の方が短い。 4.尿道括約筋は横紋筋である。	2
第14回	前半	問題 25	4	問題25 単径管を通らないのはどれか。 1.精管 2.精巣動脈 3.卵巣動脈 4.子宮円索	3
第14回	前半	問題 26	4	問題26 卵管上皮はどれか。 1.線毛上皮 2.移行上皮 3.単層立方上皮 4.単層扁平上皮	1

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第14回	前半	問題 27	4	問題27 動脈と分布域との組合せで誤っているのはどれか。 1.気管支動脈 肺臓 2.腹腔動脈 脾臓 3.上腸間膜動脈 空腸 4.下腸間膜動脈 上行結腸	4
第14回	前半	問題 28	4	問題28 錐体路を構成しないのはどれか。 1.中心前回 2.内包 3.大脳脚 4.脊髓後索	4
第14回	前半	問題 29	4	問題29 腋窩神経支配の筋はどれか。 1.棘上筋 2.棘下筋 3.大円筋 4.小円筋	4
第14回	前半	問題 30	4	問題30 胸髄で交感神経節前ニューロンの細胞体が存在する部位はどれか。 1.前角 2.側角 3.後角 4.白質	2
第14回	前半	問題 31	4	問題31 視覚器について誤っている記述はどれか。 1.網膜中心動脈は視神経の中を通る。 2.視細胞の外節は網膜色素上皮に接する。 3.涙腺の導管は上結膜円蓋に開口する。 4.後眼房は水晶体の後方にある。	4
第14回	前半	問題 32	4	問題32 平衡斑があるのはどれか。 1.前庭 2.蝸牛 3.鼓室 4.半規管	1
第14回	前半	問題 33	5	問題33 RNAを構成する塩基でないのはどれか。 1.アデニン 2.グアニン 3.シトシン 4.チミン	4
第14回	前半	問題 34	5	問題34 心臓の刺激伝導系について誤っている記述はどれか。 1.固有心筋からなる。 2.洞房結節にペースメーカー細胞がある。 3.房室結節は右心房にある。 4.ヒス束の興奮は右脚 左脚に伝わる。	1
第14回	前半	問題 35	5	問題35 血液凝固に関与するのはどれか。 1.ビタミンC 2.ビタミンD 3.ビタミンE 4.ビタミンK	4
第14回	前半	問題 36	5	問題36 分時肺胞換気量に関与しないのはどれか。 1.残気量 2.1回換気量 3.死腔量 4.呼吸数	1
第14回	前半	問題 37	5	問題37 胆汁について誤っている記述はどれか。 1.肝臓で産生される。 2.分泌は迷走神経によって調節される。 3.脂肪の消化・吸収に働く。 4.消化酵素を含んでいる。	4
第14回	前半	問題 38	5	問題38 基礎代謝について誤っているのはどれか。 1.睡眠時の生命維持に必要な最小限の代謝である。 2.日本人の男性(20~40歳)では、1日当たり約1500kcalである。 3.体表面積に比例する。 4.男性より女性の方が低い。	1
第14回	前半	問題 39	5	問題39 産熱に関与するホルモンはどれか。 1.オキシトシン 2.サイロキシン 3.グルカゴン 4.インスリン	2
第14回	前半	問題 40	5	問題40 排尿反射について誤っている記述はどれか。 1.中枢は脳幹にある。 2.求心路は骨盤神経である。 3.蓄尿時に陰部神経の活動は低下する。 4.排尿時に下腹神経の活動は低下する。	3
第14回	前半	問題 41	5	問題41 下垂体前葉ホルモンによる調節を受けないのはどれか。 1.コルチゾール 2.テストステロン 3.カテコールアミン 4.サイロキシン	3
第14回	前半	問題 42	5	問題42 大脳皮質連合野の働きでないのはどれか。 1.情報の統合 2.情報の判断 3.本能行動の発現 4.意志の決定	3
第14回	前半	問題 43	5	問題43 抑制性のみ働く神経伝達物質はどれか。 1.グルタミン酸 2.グリシン 3.アセチルコリン 4.ノルアドレナリン	2
第14回	前半	問題 44	5	問題44 中枢部位が延髄でないのはどれか。 1.循環中枢 2.嚥下中枢 3.唾液分泌中枢 4.対光反射中枢	4

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第14回	前半	問題 45	5	問題45 死後硬直の原因はどれか。 1. ATP減少 2. 乳酸減少 3. ビルビリン酸増加 4. クレアチンリン酸増加	1
第14回	前半	問題 46	5	問題46 除脳動物でみられない反射はどれか。 1. 屈曲反射 2. 立ち直り反射 3. 緊張性頸反射 4. 交叉性伸張反射	2
第14回	前半	問題 47	5	問題47 感覚と感覚受容器との組合せで誤っているのはどれか。 1. 視覚 錐状体細胞 2. 聴覚 有毛細胞 (コルチ器) 3. 平衡感覚 有毛細胞 (蝸大部稜) 4. 痛覚 ルフィニ終末	4
第14回	前半	問題 48	6	問題48 染色体核型が45 Xとして表現される疾患はどれか。 1. ターナー症候群 2. クラインフェルター症候群 3. ダウン症候群 4. 猫鳴き症候群	1
第14回	前半	問題 49	6	問題49 原因と疾患との組合せで誤っているのはどれか。 1. カドミウム 病的骨折 2. 有機水銀 気管支喘息様発作 3. 6価クロム 鼻中隔穿孔 4. アスベスト 中皮腫	2
第14回	前半	問題 50	6	問題50 ホルモンと機能亢進による疾患との組合せで誤っているのはどれか。 1. 成長ホルモン 先端肥大症 2. コルチゾール クッシング症候群 3. サイロキシン バセドウ病 4. アルドステロン 乳漏症	4
第14回	前半	問題 51	6	問題51 老化と最も関連の低いのはどれか。 1. 脳萎縮 2. もやもや病 3. 骨髄低形成 4. 骨粗鬆症	2
第14回	前半	問題 52	6	問題52 炎症の分類と疾患との組合せで誤っているのはどれか。 1. 化膿性炎 淋病 2. 肉芽腫性炎 結核 3. 漿液性炎 じんま疹 4. 壊死性炎 インフルエンザ	4
第14回	前半	問題 53	6	問題53 悪性腫瘍細胞の特徴として誤っている記述はどれか。 1. 核分裂像が多い。 2. 細胞質に対する核の面積比 (N/C比) が小さい。 3. 極性を欠く。 4. 核小体が明瞭である。	2
第14回	前半	問題 54	7	問題54 樽状胸をきたすのはどれか。 1. 肺炎 2. 肺気腫 3. 肺結核 4. 肺線維症	2
第14回	前半	問題 55	7	問題55 関節リウマチでみられないのはどれか。 1. スワンネック変形 2. ボタン穴変形 3. 尺側偏位 4. クモ状指	4
第14回	前半	問題 56	7	問題56 痛みを伴わないのはどれか。 1. 逃避跛行 2. 間欠跛行 3. 鶏歩 4. 随意跛行	3
第14回	前半	問題 57	7	問題57 循環器疾患と臨床所見との組合せで誤っているのはどれか。 1. 左心不全 肝腫大 2. 右心不全 下腿浮腫 3. 心臓喘息 夜間呼吸困難 4. 心タンポナーデ 血圧低下	1
第14回	前半	問題 58	7	問題58 腹膜刺激症状はどれか。 1. ケルニツヒ徴候 2. ブルンベルグ徴候 3. プルジンスキー徴候 4. ロブジンク徴候	2
第14回	前半	問題 59	7	問題59 クールボアジェ徴候がみられるのはどれか。 1. 食道癌 2. 胃癌 3. 肝細胞癌 4. 膵頭部癌	4
第14回	前半	問題 60	7	問題60 皮膚反射でないのはどれか。 1. 下顎反射 2. 腹壁反射 3. 拳拳筋反射 4. 肛門反射	1
第14回	前半	問題 61	7	問題61 嘔声をきたす脳神経障害はどれか。 1. 顔面神経 2. 迷走神経 3. 副神経 4. 舌下神経	2
第14回	前半	問題 62	7	問題62 錐体外路徴候はどれか。 1. 病的反射 2. 痙縮 3. 運動麻痺 4. 固縮	4

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第14回	前半	問題 63	7	問題63 低エネルギーレーザー療法の目的でないのはどれか。 1.光凝固作用 2.炎症の軽減 3.疼痛の緩和 4.創傷治癒促進	1
第14回	前半	問題 64	7	問題64 自己免疫疾患はどれか。 1.尿崩症 2.先端肥大症 3.バセドウ病 4.クッシング症候群	3
第14回	前半	問題 65	7	問題65 努力義務とされていない予防接種はどれか。 1.ジフテリア 2.百日咳 3.破傷風 4.流行性耳下腺炎	4
第14回	前半	問題 66	7	問題66 食中毒の原因で致死率が最も高いのはどれか。 1.ボツリヌス菌 2.サルモネラ属 3.腸炎ビブリオ 4.黄色ブドウ球菌	1
第14回	前半	問題 67	7	問題67 疾患と原因との組合せで正しいのはどれか。 1.マロリー・ワイス症候群 喫煙 2.潰瘍性大腸炎 ヘリコバクター・ピロリ菌 3.過敏性腸症候群 免疫異常 4.ポイツ・イェガース症候群 遺伝	4
第14回	前半	問題 68	7	問題68 40歳の肥満女性。右季肋部の疼痛と発熱、黄疸が認められた。最も考えられるのはどれか。 1.膵尾部癌 2.総胆管結石 3.腎結石 4.肝硬変	2
第14回	前半	問題 69	8	問題69 慢性気管支炎について正しい記述はどれか。 1.拘束性呼吸器疾患である。 2.若年者に多い。 3.喫煙が発病の原因となる。 4.乾性の咳嗽を認める。	3
第14回	前半	問題 70	8	問題70 急性糸球体腎炎について正しい記述はどれか。 1.溶血性連鎖球菌感染が原因となる。 2.先行感染から数か月後に発症する。 3.血清補体価は高値となる。 4.発症直後は高蛋白食を与える。	1
第14回	前半	問題 71	8	問題71 巨人症でみられないのはどれか。 1.発汗過多 2.高血圧 3.筋緊張亢進 4.月経異常	3
第14回	前半	問題 72	8	問題72 代謝疾患について誤っている組合せはどれか。 1.高尿酸血症 腎不全 2.高コレステロール血症 急性膵炎 3.糖尿病 起立性低血圧 4.肥満症 睡眠時無呼吸症候群	2
第14回	前半	問題 73	8	問題73 変形性関節症について誤っている記述はどれか。 1.関節の退行性変化である。 2.荷重関節に好発する。 3.運動開始時の痛みが特徴的である。 4.関節強直を起こしやすい。	4
第14回	前半	問題 74	8	問題74 腰部脊柱管狭窄症について誤っている記述はどれか。 1.腰椎屈曲位で疼痛が軽減する。 2.間欠跛行がある。 3.下肢症状は片側性である。 4.安静時痛は少ない。	3
第14回	前半	問題 75	8	問題75 腰背部痛の原因で生命の危険をきたすのはどれか。 1.腰部脊柱管狭窄症 2.子宮内膜症 3.尿管結石 4.解離性大動脈瘤	4
第14回	前半	問題 76	8	問題76 閉塞により同名半盲をきたしやすい血管はどれか。 1.前大脳動脈 2.中大脳動脈 3.後大脳動脈 4.椎骨動脈	3
第14回	前半	問題 77	8	問題77 聴神経鞘腫でみられにくいのはどれか。 1.顔面神経麻痺 2.嗅覚異常 3.耳鳴り 4.失調性歩行	2
第14回	前半	問題 78	8	次の文で示す事例について、問題78、問題79、問題80の問に答えよ。 「施術後、患者の血液の付いた鍼を廃棄する時に誤って施術者の指に刺さった。」 問題78 鍼刺し事故後、感染率が最も高いのはどれか。 1.成人T細胞白血病 2.B型肝炎 3.C型肝炎 4.HIV感染症	2
第14回	前半	問題 79	8	問題79 HBウイルス陽性患者であった場合の対応で最も適切なのはどれか。 1.穿刺部位のアルコール消毒 2.抗生物質の投与 3.HBワクチン投与 4.抗HB免疫グロブリン投与	4

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答例1
第14回	前半	問題 80	8	問題80 誤刺および感染を回避する方法として適切でないのはどれか。 1.単回(1回)使用毫鍼を使用する。 2.施術には指サックを使用する。 3.手指の消毒には20%(体積百分率)イソプロピルアルコールを用いる。 4.使用後の鍼は感染性廃棄物として専用容器に捨てる。	3
第14回	後半	問題 1	8	問題81 疾患と症状との組合せで正しいのはどれか。 1.全身性エリテマトーデス ヘルペトロープ疹 2.ベーチェット病 陰部潰瘍 3.皮膚筋炎 仮面様顔貌 4.全身性硬化症 ブドウ膜炎	2
第14回	後半	問題 2	8	問題82 ショックについて誤っている組合せはどれか。 1.心原性ショック 循環血液量の減少 2.敗血症性ショック エンドキシン 3.神経原性ショック 血管壁の緊張低下 4.アナフィラキシーショック 抗原抗体反応	1
第14回	後半	問題 3	8	問題83 熱傷について正しい記述はどれか。 1.第1度の熱傷では最初にステロイド軟膏の塗布を行う 2.「9の法則」では頭部は総体表面積の18%にあたる。 3.広範囲の熱傷では早期に輸液療法を開始する。 4.第3度の熱傷では水疱形成が主体である。	3
第14回	後半	問題 4	8	問題84 子宮頸癌の原因と考えられているのはどれか。 1.ヒト乳頭腫ウイルス 2.単純ヘルペスウイルス 3.帯状ヘルペスウイルス 4.風疹ウイルス	1
第14回	後半	問題 5	8	問題85 メニエール病について誤っている記述はどれか。 1.伝音性難聴をきたす。 2.発作は反復消長する。 3.めまい発作をきたす。 4.自発眼振が出現する。	1
第14回	後半	問題 6	8	問題86 うつ病の特徴でないのはどれか。 1.喜びの消失 2.焦燥 3.睡眠障害 4.幻覚	4
第14回	後半	問題 7	8	問題87 成人の身体障害者について正しい記述はどれか。 1.嚥下障害は聴覚・言語障害に分類される。 2.最近では視覚障害者の増加率が最も高い。 3.糖尿病は内部障害者として分類される。 4.肢体不自由障害者の割合が最も多い。	4
第14回	後半	問題 8	8	問題88 介護支援専門員の業務内容で正しいのはどれか。 1.介護度の認定 2.訪問介護の実施 3.居宅療養管理指導 4.ケアプランの策定	4
第14回	後半	問題 9	9	問題89 大腿四頭筋の徒手筋力テストの際、被検者を側臥位で評価しなければならない筋力はどれか。 1.MMT0 2.MMT2 3.MMT3 4.MMT5	2
第14回	後半	問題 10	9	問題90 ADLに分類されるのはどれか。 1.買い物 2.自動車運転 3.整容 4.バス乗車	3
第14回	後半	問題 11	9	問題91 長期臥床でみられやすい拘縮として誤っているのはどれか。 1.肩関節屈曲 2.股関節屈曲 3.膝関節屈曲 4.足関節屈曲(底屈)	1
第14回	後半	問題 12	9	問題92 頸髄損傷の症状で誤っているのはどれか。 1.関節異所性骨化 2.起立性低血圧 3.観念運動失行 4.体温調節障害	3
第14回	後半	問題 13	9	問題93 脳性麻痺の病型として誤っているのはどれか。 1.感覚障害型 2.運動失調型 3.痙直型 4.アテトーゼ型	1
第14回	後半	問題 14	9	問題94 腰痛患者のリハビリテーションで誤っているのはどれか。 1.膝と股関節を軽く屈曲して寝るように指導する。 2.物を持ち上げる際には中腰姿勢をとるように指導する。 3.腹筋の筋力増強訓練をする。 4.股関節のストレッチ体操を指導する。	2
第14回	後半	問題 15	9	問題95 五行色体の組合せで正しいのはどれか。 1.青 舌 2.秋 思 3.甘 骨髓 4.暑 徵	4
第14回	後半	問題 16	9	問題96 臓腑とその付着部で正しい組合せはどれか。 1.胃 第9胸椎 2.肝 第10胸椎 3.脾 第11胸椎 4.胆 第12胸椎	3
第14回	後半	問題 17	10	問題97 小腸について誤っているのはどれか。 1.受盛の官である。 2.闌門で大腸に連なる。 3.清濁を分ける。 4.中焦に属する。	4

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第14回	後半	問題 18	10	問題98 心について正しいのはどれか。 1. 決断を主る。 2. 君主の官である。 3. 営を蔵する。 4. 四肢を主る。	2
第14回	後半	問題 19	10	問題99 聞診で診るのはどれか。 1. 五主 2. 五香 3. 五味 4. 五液	2
第14回	後半	問題 20	10	問題100 舌診で舌尖部に配当されるのはどれか。 1. 脾 2. 肝 3. 心 4. 腎	3
第14回	後半	問題 21	10	問題101 外邪で動きが遅く停滞する性質をもつのはどれか。 1. 燥邪 2. 湿邪 3. 熱邪 4. 風邪	2
第14回	後半	問題 22	10	問題102 胃熱による症状はどれか。 1. 梅核気 2. 心下痞 3. 消穀善飢 4. 五更泄瀉	3
第14回	後半	問題 23	10	問題103 四肢のふるえとめまいとが共にみられる病証はどれか。 1. 肝血虚 2. 脾気虚 3. 肺陰虚 4. 腎陽虚	1
第14回	後半	問題 24	10	問題104 半表半裏証でみられないのはどれか。 1. 往来寒熱 2. 胸脇苦満 3. 悪風 4. 口が苦い	3
第14回	後半	問題 25	10	問題105 次の文で示す経絡病証はどれか。 「腰が痛み、季肋部が張って苦しく、顔色は青黒い。」 1. 小腸経 2. 脾経 3. 肝経 4. 三焦経	3
第14回	後半	問題 26	10	問題106 五臓とその症状との組合せで誤っているのはどれか。 1. 肝 汗をよくかく。 2. 脾 肌肉がやせる。 3. 肺 体臭が生臭い。 4. 心 顔色が赤い。	1
第14回	後半	問題 27	10	問題107 三陰三陽六病位と体幹の部位との組合せで誤っているのはどれか。 1. 厥陰 側面の裏 2. 太陽 背面の表 3. 陽明 腹面の表 4. 太陰 背面の裏	4
第14回	後半	問題 28	10	問題108 十二刺で筋痺の治療に用いる刺法はどれか。 1. 蠡刺 2. 揚刺 3. 報刺 4. 恢刺	4
第14回	後半	問題 29	10	問題109 五刺について正しい組合せはどれか。 1. 輪刺 骨 2. 関刺 血脈 3. 豹文刺 肌肉 4. 合谷刺 筋	1
第14回	後半	問題 30	10	問題110 骨度法で大椎穴から肘頭までの長さは何寸か。 1. 1尺 5寸 2. 1尺 6寸 3. 1尺 7寸 4. 1尺 8寸	3
第14回	後半	問題 31	11	問題111 大腸経について正しいのはどれか。 1. 手の薬指尺側爪甲根部から始まる。 2. 少陽に属する経脈である。 3. 前腕では橈骨神経に沿って上行する。 4. 上歯の中をめぐる。	3
第14回	後半	問題 32	11	問題112 奇経八脈について正しい記述はどれか。 1. 衝脈は子宮から起こる。 2. 陰維脈は金門に発する。 3. 陽維脈は築室に発する。 4. 帯脈は踵から起こる。	1
第14回	後半	問題 33	11	問題113 内関穴について正しいのはどれか。 1. 尺側手根屈筋腱と長掌筋腱の間にある。 2. 大陵から上方 3寸に取る。 3. 尺骨神経上にある。 4. 心包経の絡穴である。	4
第14回	後半	問題 34	11	問題114 経穴とその部位の筋を支配する神経との組合せで誤っているのはどれか。 1. 肩井 副神経 2. 肩りょう 腋窩神経 3. 肩貞 肩甲上神経 4. 肩外俞 肩甲背神経	3
第14回	後半	問題 35	11	問題115 伏在神経の支配領域にない経穴はどれか。 1. 血海 2. 曲泉 3. 中都 4. 商丘	1

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第14回	後半	問題 36	11	問題116 前鋸筋上にない経穴はどれか。 1. 輻筋 2. 淵腋 3. 大包 4. 食竇	4
第14回	後半	問題 37	11	問題117 取穴法で誤っている記述はどれか。 1. 不容は第8肋軟骨付着部の直下を取る。 2. 消れきは橈骨神経溝中に入る。 3. 気舎は胸鎖乳突筋の二頭間に入る。 4. 曲垣は肩甲骨上角の直上に入る。	4
第14回	後半	問題 38	11	問題118 取穴法で正しい記述はどれか。 1. 巨りよは瞳孔線上で鼻孔の外方8分に入る。 2. 曲差は頭維の内方1寸5分に入る。 3. 本神は神庭の外方1寸5分に入る。 4. 顛りよは内眼角の直下に入る。	1
第14回	後半	問題 39	11	問題119 足の第1中足指節関節の後ろ、内側陥凹部に入る経穴はどれか。 1. 地五会 2. 太白 3. 束骨 4. 陥谷	2
第14回	後半	問題 40	11	問題120 直立して下垂した上肢の手掌を大腿外側に当て、中指先端の下際に取り穴するのはどれか。 1. 痞根 2. 風市 3. 鶴頂 4. 蘭尾	2
第14回	後半	問題 41	11	問題121 任脈上に募穴がない経脈はどれか。 1. 心包経 2. 脾経 3. 小腸経 4. 三焦経	2
第14回	後半	問題 42	11	問題122 経火穴と榮水穴との組合せで正しいのはどれか。 1. 支溝 液門 2. 商丘 大都 3. 靈道 少府 4. 崑崙 束骨	1
第14回	後半	問題 43	11	問題123 虚寒証に対する刺法で適切でないのはどれか。 1. 経絡の流注方向に沿って刺入する。 2. 吸気時に刺入し、呼気時に抜鍼する。 3. 目的の深さで鍼を留める。 4. 抜鍼後、直ちに鍼孔を閉じる。	2
第14回	後半	問題 44	11	問題124 次の文で示す患者の病態に対する鍼通電療法の通電部位として適切なのはどれか。 「53歳の男性。1年前から前腕外側から手背にかけての痛みがある。顔を上に向けると痛みが増悪する。腕橈骨筋反射減弱。」 1. C4 - C5間の直側と五里 2. C5 - C6間の直側と合谷 3. C6 - C7間の直側と内関	2
第14回	後半	問題 45	12	問題125 肩こりの施術で治療対象となる筋と経穴との組合せで正しいのはどれか。 1. 僧帽筋 風池 2. 肩甲挙筋 曲垣 3. 棘上筋 肩外俞 4. 菱形筋 大杼	4
第14回	後半	問題 46	12	問題126 トケルバン病に対する局所施術で対象となる罹患筋はどれか。 1. 長母指外転筋 2. 母指内転筋 3. 短母指屈筋 4. 母指対立筋	1
第14回	後半	問題 47	12	問題127 次の文で示す患者への施術対象となる高位障害レベルはどれか。 「40歳の男性。腰下肢痛を訴える。長母指伸筋と長指伸筋の筋力低下、下腿外側から足背にかけての知覚鈍麻がみられる。膝蓋腱反射・アキレス腱反射は共に正常。」 1. L3 2. L4 3. L5 4. S1	3
第14回	後半	問題 48	12	問題128 足関節の屈曲(底屈)ができない運動麻痺に対し、拮抗筋の緊張緩和を目的とした局所治療穴はどれか。 1. 承山 2. 飛陽 3. 陰陵泉 4. 足三里	4
第14回	後半	問題 49	12	問題129 理学的検査所見と局所治療穴との組合せで適切でないのはどれか。 1. 膝の外反ストレス陽性 曲泉 2. チェアテスト陽性 曲池 3. ファレンテスト陽性 陽池 4. パトリックテスト陽性 環跳	3
第14回	後半	問題 50	12	問題130 次の文で示す患者の病証に対する治療目的として適切でないのはどれか。 「28歳の女性。湿度が高い日が続くと咳と痰がよくでる。関節痛と倦怠感を伴う。甘い食物を好む。」 1. 脾の運化を改善する。 2. 肝の疏泄を促す。 3. 痰湿の除去を図る。 4. 肺の肅降を促す。	2
第14回	後半	問題 51	12	問題131 胃腸疾患に対し、身体部位に基づく配穴法と経穴との組合せで誤っているのはどれか。 1. 同経配穴 天枢・太白 2. 前後配穴 中かん・胃俞 3. 表裏配穴 足三里・公孫 4. 上下配穴 内関・足三里	1
第14回	後半	問題 52	12	問題132 逆気によるのぼせ・下痢に対する施術で適切な五行穴(五俞穴)はどれか。 1. 井穴 2. 俞穴 3. 経穴 4. 合穴	4

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答例1
第14回	後半	問題 53	12	問題133 次の文で示す患者に対する奇経を用いた治療で適切でないのはどれか。 28歳の女性。月経が3か月に一度しかなく、経血量も少ない。めまい感があり、食欲がない。やせ型で顔色が蒼白く、舌質淡、脈沈細。」 1.陽維脈 2.衝脈 3.任脈 4.帯脈	1
第14回	後半	問題 54	12	問題134 小児疳の虫に対し、伝統的に行われてきた施灸部位はどの高さをつんだ線上の棘突起下にあるか。 1.肩峰 2.肩甲棘内側端 3.第12肋骨先端 4.腸骨稜	2
第14回	後半	問題 55	12	問題135 肝虚証に対し、難経六十九難に基づき補法を行う経穴はどれか。 1.太白 2.経渠 3.陰谷 4.少府	3
第14回	後半	問題 56	12	次の症例に対して問題136、問題137の間に答えよ。 77歳の男性。2か月前から陸上の練習中に右脛骨の下1/3に疼痛があり、徐々に走行が困難となった。エックス線像に骨折の所見はない。知覚異常はないが足の屈曲(底屈)内反の抵抗運動で疼痛が誘発される。」 問題136 最も考えられるのはどれか。 1.有痛性外脛骨 2.オスグット病 3.コンパートメント症候群 4.シンスプリント	4
第14回	後半	問題 57	12	問題137 施術対象とする罹患筋で適切なのはどれか。 1.前脛骨筋 2.後脛骨筋 3.長腓骨筋 4.短腓骨筋	2
第14回	後半	問題 58	12	次の文で示す患者について、問題138、問題139、問題140の間に答えよ。 本態性高血圧で降圧薬を服用している78歳の男性。夜間頻尿を主訴として来院。手足のほてり、腰の重だるさがみられ、舌診では舌質紅、無苔、脈診では浮で無力を呈した。随時血圧測定では収縮期血圧148mmHg、拡張期 血圧84mmHgであった。」 問題138 随時血圧の測定で誤っているのはどれか。 1.上腕を心臓の高さにして測定する。 2.仰臥位で測定する。 3.スワンの第1点を収縮期血圧とする。 4.マンシエットの圧を1秒間に2mmHg程度で下げていく。	2
第14回	後半	問題 59	12	問題139 本症例の高血圧の治療を放置した場合、臓器障害がみられにくいのはどれか。 1.心臓 2.腎臓 3.肝臓 4.脳	3
第14回	後半	問題 60	12	問題140 証に基づいて、鍼灸治療を行う場合の治療対象となる適切な病証はどれか。 1.気虚証 2.血虚証 3.陰虚証 4.お血証	3
第14回	後半	問題 61	13	問題141 単回(1回)使用毫鍼の品質を保証する方法として適切でないのはどれか。 1.引張り強度試験の実施 2.滅菌年月の表示 3.ステンレス鋼線の使用 4.伝導性検査の実施	4
第14回	後半	問題 62	13	問題142 膝関節腔内へ鍼が刺入された場合に生じる可能性があるのはどれか。 1.膝窩嚢胞 2.離断性骨軟骨炎 3.化膿性膝関節炎 4.膝蓋軟骨軟化症	3
第14回	後半	問題 63	13	問題143 低頻度鍼通電について適切でない記述はどれか。 1.臨床では鎮痛を目的として1~10Hzの周波数が多用される。 2.折鍼を予防するために直流電流を用いる。 3.鎮痛は持続性がある。 4.陰極側の閾値は陽極側よりも低い。	2
第14回	後半	問題 64	13	問題144 古代九鍼の中で小児鍼のもとになったのはどれか。 1.大鍼 2.円鍼 3.鍍鍼 4.毫鍼	2
第14回	後半	問題 65	13	問題145 施術により生じた神経インパルスの伝導に主としてA 線維が関与するのはどれか。 1.管散術 2.置鍼術 3.間歇術 4.屋漏術	1
第14回	後半	問題 66	13	問題146 動物実験で鍼鎮痛の効果が得られにくいとき、あらかじめ投与することで効果発現を促す物質はどれか。 1.D-フェニルアラニン 2.ナロキソン 3.アルギニン 4.ロイシン	1
第14回	後半	問題 67	13	問題147 患者の呼吸に合わせて運鍼を行うのはどれか。 1.内調術 2.随鍼術 3.間歇術 4.副刺激術	2
第14回	後半	問題 68	13	問題148 施術中の有害事象と処置との組合せで適切でないのはどれか。 1.抜鍼困難 示指打法 2.内出血 圧迫 3.遠感覚 後揉捏 4.気胸 返し鍼	4

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第14回	後半	問題 69	13	問題149 ポリモーダル受容器について誤っているのはどれか。 1.形態は自由神経終末である。 2.温熱刺激に反応する。 3.自律神経に反射的に影響する。 4.筋の張力を検出する。	4
第14回	後半	問題 70	13	問題150 下行性抑制系が末梢からの痛覚情報を遮断する部位はどれか。 1.中脳水道周囲灰白質 2.延髄大縫線核 3.脊髄後角 4.後根神経節	3
第14回	後半	問題 71	14	問題151 透熱灸について誤っている記述はどれか。 1.夾雑物が少ないモグサを用いる。 2.円錐形の艾しゅを作る。 3.モグサを直接皮膚上で燃焼させる。 4.患者が熱さを感じたところで取り去る。	4
第14回	後半	問題 72	14	問題152 間接灸用のモグサの品質として適切なのはどれか。 1.繊維が細かい。 2.燃焼時の温度が高い。 3.淡黄白色である。 4.燃焼時の煙の量が少ない。	2
第14回	後半	問題 73	14	問題153 温熱作用と共にモグサの燃焼で生じるタール成分(やに)の作用がみられる灸法はどれか。 1.墨灸 2.シヨウガ灸 3.焦灼灸 4.知熱灸	3
第14回	後半	問題 74	14	問題154 灸術の種類で正しい組合せはどれか。 1.棒灸 温灸 2.ウルシ灸 隔物灸 3.八分灸 透熱灸 4.糸状灸 知熱灸	1
第14回	後半	問題 75	14	問題155 灸治療の有害事象と応急処置との組合せで適切なのはどれか。 1.発熱 腹部への多灶灸 2.灸痕化膿 逆性石けんによる洗浄 3.全身倦怠感 安静臥床 4.のぼせ 頸部の保温	3
第14回	後半	問題 76	14	問題156 灸刺激の伝導路に関与しないのはどれか。 1.視床 2.脳幹網様体 3.後索核 4.C線維	3
第14回	後半	問題 77	14	問題157 温度に関する記述で正しいのはどれか。 1.温受容器は50 付近で最も強く反応する。 2.温受容器の形態は自由神経終末である。 3. 群線維によって伝導される。 4.温受容器は順応しない。	2
第14回	後半	問題 78	14	問題158 透熱灸による局所炎症の発現に関与しないのはどれか。 1.ブラジキニン 2.プロスタグランジン 3.ヒスタミン 4.クレアチンリン酸	4
第14回	後半	問題 79	14	問題159 透熱灸による血液凝固 線維素溶解系の亢進に関与しないのはどれか。 1.プラスミン 2.サブスタンスP 3.プロトロンビン 4.カルシウム	2
第14回	後半	問題 80	14	問題160 灸治療による微小炎症で免疫系を活性化するための抗原提示をするのはどれか。 1.樹状細胞 2.サブレッツサー T細胞 3.B細胞 4.ヘルパー T細胞	1
第15回	前半	問題 1	1	問題1 .パターナリズム(父権主義)について正しい記述はどれか。 1 .小児医療に特有の問題である。 2 .治療方針は医療者が決める。 3 .医師患者関係は契約関係である。 4 .患者は医療内容について説明を受け同意する。	2
第15回	前半	問題 2	1	問題2 .我が国における脳死について正しい記述はどれか。 1 .脳死は法制化されていない。 2 .心臓移植に用いる心臓は脳死した者から摘出される。 3 .脳死の判定は医師の裁量による。 4 .深昏睡と同じである。	2
第15回	前半	問題 3	2	問題3 .WHOによる健康の定義に含まれないのはどれか。 1 .社会的に良い状態 2 .個人的に良い状態 3 .身体的に良い状態 4 .精神的に良い状態	2
第15回	前半	問題 4	2	問題4 .ウイルス性の経口感染症はどれか。 1 .麻疹 2 .コレラ 3 .ポリオ 4 .赤痢	3
第15回	前半	問題 5	2	問題5 .排出によって酸性雨を起こす物質はどれか。 1 .一酸化炭素 2 .二酸化硫黄 3 .ダイオキシン 4 .メタンガス	2
第15回	前半	問題 6	2	問題6 .人口ピラミッドの類型で最も人口減少が予測されるのはどれか。 1 .富士山型 2 .ピラミッド型 3 .つぼ型 4 .はこ型	3

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第15回	前半	問題 7	2	問題7 .B型肝炎ウイルスの消毒に有効なのはどれか。 1 .グルコン酸クロロヘキシジン 2 .塩化ベンザルコニウム 3 .ポビドンヨード 4 .次亜塩素酸ナトリウム	又は
第15回	前半	問題 8	2	問題8 .予防接種法による二類疾病はどれか。 1 .日本脳炎 2 .風 疹 3 .破傷風 4 .インフルエンザ	4
第15回	前半	問題 9	2	問題9 .垂直感染を起こさないのはどれか。 1 .A型肝炎 2 .B型肝炎 3 .エイズ 4 .トキソプラズマ症	1
第15回	前半	問題 10	2	問題10 .我が国の人口指数で最も高いのはどれか。 1 .年少人口指数 2 .老年人口指数 3 .従属人口指数 4 .老年化指数	4
第15回	前半	問題 11	3	問題11 .我が国の医療保険制度について誤っている記述はどれか。 1 .任意加入である。 2 .一部負担金がある。 3 .公的機関が運営する。 4 .給付は定型的である。	1
第15回	前半	問題 12	3	問題12 .医療機器(用具)について定めている法律はどれか。 1 .医療法 2 .毒物および劇物取締法 3 .製造物責任法 4 .薬事法	4
第15回	前半	問題 13	3	問題13 .あん摩マツサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律で広告できるのはどれか。 1 .学 位 2 .施術方法 3 .設 備 4 .施術者の氏名	4
第15回	前半	問題 14	3	問題14 .あん摩マツサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律で出張のみによって業務を行う施術者が届出をしなくてよいのはどれか。 1 .開始したとき 2 .施術したとき 3 .休止したとき 4 .廃止したとき	2
第15回	前半	問題 15	4	問題15 .受精卵が両親からほぼ同量ずつ受けとるのはどれか。 1 .リボソーム 2 .小胞体 3 .ミトコンドリア 4 .染色体	4
第15回	前半	問題 16	4	問題16 .大坐骨孔を通過しないのはどれか。 1 .坐骨神経 2 .上殿神経 3 .梨状筋 4 .内閉鎖筋	4
第15回	前半	問題 17	4	問題17 .膝窩の辺縁を構成しないのはどれか。 1 .大腿二頭筋 2 .縫工筋 3 .半腱様筋 4 .腓腹筋	2
第15回	前半	問題 18	4	問題18 .下顎骨にみられないのはどれか。 1 .下顎角 2 .下顎顎 3 .下顎窩 4 .下顎枝	3
第15回	前半	問題 19	4	問題19 .胸椎にみられないのはどれか。 1 .前結節 2 .棘突起 3 .関節突起 4 .椎 孔	1
第15回	前半	問題 20	4	問題20 .筋とその支配神経との組合せで正しいのはどれか。 1 .大腿四頭筋 脛骨神経 2 .長内転筋 閉鎖神経 3 .長腓骨筋 深腓骨神経 4 .前脛骨筋 浅腓骨神経	2
第15回	前半	問題 21	4	問題21 .膵臓について誤っている記述はどれか。 1 .内分泌腺の膵島は頭部に多い。 2 .腹膜後器官である。 3 .脾動脈の枝が分布する。 4 .膵管は膵臓の中を通る。	1
第15回	前半	問題 22	4	問題22 .鼻腔について誤っている記述はどれか。 1 .鼻中隔の両面は鼻粘膜に覆われる。 2 .中鼻道は中鼻甲介の上方にある。 3 .鼻腔の下壁は口蓋である。 4 .後鼻孔は咽頭に開口する。	2
第15回	前半	問題 23	4	問題23 .内分泌系について正しい記述はどれか。 1 .アドレナリンは副腎皮質から分泌される。 2 .上皮小体は甲状腺の前面にある。 3 .下垂体の後葉は神経性下垂体とも呼ばれる。 4 .男性ホルモンは前立腺から分泌される。	3
第15回	前半	問題 24	4	問題24 .男性生殖器について誤っている記述はどれか。 1 .精索は鼠径靭帯の上を通る。 2 .陰嚢の正中部には縫線がみられる。 3 .精管は膀胱に開口する。 4 .尿道球腺は左右1対ある。	3

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第15回	前半	問題 25	4	問題25 .下肢の動脈について正しい記述はどれか。 1 .大腿動脈は鼠径靭帯の上を通る。 2 .膝窩動脈は総腓骨神経と伴行する。 3 .前脛骨動脈は足根管を通過する。 4 .後脛骨動脈は足底動脈弓を形成する。	4
第15回	前半	問題 26	4	問題26 .胸管について誤っている記述はどれか。 1 .腰リンパ本幹と腸リンパ本幹の合流により形成される。 2 .横隔膜の大静脈孔を通過する。 3 .左の内頸静脈と鎖骨下静脈の合流部に注ぐ。 4 .右上半身を除く全身のリンパを集める。	2
第15回	前半	問題 27	4	問題27 .脳神経について誤っている記述はどれか。 1 .喉頭は迷走神経によって支配される。 2 .鼓索神経は顔面神経の枝である。 3 .舌神経は下顎神経の枝である。 4 .側頭筋は上顎神経に支配される。	4
第15回	前半	問題 28	4	問題28 .神経の経路について誤っている記述はどれか。 1 .腋窩神経は上腕骨の外科頸と接する。 2 .橈骨神経は上腕骨骨幹部の後面と接する。 3 .尺骨神経は上腕骨の外側上顆と接する。 4 .総腓骨神経は腓骨頭と接する。	3
第15回	前半	問題 29	4	問題29 .感覚の伝導路を構成するのはどれか。 1 .大脳脚 2 .中小脳脚 3 .内側毛帯 4 .延髄錐体	3
第15回	前半	問題 30	4	問題30 .皮膚の各部分について誤っている記述はどれか。 1 .表皮は結合組織に富む。 2 .真皮は膠原線維に富む。 3 .皮下組織は脂肪組織に富む。 4 .毛は角質に富む。	1
第15回	前半	問題 31	5	問題31 .出血時の血液の変化で誤っているのはどれか。 1 .流動性消失 2 .フィブリノゲンが血球を捕捉 3 .血餅の退縮 4 .血餅からの血漿の滲出	2又は4
第15回	前半	問題 32	5	問題32 .静脈環流が促進される要因でないのはどれか。 1 .呼吸 2 .静脈の弁 3 .歩行運動 4 .心房内圧の低下	1
第15回	前半	問題 33	5	問題33 .正常呼吸と浅くて速い呼吸とを比べて変化しないのはどれか。 1 .死腔量 2 .1回換気量 3 .予備吸気量 4 .分時肺胞換気量	1
第15回	前半	問題 34	5	問題34 .嚥下に伴う随意運動はどれか。 1 .軟口蓋挙上 2 .舌による食塊移送 3 .舌根の挙上 4 .食道の蠕動運動	2
第15回	前半	問題 35	5	問題35 .栄養素でエネルギー源とならないのはどれか。 1 .アミノ酸 2 .グルコース 3 .ナイアシン 4 .トリグリセリド	3
第15回	前半	問題 36	5	問題36 .健常成人のクリアランス値で最も小さいのはどれか。 1 .尿酸 2 .尿素 3 .グルコース 4 .クレアチニン	3
第15回	前半	問題 37	5	問題37 .アンドロゲンに属するホルモンはどれか。 1 .プロゲステロン 2 .テストステロン 3 .エストラジオール 4 .エストロン	2
第15回	前半	問題 38	5	問題38 .妊娠中に分泌が抑制されるホルモンはどれか。 1 .プロゲステロン 2 .黄体形成ホルモン 3 .プロラクチン 4 .エストロゲン	2
第15回	前半	問題 39	5	問題39 .大脳皮質の機能的領野と脳葉の組合せで正しいのはどれか。 1 .味覚野 側頭葉 2 .一次運動野 頭頂葉 3 .ブローカ野 前頭葉 4 .ウエルニツク野 後頭葉	3
第15回	前半	問題 40	5	問題40 .骨格筋の収縮について誤っている記述はどれか。 1 .筋細胞の過分極により誘発される。 2 .筋小胞体からのカルシウムイオン放出を伴う。 3 .アクチンフィラメントがミオシンフィラメント上を移動する。 4 .エネルギー源としてATPを用いる。	1
第15回	前半	問題 41	5	問題41 .伸張反射について誤っている組合せはどれか。 1 .受容器 筋紡錘 2 .運動ニューロン 錘内筋線維支配 3 .I群求心性線維 後根神経節細胞 4 .単シナプス反射 膝蓋腱反射	2
第15回	前半	問題 42	5	問題42 .暑さに対する気候順化について誤っている記述はどれか。 1 .汗腺の働きが高まる。 2 .汗に含まれる塩分濃度が低下する。 3 .皮膚血管が収縮する。 4 .尿量が減少する。	3

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例 1
第15回	前半	問題 43	5	問題43 .味覚について誤っている記述はどれか。 1 .味蕾で感受される。 2 .求心性線維は舌下神経である。 3 .亜鉛の欠乏で味覚障害が生じる。 4 .順応が起こりやすい。	2
第15回	前半	問題 44	5	問題44 .免疫反応について誤っている記述はどれか。 1 .B細胞は液性免疫に関与する。 2 .B細胞は形質細胞に分化する。 3 .キラーT細胞はウイルス感染細胞を破壊する。 4 .ヘルパーT細胞は異物を貪食する。	4
第15回	前半	問題 45	6	問題45 .病因のうち外因に属するのはどれか。 1 .ビタミン 2 .年 齢 3 .免 疫 4 .ホルモン	1
第15回	前半	問題 46	6	問題46 .無機塩類の欠乏と疾患との組合せで誤っているのはどれか。 1 .カリウム 不整脈 2 .鉄 貧 血 3 .銅 ウイルソン病 4 .ヨウ素 甲状腺腫	3
第15回	前半	問題 47	6	問題47 .加齢に伴う病変と最も関連の低いのはどれか。 1 .脳血管障害 2 .骨粗鬆症 3 .再生不良性貧血 4 .嚥下性肺炎	3
第15回	前半	問題 48	6	問題48 .日和見感染症の病原微生物として最も関連の低いのはどれか。 1 .カリニ原虫 2 .インフルエンザウイルス 3 .緑膿菌 4 .サイトメガロウイルス	2
第15回	前半	問題 49	6	問題49 .肉芽腫を形成しないのはどれか。 1 .アスペルギシス 2 .サルコイドシス 3 .結核症 4 .ネコひっかき病	1
第15回	前半	問題 50	6	問題50 .小児に好発する腫瘍でないのはどれか。 1 .神経芽腫 2 .髄膜腫 3 .骨肉腫 4 .白血病	2
第15回	前半	問題 51	6	問題51 .悪性腫瘍の特徴として誤っているのはどれか。 1 .浸潤性発育を示す。 2 .境界が明瞭である。 3 .転移を起こす。 4 .出血壊死を伴う。	2
第15回	前半	問題 52	7	問題52 .尿路結石がみられないのはどれか。 1 .原発性副甲状腺機能亢進症 2 .ビタミンD過剰症 3 .痛 風 4 .アミノ病	4
第15回	前半	問題 53	7	問題53 .アセトン臭がみられるのはどれか。 1 .糖尿病性昏睡 2 .肝性昏睡 3 .尿毒症 4 .乳酸アシドーシス	1
第15回	前半	問題 54	7	問題54 .発熱時にみられないのはどれか。 1 .悪 寒 2 .チアノーゼ 3 .頭 痛 4 .関節痛	2
第15回	前半	問題 55	7	問題55 .喀痰の性状と疾患の組合せで正しいのはどれか。 1 .膿性痰 気管支喘息 2 .錆色痰 大葉性肺炎 3 .漿液性痰 肺化膿症 4 .血性痰 間質性肺炎	2
第15回	前半	問題 56	7	問題56 .歩容と疾患との組合せで誤っているのはどれか。 1 .疼痛性跛行 変形性股関節症 2 .間欠跛行 閉塞性動脈硬化症 3 .失調性歩行 パーキンソン病 4 .アヒル歩行 先天性股関節脱臼	3
第15回	前半	問題 57	7	問題57 .運動失調の検査でないのはどれか。 1 .指鼻試験 2 .手回内回外試験 3 .踵膝試験 4 .皮膚書字試験	4
第15回	前半	問題 58	7	問題58 .神経系の障害について誤っている組合せはどれか。 1 .前庭機能障害 リンネ試験 2 .錐体路障害 バレー徴候 3 .錐体外路障害 歯車現象 4 .深部感覚障害 ロンベルグ試験	1
第15回	前半	問題 59	7	問題59 .伝音性難聴がみられるのはどれか。 1 .耳管狭窄症 2 .メニエール病 3 .突発性難聴 4 .多発性硬化症	1
第15回	前半	問題 60	7	問題60 .続発疹でないのはどれか。 1 .びらん 2 .潰 瘍 3 .丘 疹 4 .痂 皮	3

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第15回	前半	問題 61	7	問題61 .成人に対する胸骨圧迫心臓マッサージ法で正しい記述はどれか。 1 .1分間に30回行う。 2 .胸骨の左上部を圧迫する。 3 .胸骨が4 - 5 cm沈む程度に圧迫する。 4 .呼吸1回の吹込みに対して2回圧迫する。	3
第15回	前半	問題 62	8	問題62 .疾患と病態との組合せで正しいのはどれか。 1 .下垂体性尿崩症 高張尿 2 .甲状腺機能亢進症 高コレステロール血症 3 .副甲状腺機能低下症 高カルシウム血症 4 .アジソン病 高カリウム血症	4
第15回	前半	問題 63	8	問題63 .原発性アルドステロン症の腎臓で再吸収が亢進しているのはどれか。 1 .ナトリウムイオン 2 .カリウムイオン 3 .水素イオン 4 .カルシウムイオン	1
第15回	前半	問題 64	8	問題64 .1型糖尿病の原因でないのはどれか。 1 .ウイルス感染 2 .遺伝性素因 3 .妊 娠 4 .自己免疫異常	3
第15回	前半	問題 65	8	問題65 .ウィルソン病でみられないのはどれか。 1 .片麻痺 2 .カイザー フライシャー 角膜輪 3 .構音障害 4 .肝硬変	1
第15回	前半	問題 66	8	問題66 .手根管症候群で誤っている記述はどれか。 1 .関節リウマチが原因となる。 2 .テイネル徴候が陽性となる。 3 .ファーレンテスは陽性となる。 4 .神経伝導速度は正常である。	4
第15回	前半	問題 67	8	問題67 .骨肉腫について誤っている記述はどれか。 1 .骨原性の悪性腫瘍では最も多い。 2 .中年以降の発症が多い。 3 .膝周囲の発症が多い。 4 .疼痛・腫脹・発赤がみられる。	2
第15回	前半	問題 68	8	問題68 .頸髄損傷について誤っている記述はどれか。 1 .上位頸髄損傷では呼吸障害がある。 2 .下位頸髄損傷では排尿は正常である。 3 .麻痺性イレウスを合併する。 4 .体温調節の障害がある。	2
第15回	前半	問題 69	8	問題69 .重症筋無力症について正しい記述はどれか。 1 .筋の易疲労性を呈する。 2 .男性に多い。 3 .血清クレアチンキナーゼが上昇する。 4 .遺伝性疾患である。	1
第15回	前半	問題 70	8	問題70 .関節リウマチの血液検査所見で誤っているのはどれか。 1 .赤血球数減少 2 .CRP陽性 3 .血小板数減少 4 .赤沈値促進	3
第15回	前半	問題 71	8	問題71 .急性間質性肺炎について正しい記述はどれか。 1 .若年者に多い。 2 .肺コンプライアンスが低下する。 3 .細菌感染が原因である。 4 .予後は比較的良好である。	2
第15回	前半	問題 72	8	問題72 .クローン病の合併症はどれか。 1 .巨大舌 2 .唾液減少 3 .手掌紅斑 4 .痔 瘻	4
第15回	前半	問題 73	8	問題73 .C型急性肝炎について正しい記述はどれか。 1 .経口感染である。 2 .高熱がみられる。 3 .慢性化はない。 4 .劇症化はまれである。	4
第15回	前半	問題 74	8	問題74 .膵管上皮由来の膵臓癌でみられないのはどれか。 1 .黄 疸 2 .背部痛 3 .低血糖 4 .CEA陽性	3
第15回	前半	問題 75	8	問題75 .疾患と病原体との組合せで誤っているのはどれか。 1 .水 痘 帯状疱疹ウイルス 2 .猩紅熱 A群溶血性連鎖球菌 3 .流行性耳下腺炎 サイトメガロウイルス 4 .急性灰白髄炎 ポリオウイルス	3
第15回	前半	問題 76	8	問題76 .肋間神経ブロック後に突然の咳、胸痛、呼吸困難を生じた。 1 .気 胸 2 .気管支喘息発作 3 .急性心筋梗塞 4 .解離性大動脈瘤破裂	1
第15回	前半	問題 77	8	次の文で示す症例について、問題77、問題78の間に答えよ。 「40歳の女性。3か月前から歩行時のふらつき、めまいが出現した。また、2か月前から左の難聴、耳鳴りと左顔面の感覚が鈍いことを自覚している。四肢の筋力低下はない。」 問題77 .この患者でみられないのはどれか。 1 .指鼻試験は拙劣である。 2 .つぎ足歩行は不能である。 3 .角膜反射は消失する。 4 .深部腱反射は亢進する。	4

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答例1
第15回	前半	問題 78	8	問題78 .最も考えられる疾患はどれか。 1 .メニエール病 2 .突発性難聴 3 .聴神経腫瘍 4 .脊髄空洞症	3
第15回	前半	問題 79	8	次の文で示す症例について、問題79、問題80の問に答えよ。 「25歳の男性。1年前から飲酒量が増加し、食事回数は減少した。1か月前から下腿浮腫、息切れ、膝蓋腱反射の消失がみられ、今朝から意識消失もみられるようになった。」 問題79 .この意識障害について最も考えられるのはどれか。 1 .ゲルストマン症候群 2 .ギランバレー症候群 3 .ウェルニッケ脳症 4 .ペラグラ	3
第15回	前半	問題 80	8	問題80 .原因と考えられるのはどれか。 1 .ビタミンB1欠乏 2 .ニコチン酸欠乏 3 .ウイルス感染 4 .脳腫瘍	1
第15回	後半	問題 1	8	問題81 .出血性ショックでみられないのはどれか。 1 .脈拍微弱 2 .皮膚温上昇 3 .血圧低下 4 .呼吸促進	2
第15回	後半	問題 2	8	問題82 .流行性角結膜炎を起こすのはどれか。 1 .黄色ブドウ球菌 2 .緑膿菌 3 .アデノウイルス 4 .帯状疱疹ウイルス	3
第15回	後半	問題 3	8	問題83 .うつ病に最も関連の深い神経伝達物質はどれか。 1 .アセチルコリン 2 .セロトニン 3 .ヒスタミン 4 .グルタミン酸	2
第15回	後半	問題 4	9	問題84 .我が国で身体障害者手帳の対象とならない病態はどれか。 1 .片麻痺 2 .失語症 3 .記憶障害 4 .慢性腎不全	3
第15回	後半	問題 5	9	問題85 .次の運動のなかで関節可動域の角度が最大なのはどれか。 1 .肩関節伸展(後方拳上) 2 .手関節屈曲(掌屈) 3 .股関節外転 4 .膝関節伸展	2
第15回	後半	問題 6	9	問題86 .関節リウマチ患者の筋力増強法として最も適切なのはどれか。 1 .等運動性訓練 2 .求心性筋収縮訓練 3 .遠心性筋収縮訓練 4 .等尺性筋収縮訓練	4
第15回	後半	問題 7	9	問題87 .痙縮の理学療法として有効でないのはどれか。 1 .温熱療法 2 .痙縮筋の筋力増強 3 .痙縮筋の持続伸張(ストレッチ) 4 .拮抗筋の収縮	2
第15回	後半	問題 8	9	問題88 .短下肢装具が用いられるのはどれか。 1 .下腿切断 2 .変形性膝関節症 3 .総腓骨神経麻痺 4 .閉塞性動脈硬化症	3
第15回	後半	問題 9	9	問題89 .歩行周期の踵接地時に筋活動を認める筋はどれか。 1 .大殿筋 2 .前脛骨筋 3 .ヒラメ筋 4 .大内転筋	は2又
第15回	後半	問題 10	9	問題90 .ウェルニッケ失語で正しいのはどれか。 1 .流暢な発話 2 .聴覚の異常 3 .麻痺性構音障害 4 .見当識障害	1
第15回	後半	問題 11	9	問題91 .脳性麻痺でみられないのはどれか。 1 .尿閉 2 .けいれん 3 .嚥下困難 4 .言語発達遅延	1
第15回	後半	問題 12	10	問題92 .五臓と五徳との組合せで正しいのはどれか。 1 .腎 声 2 .肺 色 3 .肝 味 4 .心 臭	4
第15回	後半	問題 13	10	問題93 .五臓と五労との組合せで誤っているのはどれか。 1 .肺 久しく臥す 2 .肝 久しく視る 3 .脾 久しく坐す 4 .腎 久しく立つ	2
第15回	後半	問題 14	10	問題94 .血について誤っている記述はどれか。 1 .肝に貯蔵される。 2 .営気とともに脈中をめぐる。 3 .心によって推動される。 4 .脾が各器官に配分する。	4

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第15回	後半	問題 15	10	問題95 .臓腑について誤っている組合せはどれか。 1 .腎 二陰に開竅する。 2 .胆 作強の官である。 3 .胃 腐熟を主る。 4 .肺 水道を主る。	2
第15回	後半	問題 16	10	問題96 .飲食物の伝化 排泄に直接関与しないのはどれか。 1 .胆 2 .小 腸 3 .三 焦 4 .胃	1
第15回	後半	問題 17	10	問題97 .三焦について誤っているのはどれか。 1 .皮膚に潤いを与える。 2 .体温を調節する。 3 .体液を心へ運搬する。 4 .衛気を全身にめぐらせる。	3
第15回	後半	問題 18	10	問題98 .経絡について誤っている記述はどれか。 1 .経絡は経脈、絡脈、孫絡で構成される。 2 .経脈は奇経八脈、十二経別をも含んでいる。 3 .十二経脈は三陰三陽に分類される。 4 .奇経八脈は表裏関係を有する。	4
第15回	後半	問題 19	10	問題99 .臓腑と病因との組合せで誤っているのはどれか。 1 .肝 扇風機をかけたまま眠った。 2 .心 炎天下で農作業をした。 3 .脾 受験のためにイライラした。 4 .腎 不審者に追いかけられた。	3
第15回	後半	問題 20	10	問題100 .陽虚の症状で適切でないのはどれか。 1 .小便不利 2 .四肢厥冷 3 .自 汗 4 .畏 寒	1
第15回	後半	問題 21	10	問題101 .肺の病証にみられないのはどれか。 1 .無 汗 2 .湿 疹 3 .梅核気 4 .短 気	3
第15回	後半	問題 22	10	問題102 .次の文で示す臓腑の病証はどれか。 「食後の腹脹、下痢、腹鳴がある。」 1 .胆 2 .膀胱 3 .小 腸 4 .三 焦	3
第15回	後半	問題 23	10	問題103 .六経病証について正しい組合せはどれか。 1 .少陽経病 陰囊が縮む。 2 .太陰経病 咽喉が渇く。 3 .少陰経病 難聴が起こる。 4 .厥陰経病 腰背が強ばる。	2
第15回	後半	問題 24	10	問題104 .古代刺法で兪募配穴に発展したのはどれか。 1 .偶 刺 2 .揚 刺 3 .報 刺 4 .傍鍼刺	1
第15回	後半	問題 25	10	問題105 .九変に応じる刺法について誤っている組合せはどれか。 1 .毛 刺 皮膚に浮? があるとき 2 .分 刺 筋肉に邪気があるとき 3 .遠道刺 病が上部にあるとき 4 .輪 刺 深部に熱があるとき	4
第15回	後半	問題 26	11	問題106 .次の文で示す経脈はどれか。 「足の第5指末端から足底を通り、内果の後ろをめくり、下腿内側を上行する。」 1 .脾 経 2 .肝 経 3 .腎 経 4 .膀胱経	3
第15回	後半	問題 27	11	問題107 .骨度法で足の長さと同じなのはどれか。 1 .肩峰外端から肘頭まで 2 .前髪際から後髪際まで 3 .胸骨体下端から臍まで 4 .脛骨内側顆の下際から内果まで	2
第15回	後半	問題 28	11	問題108 .上腕動脈の走行上にない経穴はどれか。 1 .臂 臑 2 .天 泉 3 .青 靈 4 .曲 沢	1
第15回	後半	問題 29	11	問題109 .取穴法で誤っている記述はどれか。 1 .陰包は大腿骨内側上顆の上方4寸に取る。 2 .条口は外果の上方5寸に取る。 3 .漏谷は内果の上方6寸に取る。 4 .中? は大腿骨外側上顆の上方5寸に取る。	2
第15回	後半	問題 30	11	問題110 .経穴部位について誤っている組合せはどれか。 1 .外 丘 後脛骨筋 2 .頭 維 浅側頭動脈 3 .胆 兪 広背筋 4 .消 ? 橈骨神経溝	1
第15回	後半	問題 31	11	問題111 .商丘穴について正しいのはどれか。 1 .髓 会 2 .八総穴 3 .経金穴 4 .? 穴	3

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第15回	後半	問題 32	11	問題112 .手の尺側爪甲根部にある井穴はどれか。 1 .商 陽 2 .少 沢 3 .少 衝 4 .中 衝	2
第15回	後半	問題 33	11	問題113 .副神経支配の筋と関係のない経穴はどれか。 1 .天 容 2 .天 柱 3 .天 宗 4 .天 ？	3
第15回	後半	問題 34	11	問題114 .解剖部位と経穴との組合せで誤っているのはどれか。 1 .大鎖骨上窩 缺 盆 2 .小鎖骨上窩 氣 舎 3 .鎖骨下窩 雲 門 4 .腋 窩 天 池	4
第15回	後半	問題 35	11	問題115 .経穴間の距離が2寸になる組合せはどれか。 1 .光 明 懸 鐘 2 .靈 道 神 門 3 .足三里 上巨虚 4 .? 門 内 関	1
第15回	後半	問題 36	11	問題116 .所属する経脈が表裏関係にない原穴の組合せはどれか。 1 .太 淵 合 谷 2 .神 門 腕 骨 3 .太 白 衝 陽 4 .太 谿 丘 墟	4
第15回	後半	問題 37	11	問題117 .胃の六ツ灸で使用しない経穴はどれか。 1 .膈 兪 2 .肝 兪 3 .脾 兪 4 .胃 兪	4
第15回	後半	問題 38	11	問題118 .奇穴と正穴との組合せで同じ高さにないのはどれか。 1 .痞 根 三焦兪 2 .定 喘 肩中兪 3 .氣海兪 小腸兪 4 .腰 眼 大腸兪	3
第15回	後半	問題 39	12	問題119 .腎気虚による小児夜尿症に対する治療目的として適切なのはどれか。 1 .固摂作用を高める。 2 .疏泄作用を高める。 3 .運化作用を高める。 4 .宣発(宣散)作用を高める。	1
第15回	後半	問題 40	12	問題120 .筋のひきつりかけれんに対して八会穴を用いる場合、正しいのはどれか。 1 .大 杼 2 .膈 兪 3 .懸 鐘 4 .陽 陵 泉	4
第15回	後半	問題 41	12	問題121 .次の文で示す患者の病証で適切なのはどれか。 57歳の女性。体型はやや肥満で、膝の内側に重だるい痛みを訴える。雨の日は症状が増悪し、下腿がむくむ。疲れやすく軟便になりやすい。」 1 .行 ？ 2 .痛 ？ 3 .着 ？ 4 .熱 ？	3
第15回	後半	問題 42	12	問題122 .次の文で示す患者の病証で適切なのはどれか。 50歳の男性。頸肩部のこり、目の疲れと乾燥を訴える。1年前から腰下肢が重だるく、手足がほてる。舌は紅く、脈は細数。」 1 .肝腎陰虚 2 .心腎不交 3 .肝脾不和 4 .脾胃陽虚	1
第15回	後半	問題 43	12	問題123 .次の文で示す患者の病証に対し、発作予防を目的として循経取穴する場合、適切なのはどれか。 61歳の男性。管理職。長時間の会議や強いストレスで前胸部の痛みを自覚する。発作は間欠的で、痛みは数分で消失する。現在内科に通院中である。」 1 .合 谷 2 .内 関 3 .外 関 4 .列 缺	2
第15回	後半	問題 44	12	問題124 .次の文で示す患者に対し、任脈と共に施術対象となる経絡はどれか。 25歳の女性。月経開始1週前からイライラし、乳房と少腹部(脇腹)のはりがある。月経開始と共に症状は軽減する。」 1 .足の陽明経 2 .足の太陽経 3 .足の少陰経 4 .足の厥陰経	4
第15回	後半	問題 45	12	問題125 .次の文で示す患者に対する治療で八総穴を用いる場合、正しいのはどれか。53歳の男性。急性の腰痛で前かがみになると増悪する。」 1 .外関 礪泣 2 .後谿 申脈 3 .内関 公孫 4 .列缺 照海	2
第15回	後半	問題 46	12	問題126 .腎虚証に対し、難経六十九難に基づき補法を行う経穴はどれか。 1 .水 泉 2 .太 白 3 .経 渠 4 .孔 最	3
第15回	後半	問題 47	12	問題127 .肩関節の外転筋に対する鍼通電療法で刺鍼部位として適切な経穴はどれか。 1 .秉風 巨骨 2 .肩外兪 肩中兪 3 .臑会 消？ 4 .肩貞 天宗	1

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第15回	後半	問題 48	12	問題128 .野球の投球動作でフォロースルー(腕の振り抜き)期に肩後面に痛みがみられる場合、局所治療穴として適切なのはどれか。 1 .天 井 2 .天 宗 3 .天 府 4 .天 ？	2
第15回	後半	問題 49	12	問題129 .手関節の掌屈ができない末梢性の運動麻痺に対し、罹患筋への局所治療穴として適切なのはどれか。 1 .温 溜 2 .支 正 3 .？ 門 4 .四 ？	3
第15回	後半	問題 50	12	問題130 .ばね指で罹患局所の圧痛に対して施術する場合、適切な部位はどれか。 1 .手根中手関節掌側部 2 .中手指節関節掌側部 3 .近位指節間関節掌側部 4 .遠位指節間関節掌側部	2
第15回	後半	問題 51	12	問題131 .理学検査所見と罹患局所への治療穴との組合せで適切でないのはどれか。 1 .モーリーテスト陽性 缺 盆 2 .ペインフルアークサイン陽性 膏 盲 3 .チェアテスト陽性 手三里 4 .フィンケルステインテスト陽性 偏 歴	2
第15回	後半	問題 52	12	問題132 .慢性副鼻腔炎に対する局所治療穴で適切なのはどれか。 1 .和 ？ 2 .瞳子？ 3 .巨 ？ 4 .素 ？	3
第15回	後半	問題 53	12	次の文で示す患者について、問題133、問題134の間に答えよ。 「45歳の男性。上肢の痛みとしびれを訴える。上腕外側の知覚鈍麻、三角筋の筋力低下、上腕二頭筋反射減弱。」 問題133 .椎間孔圧迫症状の確認を目的として行う理学検査で正しいのはどれか。 1 .アレンテスト 2 .スパーリングテスト 3 .エデンテスト 4 .ライトテスト	2
第15回	後半	問題 54	12	問題134 .施術対象となる障害高位はどれか。 1 .C5 2 .C6 3 .C7 4 .C8	1
第15回	後半	問題 55	12	次の文で示す患者について、問題135、問題136の間に答えよ。 「85歳の男性。突然、左眼を閉じることができなくなり、口から唾液が漏れた。症状発現の数日前に耳介部に水疱ができ、耳の痛みを感じた。」 問題135 .出現する可能性のある症状はどれか。 1 .味覚障害 2 .斜 視 3 .顔面部の知覚障害 4 .ホルネル徴候	1
第15回	後半	問題 56	12	問題136 .施術対象となる神経はどれか。 1 .第3脳神経 2 .第4脳神経 3 .第6脳神経 4 .第7脳神経	4
第15回	後半	問題 57	12	次の文で示す患者について、問題137、問題138の間に答えよ。 「20歳の男性。急に下腿に著明な浮腫が出現した。労作時呼吸困難はなく、肝機能は正常。高度蛋白尿と高脂血症を認めた。」 問題137 .浮腫の機序として適切なのはどれか。 1 .膠質浸透圧低下 2 .心拍出量減少 3 .門脈圧亢進 4 .静脈圧上昇	1
第15回	後半	問題 58	12	問題138 .東洋医学の考え方で水分代謝にかかわらない臓はどれか。 1 .肺 2 .心 3 .脾 4 .腎	2
第15回	後半	問題 59	12	次の文で示す患者について、問題139、問題140の間に答えよ。 「67歳の男性。数年にわたる湿性咳嗽と息切れで病院での治療を継続中である。」 問題139 .原因疾患で可能性の低いのはどれか。 1 .気管支拡張症 2 .慢性気管支炎 3 .気管支喘息 4 .間質性肺炎	4
第15回	後半	問題 60	12	問題140 .東洋医学的な診察では肺虚証であった。 「虚すればその母を補う」の原則に基づき選穴で正しいのはどれか。 1 .大 敦 2 .陰 谷 3 .太 白 4 .足通谷	3
第15回	後半	問題 61	13	問題141 .鍼刺激に対して過敏な患者への施術で最も適切なのはどれか。 1 .間歇術 2 .細指術 3 .管散術 4 .内調術	3
第15回	後半	問題 62	13	問題142 .随鍼術で鍼を抜き上げる時に適切でない状態はどれか。 1 .横隔膜収縮 2 .外肋間筋収縮 3 .内肋間筋収縮 4 .肋骨挙筋収縮	3
第15回	後半	問題 63	13	問題143 .運動中も継続して刺激ができるのはどれか。 1 .ローラー鍼 2 .円皮鍼 3 .灸頭鍼 4 .？ 鍼	2

実施回	実施時間	番号	key 科目	問題	解答 例1
第15回	後半	問題 64	13	問題144 .皮内鍼の絆創膏固定をはがした後にかゆみが出現した。かゆみを起こす物質はどれか。 1 .アセチルコリン 2 .ヒスタミン 3 .ノルアドレナリン 4 .プロトロンビン	2
第15回	後半	問題 65	13	問題145 .抜鍼困難時に応用する手技はどれか。 1 .鍼尖転移法 2 .屋漏術 3 .示指打法 4 .乱鍼術	3
第15回	後半	問題 66	13	問題146 .鍼治療の標準予防策として適切でないのはどれか。 1 .血液は高リスクとして扱う 2 .「一処置一手洗い」を実行する。 3 .指サックを着用する。 4 .使用した鍼を鍼管に戻す。	4
第15回	後半	問題 67	13	問題147 .乳様突起下端の後下方にあるトリガーポイントを刺激すると頭頂部に関連痛がみられた。罹患筋はどれか。 1 .咬 筋 2 .菱形筋 3 .棘下筋 4 .頭板状筋	4
第15回	後半	問題 68	13	問題148 .鍼刺激局所の血流増加が筋肉痛を改善するのはどれか。 1 .軸索反射 2 .下行性抑制系 3 .広範囲侵害抑制性調節 4 .痛抑制	1
第15回	後半	問題 69	13	問題149 .鍼刺激によって細胞膜で産生されるのはどれか。 1 .セロトニン 2 .プロスタグランジン 3 .ブラジキニン 4 .カリウムイオン	2
第15回	後半	問題 70	13	問題150 .表皮への刺鍼による作用でないのはどれか。 1 .自由神経終末の興奮 2 .基底層細胞でのビタミンDの形成 3 .メルケル盤の興奮 4 .ランゲルハンス細胞による免疫反応の誘導	2
第15回	後半	問題 71	14	問題151 .線香の主原料で正しいのはどれか。 1 .マキの葉 2 .クスの根 3 .マツの実 4 .タブの樹皮	4
第15回	後半	問題 72	14	問題152 .組織損傷を伴う灸法はどれか。 1 .ニンニク灸 2 .透熱灸 3 .温筒灸 4 .知熱灸	2
第15回	後半	問題 73	14	問題153 .灸法と刺激特性との組合せで誤っているのはどれか。 1 .味噌灸 湿 熱 2 .棒 灸 乾 熱 3 .紅 灸 乾 熱 4 .生姜灸 湿 熱	3
第15回	後半	問題 74	14	問題154 .灸あたりで最もみられる症状はどれか。 1 .難 聴 2 .便 秘 3 .全身倦怠感 4 .胸 痛	3
第15回	後半	問題 75	14	問題155 .透熱灸でマスト細胞から放出される物質による現象はどれか。 1 .血管収縮 2 .血管透過性の亢進 3 .ポリモーダル受容器の抑制 4 .心拍数減少	2
第15回	後半	問題 76	14	問題156 .熱痛覚を引き起こす閾値はどれか。 1 .40 2 .45 3 .50 4 .55	2
第15回	後半	問題 77	14	問題157 .灸刺激情報の伝達に関与しないのはどれか。 1 .C線維 2 .脊髄後角 3 .延髄オリブ核 4 .脳幹網様体	3
第15回	後半	問題 78	14	問題158 .透熱灸によって一番早く起こる現象はどれか。 1 .フレアー現象 2 .脊髄後角細胞の興奮 3 .交感神経活動の亢進 4 .侵害受容器の興奮	4
第15回	後半	問題 79	14	問題159 .胃の六ツ灸によって胃部不快感が改善する理由として適切なのはどれか。 1 .内臓交感神経遠心性活動の亢進 2 .上頸神経節活動の亢進 3 .骨盤神経活動の亢進 4 .内臓求心性神経活動の亢進	1
第15回	後半	問題 80	14	問題160 .施灸後にサイトカインを産生しないのはどれか。 1 .赤血球 2 .リンパ球 3 .好中球 4 .マクロファージ	1